
工　　事　　名	令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事
施　工　箇　所	安曇野市　　穂高鐘の鳴る丘集会所

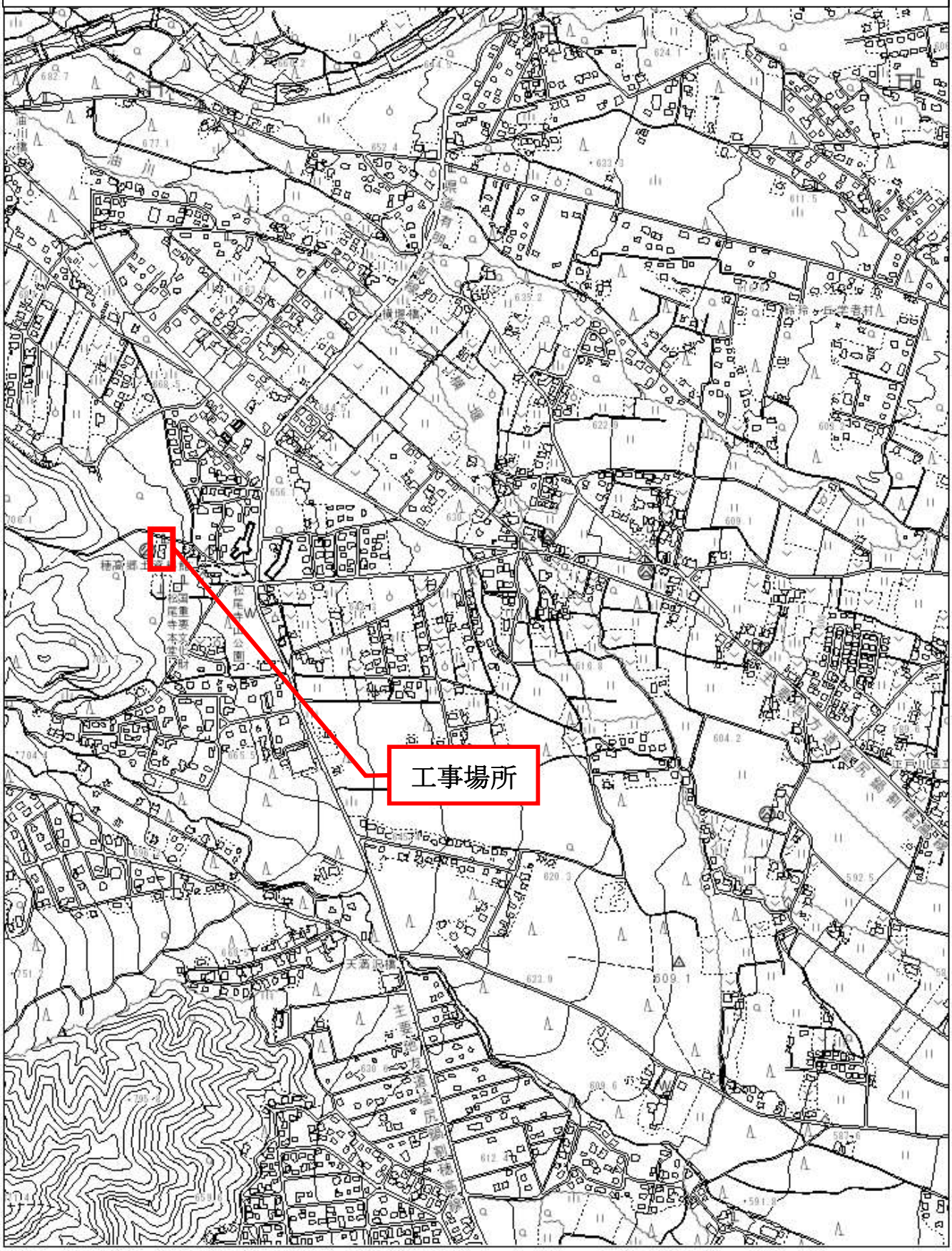
金抜設計書

設　　計　　概　　要	施　工　方　法	請　　負
耐震改修工事と建物内外の大規模改修工事一式 全体　■耐震改修、断熱改修 外部　■屋根・外壁修繕等 内部　■衛生陶器更新等 ■床・壁・天井の更新 電気　■照明更新 ■空調設備新設 ■キュービクル新設等	施　工　期　間	契約日～令和7年3月18日
	担当課	文化課　博物館担当
	工事担当課	財産管理課　施設経営担当
	契約保証方法	金銭的保証
	・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。	

安　曇　野　市

位置図

令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事						
Ⅰ	共通仮設費		1	式			
Ⅱ	建築工事		1	式			
Ⅲ	外構工事		1	式			
Ⅳ	電気設備工事		1	式			
Ⅴ	機械設備工事		1	式			
	直接工事費 計						
Ⅴ	諸経費						
	現場管理費		1	式			
	一般管理費		1	式			
	合　計						
	消費税10％						
	総　計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
I	共通仮設費						
	共通仮設（率）		1	式			
	積上げ仮設						
	仮囲い	成形鋼板 H=2.0m 9ヶ月	88.0	m			
	〃 ゲート	ｸﾛｽｹﾞｰﾄ(キャスターゲート) W6.0*H1.8 9ヶ月	1	ヶ所			
	VOC検査	サンプリング	10	ヶ所			
	〃	報告書作成他	1	式			
	進入路養生	4*8 鋼板22㎜ 6ヶ月	350	㎡			
	交通誘導員B		50	人			
	備品移動	普通作業員	10	人			
	積上げ仮設-計						
	共通仮設-計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
II	建築工事						
1	直接仮設工事		1	式			
2	解体撤去工事		1	式			
3	基礎工事		1	式			
4	木工事		1	式			
5	金属工事		1	式			
6	屋根工事		1	式			
7	板金工事		1	式			
8	左官工事		1	式			
9	金属製建具工事		1	式			
10	木製建具工事		1	式			
11	ガラス工事		1	式			
12	塗装工事		1	式			
13	内装工事		1	式			
14	家具工事		1	式			
15	雑工事		1	式			
	直接工事費計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	直接仮設工事						
	墨出し		437	m2			
	養生費		437	m2			
	床養生費		437	m2			
	清掃片付け		437	m2			
	竣工時清掃		437	m2			
	外部足場	くさび緊結式足場 W900	554	m2			
	外部足場	ブラケット足場	195	m2			
	ネット養生	垂直養生 メッシュシート	554	m2			
	内部足場	脚立足場程度	437	m2			
	内部階段足場		29.2	m2			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2	解体撤去工事						
	(外部)						
	屋根瓦撤去	屋根工事に含む					
	サッシ廻り木枠撤去	集積共	99.3	m			
	サッシ廻りカッター入れ		98.6	m			
	サッシ廻りモルタル撤去	集積共	98.6	m			
	横樋撤去	屋根工事に含む					
	竪樋撤去	屋根工事に含む					
	浄化槽撤去	本体FRP製2500L、基礎コンクリート共 集積共	1	ヶ所			
	雨水桝撤去	□410 集積共	16	ヶ所			
	石撤去	φ600程度 集積埋戻し	1	式			
	スピーカー撤去	集積共	2	ヶ所			
	(内部)						
	床解体	1F事務室 合板t12+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ+ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ 根太共 集積共	19.8	m2			
	床解体	1Fﾎｰﾙ廊下・調理室、2F資料室・廊下 合板フロアーt14.5+t9 根太共 積共	154	m2			
	床解体	1F会議室2 合板フロアーt14.5+t9 根太・大引・束基礎共 集積共	69.5	m2			
	床解体	1F給湯室・2F給湯室 合板フロアーt12+床ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ 根太共 集積共	12.4	m2			
	床解体	1F便所 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄt120+ﾓﾙﾀﾙ+磁器質ﾀｲﾙ 集積共	15.7	m2			
	床解体	2F会議室3・4 合板t12+畳 根太共 集積共	104	m2			
	床解体	1F洗面・踏込 2F倉庫・踏込・給湯室 合板フロアーt12 根太共 集積共	31.4	m2			
	床解体	2F便所 合板t12+ﾓﾙﾀﾙ+磁器質ﾀｲﾙ 集積共	4.9	m2			
	床解体	2F会議室4 合板t5.5根太共 集積共	6.6	m2			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	壁解体	PBt12 集積共	39.3	m2			
	壁解体	PBt12+不燃ｸﾛｽ 集積共	312	m2			
	壁解体	PBt12+AEP塗 集積共	62.1	m2			
	壁解体	ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地+ｼﾞｭﾗｸ 集積共	111	m2			
	壁解体	ﾗｽ板t9+ﾗｽﾓﾙﾀﾙ+磁器質ﾀｲﾙ 集積共	39.0	m2			
	壁間仕切解体	木造 集積共	167	m2			
	カーテンBOX撤去	木製 ｶｰﾃﾝ共 集積共	43.0	m2			
	天井解体	岩綿吸音板t12+PBt9 木下地共 集積共	89.4	m2			
	天井解体	杉柾石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12 木下地共 集積共	104	m2			
	天井解体	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12+AEP塗 木下地共 集積共	74.4	m2			
	天井解体	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12 木下地共 集積共	6.6	m2			
	天井解体	ｹｲｶﾙ板1種(非石綿含有)木下地共 集積共	34.7	m2			
	木製建具撤去	額縁・枠共 集積共	78.9	m2			
	鋼製建具撤去	ｶﾞﾗｽ・額縁・枠共 集積共	93.5	m2			
	玄関建具撤去	枠残し 2241×1649 集積共	1	ヶ所			
	カウンター撤去	事務室 木製L=3,500 集積共	1	式			
	飾り棚撤去	調理室 木製5,200×600×H2,200程度 集積共	1	ヶ所			
	調理台撤去	調理室 木製1,800×750×H750程度 集積共	2	台			
	調理台撤去	調理室 木製3,500×600×H600程度 集積共	1	台			
	洗面撤去	洗面所 SUS製木製戸袋付1,600×500×H800 集積共	1	ヶ所			
	衛生機器撤去	手洗器 集積共	3	台			
	衛生機器撤去	洋便器 集積共	5	台			
	衛生機器撤去	小便器 集積共	3	台			
	衛生機器撤去	SK	1	台			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	給排水配管類撤去	集積共	1	式			
	電気設備撤去	照明器具、配線　集積共	444	m2			
	電気設備撤去	ｺﾝｾﾝﾄ設備　集積共	444	m2			
	(石綿含有建材撤去)	ﾚﾍﾞﾙ3					
	床ビニルシート撤去	1F洗面・踏込、2F給湯室接着剤に含有　集積共	24.0	m2			
	巾木撤去	1F事務室　ｿﾌﾄ巾木(接着剤に含有)　集積共	1.5	m2			
	内壁モルタル撤去	給湯室、便所腰上t20程度　ﾗｽ共　集積共	78.5	m2			
	湿潤化措置		104	m2			
	石綿飛散防止対策養生	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｼｰﾄ等　材工	1	式			
	安全衛生設備機器等損料	噴霧器、HEPAﾌｨﾙﾀｰ付真空掃除機、保護具等	1	式			
	(解体廃材積込)						
	解体廃材積込	木くず	58.5	m3			
	解体廃材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	3.90	m3			
	解体廃材積込	ガラスくず・陶磁器くず及びｺﾝｸﾘｰﾄくず	6.0	m3			
	解体廃材積込	廃石膏ボード	21.5	m3			
	解体廃材積込	がれき類(瓦)　ｸﾚｰﾝ使用　屋根工事に含む					
	解体廃材積込	廃畳	56.0	枚			
	解体廃材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ　機械積込	3.00	m3			
	解体廃材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ　人力積込	14.5	m3			
	解体廃材積込	金属くず	594	kg			
	解体廃材積込	建築系混合廃棄物	10.80	m3			
	解体廃材積込	石綿含有産業廃棄物(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類)	0.40	m3			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	解体廃材積込	石綿含有産業廃棄物(ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず及びｺﾝｸﾘｰﾄくず)	3.1	m3			
	解体廃材積込	電気系混合廃棄物(金属、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系)	4.4	m3			
	解体廃材積込	水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管)	23.50	kg			
	(解体廃材運搬)						
	解体廃材運搬	木くず	58.5	m3			
	解体廃材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	3.9	m3			
	解体廃材運搬	ガラスくず・陶磁器くず	6.0	m3			
	解体廃材運搬	廃石膏ボード	21.5	m3			
	解体廃材運搬	がれき類(瓦) 屋根工事に含む					
	解体廃材運搬	廃畳	56	枚			
	解体廃材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ	17.5	m3			
	解体廃材運搬	金属くず	594	kg			
	解体廃材運搬	建築系混合廃棄物	10.8	m3			
	解体廃材運搬	石綿含有産業廃棄物(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類)	0.4	m3			
	解体廃材運搬	石綿含有産業廃棄物(ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず及びｺﾝｸﾘｰﾄくず)	3.1	m3			
	解体廃材運搬	電気系混合廃棄物(金属、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系)	4.4	m3			
	解体廃材運搬	水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管)	23.5	kg			
	(解体廃材処分)						
	解体廃材処分	木くず	58.5	m3			
	解体廃材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	3.9	m3			
	解体廃材処分	ガラスくず・陶磁器くず	6.0	m3			
	解体廃材処分	廃石膏ボード	21.5	m3			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	解体廃材処分	がれき類(瓦) 屋根工事に含む					
	解体廃材処分	廃畳	56	枚			
	解体廃材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ	17.5	m3			
	解体廃材処分	金属くず	594	kg			
	解体廃材処分	建築系混合廃棄物	10.8	m3			
	解体廃材処分	石綿含有産業廃棄物(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類)	0.4	m3			
	解体廃材処分	石綿含有産業廃棄物(ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず及びｺﾝｸﾘｰﾄくず)	3.1	m3			
	解体廃材処分	電気系混合廃棄物(金属、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系)	4.4	m3			
	解体廃材処分	水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管)	23.5	kg			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3	基礎工事						
	内部						
	根切		6.1	m3			
	床付け		2.7	m2			
	埋戻し		4.6	m3			
	残土処理		1.5	m3			
	砕石地業	基礎	0.5	m3			
	砕石地業	土間	26.5	m3			
	捨てコンクリート	Fc18-15-25	0.2	m3			
	防湿シート	t=0.15	211	m2			
	断熱材敷	t=50	69.6	m2			
	外部						
	根切		10.2	m3			
	鋤取り	t=170	91.0	m2			
	埋戻し		11.4	m3			
	残土処理		14.3	m3			
	砕石地業	土間	11.8	m3			
	内外共						
	型枠	打ち放し型枠	16.7	m2			
	鉄筋	D10 D13	3.12	t			
	ホールダウン金物	M16 L=500 材工共	10	本			
	基礎コンクリート	Fc24-15-25 材工共	1.6	m3			
	土間コンクリート	Fc24-15-25	41.4	m3			
	同上打設ポンプ		2	回			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	同上打設手間		41.4	m3			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
4	木工事						
	木床組	米栂同等 45*50 @455(ころばし根太)	137	m2			
	間仕切軸組	柱 150×150	116	m2			
	〃	柱 120×120	44.9	m2			
	2階合板受け梁追加	105*105	46.0	m			
	筋違追加	90*45 L=910	7	ヶ所			
	筋違追加	金属 L=1820 タスキ	8	ヶ所			
	筋違金物追加	既存筋違	142	ヶ所			
	壁胴縁組	横20*40@360	715	m2			
	ベニア張	t=12	319	m2			
	ベニア張	t=24 構造用合板	212	m2			
	断熱材貼り	押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=50	137	m2			
	巾木	H=100	324	m			
	出入口木枠		125	m			
	額縁	サッシ、出入口木枠	495	m			
	カーテンボックス	W=120	42.4	m			
	カーテンボックス	W=150	36.3	m			
	天井下地		407	m2			
	廻縁	45*25	323	m			
	収納	ハンガーパイプ共	3	ヶ所			
	見切り枠	サッシ廻り 50*50	179	m			
	見切り枠	サッシ廻り 60*45	72.8	m			
	見切り枠	サッシ廻り 60*100	36.4	m			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	見切り枠	サッシ廻り 40*180	21.3	m			
	見切り枠	サッシ廻り 40*200	46.0	m			
	金属火打ち金物	113 オメガ火打ち600ﾎﾞﾙﾄタイプ	11	ヶ所			
	梁受金物	124 梁受金物	90	ヶ所			
	2倍筋違金物	28 ﾘﾍﾞﾛⅢ	142	ヶ所			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
5	金属工事						
	天井点検口	450角 アルミ枠	13	ヶ所			
	カーテンレール	シングル C型 SUS	42.4	m			
	カーテンレール	ダブル C型 SUS	36.3	m			
	ピクチャーレール	中量用 2本/m	20.5	m			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6	屋根工事						
	燻し土瓦屋根						
	屋根面積(平部)		355	m2			
	瓦桟		355	m2			
	耐震平部釘止(全数)		355	m2			
	陸棟(のし四段積)		25.1	m			
	隅棟(のし三段積)		43.7	m			
	返し棟(のし三段積)		1.0	m			
	谷(板金込)		23.9	m2			
	土居のし		46.1	m			
	土居のし上水切り板金取付		31.6	m			
	塔壁廻り 水切り板金取付		10.0	m			
	袖瓦		8.5	m			
	雪止瓦		104	m			
	軒面戸		116	m			
	ウルトラキャンピオン下地		355	m2			
	(既存陶器瓦屋根撤去廃棄処理)						
	屋根面積(平部)		355	m			
	隅棟		43.7	m			
	土居のし		46.1	m			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
7	板金工事						
	雨樋工事						
	軒樋	118	116	m			
	コーナー		8	ヶ所			
	軒継手		20	ヶ所			
	止まり(左右)		4	組			
	角たてとい	76×46	85.1	m			
	角落し(角用ドレン一式)		20	ヶ所			
	角たてエルボ		45	個			
	はいとい水上		5	個			
	既存雨樋撤去処分	樋内堆積物処分共	1	式			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
8	左官工事						
	床 コンクリート金ごて	塗床下地	161	m2			
	床 コンクリート木ごて	鋼製床下地	136	m2			
	モルタル刷毛引き	基礎 H=300程度	96.8	m			
	サッシ廻りモルタル	プラスター下地（ラス下地共）	179	m			
	モルタル刷毛引き	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ下地共	4.7	m2			
	プラスター塗	壁 軒裏	413	m2			
	砂利洗出し洗浄		33.4	m2			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9	金属製建具工事						
	住宅用樹脂サッシ						
	AW-01 APW430 引違窓	1640*1170 ﾀﾞﾌﾞﾙ遮蔽ﾌﾞﾙｰ透明GAP3Gj樹脂ｽﾍﾟｰｻ ｽﾗｲﾄﾞ網戸(ﾌﾟﾗﾁﾅｽﾃﾝ)	17	ヶ所			
	AW-02 APW430 引違窓	1640*1170 ﾀﾞﾌﾞﾙ遮蔽ﾌﾞﾙｰ透明GAP3Gj樹脂ｽﾍﾟｰｻ ｽﾗｲﾄﾞ網戸(ﾌﾟﾗﾁﾅｽﾃﾝ)	8	ヶ所			
	AW-04 APW430 新たてすべり出し窓	405*570 ﾀﾞﾌﾞﾙ遮蔽ﾌﾞﾙｰ透明GAP3Gj樹脂ｽﾍﾟｰｻ 横引きﾛｰﾙ網戸(ﾌﾞﾗｯｸﾈｯﾄ)	7	ヶ所			
	AW-05 APW430 引違窓	1640*1370 ﾀﾞﾌﾞﾙ遮蔽ﾌﾞﾙｰ透明GAP3Gj樹脂ｽﾍﾟｰｻ ｽﾗｲﾄﾞ網戸(ﾌﾟﾗﾁﾅｽﾃﾝ)	4	ヶ所			
	AW-06 APW430 引違窓	1540*1370 ﾀﾞﾌﾞﾙ遮蔽ﾌﾞﾙｰ透明GAP3Gj樹脂ｽﾍﾟｰｻ ｽﾗｲﾄﾞ網戸(ﾌﾟﾗﾁﾅｽﾃﾝ)	5	ヶ所			
	AW-07 エピソード 引違窓半外付 4枚建	3510*1370 ｽﾗｲﾄﾞ網戸(ﾌﾟﾗﾁﾅｽﾃﾝ)	2	ヶ所			
	AW-08 エピソード 引違窓半外付 4枚建	3510*1830 ｽﾗｲﾄﾞ網戸(ﾌﾟﾗﾁﾅｽﾃﾝ)	1	ヶ所			
	AW-09 APW431 引違窓	1540*1830 ﾀﾞﾌﾞﾙ遮蔽ﾌﾞﾙｰ透明GAP3Gj樹脂ｽﾍﾟｰｻ ｽﾗｲﾄﾞ網戸(ﾌﾟﾗﾁﾅｽﾃﾝ)	1	ヶ所			
	AW-10 APW430 新たてすべり出し窓	786*1170 ﾀﾞﾌﾞﾙ遮蔽ﾌﾞﾙｰ透明GAP3Gj樹脂ｽﾍﾟｰｻ 横引きﾛｰﾙ網戸(ﾌﾞﾗｯｸﾈｯﾄ)	1	ヶ所			
	運搬費		1	式			
	取付費		1	式			
	アルミニウム製建具						
	AW-3 両開框ドア	1600*2400	1	ヶ所			
	運搬 取付費		1	ヶ所			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
10	木製建具工事						
	WD-1 格子框戸 米松	引違 1600*1900	2	本			
	WD-2 腰框戸 米松	上吊引違 1600*1900	8	本			
	WD-3 ガラス戸	上吊引違 1600*800	2	本			
	WD-4 腰框戸 米松	片開 750*1900	1	本			
	WD-5 額・ガラリ付フラッシュ戸 メラミン	片開 600*1900	6	本			
	WD-6 額・ガラリ付フラッシュ戸 メラミン	片開 750*1900	3	本			
	WD-7 フラッシュ戸 メラミン	折戸 1600*1900	12	本			
	WD-8 フラッシュ戸 メラミン	引違 1600*1900	4	本			
	WD-9 額・ガラリ付フラッシュ戸 メラミン	片引 900*1900	1	本			
	WD-10 額・ガラリ付フラッシュ戸 メラミン	片引 700*1900	2	本			
	WD-11 フラッシュ戸 メラミン	片引 1200*1900	1	本			
	運搬費		1	式			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
11	ガラス工事						
	金属製建具ガラス工事						
	Low-E 複層ガラス	LOWE4+A12+FL4+A12+FL4 800×2400	2	枚			
	木製建具ガラス工事						
	WD-1 複層ガラス	FL3+A12+FL3 800×1800	2	枚			
	WD-2 透明フロート	t=3 800×1000	8	枚			
	WD-3 透明フロート	t=3 800×800	2	枚			
	WD-4 透明フロート	t=3 750×900	2	枚			
	WD-5 型板ガラス	t=4 (小窓) 100×100	6	枚			
	WD-6 型板ガラス	t=4 (小窓) 100×100	3	枚			
	WD-10 型板ガラス	t=4 (小窓) 100×100	1	枚			
	WD-11 型板ガラス	t=4 (小窓) 100×100	2	枚			
	シリコン	6*6	93.2	m			
	シリコン	8*8	46.4	m			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
12	塗装工事						
	(外部)						
	SOP	階段鉄部 B種 下地処理､錆止め共	41.5	m2			
	OS	木部 既設改修 下地処理共	120	m2			
	OS	木部細物 既設改修 下地処理共	132	m			
	OS	木部細物 新設	309	m			
	下地調整 RA種	2階手摺	53.5	m2			
	OP	2階手摺 B種	53.5	m2			
	下地調整 RB種	2階ベランダ天井	6.6	m2			
	OP	2階ベランダ天井	6.6	m2			
	木部保護塗料	ベランダ庇飾 木部保護塗料 下地処理共	1	式			
	OP	ポーチ庇 屋根塗装	6.1	m2			
	(内部)						
	OSCL塗	木巾木 細巾	324	m			
	OSCL塗	木枠､ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ 細巾	203	m			
	OSCL塗	額縁､廻縁他 細巾	568	m			
	AEP	壁	695	m2			
	AEP	天井	194	m2			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
13	内装工事						
	床						
	鋼製床組	H=300 ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ共	137	m2			
	塗床	防塵 アクリル系薄塗タイプ	67.8	m2			
	長尺塩ビシート	t=2.0	42	m2			
	長尺塩ビシート	t=2.0 ﾉｽﾘｯﾌﾟ	3.6	m2			
	フローリング	カバ桜	231	m2			
	タイルカーペット	5mm	46.7	m2			
	壁						
	プラスターボード張り	t=12.5	613	m2			
	化粧けい酸カルシウム板張り	t=6 アルミジョイント	11.1	m2			
	プラスターボード張り	t=12.5+t12.5	49.8	m2			
	グラスウール充填	t=100 24kg/㎥(個室間仕切壁)	44.9	m2			
	グラスウール充填	t=100 24kg/㎥	290	m2			
	断熱材	押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種b t=50	290	m2			
	天井						
	岩綿吸音板(張り	t=12 下地ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ9.5mm共	93.2	m2			
	プラスターボード張り	t=12.5 下地ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ9.5mm共	59.0	m2			
	天井見切り	塩ビ	64.5	m2			
	プラスターボード張り	t=9.5	255	m2			
	ビニールクロス貼		120	m2			
	グラスウール敷	t=200 24kg/㎥	202	m2			
	現場発泡ウレタン断熱材	20mm A種1H	235	m2			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
14	家具工事						
		幅 × 奥行 ×高さ					
	K-1 収納棚 ポストフォーム	1,650×600×1,260	4	ヶ所			
	K-2 流し台 メラミン	1,400×600×900	1	ヶ所			
	K-3 受付カウンター ポストフォーム	1,730×500×60	1	ヶ所			
	K-4 用具棚 メラミン	1,650×450×2,000	1	ヶ所			
	K-6 下足入 メラミン	2,400×300×1,300	1	ヶ所			
	K-8 脱衣棚 メラミン	800×350×450	1	ヶ所			
	K-7 流し付作業台 既製品	1,650×600×900	2	ヶ所			
	運搬費		1	式			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
15	雑工事						
	シーリング	ポリサルファイド 20×10	231	m			
	室名札	300*300*10 木製フラッシュ	9	ヶ所			
	室名札	200*200*5 アクリル板	10	ヶ所			
	掲示板+案内図	1,800*900 アクリル板+掲示板クロス	1	ヶ所			
	注意事項	1,800*900 アクリル板	1	ヶ所			
	鏡	φ450	3	ヶ所			
	システムキッチン1	トクラスキッチン Bb1950 同等 取付共	1	ヶ所			
	システムキッチン2	トクラスCollagia D540 同等 取付共	1	ヶ所			
	シャワーユニット	JSV0816UXW3AK 同等 取付共	1	ヶ所			
	吊物干金物	1,200 ﾎｽｸﾘｰﾝUTM-S-W同等	4	ヶ所			
	ロールスクリーン	W*H=1.7*2.0 3.4m2	2	ヶ所			
	有圧換気扇	EFG-25MSB 同等材工共	4	ヶ所			
	ベビーシート	YKA24S 同等	1	ヶ所			
	カーテン	ドレープ程度	117	m2			
	暗幕		53.7	m2			
	シート防水	S-F1 既存下地撤去含む	19.3	m2			
	15.1コンプレサー・配管工事		1	式			
	小 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	15.1コンプレサー・配管工事						
	コンプレッサー						
	KBBELCO ES3ADⅢ-6HL	空冷、ドライヤ付 2.2kw00v/60Hz	1	台			
	エア配管工事						
	エアライナー ALN-P-25B	日東工器 ALN-P-25B同等	12	本			
	エアライナー ALN-JS-25	日東工器 ALN-JS-25 〃	10	個			
	エアライナー ALN-JL-25	日東工器 ALN-JL-25 〃	6	個			
	エアライナー ALN-JSD-2504	日東工器 ALN-JSD-2504 〃	1	個			
	エアライナー ALN-JT-2525	日東工器 ALN-JT-2525	1	個			
	送料		1	式			
	配管吊金具		1	式			
	エア配管工事		1	式			
	消耗雑材		1	式			
	小々計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事						
Ⅲ	外構工事						
1	キュービクル基礎フェンス工事		1	式			
2	機械置き場フェンス工事		1	式			
3	排水工事		1	式			
	計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	キュービクル基礎フェンス工事						
	キュービクル基礎工事	W2,200*L2,700*D700	1	式			
	〃　　フェンス	目隠し(ﾙｰﾊﾞｰﾀｲﾌﾟ)H=2,000　基礎ブロック共	16.6	m			
	〃　　フェンス　門扉	W900*H2,000　基礎ブロック共	1	式			
	小　計						
2	機械置き場フェンス						
	フェンス	目隠し(ﾙｰﾊﾞｰﾀｲﾌﾟ)H=1,500　基礎ブロック共	8.5	m			
	〃　　フェンス　門扉	W900*H1,500	1	式			
	小　計						
3	排水工事						
	浸透桝		12	ヶ所			
	VP	φ100	12	m			
	小　計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
	令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事						
Ⅳ	電気設備工事						
1	受変電設備工事		1	式			
2	動力設備工事		1	式			
3	排水工事		1	式			
4	電灯分岐設備工事		1	式			
5	照明器具設備工事		1	式			
6	誘導灯・非常照明設備工事		1	式			
7	コンセント分岐設備工事		1	式			
8	200Vコンセント分岐設備工事		1	式			
9	電話カラ配管設備工事		1	式			
10	構内情報通信網(LAN)設備工事		1	式			
11	インターホン設備工事		1	式			
12	オルゴール放送設備工事		1	式			
13	テレビ共同受信設備工事		1	式			
14	自動火災報知設備工事		1	式			
15	雷保護設備工事		1	式			
	直接工事費　計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
1	受変電設備工事						
	電線管	PE(82) 露出	8	m			
	電線管	FEP(80) 地中	100	m			
	電線管	HIVE(16)露出	10	m			
	異種管接続材	FEP(80)	2	個			
	電線	EM-IE 14sq	63	m			
	ケーブル	6kV-EM-CET 38sq(FEP)	63	m			
	呼線	ビニル被覆鉄線	54	m			
	端末処理材 (屋外)	6kV CET 38	1	個			
	端末処理材 (屋内)	6kV CET 38	1	個			
	コンクリート柱	12-19-350	1	本			
	根枷		1	個			
	装柱材		1	式			
	支線材	支線ガード共	1	式			
	PAS 7.2KV 200A 方向性	LA・VT内蔵	1	台			
	キュービクル	屋外型	1	組			
	キュービクル搬入・据付費		1	式			
	リレー試験・耐圧試験費		1	式			
	接地工事	EABD 共用	1	式			
	裸銅線	60sq(地中)	50	m			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
	接地棒	14φ−1.500L リード端子付	16	本			
	土工事		1	式			
	埋設シート	w=150、ダブル	48	m			
	埋設標	コンクリート製	5	個			
	ハンドホール、H2-9	R8K-600共、セパレーター付	3	基			
	1の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
2	動力設備工事						
	電線管	E(51) 天井	2	m			
	電線管	G(22) 露出	15	m			
	電線管	G(28) 露出	63	m			
	電線管	G(42) 露出	4	m			
	電線管	G(54) 露出	4	m			
	電線管	FEP(30) 地中	16	m			
	電線管	FEP(50) 地中	16	m			
	電線管	FEP(65) 地中	78	m			
	異種管接続材	FEP(30)	1	個			
	異種管接続材	FEP(50)	1	個			
	異種管接続材	FEP(65)	2	個			
	VE製ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ（ｶﾊﾞｰ付）	中四角 浅型 D44	1	個			
	プルボックス WP、HDZ、指定色	350x350x300	1	個			
	電動機その他用接続材料	F2-30# WPビニル被覆	10	ケ所			
	電動機その他結線費		10	台			
	電線	EM-IE 5.5sq	29	m			
	電線	EM-IE 14sq	75	m			
	ケーブル	EM-CEE 2sq-3C (FEP管内)	21	m			
	ケーブル	EM-CEE 2sq-3C (天井)	21	m			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
	ケーブル	EM-EFF 2.0mm- 3C (天井)	13	m			
	ケーブル	EM-EFF 2.0mm- 3C (管内)	13	m			
	ケーブル	EM-EFF 2.6mm- 3C (管内)	15	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5sq-4C(管内)	56	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5sq-4C(天井)	14	m			
	ケーブル	EM-CE 8.0sq-4C(天井)	93	m			
	ケーブル	EM-CE 14sq-4C(天井)	60	m			
	ケーブル	EM-CET 38sq(FEP管内)	50	m			
	ケーブル	EM-CET 38sq(天井)	15	m			
	ケーブル	EM-CET 100sq(FEP管内)	39	m			
	呼線	ビニル被覆鉄線	22	m			
	埋込コンセント	2P15A 接地極付x1+ET	1	個			
	ケースブレーカーA、屋内用	ELB3P30A、コンセント3P20Ax2	4	個			
	ケースブレーカーB、屋外用	ELB3P30A、コンセント3P20Ax1	1	個			
	ケースブレーカーC、屋外用	ELB3P30A/15A 3.7kW用	1	個			
	動力盤、P-11	屋外 防水型	1	面			
	動力盤、P-12	屋外 防水型	1	面			
	動力盤、P-13	屋内 露出型	1	面			
	警報盤	4L	1	面			
	P-11 基台	500Wx300H	1	個			
	P-12 基台	500Wx300H	1	個			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
	P-13 ダクト		1	個			
	配管塗装		1	式			
	土工事		1	式			
	埋設シート	w=150、ダブル	21	m			
	裸銅線	60sq(地中)	10	m			
	接地棒	14φ一1.500L リード端子付	4	本			
	2の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
3	電灯幹線設備工事						
	電線管	G(22) 露出	4	m			
	電線管	G(54) 露出	8	m			
	電線管	FEP(30) 地中	6	m			
	電線管	FEP(65) 地中	131	m			
	異種管接続材	FEP(30)	1	個			
	異種管接続材	FEP(65)	2	個			
	電線	EM-IE 14sq	106	m			
	ケーブル	EM-CET 60sq(FEP管内)	63	m			
	ケーブル	EM-CET 60sq(天井)	43	m			
	電灯盤、L-11	屋内、露出	1	面			
	電灯盤、L-21	屋内、露出	1	面			
	L-11 ダクト		1	個			
	L-21 ダクト		1	個			
	配管塗装費		1	式			
	3の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
4	電灯分岐設備工事						
	ケーブル	EM-EFF 1.6mm- 2C (天井)	219	m			
	ケーブル	EM-EFF 1.6mm- 3C (天井)	662	m			
	ケーブル	EM-EFF 2.0mm- 3C (天井)	107	m			
	VE製ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ (ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型 D44	76	個			
	ジョイントボックス	EEFケーブル用	19	個			
	耐火防音ボックス		1	個			
	防音スイッチボックス		10	個			
	埋込スイッチ ワイド型 H	1P15Ax1 ネーム付 ホタル	12	個			
	埋込スイッチ ワイド型 H,H	1P15Ax2 ネーム付 ホタル	2	個			
	埋込スイッチ ワイド型 3H	3W15Ax1 ネーム付 ホタル	2	個			
	埋込スイッチ ワイド型 L､L	1P0.5Ax2 パイロット、 ネーム付	2	個			
	埋込スイッチ ワイド型 L,L,L	1P0.5Ax3 パイロット、 ネーム付	1	個			
	埋込スイッチ ワイド型 3	3W15Ax1 ネーム付 ホタルなし	2	個			
	埋込コンセント､ワイド型	2P15Ax1	15	個			
	埋込コンセント､ワイド型	2P15A 接地極付x1+ET	1	個			
	換気扇･ロスナイスイッチ取付	設備支給品	6	個			
	自動点滅器	EE 44139A	1	個			
	人感センサー 818	親機8A WTK 24818	10	個			
	人感センサー 129	子機 WTK29129	5	個			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
	人感センサー 411K	廊下(親機)WTK 2411K	1	個			
	人感センサー 911K	廊下(子機)WTK 2911K	1	個			
	人感センサー 14K	照明＋換気　WTK 2614K	4	個			
	操作ユニット SL	1回路用　WTC 5820W	4	個			
	操作ユニット 2SL	2回路用　WTC 5822W	9	個			
	配線ダクト 2P15A E付	1m、付属品共	8	組			
	配線ダクト 2P15A E付	3m、付属品共	1	組			
	配線ダクト 2P15A E付	4m、付属品共	1	組			
	配線ダクト 2P15A E付	4.5m、付属品共	4	組			
	4の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
5	照明器具設備工事						
	照明器具 A	富士22	2	台			
	照明器具 B	富士31	2	台			
	照明器具 C	富士42	2	台			
	照明器具 D	ダウン 100W 型	9	台			
	照明器具 E	ダウン 150W 型	49	台			
	照明器具 F	ダウン 200W 型	7	台			
	照明器具 G	直付、談話室	9	台			
	照明器具 H	ダクト取付型、アトリエ	12	台			
	照明器具 I	ダクト スポット、アトリエ	26	台			
	照明器具 K	ダウン 200W 型 調光	8	台			
	照明器具 L	ダウン 200W 型 調光カウンター	2	台			
	照明器具 M	直付、個室A、B	2	台			
	照明器具 N	直付、個室C	1	台			
	照明器具 O	コップ型	3	台			
	照明器具 P	外壁	8	台			
	照明器具 Q	コネクテッドスイッチ	17	台			
	照明器具 S	直付 調光、1200L、アトリエ1	10	台			
	照明器具 T	直付 調光、900L、アトリエ1	4	台			
	照明器具 U	軒天 親機	1	台			
	照明器具 V	軒天 子機	1	台			
	5の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
6	誘導灯･非常照明設備工事						
	ケーブル	EM-EFF 1.6mm- 3C (天井)	123	m			
	ケーブル	EM-EFF 2.0mm- 3C (天井)	29	m			
	非常照明器具 a13	天井埋込型	18	台			
	非常照明器具･誘導灯 aリモコン	点検用	1	台			
	誘導灯 b	避難口誘導灯 片面型	3	台			
	誘導灯 d	通路誘導灯 両面型	2	台			
	6の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
7	コンセント分岐設備工事						
	合成樹脂製可とう電線管(PF管単層)	隠ぺい・埋込配管 22㎜	26	m			
	ケーブル	EM-EFF 2.0㎜- 3C (天井)	1,283	m			
	VE製ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ (ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型 D44	82	個			
	VE製ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ (ｶﾊﾞｰ付)	大四角 深型 D54	1	個			
	ジョイントボックス	EEFケーブル用	26	個			
	耐火防音ボックス		4	個			
	防音スイッチボックス		9	個			
	埋込コンセント、ワイド型	2P15A 接地極付x1＋ET	10	個			
	埋込コンセント、ワイド型	2P15A 接地極付x2＋ET	73	個			
	埋込コンセント、ワイド型	250V、15A、20A 兼用型	5	個			
	埋込コンセント	2P30A 接地極	1	個			
	ファクトライン20A E付	1m、フェードイン、エンド共	4	個			
	ファクトライン20A E付	2m、フェードイン、エンド共	4	個			
	ファクトライン20A リーラ―コンセントE付	参考:DH 26751W	8	個			
	スマート防水コンセント	参考:WK 4632	5	個			
	パネルヒーター接続	コード、ノズルﾌﾟﾚｰﾄ共	6	ケ所			
	防火区画処理(強電)	EEF2.0－3CX3本	1	ケ所			
	防火区画処理(強電)	EEF2.0－3CX10本	1	ケ所			
	防音処理 (強電)	EEF2.0－3CX4本	3	ケ所			
	7の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
8	200Vコンセント分岐設備工事						
	ケーブル	EM-EFF 2.0㎜- 3C (天井)	110	m			
	VE製ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ (ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型 D44	7	個			
	ケースブレーカーD、屋外用	ELB3P20Ax2、コンセント2P20Ax2	1	個			
	埋込コンセント、ワイド型	200V、15A、20A 兼用型	6	個			
	8の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
9	電話カラ配管設備工事						
	合成樹脂製可とう電線管(PF管単層)	隠ぺい・埋込配管 16㎜	3	m			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管単層)	隠ぺい・埋込配管 28㎜	40	m			
	電線管	HIVE(16) 露出	4	m			
	電線管	G(28) 露出	8	m			
	電線管	PE(28) 露出	8	m			
	電線管	FEP(30) 地中	98	m			
	異種管接続材	FEP(30)	4	個			
	呼線		157	m			
	VE製ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ (ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型 D44	1	個			
	ノズルﾌﾟﾚｰﾄ		1	枚			
	電線	EM-IE 5.5sq	34	m			
	プルボックス WP、HDZ、指定色	300x300x150	1	個			
	端子盤 T-11	露出	1	面			
	T-11 ダクト		1	個			
	土工事		1	式			
	埋設シート	w=150、ダブル	47	m			
	埋設標	コンクリート製	3	個			
	ハンドホール、H1-9	R8K-600共、セパレーター付	3	基			
	配管塗装費	G(28)	8	m			
	接地工事(TEL)	ED	1	ケ所			
	9の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
10	構内情報情報網設備工事						
	合成樹脂製可とう電線管(PF管単層)	隠ぺい・埋込配管 28㎜	20	m			
	電線管	G(28) 露出	4	m			
	電線管	PE(28) 露出	4	m			
	電線管	FEP(30) 地中	50	m			
	異種管接続材	FEP(30)	2	個			
	呼線		77	m			
	VE製ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ (ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型 D44	6	個			
	ノズルﾌﾟﾚｰﾄ	3連	1	枚			
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)-4P(天井)	260	m			
	配管塗装費	G(28)	4	m			
	(機器)材のみ						
	H:PoEスマートスイッチ		1	台			
	I:無線LANアクセスポイント		4	台			
	情報用モジュラージャック	CAT6	6	個			
	(工事費)						
	機器取付費		1	式			
	試験調整費		1	式			
	構内情報情報網　構築設定費		1	式			
	10の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
11	インターホン設備工事						
	ケーブル	EM-AE 1.2-2C(天井)	69	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-3C(天井)	10	m			
	VE製ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ（ｶﾊﾞｰ付）	中四角 浅型 D44	6	個			
	VE製スイッチﾎﾞｯｸｽ（ｶﾊﾞｰ付）	2個用	1	個			
	(機器)材工共						
	A:トイレ呼出表示器		1	台			
	B:呼出ボタン		1	台			
	C:廊下灯		1	台			
	D:復旧ボタン		1	台			
	E:電源アダプター		1	台			
	F1:テレビドアホン　セット	F2:カメラ付玄関子機　含む	1	セット			
	G:モニター付　子機		1	台			
	11の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
12	オルゴール放送設備工事						
	合成樹脂製可とう電線管(PF管単層)	隠ぺい・埋込配管 16㎜	9	m			
	ケーブル	VCTF 1.25sq-2C	13	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-2C(天井)	26	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-2C(PF管内)	9	m			
	マイクコード		6	m			
	VE製露出ﾎﾞｯｸｽ	丸型　3方出	1	個			
	VE製スイッチボックス	2個用	1	個			
	ノズルﾌﾟﾚｰﾄ	2連	1	枚			
	配管塗装費	PF16	9	m			
	(機器)材工共						
	J:卓上アンプ	80W　5回路	1	台			
	K:トランペットスピーカー	30W、取付金物は既設再利用	2	台			
	L:AVラック	卓上アンプ、スマートスイッチ収納	1	台			
	M:ベルタイマー	電波受信機能付	1	台			
	補助リレー	AC100V　15A	1	個			
	試験調整費		1	式			
	12の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
13	テレビ共同受信設備工事						
	合成樹脂製可とう電線管(PF管単層)	隠ぺい・埋込配管 28㎜	20	m			
	電線管	G(28) 露出	4	m			
	電線管	PE(28) 露出	4	m			
	電線管	FEP(30) 地中	50	m			
	異種管接続材	FEP(30)	2	m			
	呼線		77	m			
	VE製ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ (ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型 D44	4	個			
	入線プレート	WP 9671	1	個			
	ケーブル	EM-S-5C-FB(天井)	85	m			
	ケーブル	EM-S-7C-FB(天井)	23	m			
	配管塗装費	G(28)	4	m			
	(機器)材工共						
	アンテナ	平面型、取付金具共	1	組			
	ブースター	CATV/UHF・CS・BS	1	台			
	4分配器	SH-D4	1	個			
	TV端子	SH-7F	3	個			
	13の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
14	自動火災報知 設備工事						
	ケーブル	EM-AE 1.2-2C(天井)	175	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-4C(天井)	4	m			
	ケーブル	EM-HP 0.9-5P(天井)	27	m			
	ケーブル	EM-HP 0.9-10P(天井)	14	m			
	煙感知器	2種	5	個			
	差動式スポット型感知器	2種	18	個			
	定温式スポット型感知器	特種	3	個			
	定温式スポット型感知器	1種 防水	3	個			
	定温式スポット型感知器	特種 防水	5	個			
	機器収納箱		2	台			
	受信機	P-2-5	1	台			
	立会検査費	P型2級	1	式			
	防火区画処理(弱電)	ケーブルX4本	1	ケ所			
	防音処理 (弱電)	ケーブルX1本	2	ケ所			
	14の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	実施金額	備考
15	雷保護 設備工事						
	電線管	HIVE(28) 露出	13	m			
	配管支持材		6	個			
	端子ボックス	1端子、露出型、SUS	1	面			
	塗装工事	配管、端子ボックス	1	式			
	電線管(撤去・再使用なし)	HIVE(28) 露出	13	m			
	配管支持材(撤去・再使用なし)		6	個			
	端子ボックス(撤去・再使用なし)	1端子、露出型、SUS	1	面			
	鬼撚線(撤去・再使用)	40sq	14	m			
	15の計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事						
V	機械設備工事						
1	衛生器具設備工事		1	式			
2	給水設備工事		1	式			
3	排水工事		1	式			
4	ｶﾞｽ設備工事		1	式			
5	排水設備工事		1	式			
6	冷暖房・暖房設備工事		1	式			
7	換気設備工事		1	式			
	直接工事費計						
	※2Fｼｬﾜｰﾙｰﾑ・水栓類	建築工事					
	※2Fｷｯﾁﾝ　流し台ｾｯﾄ・水栓類	建築工事					
	※ｱﾄﾘｴ木工機器・ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ	建築工事					
	※全上換気工事・ｴｱｰ配管工事	建築工事					
	※建物内既設機械設備機器・配管撤去工事　　建築工事						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	衛生器具設備工事						
	車椅子対応便器	CS20AB 密結ﾀﾝｸ SH30BA	1	組			
		ｳﾜｯｼｭﾚｯﾄ TCF5840PN					
		ﾘﾓｺﾝ 他付属品一式					
	紙巻器	YH702	1	組			
	可動手摺	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ T112HK8R	1	組			
	固定手摺	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ T112CL11	1	組			
	化粧鏡	YM6090A	1	組			
	車椅子対応壁掛洗面器	L103A 自動水栓(単水栓)	1	組			
		壁給水 P形排水金物					
	洗面器用手摺	T112CP23 x2 付属品一式	1	組			
	洋風大便器	ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸｺﾝﾊﾟｸﾄ便器 CS232B	4	組			
		密結ﾀﾝｸ SH232BF					
		ｳｫｯｼｭﾚｯﾄ TCF587 ﾘﾓｺﾝ 付属品一式					
	紙巻器	YH600FMR	4	組			
	壁掛手洗器ｾｯﾄ	LSE90AAPRT	4	組			
		手洗器 自動水栓 ﾀｵﾙﾊﾞｰｾｯﾄ					
		壁給水 P形排水金物					
	ﾀｵﾙﾘﾝｸﾞ	YT408R	4	組			
	掃除用流し	SK22A 横水栓 T23AEQ20C	1	組			
		ｱﾝｸﾞﾙ型止水栓 TN114					
		床排水金物 (Sﾄﾗｯﾌﾟ)					
		他付属品一式					
	洗面器	壁掛洗面器 L270CM	1	組			
		自動水栓一体形電気温水器					
		適温出湯ﾀｲﾌﾟ 貯湯量 6L					

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
		REAH06A11RSC41AK					
		専用自動水栓 TENA51A2					
		ｱﾝｸﾞﾙ型止水栓 TL347CU					
	洗面器	ﾍﾞｯｾﾙ式洗面器ｾｯﾄ	1	組			
		LSE722BAPMWR					
		台付自動水栓 水石鹸入れ					
		取付金物 壁排水金物					
	タオル掛	YT500S4	2	組			
	化粧鏡	YM4560AE	2	枚			
	洗濯機用水栓	TW11R	1	個			
	洗濯機用排水ﾄﾗｯﾌﾟ	PJ2008NW	1	個			
	混合水栓	ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合栓 TKS05311J	4	個			
	万能ﾎｰﾑ水栓	T200BSQ13C	1	個			
	小計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2	給水設備工事						
	水道用耐衝撃硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	HIVP25　埋設	32	m			
	水道用耐衝撃硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	HIVP20　埋設	10	m			
	水道用内外面塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VD20　埋設	6	m			
	管埋設費	ｻﾝﾄﾞｸｯｼｮﾝ	1	式			
	水道用内外面塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VD20　屋内土間埋設(屋内一般)	18	m			
	水道用内外面塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VD20　屋内土間埋設(便所)	18	m			
	水道用内外面塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VD20　屋外RC内	3	m			
	水道用内外面塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB20　屋内一般隠蔽	7	m			
	水道用内外面塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB20　屋内便所隠蔽	51	m			
	水道用内外面塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB20　屋外架空	2	m			
	断熱工事	ﾗｯｷﾝｸﾞ共	1	式			
	地下式不凍栓	20Ax600L	10	個			
	不凍栓BOX	VC-6	10	個所			
	吸気弁	15A	6	個			
	仕切弁　JIS10K	GV20A	1	個			
	SUSFJ	20Ax300L	1	個			
	凍結防止ﾋｰﾀｰ巻き(給湯器)	自己制御型　4.0m	1	個所			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	既設給水管切断・接続	樹脂管20A	1	個所			
		既設量水器に接続					
	1・2F外壁・床穴明・補修工事		1	式			
	小計						
3	給湯設備工事						
	GW-1 ガス給湯器	屋外壁掛 給湯専用 24号-3号	1	台			
	寒冷地仕様 水道直圧形	浴室ﾘﾓｺﾝ(配線共)					
		排気ｶﾊﾞｰ 配管ｶﾊﾞｰ					
	仕切弁 JIS10K	GV20A	1	個			
	仕切弁 JIS10K	GV15A 水抜用	1	個			
	SUSFJ	20Ax300L	1	個			
	凍結防止ﾋｰﾀｰ巻き(給湯器)	自己制御型 6.0m	1	個所			
	吸気弁	15A	1	個			
	水道用内面耐熱塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	HTLP20 屋外架空	3	m			
	水道用内面耐熱塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	HTLP20 屋内一般 隠蔽	4	m			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	断熱工事	ｽﾃﾝﾚｽﾗｯｷﾝｸﾞ共	1	式			
	EW-1 電気温水器	貯湯量 25L 先止式	4	台			
	流し台内設置形	給水･給湯･排水金物					
	1･2F外壁･床穴明･補修工事		1	式			
	小計						
4	LP-1 ガス集合装置	既存使用					
	ガスコック	LPG用 20A	1	個			
	SUS･FJ	20Ax300L	1	個			
	外面ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ被覆鋼管	PLP20A 屋外架空	5	m			
	小計						
5	排水設備工事						
	Z-1 除害施設	FRP製100L	1	個所			
		RC基礎･スラブ･嵩上げ工事					
桝類	T1 塩ビ小口径桝目皿付ﾄﾗｯﾌﾟ桝 防護ﾊｯﾄ	起点 65-75-75-200 GL-450	1	個所			
	T2 塩ビ小口径桝目皿付ﾄﾗｯﾌﾟ桝 防護ﾊｯﾄ	起点 75-100-100-200 GL-450	2	個所			
	1 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	45Y 100-100-100-150	1	個所			
	2 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	45Y 75-100-100-100-150	1	個所			
	3 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	S 100-100-150	1	個所			
	4 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	45Y 75-100-100-100-150	1	個所			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	5 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	45Y 100-100-100-150	1	個所			
	6 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	45Y 100-100-100-150	1	個所			
	7 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	S 100-100-150	1	個所			
	8 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	45L 100-100-150	1	個所			
	9 温泉公社下水道接続桝 防護ﾊｯﾄ	45L 100-150-300	1	個所			
	A 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	90L 65-75-100-100-150	1	個所			
	B 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	45Y 65-75-100-100-150	1	個所			
	C 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	45Y 75-100-100-100-150	1	個所			
	D 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	90L 100-100-150	1	個所			
	E 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	90L 100-100-150	1	個所			
	F 塩ビ小口径桝 防護ﾊｯﾄ	45L 100-100-150	1	個所			
	イ 塩ビ小口径桝 塩ビ蓋	90L 65-75-100-150	1	個所			
	T1 塩ビ小口径桝目皿付ﾄﾗｯﾌﾟ桝 塩ビ蓋	起点 75-100-100-100-150	1	個所			
	ロ 塩ビ小口径桝 塩ビ蓋	45Y 100-100-100-150	1	個所			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP100 埋設	52	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP75 埋設	10	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP65 埋設	18	m			
	管埋設費	ｻﾝﾄﾞｸｯｼｮﾝ	1	式			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP100 便所 土間	10	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP65 便所 土間	5	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP50 便所 土間	6	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP40 便所 土間	5	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP75 屋内一般 土間	11	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP65 屋内一般 土間	12	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP50 屋内一般 土間	1	m			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP40　屋内一般 土間	2	m			
	管埋設費	ｻﾝﾄﾞｸｯｼｮﾝ	1	式			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP100　便所 隠蔽	8	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP65　便所　隠蔽	6	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP40　便所　隠蔽	3	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP65　屋内一般 隠蔽	18	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP50　屋内一般 隠蔽	5	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP40　屋内一般 隠蔽	2	m			
	断熱工事		1	式			
	通気管	VP75　屋内一般	9	m			
	通気管	VP50　屋内一般	6	m			
	ｽﾃﾝﾚｽ流し用排水ﾄﾗｯﾌﾟ	T14AA50	3	個			
	床上掃除口　塩ビｼｰﾄ用	COA100	3	個			
	床上掃除口　塩ビｼｰﾄ用	COA75	1	個			
	床上掃除口　塩ビｼｰﾄ用	COA65	6	個			
	床上掃除口　塩ビｼｰﾄ用	COA50	1	個			
	床排水金物	D75	2	個			
	通気金物	VC75	1	個			
	通気金物	VC50	1	個			
	既設排水管切断・接続　樹脂管150A	温泉公社下水道	1	個所			
	1・2F床穴明・補修工事		1	式			
	RCｺｱｰ抜き・補修	布基礎 100-150L	1	式			
	小計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6	冷暖房・暖房設備工事	寒冷地仕様					
	ACP-1・2・3・4	ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ	4	組			
		屋外機　冷暖房能力10.0/11.2KW					
		防雪ﾌｰﾄﾞ					
	ACP1・2・3・4-1　壁掛形	屋内機　冷暖房能力10.0/11.2KW					
		ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ					
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式防振架台	112形用	4	組			
	既成鋼製架台	H＝300	4	組			
	全上搬入・設置工事	防振架台・鋼製架台・防雪ﾌｰﾄﾞ	4	組			
		室内機取付工事					
		後施工ｽﾃﾝﾚｽｱﾝｶｰ共					
		冷媒液充填・不足分共					
		真空引・気密試験・試運転調整					
	ACP-5	ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ	1	組			
		屋内機　冷暖房能力10.0/11.2KW					
		防雪ﾌｰﾄﾞ					
	ACP5-1　天井ｶｾｯﾄ形(4方向)	屋内機　冷暖房能力10.0/11.2KW					
		ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ・自動昇降装置					
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式防振架台	112形用	1	組			
	既成鋼製架台	H＝300	1	組			
	全上搬入・設置工事	防振架台・鋼製架台・防雪ﾌｰﾄﾞ	1	組			
		室内機防振吊金物・振止工事					
		後施工ｽﾃﾝﾚｽｱﾝｶｰ共					
		冷媒液充填・不足分共					
		真空引・気密試験・試運転調整					
	ACP-6	ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ	1	組			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
		屋外機　冷暖房能力7.1/8.0KW					
		防雪ﾌｰﾄﾞ					
	ACP6-1　天井ｶｾｯﾄ形(2方向)	屋内機　冷暖房能力7.1/8.0KW					
		ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ・自動昇降装置					
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式防振架台	80形用	1	組			
	既成鋼製架台	H＝300	1	組			
	全上搬入・設置工事	防振架台・鋼製架台・防雪ﾌｰﾄﾞ	1	組			
		室内機防振・振止工事					
		後施工ｽﾃﾝﾚｽｱﾝｶｰ共					
		冷媒液充填・不足分共					
		真空引・気密試験・試運転調整					
	ACR-1	ルームエアコン	1	組			
		屋外機　冷暖房能力2.8/4.0KW					
	ACR1-1壁掛形	屋内機　冷暖房能力2.8/4.0KW					
		ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ　防雪ﾌｰﾄﾞ					
	防振ｺﾞﾑｷｯﾄ	鋼製架台用	1	組			
	既成鋼製架台	H＝300	1	組			
	全上搬入・設置工事	既成鋼製架台・防振ｷｯﾄ・防雪ﾌｰﾄﾞ	1	組			
		室内機取付工事					
		後施工ｽﾃﾝﾚｽｱﾝｶｰ共					
		冷媒液充填・不足分共					
		真空引・気密試験・試運転調整					
	ACR-2・5	ルームエアコン	2	組			
		屋外機　冷暖房能力2.8/4.0KW					
	ACR2・5-1　天井ｶｾｯﾄ形(1方向)	屋内機　冷暖房能力2.8/4.0KW					
		ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ　防雪ﾌｰﾄﾞ					

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	防振ｺﾞﾑｷｯﾄ	鋼製架台用	2	組			
	既成鋼製架台	H＝300　耐荷重	2	組			
	全上搬入・設置工事	既成鋼製架台・防振ｷｯﾄ・防雪ﾌｰﾄﾞ	2	組			
		室内機防振・振止工事					
		後施工ｽﾃﾝﾚｽｱﾝｶｰ共					
		冷媒液充填・不足分共					
		真空引・気密試験・試運転調整					
	ACR-3	ルームエアコン	1	組			
		屋外機　冷暖房能力4.0/6.0KW					
		防雪ﾌｰﾄﾞ					
	ACR3-1　天井ｶｾｯﾄ形(2方向)	屋内機　冷暖房能力4.0/6.0KW					
		ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ					
	防振ｺﾞﾑｷｯﾄ	鋼製架台用	1	組			
	既成鋼製架台	H＝300	1	組			
	全上搬入・設置工事	既成鋼製架台・防振ｷｯﾄ・防雪ﾌｰﾄﾞ	1	組			
		室内機防振・振止工事					
		後施工ｽﾃﾝﾚｽｱﾝｶｰ共					
		冷媒液充填・不足分共					
		真空引・気密試験・試運転調整					
	ACR-4	ルームエアコン	1	組			
		屋外機　冷暖房能力4.0/6.0KW					
	ACR4-1　天井ｶｾｯﾄ形(1方向)	屋内機　冷暖房能力4.0/6.0KW					
		ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ　防雪ﾌｰﾄﾞ					
	防振ｺﾞﾑｷｯﾄ	鋼製架台用	1	組			
	既成鋼製架台	H＝300	1	組			
	全上搬入・設置工事	既成鋼製架台・防振ｷｯﾄ・防雪ﾌｰﾄﾞ	1	組			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
		室内機防振・振止工事					
		後施工ｽﾃﾝﾚｽｱﾝｶｰ共					
		冷媒液充填・不足分共					
		真空引・気密試験・試運転調整					
	空調用冷媒管	9.53φ/15.88φ　屋外架空	44	m			
	空調用冷媒管	6.35φ/9.53φ　屋外架空	11	m			
	空調用冷媒管	9.53φ/15.88φ　屋内一般	80	m			
	空調用冷媒管	6.35φ/9.53φ　屋内一般	64	m			
	断熱工事	ﾗｯｷﾝｸﾞ共	1	式			
	ﾄﾞﾚﾝ配管						
	断熱樹脂管	40φ　屋外架空	4	m			
	断熱樹脂管	20φ　屋外架空	2	m			
	断熱樹脂管	40φ　屋内一般	3	m			
	断熱樹脂管	30φ　屋内一般	10	m			
	断熱樹脂管	25φ　屋内一般	38	m			
	断熱樹脂管	20φ　屋内一般	57	m			
	ACP系渡配線・電源線　ACP系	VVF-2.0°-3C	124	m			
	ACP系アース線	IV2.0°	124	m			
	ACP系ﾘﾓｺﾝ配線	CVVS-1.25°-2C	60	m			
	ACR系渡配線・電源線	VVF-2.0°-3C	66	m			
	穴明・補修		1	式			
	界壁貫通部処理	穴明・補修工事に含む					
	EH-1　電気ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	壁掛形　430Kcal/h	6	台			
		定格1φ-200V-0.5KW					

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
		ｻｰﾓｽﾀｯﾄ(0°C～40°C・ON/OFｽｲｯﾁ					
	小計						
7	換気設備工事						
	PF-1 ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	定格風量 330CMH	4	台			
		角型格子ｸﾞﾘﾙ 電気ｼｬｯﾀｰ					
		ｽﾃﾝﾚｽ深型ﾌｰﾄ150φ ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ					
	PF-2 ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	定格風量 85CMH	7	台			
		ｲﾝﾃﾘｱｸﾞﾘﾙ 電気ｼｬｯﾀｰ					
		ｽﾃﾝﾚｽ深型ﾌｰﾄ100φ ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ					
	EX-1 換気扇 ﾛｽﾅｲ	壁取付形	4	台			
		換気風量 給/排 43/37.5CMH					
		給排気ﾊﾟｲﾌﾟ ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ					
		給排気ﾌｰﾄﾞ					
	OA-1 自然給気口	壁取付形 150φ	5	台			
		ｽﾃﾝﾚｽ深型ﾌｰﾄ150φ					
	RF-1 ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ	本体建築工事	1	台			
		排気ダクト・排気フード本工事					
		FD付ｽﾃﾝﾚｽ深型ﾌｰﾄ100φ					
	外壁貫通部断熱工事 GW25	100φ	2	m			
	外壁貫通部断熱工事 GW25	150φ	2	m			
	穴明・補修	機器工事に含む					
	小計						

現　場　説　明　書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

１．件名（工事名称）　：令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

２．工事場所　　：安曇野市　穂高鐘の鳴る丘集会所

３．工事概要　　：令和４年度に実施した耐震診断に基づく耐震改修工事と
建物内外の大規模改修工事
全体　■耐震改修、断熱改修
外部　■屋根・外壁修繕等
内部　■衛生陶器更新等
■床・壁・天井の更新
電気　■照明更新
■空調設備新設
■キュービクル新設等

４．工　　期　　：契約日から　令和７年３月 18 日まで

５．一般事項について
(1)現場説明会
本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。」）によるものとし、現場説明会は実施しない。
(2)設計図書等に対する質問及び回答について
設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。
(3)工事費内訳書の提出
入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。
(4)工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

６．本工事における特記事項
(1)工事用地等
本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所･面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2) 市指定有形文化財に関する基本方針

建物の大規模改修に当たっては、近現代の諸相を目の当たりにしてきた建物であることに文化財的価値を見出し、昭和 55 年の移築以前の建物の有様を伝える古材等は原則として残すこととしたい。建物内部は、実際に解体してみないと古材が使われている箇所は把握できないが、その場合事前に監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。

(3) 本工事は、「週休２日工事実施要領」発注者指定型週休２日工事の対象である。
なお、週休２日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。
（工事発注時は４週８休を想定した設計単価で積算している）

(4)周辺住民の安全、騒音等に十分配慮すること。近隣への事前通達のうえ施工すること。

(5)感染症対策は十分に講じること。

(6)各官公庁手続きについて、
事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(7)排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理･Ｐh 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼす事のないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得る事。

~~(8)残土関係~~

~~・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

~~・建設発生土~~

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

7．本工事に関連する別途発注工事の予定

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

8．安全対策関係

(1) 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第４条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

(2) 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

９．工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10．その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

１．保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

２．各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

⑴公共事業労務費調査等

⑵資材調査、建設副産物実態調査等

３．工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

４．被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

５．工事実績情報サービス（CORINS）の登録について

⑴ 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事実績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

⑵ 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

６．施工体制台帳に係る書類について

⑴ 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

⑵ 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

⑶ 次の業種についても請負契約に該当するため、⑴と同様とする。

・１日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

７．主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）

② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

８．産業廃棄物等の取扱い

(1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。

(2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。

(3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、ﾏﾆﾌｪｽﾄA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

９．再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(ラージリサイクル法)に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10．安全対策関係

(1)工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。

(2)安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

(3)足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働

きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11．環境対策関係

(1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。

(2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。

(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。

(4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12．過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。

②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。

③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輌及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輌からの資機材等の引き渡しを受けないこと。

⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輌を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。

⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当っては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13．セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~

~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~

~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壌環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。工事発注前に市で実施したアスベスト調査資料については、受注者へ資料提供を行う。

報告書の記載内容

① アスベスト材料の種別

② アスベスト形状、飛散可能性の有無

③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

(1)工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2)工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3)請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後１ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

~~(1)工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。~~

(2)工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3)下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18．レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ｉ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19．工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）

・工事打合わせ記録簿（当月分）

・工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

20．施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲する。

21．設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22．完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ．完成写真を公表すること。

ロ．完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23．高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはＡ４版とする。

令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

NO	図面名	縮尺	NO	図面名	縮尺	NO	図面名	縮尺
A－１	特記仕様書　1		A－３０	改修建具表　2	１／５０	B－１	既存配置図	１／３００
A－２	特記仕様書　2		A－３１	改修家具図　1	１／３０	B－２	既存平面図	１／１００
A－３	特記仕様書　3		A－３２	改修家具図　2	１／３０	B－３	既存立面図	１／
A－４	特記仕様書　4		A－３３	システムキッチン　1	１／３０	B－４	既存屋根伏図	１／１００
A－５	改修配置図	１／３００	A－３４	システムキッチン　2	１／３０	B－５	既存断面図	１／１００
A－６	改修平面図	１／１００	A－３５	シャワーユニット		B－６	既存仕上伏図	
A－７	改修屋根伏図	１／１００	A－３６	改修基礎伏図	１／１００	B－７	既存面積表	１／２００
A－８	改修立面図	１／１００	A－３７	改修１階床伏図	１／５０	B－８	既存矩計図　1	１／２０
A－９	改修断面図	１／１００	A－３８	改修２階床伏図	１／５０	B－９	既存矩計図　2	１／２０
A－１０	改修仕上表		A－３９	改修小屋伏図	１／１００	B－１０	既存矩計図　3	１／２０
A－１１	改修面積表・法チェック	１／２００・１／１００	A－４０	改修軸組図　1	１／１００	B－１１	既存矩計図　4	１／３０
A－１２	改修１階　平面詳細図	１／５０	A－４１	改修軸組図　2	１／１００	B－１２	既存１階平面詳細図	１／５０
A－１３	改修２階　平面詳細図	１／５０	A－４２	金物		B－１３	既存２階平面詳細図	１／５０
A－１４	改修矩計図　1	１／２０	A－４３	改修筋違計算書　1	１／１００	B－１４	既存基礎伏図	１／１００
A－１５	改修矩計図　2	１／２０	A－４４	改修筋違計算書　２	１／１００	B－１５	既存１階床伏図	１／５０
A－１６	改修矩計図　3	１／２０	A－４５	改修部分詳細図　1	１／５・１／１０	B－１６	既存２階床伏図	１／５０
A－１７	改修矩計図　4	１／３０	A－４６	改修部分詳細図　2	１／５	B－１７	既存２階梁伏図　既存小屋組図	１／１００
A－１８	改修展開図　1	１／５０	A－４７	アトリエ設備	１／１００	B－１８	筋違計算用立面図	１／１００
A－１９	改修展開図　2	１／５０	A－４８	既存写真　1		B－１９	既存筋違計算書　1	１／１００
A－２０	改修展開図　3	１／５０	A－４９	既存写真　2		B－２０	既存筋違計算書　２	１／１００
A－２１	改修展開図　4	１／５０	A－５０	既存写真　3		B－２１	既存解体図（アスベスト）	１／１００
A－２２	改修展開図　5	１／５０	A－５１	既存写真　4		B－２２	便層詳細図	
A－２３	改修展開図　6	１／５０	A－５２	庇詳細図	１／５０	B－２３	既存照明図	１／１００
A－２４	改修展開図　7	１／５０	A－５３	サイン等計画図	１／１００	B－２４	既存自火報	１／１００
A－２５	改修１階天井伏図	１／５０	A－５４	省エネ計算	１／５０			
A－２６	改修２階天井伏図	１／５０	A－５５	ＴＯＴＯ　器具表				
A－２７	改修キープラン　1	１／１００	A－５６	仮設計画図	１／３００			
A－２８	改修キープラン　2	１／１００						
A－２９	改修建具表　1	１／５０						

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：DATA

設計	検図	承認印
製図	担当	承認年月日 2024.1.24

工事名称：PR　NAME
令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW　NAME
図面リスト１

縮尺：SCALE
（A－２）

図面番号：DW　NO.
A－０

令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

ＮＯ	図面名	縮尺	ＮＯ	図面名	縮尺	ＮＯ	図面名	縮尺
M-1	機械設備特記仕様書		E-1	電気設備工事特記仕様書		E-30	既設 コンセント設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）	１／１００
M-2	配置図・メーカーリスト・凡例・除外設備詳細図		E-2	配置図	１／３００	E-31	既設電灯設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）	１／１００
M-3	衛星器具表・・機器表・桝リスト		E-3	屋外キュービクル結線図・参考姿図	１／５０	E-32	既設 弱電設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）	１／１００
M-4	給排水衛生設備１階平面図	１／５０	E-4	動力盤 結線図		E-33	既設 自動火災報知設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）	１／１００
M-5	給排水衛生設備２階平面図	１／５０	E-5	電灯盤 結線図				
M-6	冷房・暖房設備機器表　系統図		E-6	幹線・動力設備 １階 改修平面図	１／５０			
M-7	冷房・暖房設備１階平面図	１／５０	E-7	幹線・動力設備 ２階 改修平面図	１／５０			
M-8	冷房・暖房設備２階平面図	１／５０	E-8	コンセント設備 １階 改修平面図	１／５０			
M-9	換気設備機器表・２４時間換気計算表		E-9	コンセント設備 ２階 改修平面図	１／５０			
M-10	換気設備１階平面図	１／５０	E-10	照明器具姿図（新設）				
M-11	換気設備２階平面図	１／５０	E-11	電灯設備 １階 改修平面図	１／５０			
M-12	施工標準図		E-12	電灯設備 ２階 改修平面図	１／５０			
			E-13	非常照明・誘導灯設備 １階 改修平面図	１／５０			
			E-14	非常照明・誘導灯設備 ２階 改修平面図	１／５０			
			E-15	弱電設備　系統図				
			E-16	弱電設備　参考姿図				
			E-17	電話カラ配管・構内情報通信網・テレビ共同受信設備 １階 改修平面図	１／５０			
			E-18	電話カラ配管・構内情報通信網・テレビ共同受信設備 ２階 改修平面図	１／５０			
			E-19	インターホン・トイレ呼出設備 １階 改修平面図	１／５０			
			E-20	インターホン・トイレ呼出設備 ２階 改修平面図	１／５０			
			E-21	オルゴール放送・太陽電池時計設備 １階 改修平面図	１／５０			
			E-22	オルゴール放送・太陽電池時計設備 ２階 改修平面図	１／５０			
			E-23	自動火災報知設備 系統図				
			E-24	自動火災報知設備 １階 改修平面図	１／５０			
			E-25	自動火災報知設備 ２階 改修平面図	１／５０			
			E-26	雷保護設備	１／１００			
			E-27	既設屋外幹線設備（撤去）	１／３００			
			E-28	既設 幹線設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）	１／１００			
			E-29	既設 照明器具姿図・分電盤結線図（撤去参考図）				

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：DATA

設計	検図	承認印
製図	担当	承認年月日 2024.1.24

工事名称：PR　NAME
令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW　NAME
図面リスト２

縮尺：SCALE
（A－２）

図面番号：DW　NO.
A－０－２

令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事　　仕様書

Ⅰ 工事概要

１．工事場所　　安曇野市穂高有明7327-81

２．敷地面積（㎡）　　4391.61㎡

３．工事種目　　改築工事

建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
集会所	既存		平屋			250.19㎡	437.24㎡
庇	新築	Ｓ造	平屋			4.00㎡	4.00㎡

Ⅱ 建築工事仕様

１．共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成19年版」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成19年版」（以下「標仕」という。）、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説　平成18年版」（以下、「解体共仕」）による。

（２）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

２．特記仕様

（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（３）特記事項に記載の（．．）内の表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（４）特記事項に記載の［．．］内の表示記号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（５）特記事項に記載の＜．．＞内の表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

①. 適用基準等

⊙建築工事標準詳細図	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙敷地調査共通仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙建築鉄骨設計基準	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙安曇野市建築工事の手引	安曇野市企画財政部監修
⊙公共建築改修工事標準仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙木造建築工事標準仕様書	国土交通省大臣官房営繕部監修
⊙建築物解体工事共通仕様書・同解説	国土交通省大臣官房営繕部監修
⊙建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）	建設省建設経済局建設業課･住宅局建築指導課監修
⊙長野県建設リサイクル推進指針	

②. 品質計画

建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による　[1.2.2]

※風速（Vo=　　　）

※地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ）

※積雪区分　建告示第1455号　別表（　）

3. 電気保安技術者

※適用する　　・適用しない　(1.3.3)

4. 施工条件明示項目　(1.3.5)

⑤. 発生材の処理等

※別紙解体工事仕様書による　⊙構外搬出適正処理　(1.3.8)

また、収集･運搬･中間処理･最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。

・引渡しを要するもの	
・再生資源の利用を図るもの	

6. 特別な材料の工法

改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

7. 施工数量調査

調査範囲及び調査方法　※図示　(1.5.2)

既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※図示　・　(1.5.3)

⑧. 技能士

※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。）　(1.6.2)

・適用しない

適用工事種別	技能検定作業
防水改修工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ⊙塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業　・左官　⊙建築板金（内外装板金作業）
外壁改修工事	・左官　・ﾀｲﾙ張り　・塗装（建築塗装作業）　・樹脂接着剤注入作業
建具改修工事	⊙建具製作　⊙ｻｯｼ施工　・ｶﾞﾗｽ施工　・自動ﾄﾞｱ施工
内装改修工事	・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業 ・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業　・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） ・表装（壁装作業）　・建築大工　・ﾀｲﾙ張り　・左官
塗装改修工事	⊙塗装（建築塗装作業）
耐震改修工事	⊙鉄筋施工（鉄筋組立作業）　⊙型枠施工　・とび
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ･押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ﾌﾞﾛｯｸ建築 ・ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ施工
石工事	・石材施工（石張り作業）
植栽工事	・造園

⑨. 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑩. 設計GL

※図示　⊙設計GL=現状GL

⑪. 化学物質の濃度測定

測定方法　※ﾊﾟｯｼﾌﾞ法（拡散法）　・ｱｸﾃｨﾌﾞ法（吸引法）　[1.5.9]

検査機関

※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者

測定物質

※ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　※ﾄﾙｴﾝ　※ｷｼﾚﾝ　※ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ｽﾁﾚﾝ

測定個所(室)

協議のうえ決定

※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。

化学物質の室内汚染濃度指針値

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

⑫. 完成図等

※作成する　(1.8.1～1.8.3)(表1.8.1)

※完成図（※設計図書で示したもの全て　・標仕表1.7.1による　・監督員の指示による）

作成方法　※原図　用紙　（※ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰ-A1　⊙ 白焼き　）

作図方法（※CADで作成し出力　・　）

・マイクロフィルム（ｱﾊﾟｯﾁｬｰｶｰﾄﾞ付）

※製本（原図の青焼き、見開きA1版（3部））　A－3

※CADデータ（※CD-R（2部）　・　）

※保全に関する資料（2部）

⑬. 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ（mm）
※ カラー写真	外部（10）内部（20）	※2　・	※ ｷｬﾋﾞﾈ版　・ｻｰﾋﾞｽ版
・ パネル（木製枠）	外部（　）内部（　）	※2　・	※ 半切　・ 全紙
・ カラースライド	外部（　）内部（　）	※1　・	24×36以上
※ 電子データ	外部（　）内部（　）	※2　・	※428万画素以上 ※350dpi以上

電子データは、ﾌｨﾙﾑｽｷｬﾝのうえRGB各8ﾋﾞｯﾄ（ﾌﾙｶﾗｰ）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者　※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者

⑭. 建築材料等

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。

(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3)安定的な供給が可能であること

(4)法令等で定められた許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること

これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

なお、(社)公共建築協会で発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記(1)～(6)に該当するものとする。

また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。

⑮. 化学物質を発散する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。

(1)合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(2)保温材、緩衝材、断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(3)接着剤はﾌﾀﾙ酸ｼﾞｰn-ﾌﾞﾁﾙ及びﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(4)塗料はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

規制対象外

①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品

③下記表示のあるJAS規格品

ａ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤使用

ｂ．接着剤等不使用

ｃ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない材料使用

ｄ．ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用

ｅ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料使用

ｆ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用

第三種

①JIS及びJASの F☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

③旧JISのEo規格品

④旧JASのFco規格品

2 仮設工事

①. 足場その他

内部足場　種別　※脚立、足場板等　・　(2.2.1)

外部足場　種別　※A種(手すり先行工法)　・B種　・C種　・D種　(2.2.1)(表2.2.1)

防護シートによる養生　※行わない　・行う

材料、撤去材料等の運搬　・A種　※B種　・C種　・D種　・E種　(2.2.1)(表2.2.1)

②. 養生

既存部分の養生　※ビニルシート等　・　(2.3.1)

既存家具等の養生　※ビニルシート等　・

固定家具等の移動　※行わない　・行う（図示）

③. 仮設間仕切　(2.3.2)(表2.3.1)

種別	下地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗装
・Ａ種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0　・　）		※無し
・Ｂ種	・木下地	※せっこうボード（※9.5　・　）	厚さ　mm	・片面
※Ｃ種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

④. 監督職員事務所

※ 設ける　・設けない　(2.4.1)(表2.4.2)

規模　※10㎡程度　・20㎡程度　・（　）

⑤. 工事用水

構内既存の施設　・ 利用できる（※ ◯有償　・無償）　※ 利用できない

⑥. 工事用電力

構内既存の施設　・ 利用できる（※ ◯有償　・無償）　※ 利用できない

3 防水改修工事

1. アスファルト防水　(3.3.2)(3.3.3)(表3.1.1)(表3.3.3～表3.3.10)

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	・Ｐ１Ｂ		・Ｂ－１　※Ｂ－２
	・Ｐ１ＢＩ　・Ｔ１ＢＩ		・ＢＩ－１　※ＢＩ－２
	・Ｐ２ＡＩ		・ＡＩ－１　※ＡＩ－２
	・Ｐ２Ａ		・Ａ－１　※Ａ－２
露出防水	・Ｍ４Ｃ		・Ｃ－１　※Ｃ－２
	・Ｍ３Ｄ　・ＰＯＤ		・Ｄ－１　※Ｄ－２
屋内防水	・Ｐ１Ｅ　・Ｐ２Ｅ		・Ｅ－１　※Ｅ－２ （保護層は図示による）

アスファルトの種類　※３種　・４種　(3.2.2)(3.3.2)

保護コンクリートのコンクリート種類　※無筋コンクリート　(3.3.2)

二重ドレン（ＰＯＤ工法の場合）　※設けない　・設ける　(3.3.5)

脱気装置（Ｍ３Ｄ、ＰＯＤ工法の場合）　※設けない　・設ける　(3.3.3)

既存露出防水層表面の仕上げ塗装（Ｍ４Ｃ工法の場合）　・除去する　(3.2.6)

断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※２５　・　(3.3.2)

ただし、特定フロンを含まないもの。

立上り部の保護　(3.3.2)

れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸとする。

乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

2. 改質アスファルトシート防水　(3.4.2)(3.4.3)(表3.1.1)(表3.4.1～表3.4.3)

防水改修工法の種類	施工個所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・Ｍ４ＡＳ工法		・ＡＳ－１　・ＡＳ－２　・ＡＳ－３	
・Ｍ３ＡＳ工法 ・ＰＯＡＳ工法		・ＡＳ－４　・ＡＳ－５　・ＡＳ－６	
・Ｍ３ＡＳＩ工法 ・Ｍ４ＡＳＩ工法 ・ＰＯＡＳＩ工法		・ＡＳＩ－１　・ＡＳＩ－２	

脱気装置　※設けない　・設ける　(3.2.5)

③. 合成高分子系ルーフィングシート防水　(3.5.2)(3.5.3)(表3.1.1)(表3.5.1)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り	使用分類
・ＰＯＳ工法 ・Ｓ４Ｓ工法 ・Ｓ３Ｓ工法		・Ｓ－Ｆ１　・Ｓ－Ｍ１ ・Ｓ－Ｆ２　・Ｓ－Ｍ２	・カラー ・シルバー	※非歩行 ・軽歩行
・Ｍ４Ｓ工法		・Ｓ－Ｍ１　・Ｓ－Ｍ２		
・ＰＯＳＩ工法 ・Ｓ３ＳＩ工法 ・Ｓ４ＳＩ工法 ・Ｍ４ＳＩ工法		・ＳＩ－Ｆ１　・ＳＩ－Ｆ２ ・ＳＩ－Ｍ１　・ＳＩ－Ｍ２ ・ＳＩ－Ｍ３		

脱気装置　・設けない　・設ける　(3.5.3)

目地処理　ＰＣコンクリートの場合（　）　(3.5.4)

4. 塗膜防水　(表3.1.1)(3.6.3)(表3.6.1)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り
・ＰＯＸ工法		・Ｘ－１	・シルバー
・Ｌ４Ｘ工法		・Ｘ－２	・カラー

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（Ｌ４Ｘ工法の場合）　・除去する　(3.2.6)

脱気装置　※設けない　・設ける　(3.6.3)

（１～４についての保証）

防水工事施工者及び請負者連名の保証書（１０年）を提出のこと。

5. 脱気装置　(3.3.3)(3.4.3)(3.5.3)

種類	材質		設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ステンレス	・ＡＢＳ樹脂 ・鋳鉄	（　） ㎡当たり１箇所
・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・ステンレス	・塩化ビニル樹脂 ・銅	（　） ㎡当たり１箇所

⑥. シーリング

シーリング改修工法の種類　(3.7.4～3.7.7)(表3.7.1)

⊙シーリング充てん工法　・シーリング再充てん工法

・拡幅シーリング再充てん工法　・ブリッジ工法

シーリングの種類、施工箇所　(3.7.2)(表3.7.1)

※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

ＰＣＢ含有シーリング調査

⊙１次分析（ＰＣＢ含有分析の要否判定）

工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種についての判定を行うこと。なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、ＰＣＢ含有分析が必要な場合は協議する。

・２次分析（ＰＣＢ含有分析）

ＰＣＢの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。

(1)採取箇所　計　箇所

(2)採取方法　分析機関の指定する方法により採取する。

(3)分析方法　ＧＣ－ＥＣＤ法による(JIS K0114)

シーリングにＰＣＢが含有していた場合の措置

(1)除去方法　改修標仕3.7.5(a)による

(2)処置方法　関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、ＰＣＢが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。

⑦. とい

といの材種　(3.8.2)(表3.8.1)

※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管　・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管

・ステンレス鋼板　⊙表面処理鋼板

鋼管製といの防露　※改修標仕表3.8.5による　(3.8.3)(表3.8.5)

・次の箇所は行わない（　）

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量の等級

※規制対象外　・第三種

掃除口　※有り　・無し

縦どい受け金物の取付け　※図示　・標仕13.5.3(d)(2)による　(3.8.3)

8. アルミニウム製笠木　(3.9.2)(表3.9.1)

種類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備考
・１００形		※Ａ－１又は Ｂ－１種 ・Ｂ－２ （　）	※固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	※隅角部及び突当り部等の役物は本体製造所の仕様による
・２５０形	１．６以上			
・３００形	１．８以上			
・３５０形	２．０以上			

板材折曲げ形の取付工法　※図示　(3.9.3)

工法

既存笠木等の撤去　・行う（範囲　※図示　・　）

下地補修の工法　※図示

板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示

9. 折板葺　[13.3.2][13.3.3][表13.2.1]

形式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高（　）　山ピッチ（　）　板厚　※0.6　・0.8　・
材料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別：　厚さ：　mm）　・無し
耐火性能	※３０分耐火　・無し

(9についての保証)

・長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。

・上記組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。

4-1 外壁改修工事　共通事項

①. 施工数量調査

調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　(1.5.2)

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等調査する。

コンクリートまたは、モルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。

塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

調査報告書の部数　※２部　・

②. 改修材料

・既製調合モルタル　(4.2.2)

保水率（%）	単位容積質量（Kg／l）	接着強さ（N／mm2） 標準時	接着強さ（N／mm2） 温冷繰り返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N／mm2）
７０．０以上	１．８０程度	０．６０以上	０．４０以上	０．２０以上	４．０以上

・パテ状エポキシ樹脂　(4.2.2)

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0 N／mm2以上	6.0 N／mm2以上	50.0 N／mm2以上	30.0 N／mm2以上	3.0 %以下

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

b.対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。

c.常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂　(4.2.2)

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0 N/mm2以上	1.0 N/mm2以上	1.0 N/mm2以上	最大引張応力	1.0 N/mm2
伸び	30.0 %以上	30.0 %以上	30.0 %以上	破断時の伸び	10 %以上

比重	押出し性	スランプ	加熱減量
表示値±0.10	60秒以下	3mm以下	5%以下

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

b.対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。

c.常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え用エポキシ樹脂　(4.2.2)

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/mm2)	0.60 以上	0.40 以上	0.40 以上	0.40 以上	0.40 以上
凝結破壊率(%)	75 以上	50 以上	50 以上	50 以上	50 以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強度(N/mm2)	1.00 以上	1.00 以上	1.00 以上	1.00 以上	1.00 以上
伸び(%)	30 以上	30 以上	30 以上	20 以上	20 以上

貯蔵安定性　容積と粘度に著しい変化がないこと。

耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。

a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

b.タイル、石材、下地等を侵すものでないこと。

c.「化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。

d.常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6ヶ月間保存しても上記品質性能に適合していること。

e.ずれ抵抗性があること。

f.混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル　(4.2.2)

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0 N/mm2以上	20.0 N/mm2以上	10.0 N/mm2以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がりが良好であること。

b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。

d.形状に異常が無く、だれが生じないこと。

e.常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6ヶ月間保存しても上記品質性能に適合していること。

安曇野市総務部財産管理課	図面名称　改修特記仕様書（１）			
令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	年月日 2024・1・24	図面総枚数	図面番号 A0-1	

4-1 外壁改修工事 共通事項

・ポリマーセメントモルタル (4.2.2)

ポリマーセメントモルタルの種類

合成ゴム系、アクリル系、エチレン－酢ビ系等

曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	接着強さ (N/mm2) 標準時	湿潤時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー (4.2.2)

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材 (4.2.2)

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強さ(N/mm2)	界面破断率(%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-2 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

1. ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法 (4.1.4)(4.3.4～4.3.6)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	※ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100 ・	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200 ・	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250 ・	※130 ・	

注入材料 (4.2.2)
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形）
・
検査（コア抜取り）　※行わない (4.3.4)
・行う（抜取り部の補修方法：　）

・Uカットシール材充てん工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.6)

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	

2. 欠損部改修工法

※充てん工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.7)

シール材料	品質・規格等
・エポキシ樹脂モルタル	
・ポリマーセメントモルタル	

4-3 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

①既存モルタル塗りの撤去
・行う（※全面　○図示の範囲）

②ひび割れ部改修工法
・既存モルタル撤去工法（範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による）
※樹脂注入工法（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面） (4.1.4)(4.4.2)(4.4.5)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	※ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100 ・	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200 ・	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250 ・	※130 ・	

注入材料 (4.2.2)
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形）
・
検査（コア抜取り）　※行わない (4.3.4)
・行う（抜取り部の補修方法：　）

・Uカットシール材充てん工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面） (4.1.4)(4.2.2)(4.4.7)

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修（※シール工法の範囲　・　） (4.4.2)(4.6.3)

3. 欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部 (4.1.4)(4.4.8)(4.4.9)

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充てん工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(g)による	塗り厚25mmを越える場合の補強 ※行う　・行わない　・図示

既製目地材　・適用する（形状　※図示　・　） (4.2.2)

4. 浮き部改修工法

(4.1.4)(4.4.10～4.4.15)(表4.4.3)(表4.4.4)

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	指定部	充てん量 注入量
・**アンカーピンニング部分** エポキシ樹脂注入工法	※１６ ・	※２５ ・			※２５ml
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※２５ml
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※５０ml
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・			※２５ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※２５ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※５０ml ・

アンカーピン (4.2.2)
材質　※ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・

注入口付アンカーピン (4.2.2)
材質　※ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径外径６mm
・

4-4 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

1. 既存タイル張りの撤去
・外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで　・タイルのみ

2. ひび割れ部改修工法
改修箇所　※既存タイル張り面　・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面）
※樹脂注入工法 (4.1.4)(4.3.4)(4.5.5)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	※ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100 ・	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200 ・	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250 ・	※130 ・	

注入材料　※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） (4.2.2)
検査（コア抜取り）　※行わない　・行う（抜取り部の補修方法：　） (4.3.4)

・Uカットシール材充てん工法（既存タイル張り撤去面） (4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)(4.3.6)

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3. 欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.7)

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル ・変成シリコン樹脂 ・エポキシ樹脂 ・ポリウレタン樹脂 ・シリコン樹脂 ・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究所報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』（建設大臣官房技術調査室監修 平成９年２月）」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準（案）」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであって監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 (4.1.4)(4.5.8)
伸縮目地調整及びひび割れ誘発目地 (4.5.8)(表4.5.1)
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

4. 浮き部改修工法
(4.1.4)(4.5.10～4.5.15)(表4.4.3)(表4.4.4)

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部		充てん量 注入量
・**アンカーピンニング部分** エポキシ樹脂注入工法	※１６ ・	※２５ ・			※２５ml
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※２５ml
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※５０ml
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・			※２５ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※２５ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※５０ml ・
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※５０ml ・

アンカーピン (4.2.2)
材質　※ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・

注入口付アンカーピン (4.2.2)
材質　※ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径外径６mm
・

5. 陶磁器質タイル張り
タイルの種類 (4.2.2)(4.5.7)(4.5.8)

施工箇所	形状寸法 (mm)	き じ 磁器	せっ器	陶器	釉薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	備考

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 (4.5.7)(4.5.8)(表4.5.3)
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

6. 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.5.16)

・伸縮目地改修工法 (4.1.4)(4.5.16)
シーリング用材料　種類　※改修標仕表3.7.1による (3.7.2)(表3.7.1)

4-5 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

1. 既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 (4.6.3)(表4.6.1～表4.6.4)

工法	処理範囲	下地面の補修
※サンダー工法	※既存仕上面全体 ・	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法 加圧力　※30MPa程度以上	※既存仕上面全体 ・	・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・	

2. 下地調整材
※下地調整塗材 (4.2.2)(4.6.3)
・ポリマーセメントモルタル
・防水形仕上げ塗材主材を使用

3. 仕上げ塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法 (4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)(表4.2.4)

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状
	・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸模様
	・可とう形複層塗材ＣＥ	耐候性　※耐候形３種　・
	・複層塗材Ｓｉ	上塗材
	・複層塗材Ｅ	溶媒　※水系　・溶剤系
	・複層塗材ＲＥ	樹脂　※アクリル系
	・複層塗材ＲＳ	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材ＣＥ	・メタリック
	・防水形複層塗材Ｅ	防水形の増塗材　※行う
	・防水形複層塗材ＲＥ	
	・防水形複層塗材ＲＳ	
・可とう系改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ	・平たん状
	・可とう形改修塗材ＲＥ	・さざ波状
	・可とう形改修塗材ＣＥ	・ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 (4.2.2)(15.5.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

5 建具改修工事

①改修工法の適用 (5.1.3)

建具の種類		かぶせ工法	嵌去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具		・	・	※建具表による ・図示
・鋼製建具	・外部	・	・	※建具表による ・図示
	・内部	・	・	※建具表による ・図示
・鋼製軽量建具		・	・	※建具表による ・図示
・ステンレス製建具		・	・	※建具表による ・図示

2. 見本の製作等　・特殊な建具の仮組（建具番号：　） (5.1.5)
3. 防犯建物部品　・適用する（　） (5.1.7)
4. アルミニウム製建具
◯樹脂サッシ

外部に面する建具 (5.2.2)(表5.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S－４	※A－３	※W－４	※７０	※図示
・B種	S－５	・	・		
・C種	S－６	A－４	W－５	１００	

防音ドアセット　・防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）
断熱ドアセット　・断熱サッシ　・適用する　断熱性の等級（　）
表面処理　※Ｂ－１　・Ｂ－２（※ｼﾞﾌﾞﾗﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾀﾝｶﾗｰ） (5.2.4)(表5.2.2)

屋内建具
表面処理　※Ｃ－１又はＢ－１ (5.2.4)(表5.2.2)
・Ｃ－２又はＢ－２（※ｼﾞﾌﾞﾗﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾀﾝｶﾗｰ）

⑤網　戸
防虫網 (5.2.3)
網の種別　・合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形　式　※外部可動式　・固定式

6. 鋼製建具
簡易気密型ドアセットの適用は特記による (5.3.2)(表5.3.1)
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸　・適用する (5.3.4)

7. 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセットの適用は特記による (5.4.2)

8. ステンレス製建具
簡易気密型ドアセットの適用は特記による (5.5.2)
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ (5.5.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強有り） (5.5.5)
特定防火設備の戸　・適用する (表5.5.1)

9. 自動ドア開閉装置
※製造所標準製作規定寸法許容差による (5.7.2)(5.7.3)(表5.7.1～表5.7.3)

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ・電子マットスイッチ
性能　・SSLD-1	※光線スイッチ
・SSLD-2	・音波スイッチ
・DSLD-1	・熱線スイッチ
・DSLD-2	・光電スイッチ
・SWD-1	・多機能便所スイッチ
・SWD-2	・

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

10. 自閉式上吊り引き戸装置
品質規格　※改修標仕5.8.3による　・製造所標準仕様による (5.8.3)(表5.8.1)

①1. 木製建具
かまち戸の樹種　かまち（　）　鏡板（　） (16.6.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く） (表16.6.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級 (16.6.2)
※規制対象外　・第三種

⑫建具用金物
マスターキー　※製作する　・製作しない (5.6.4)
建具金物の種類 (5.6.2)(5.6.3)(表5.6.1)(表5.6.2)
錠前類は、シリンダー箱錠（レバーハンドル）とする。
なお、錠前類は建具製作所の指定のものとし、監督職員の承諾を受ける。
吊金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）　・ピボットヒンジ

13. ガラス
※建具表による (5.12.2)
・ガラスブロック積み（※図示）
ガラスブロック　品質JIS A5212によるもの (5.12.5)

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー（　）		・有り

⑭ガラス留め材及び溝
ガラス留め材 (5.12.2)(表5.12.1)

建具の種類	材質
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（Ｆ１Ｘ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ (5.12.3)
改修標仕5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

15. ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　Ｄ１

品質JIS A5759による

16. 重量シャッター (5.9.2)(表5.9.1)

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　）N/m2
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　）N/m2
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

閉形式　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置（自動閉鎖型）　・シャッターの二段降下方式 (5.9.2)
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない (5.9.2)

17. 軽量シャッター
開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用） (5.10.2)(表5.10.1)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (5.10.3)
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 (5.10.4)
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm） (表5.10.2)
耐風圧性能　（　）N/m2

18. オーバーヘッドドア (5.11.2～5.11.4)(表5.11.1)(表5.11.2)

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板 (SUS304)
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	
		・バーチカル形	

耐風圧性能　（　）N/m2

19. かぎ箱
市販品　形式　・30組用　・60組用　・120組用

6 内装改修工事

①改修範囲
既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 (6.1.3)
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 (6.1.3)
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 (6.1.3)
※既存のまま　・図示の範囲

②既存床の撤去並びに下地補修
ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ（接着剤とも） (6.2.2)
・下地モルタルとも（※図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒工法 (6.2.2)
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内　・ (6.2.2)

③既存壁の撤去並びに下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 (6.3.2)(4.4.9)
※図示　・モルタル塗り（塗り厚25mmを越える場合の補強　※行う　・行わない）

④木下地等
木材の品質　※改修標仕6.5.2による　・市販品 (6.5.2)(表6.5.2)(表6.5.3)
樹種　※改修標仕表6.5.4による (6.5.2)(表6.5.4)
・代用樹種を適用しない箇所（　）
保存処理木材を使用する箇所（　）

5. 集成材等 (6.5.2)

品名	規格・品質	芯材の樹種	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	※１級　２級	・	
・造作用集成材	※１級　２級	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１級　２級	・	・

ホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

⑥接着剤
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (6.5.2)
※木工事に使用する接着剤
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系防腐剤（以下「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級　※規制対象外　・第三種

※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 (6.8.2)(6.14.2)
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級
※規制対象外　・第三種

安曇野市部総務財産管理課

検印欄

図面名称	改修特記仕様書（その２）	年月日	2024.1.24
工事名	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面番号	A0-2

6 内装改修工事

⑦ 防腐・防蟻処理

行う箇所（ 土台 ）
防腐処理　※行う（※図示　・　）
防蟻処理　※行う（※図示　・　）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存（防腐、防蟻）剤は、監督職員の承諾するものとする。
クロルピリホスを含むものを添加しないこと。

⑧ 床板張り　（表6.5.11）

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外　・第三種
		・板張り	
床　板	※単層フローリング（標仕19.5.2による）		ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外　・第三種
	・縁甲板		※ひのき　・

9. 軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類　（6.6.2）（表6.6.1）
屋外（・19型　※25型）　屋内（※19型　・25型）
既存の埋込インサート　・使用する　・使用しない　（6.6.3）（6.6.4）
あと施工アンカーの引抜き試験　※行う　・行わない　（6.6.4）
※天井ふところ1.5m以上の場合は吊りボルトの補強を行う
耐震性を考慮した補強　※図示
屋外軒天井及びピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強　※図示

10. 軽量鉄骨壁下地　スタッドの高さが5ｍを超える場合　※図示　・　（6.7.3）（表6.7.1）

⑪ ビニル床シート張り　（6.8.2）

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＮＣ　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　）　（6.8.3）

12. ビニル床タイル張り　（6.8.2）

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	ＣＴ	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	ＣＴＳ	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	ＨＴ	・	

13. 帯電防止床タイル張り　（6.8.2）

種　類	厚さ(mm)	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K6911による)1.0×10⁵Ω以下、 または、　漏えい抵抗値(JIS A1454による)1.0×10⁷Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	
・	・	

14. 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）　（6.8.2）
ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）
・レジンコンクリート製
屋　外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）

15. ビニル幅木　高さ（mm）　・60　・75　・100　（6.8.2）

16. 合成樹脂塗床　（6.10.3）（表6.10.3～表6.10.7）

種　別	仕　上　げ　の　種　類
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

⑰ フローリング張り　（6.11.2～6.11.7）（表6.11.1～表6.11.4）

種　別	材　種	工　法	仕上げ塗装等	備　考
※天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	※なら	※釘どめ工法(Ｃ種)	※塗装品	
・単層フローリング	・ひのき	・	・無塗装品	
	・		・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

18. 畳敷き　（6.12.2）（6.12.3）（表6.12.1）

下　地　の　種　類	畳　の　種　別
改修標仕表6.5.9による床組	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種（　）
ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン）	※Ｃ種　・Ｄ種（　）

畳表及び畳床は揮発生有機化合物含有量が少ないものとする

19. ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地材　ノンフロンのもの
畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80　（不燃）
ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ類　厚さ(mm)　※80　・95　（不燃）

20. カーペット敷き

・織じゅうたん　（6.9.2）（6.9.3）（表6.9.1）

種　別	パイル形状	色　柄	備　考
・Ａ種	・カットパイル	※単一色（無地）	
・Ｂ種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・Ｃ種	・カット、ループパイル併用	・	

帯電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット　（6.9.2）（6.9.3）（表6.9.2）

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	備　考
・カットパイル	※５～７　・	※全面接着工法	
・ループパイル	※４～６　・	・グリッパー工法	
・カット、ループ併用			

帯電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タイルカーペット　（6.9.2）（6.9.3）（表6.9.2）

パイル形状	種　類	種　類	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性　※人体帯電圧3kV以下（ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ敷設範囲）

㉑ せっこうボードその他ボード張り　（6.13.2）（表6.13.1）

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HM	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	NM	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板	NF	・15　・20　・25　・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ２（無石綿）　・6　・8
・ロックウール化粧吸音板（内部用）	DR	※フラットタイプ（※9(不燃)　・12　・　） ・凹凸タイプ（※12(不燃)　・15　・19　・　）
・ロックウール化粧吸音板（外部用）		※フラットタイプ（※9(不燃)　・12　・　） ・凹凸タイプ（※12(不燃)　・15　・19　・　）
・せっこうボード	GB-R	・9.5（準不燃）　・12.5（不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃）　・15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード	GB-D	9.5（不燃）
・化粧せっこうボード（木目）		12.5（不燃）　幅440程度 模様（※荏目　・板目）専用下地材付き
・普通合板（難燃処理）		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板	―	JIS K6903による　厚さ1.2
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・3　・7　・9　・12
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板VN　・研磨板VS ・10　・12　・15　・18
・ハードボード（素地）	HB	・素地　・RN-HB　・RS-HB ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード	IB	・T-IB　・A-IB　・S-IB ・9　・12　・15　・18

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　[19.7.2][表9.6.1]
※適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
・適用しない

22. 吸音材　（表6.13.1）

種　類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	※25　・
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25　・

23. 壁紙張り　（6.14.2）

施工箇所	壁紙の種類 紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質	防火性能の級別	備考
						※不燃　・準不燃　・難燃	
						※不燃　・準不燃　・難燃	
						※不燃　・準不燃　・難燃	
						※不燃　・準不燃　・難燃	
						※不燃　・準不燃　・難燃	

素地こしらえ　（6.14.3）（表7.2.4）（表7.2.7）
モルタル、プラスター面　※ＲＢ種　・ＲＡ種（施工箇所：　）
せっこうボート面　※ＲＢ種　・ＲＡ種（施工箇所：　）
壁紙のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

24. モルタル塗り材料　吸水調整材　（6.15.3）

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm2)	界面破断率(%)
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤（JIS A1404による試験）

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294.0KPa/h

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。JIS R5201の試験9
既製目地材　※適用しない　・適用する

25. 陶磁器質タイル張り　タイルの種類　（6.16.3）

施工箇所	形状寸法(mm)	き：じ 磁器	せっ器	陶器	釉：薬 無釉	施釉	役　物 有	無	色 標準	特注	備　考

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※ 外壁タイル　・　）
内壁タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り

㉖ 断熱材　[19.9.2][19.9.3]

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	※２種ｂ	※一般部 ・	※25　・	ノンフロンのもの
	※３種ｂ（ｽｷﾝ層付）	・接地部分 ・	※25　・　30	ノンフロンのもの
・現場発泡断熱材	※Ａ種１	※断熱材補修部分	50　―	ノンフロンのもの
		・一般部　・	※15　・	※難燃性

ﾛｯｸｳｰﾙ、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ、ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ、ｳﾚﾀﾝ樹脂又はﾒﾗﾐﾝ樹脂を使用した断熱材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級
※規制対象外　・第三種

27. 浴室天井材　市販品

材　質	表面仕上げ		幅(mm)	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は縁付とし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品		※300	
	・木目調		・100	

28. ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ　（表2.2.2）

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
	・ﾊﾟﾈﾙ構法		・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル
	・清構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット
	・ﾊﾟﾈﾙ構法		・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル
	・清構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット

耐震性能5000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」の建設技術評価において評価を取得したものは同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は、各内容工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線用取り出し開口：パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し　・有り（※固定式　・可変式：施工箇所は図示）

29. 可動間仕切　（表2.2.3）

構造形式	パネルの部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 (※0.6　・0.8) ・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・あり （　） ・なし	・あり ・なし

30. 移動式間仕切　（表2.2.4）

遮音性能による区分	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※ 鋼 板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ（36dB以上）		※ 鋼 板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は23.壁紙張りによる
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

31. トイレブース　表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）　（表2.2.5）
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※幅木型　・足金物型

32. 階段滑止め　（表2.2.6）
材　種　ステンレスSUS304
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅(mm)　約35
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

33. 階段手すり　（表2.2.8）

種　別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ（市販品　径　約45mm）	
・ビニル製ハンドレール（幅　約50mm）	

34. 黒板及びホワイトボード　（表2.2.8）

種　類		寸法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分け
			※緑　・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分け

35. 表示　衝突防止表示　※図示（市販品　※ステンレス製　径約30mm　・　）　（表2.2.10）
（・両面　・片面　）
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

36. ブラインド　・既存再使用する（養生方法：　）　（2.3.1）（5.1.6）
・新設する　（表2.2.12）

形　式	種　類	スラットの材種	スラットの幅（mm）
※横型	※ギア式　・コード式 操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・
・縦型	・１本操作コード式 ※２本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

37. ロールスクリーン　防炎性能　※有り　（表2.2.13）

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能（防炎性能）	備　考

38. カーテン　・既存再使用する（養生方法：　）　（2.3.1）（5.1.6）
・新設する　（表2.2.14）

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	名称品質	ひだの種類

39. カーテンレール　・既存再使用する　（5.1.6）
・新設する　（表2.2.14）
材種　※アルミニウム製　・ステンレス製
形式　・片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

40. ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ　・既存再使用する　（5.1.6）
・新設する
※市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80
色彩　※B-1　・B-2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
・図示

41. 天井点検口　材質　アルミニウム製（※額縁タイプ　・目地タイプ）

42. 床点検口　材質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

43. 鋼製書架及び物品棚

種　類	規　格　等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S1039の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種

44. くつふきマット　市販品　材質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）
・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠共）
・ステンレス製（受枠共）

45. 流し台ユニット

種　類	寸法(L= mm)	適用内容	規格・品質
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※　600　・　700　・	バックガード　※有り	（セクショナルキッチンⅠ型）
・つり戸棚	※1200　・　900　・　600		・
・水切り棚	※1200　・　900　・	ステンレス製　※１段式	※市販品

46. 屋内掲示板　枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

㊼ 洗面カウンター　材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石（仕様　※図示）
奥行き(mm)　・約450　・約600

㊽ 収納家具　材質　・　（12.2.2）（19.7.2）
形状・寸法　※図示　・
合板類、MDF及びﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級
※規制対象外　・第三種

49. 防煙垂れ壁
・固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
※網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付
・繰入り磨板ガラス	・	・	

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

7 塗装改修工事

① 材料
屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料とする。
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

② 下地調整　（7.2.2～7.2.7）（表7.2.1～表7.2.7）

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種　※RB種　・RC種	
鉄鋼面	・RA種　※RB種　・RC種	
亜鉛めっき面	・RA種　※RB種　・RC種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	・RA種　※RB種　・RC種	
モルタル、プラスター面	・RA種　※RB種　・RC種	
コンクリート、ＡＬＣパネル面	・RA種　※RB種　・RC種	(2-UE)、(2-ASE)及び(2-FUE)は除く
せっこうボード、その他ボード面	・RA種　※RB種　・RC種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修　（表7.2.4～表7.2.6）
※行わない　・行う（補修範囲及び補修方法は図示）

③ 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り　新規鉄面の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　（7.4.4）（表7.4.2）

4. ﾌﾀﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り　新規木部の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　（7.5.2）（表7.5.1）
新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　（7.5.3）（表7.5.2）

5. ２液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り　（7.8.2～7.8.4）（表7.8.1～表7.8.3）

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	
亜鉛めっき面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	

6. ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り　新規鋼製建具　※Ｂ種　（7.9.3）（表7.9.2）（表7.9.3）

7. 常温乾燥形ﾌｯ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り　（7.10.2～7.10.4）（表7.10.1～表7.10.3）

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	
亜鉛めっき面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種	

8. つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り　新規の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　（7.11.2）（表7.11.1）

9. 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り　新規の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　（7.12.2）（表7.12.1）

10. 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗り　新規の塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種　（7.14.2）（表7.14.1）
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種　別
合成樹脂エマルション模様塗り	※ＲＢ種	※Ａ種
	・ＲＣ種	※Ｃ－３種
平滑な塗料塗り	※ＲＢ種	・Ａ種　・Ｂ種
	・ＲＣ種	・Ｃ－１種　・Ｃ－２種

安曇野市総務部財産管理課

検　印　欄

図面名称	改修特記仕様書（その３）	年月日	2024.1.24
工事名	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面番号	A-3

8-1 耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事

1. 鉄筋の種類 (8.2.1)(表8.2.1)

種類の記号	呼び名（mm）
・ＳＤ２９５Ａ	※Ｄ１６以下　・
・ＳＤ３４５	※Ｄ１９以上　・

2. 溶接金網 (8.2.2)

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法（たて×よこ）	鉄線の径または呼び(mm)	規　格
※100×100	※6.0	JIS G3551による
・	・	

③ 鉄筋の継手 (8.3.4)(表8.3.3)

継手方法

継手方法	呼び名(mm)	適用箇所
・ガス圧接		
・重ね継手		

(8.3.5)(表8.3.6)

④ 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施　工　箇　所	改修標仕表8.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※１０　・

⑤ 各部の配筋

柱の配筋
帯筋の組立ての形の種別　・Ｈ形　・Ｗ－Ⅰ形　※Ｗ－Ⅲ形 (図8.3.4)

⑥ ガス圧接

圧接部の確認試験　※超音波探傷試験　・引張試験 (8.3.9)

⑦ ｺﾝｸﾘｰﾄの種別及び強度

ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの種別　※Ⅰ類　・Ⅱ類 (8.1.3)(表8.1.1)

普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 (8.1.3)

設計基準強度Ｆc(N/mm²)	適用箇所
※21	
・	

軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 (8.9.1)(表8.9.1)

設計基準強度Ｆc(N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m³)	種　別	適用箇所
※21			
・			

⑧ ｺﾝｸﾘｰﾄの品質

スランプ (8.1.4)

スランプ(cm)	適用箇所
※18	
・	

⑨ 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ

ｾﾒﾝﾄの種類 (8.2.5)(表8.2.3)
※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ又は混合ｾﾒﾝﾄのＡ種
・高炉ｾﾒﾝﾄＢ種
普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄは、JIS R5210に表示された規定のほか、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下

混和材料 (8.2.5)(8.5.8)
混和材料の種類　※混和剤　・混和材

10. 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ [6.14.3]

種　類	設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	粗骨材の最大寸法	適用箇所
※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	※18	※15又は18	※25mm	
・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ	・	・	・20mm	

11. 高い強度のｺﾝｸﾘｰﾄ

設計基準強度（N/mm²） (8.9.1)(8.9.2)(8.9.4)
・２７　・３０　・３３　・３６
適用箇所（　　）
混和材料 (8.9.3)
※混和剤（※高性能ＡＥ減水剤標準形又は遅延形　・　　）

⑬ 鉄骨製作工場

製作工場の加工能力 (8.1.5)
・監督職員の承諾する製作業者
※建築基準法第７７条の４５第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（　Ｒ　）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

14. 入熱、パス間温度の溶接条件

適用箇所　※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・図示
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示

⑮ 施工管理技術者

※適用する　・適用しない [7.1.4]

⑯ 鋼材

鋼材の材質 (8.2.7)(表8.2.5)

種類の記号	使　用　箇　所	規　格　等
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品

17. スカラップ

※改良型スカラップ　・

⑱ 高力ボルト

高力ボルトの適用 (8.2.8)
※トルシア形高力ボルト　・ＪＩＳ形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト

19. 鉄骨工作仮組

・行う　※行わない (8.12.9)

20. 溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (8.14.11)(8.14.12)
※行う

21. 錆止め塗装

耐火被覆材の接着する面の塗装 (8.16.3)
・行う（※JIS K5662　・　　）　※行わない

22. 耐火被覆材

(8.17.2～8.17.7)

種　　別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		

23. 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面の目荒し

適用範囲 (8.19.3)(8.20.3)
※既存ｺﾝｸﾘｰﾄとの打継ぎ面
※既存ｺﾝｸﾘｰﾄとﾓﾙﾀﾙ又はｸﾞﾗｳﾄ材の充填部の接合面
・
目荒らしの範囲
※柱・梁面　打継ぎ面又は接合面全面の３／４以上
※壁面　打継ぎ面又は接合面全面の１／３程度
目荒らしの程度
※平均深さ5～10mm（最大深さ10～15mm）程度の凹部を施す

24. ﾓﾙﾀﾙ及びｸﾞﾗｳﾄ材

柱底等の均しﾓﾙﾀﾙ [7.10.3][表7.10.2](8.2.10)
※無収縮モルタル　・標仕表7.10.2によるＢ種
ｸﾞﾗｳﾄ材　※無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材　・ (8.2.10)
無収縮ﾓﾙﾀﾙ及び無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材の仕様は以下による
無収縮グラウト材　ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ及び現場調合形

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。

無収縮グラウトの品質及び試験方法（現場調合形においては標準使用量・配合値）

コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から３分以内の値は　８±２秒
ブリージング	練混ぜ２時間後のブリージング率：２．０%以下
凝結時間	凝結開始時間　１時間以上 終結時間　１０時間以内
無収縮性	材齢７日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢３日　25.0 N／mm²以上 材齢２８日　45.0 N／mm²以上
付着強度	材齢２８日　2.5 N／mm²以上
塩化物量	０．３０kg／m³以下
試験方法	(1)日本道路公団規格（JHS）「無収縮ﾓﾙﾀﾙ品質管理試験方法」312-1999による。 なお、ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ形と現場調合形で混和材が同一の場合はﾌﾟﾚﾐｯｸｽのみ試験を行う。 (2)塩化物量は、JIS A 5308「ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ」の9.6塩化物含有量の試験方法による。

無収縮モルタル

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント＋混和材）：砂＝１：１

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から３分以内の値は　８±２秒
ブリージング	練混ぜ２時間後のブリージング率：２．０%以下
凝結時間	凝結開始時間　１時間以上 終結時間　１０時間以内
無収縮性	材齢７日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢３日　25.0 N／mm²以上 材齢２８日　45.0 N／mm²以上
付着強度	材齢２８日　3.0 N／mm²以上
塩化物量	０．３０kg／m³以下
試験方法	(1)日本道路公団規格（JHS）「無収縮ﾓﾙﾀﾙ品質管理試験方法」312-1999による。 (2)塩化物量は、JIS A 5308「ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ」の9.6塩化物含有量の試験方法による。

25. あと施工ｱﾝｶｰの材料

あと施工アンカーの材料 (8.2.4)
・金属系アンカー（耐震補強用）
※接着系アンカー
接着剤の品質　※有機系　・
アンカー筋の種類　※鉄筋コンクリート用棒鋼　・全ネジボルト
カプセル型の施工による分類　※回転・打撃式　・打込み式

26. あと施工ｱﾝｶｰの穿孔

穿孔前の埋込み配管等の探査 (8.11.2)
範囲　※あと施工アンカー施工部分全て　・図示
方法　※探査器により探査し、配管等の位置の墨出を行う　・はつり出しによる

27. あと施工ｱﾝｶｰの

アンカー筋　※行う（確認強度は図示による） (8.11.5)
・行わない

28. 断熱材兼用型枠

種　類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ系 ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系	※壁（図示の範囲）	※４０以下	断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676(m²・k l/w)以上
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

8-2 耐震改修工事

1. 打増し壁に用いるシアコネクタ

現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ (8.2.4)
種類　※「23　あと施工アンカーの材料」による
間隔(mm)　※500×500　・図示

2. 増設・補強工事のコンクリートの打込み

工法の種類 (8.19.8)(8.21.5)
流し込み工法または圧入工法

3. 柱補強

溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.21.5)
柱頭柱脚の施開部間の型枠
※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む　・図示

4. 連続繊維シート巻き

材料・形状 (8.2.11)
採用した工法の規定を満足するもの
材質
引張り強度（含浸硬化後）
・2500N/mm²以上　・3000N/mm²以上
ヤング係数（含浸硬化後）
・2.35×10⁴N/mm²程度　・2.00×10⁴N/mm²程度
工法 (8.21.7)
※（財）日本建築防災協会の評価を受けた工法
・
下地調整
仕上げモルタルの除去 (8.21.7)
※行う　・行わない
柱の隅角部の面取り (8.21.7)
※工法の評価内容による

5. スリットの施工

スリット部の配管等の探査 (8.22.2)
※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う
・はつり出し

9 環境配慮・グリーン改修工事

1. アスベスト含有分析調査

分析による確認　・下表による　・図示 (9.1.1)

材　料　名	調査方法（1材料あたりの試料数）	分析を行う箇所	備　考
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	

分析方法
JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
分析結果については、監督職員に提出すること。

2. アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)
測定場所　※図示
測定点　※図示

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

3. ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去方法 (9.1.3)
解体共仕6.3.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。
除去物及び汚染物質等
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

4. ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の除去（レベル2）

アスベスト含有保温材等の除去方法 (9.1.4)
解体共仕6.4.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。
除去物及び汚染物質等
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

⑤ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の除去（レベル3）

アスベスト含有成形板の除去方法　Ｂ-6による (9.1.5)
解体共仕6.5.2によるものとする。

⑥ 外断熱改修工事

断熱材の種類 (9.3.2)

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(ノンフロン)	・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(ノンフロン)	
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ(ノンフロン)	・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ	
・ﾛｯｸｳｰﾙ	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	

外装材の種類 (9.3.2)

	防火性能	

既存外装の仕上材の撤去　・有り　・なし (9.3.3)
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様
通気層　・有り（　mm）　・なし (9.3.4)
試験施工、工法及び品質は、確認できる試料を提出し監督員の承諾を受ける
特記なき事項は、製造所の仕様による

7. ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ　建具表による (9.4.2)
断熱性・日射遮へい性による区分　※Ｕ３－１　・Ｕ３－２

8. 屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料 (9.6.1)
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・

9. 透水性アスファルト舗装改修工事

舗装材料 (9.7.4)(表9.7.5)
※再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）
・クラシャラン（Ｃ－４０）又はクラッシャランスラグ（ＣＳ－４０）
透水性の高いものを使用する
遮断層及び凍上抑制層の材料
・遮断層　※川砂、海砂及び良質な山砂　・ (9.7.3)
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラシャラン　・切り込み砂利　・砂
厚さは図示
盛土に用いる材料 (9.7.3)(表9.7.1)
・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種
路床安定処理 (9.7.3)(表9.7.3)
※添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントＢ種　・高炉セメントＢ種
・生石灰（　）　・消石灰（　）
添加量　Kg/m³（目標ＣＢＲ　※５以上　・　）
路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱されない土）
路床締固め度の試験　※行う
アスファルト混合物 (9.7.6)(表9.7.7)
車道部　※改質アスファルトⅠ型
歩道部　※ストレートアスファルト
透水性アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う (9.7.9)

10 工事現場の環境改善・建設副産物及びISO 14001関係

1. 工事現場の環境改善について

工事現場のイメージアップ
・仮囲い周辺の美化　・
地域住民への情報提供
・完成予想図の設置　・情報掲示板の設置　・パンフレットの作成
地域住民とのコミュニケーション
・現場見学会の開催　・
住民に対する災害防止関係
・現場出入口周辺への誘導員の配備　・

② 産業廃棄物の取扱いについて

(1)解体工事を伴う場合は、別添の解体工事仕様書にによること。
(2)廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
(3)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。
(4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、ﾏﾆﾌｪｽﾄA票、B2票、D票並びにE票の写しを監督員に提出すること。
（ B2票及びD票はﾏﾆﾌｪｽﾄ交付90日（特別管理産業廃棄物は60日）、E票は180日以内に提出するものとし、工期内に提出できない場合は、監督員と協議すること。）

③ 再生資源利用促進計画書等について

「再生資源の利用の促進に関する法律」（以下「リサイクル法」という。）に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。
また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。

対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が１千万円以上の工事

④ ＩＳＯ 14001関係

(1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。
(2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
(4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。
「参考資料」：　平成12年３月24日付、建設省技調発第49号、同営建発第10号（改正平成13年4月20日）「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置について」
(5)熱帯材台板型枠は、極力使用しないこと。

⑤ 過積載の禁止

資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。

11 その他

① 保険等

(1)本建築引渡しまで請負者は工事目的物、工事材料等について火災保険を掛けなければならない。

(2) 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。

② その他

(1)暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

(2)　工事請負金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（工事カルテ）の登録をすること。
（ただし工事請負代金額５００万円以上２，５００万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。）
登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。
なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
① 工事受注時　契約締結後１０日以内
② 登録内容の変更時　変更契約締結後１０日以内
③ 工事完成時　工事完成後１０日以内
（　連絡先：（財）日本建設情報総合センター　℡03-3505-2973　）

(3)下請負契約締結後、速やかに下請人通知書を提出すること。

(4)現場施行体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。
また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
※施工体制台帳に記載すべき内容
・建設業法施行規則　第１４条の２第１項に掲げる事項
・安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名

(5)下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。
・交通整理員、ガードマン
・産業廃棄物処理業者
・ダンプ運転（１人親方のダンプ運転手）
・１日で完了する請負契約、小額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約
・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの
・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合
・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合（臨時雇用関係である場合を除く）

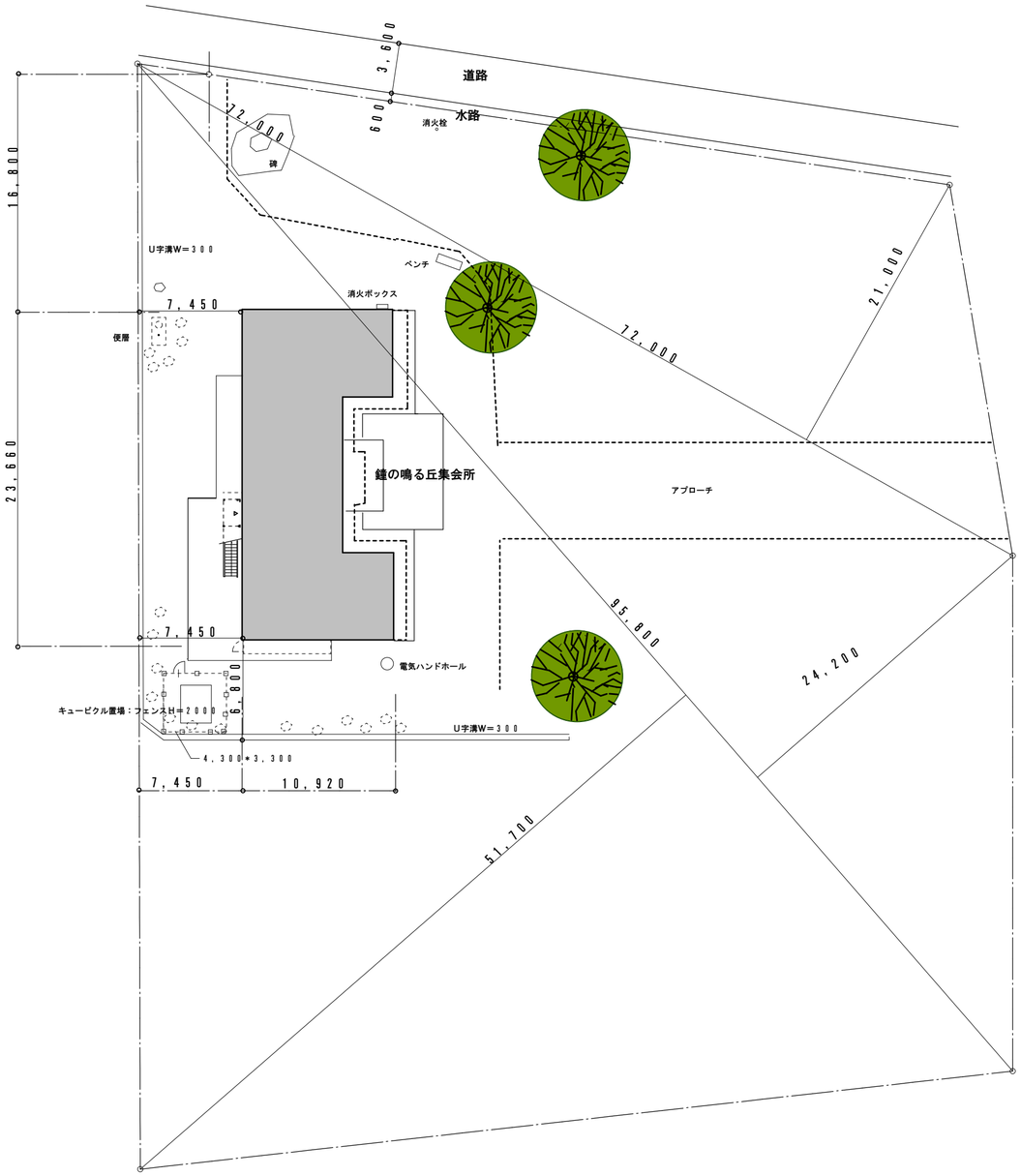
(6)本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等の調査依頼を受けた場合は、これに協力すること。

(7)施行途中において、検査担当職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。

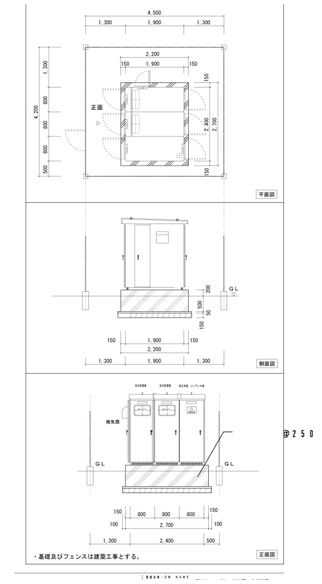
安曇野市総務部財産管理課

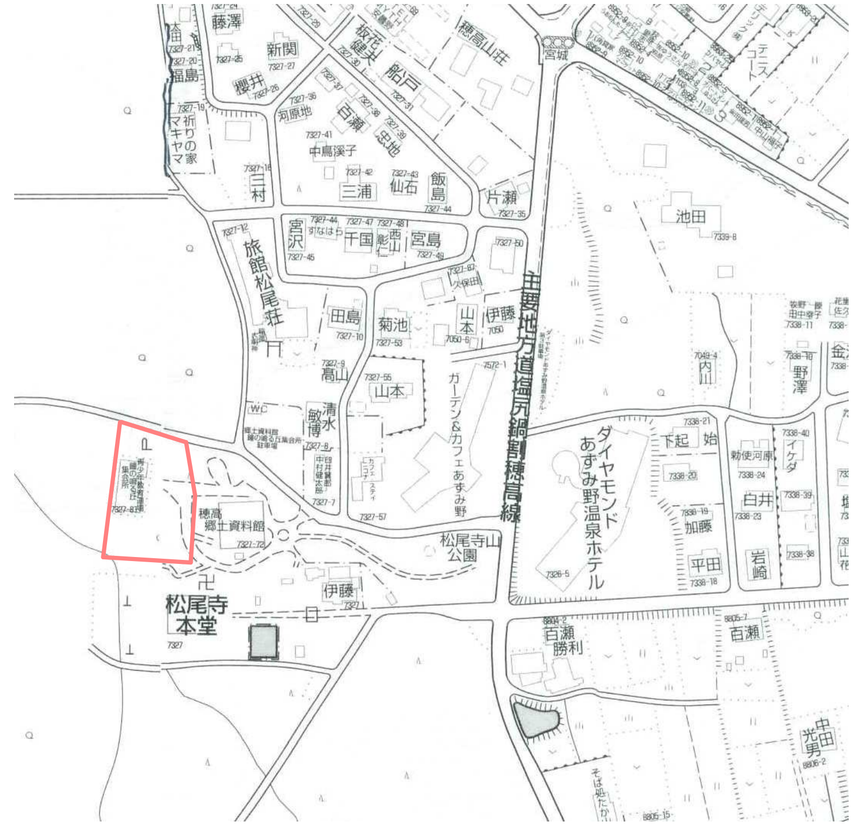
検　印　欄

図面名称	改修特記仕様書（その４）	年月日	2024.1.24
工事名	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面番号	A-4







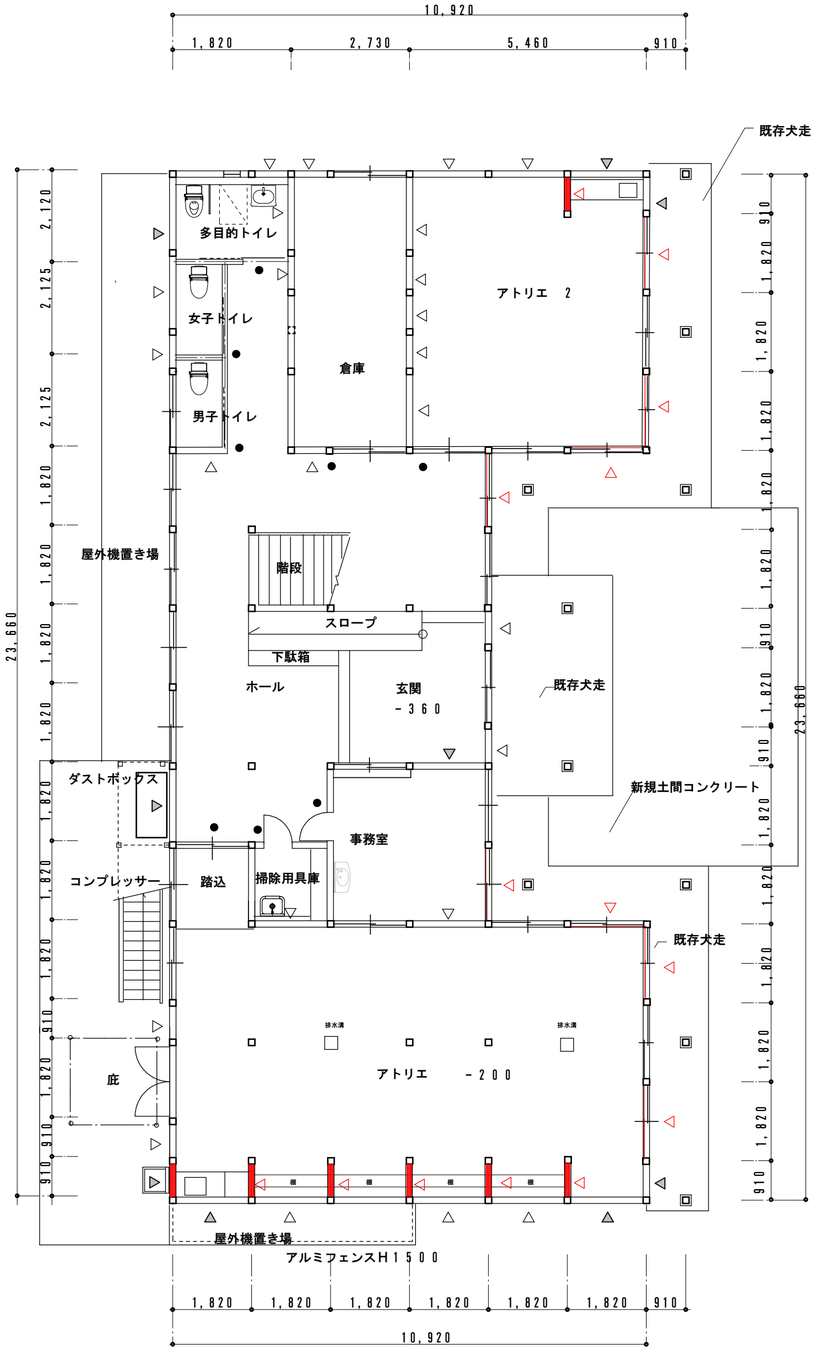


N

住所：安曇野市穂高有明７３２７－８１

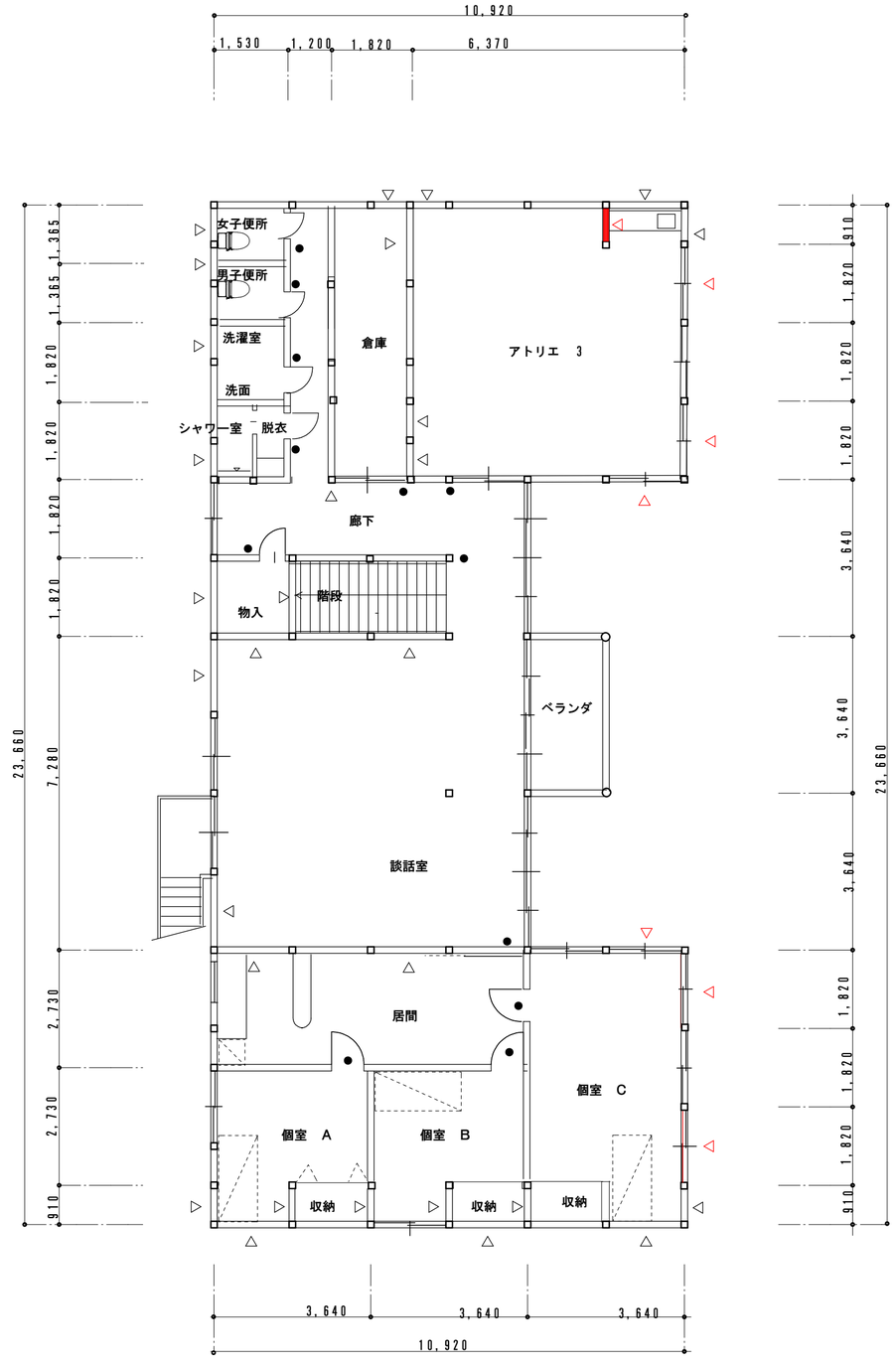
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計 / 製図 2024.1.24	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW　NAME 改修配置図	縮R：SCALE １：３００（A－２）	図面番号：DW　NO. A－５



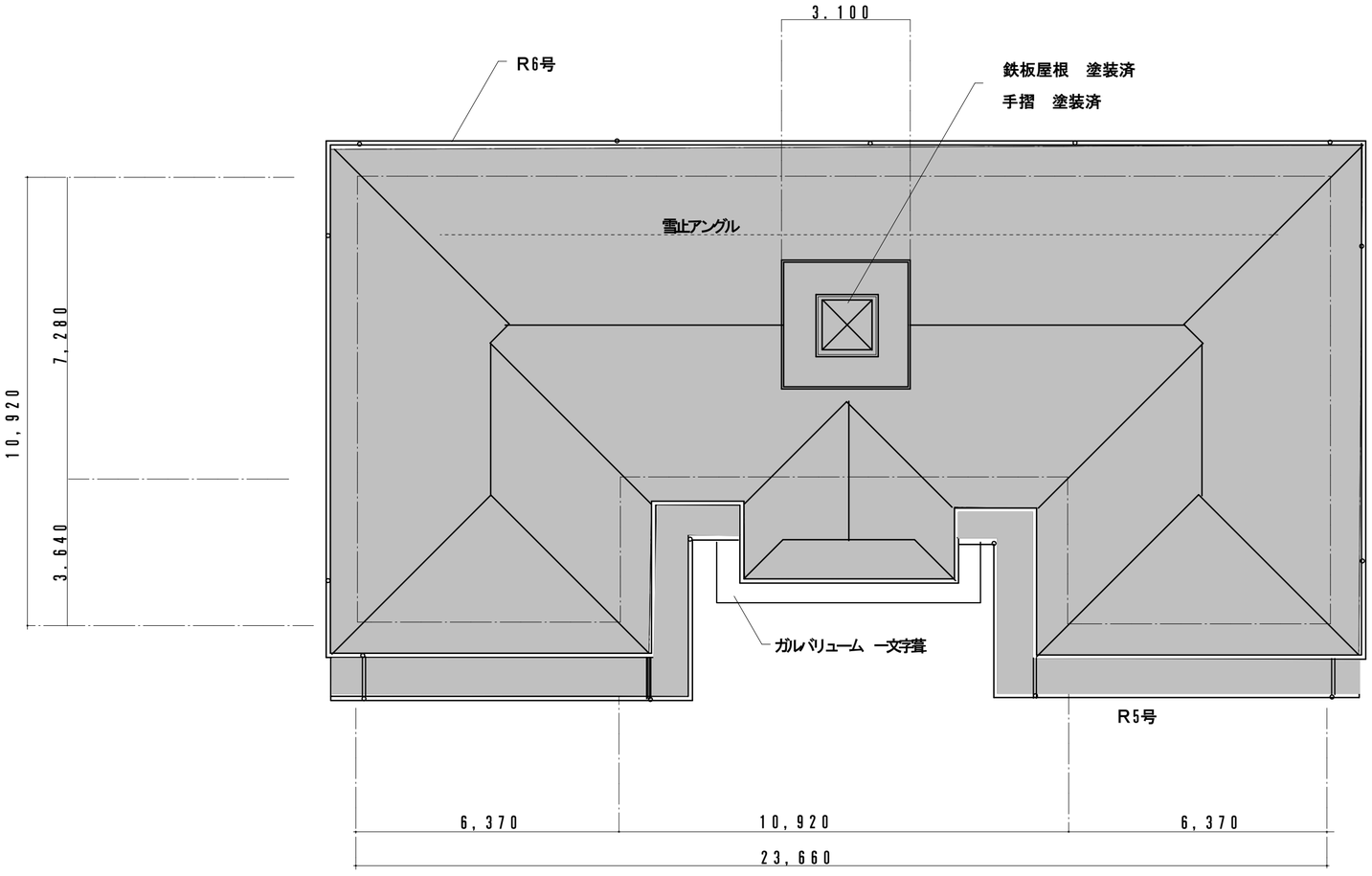
1階平面図　1／100

●室名札　300＊300　木製　切り文字



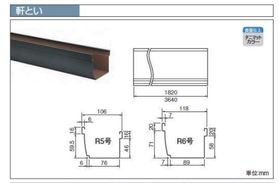
2階平面図　1／100

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 改修平面図	図面番号：DW　NO. A－6
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮尺：SCALE 1：100（A－2）	



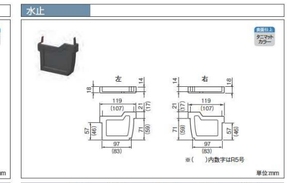
改修屋根伏図　　1／100

軒とい



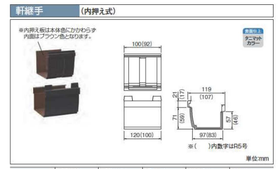
		ブラック	ブラウン	ガンメタ	シルバー	ホワイト
品番(R5号)	★=1820	GGF-30046	GGF-30047	GGF-30048	GGF-30049	⑩GGF-30045
	★=3640	GGF-30056	GGF-30057	GGF-30058	GGF-30059	⑩GGF-30055
品番(R6号)	★=1820	GGF-30026	GGF-30027	GGF-30028	GGF-30029	⑩GGF-30025
	★=3640	GGF-30036	GGF-30037	GGF-30038	GGF-30039	⑩GGF-30035
材厚		基材厚0.35				
梱包数		6				

水止



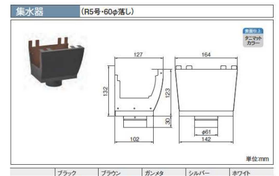
		ブラック	ブラウン	ガンメタ	シルバー	ホワイト
品番(R5号)	左	GGF-31096	GGF-31097	GGF-31098	GGF-31099	⑩GGF-31095
	右	GGF-31106	GGF-31107	GGF-31108	GGF-31109	⑩GGF-31105
品番(R6号)	左	GGF-31076	GGF-31077	GGF-31078	GGF-31079	⑩GGF-31075
	右	GGF-31086	GGF-31087	GGF-31088	GGF-31089	⑩GGF-31085
材厚		基材厚0.35				
梱包数		10				

軒継手　(内押え式)



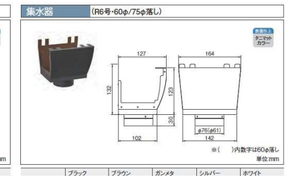
		ブラック	ブラウン	ガンメタ	シルバー	ホワイト
品番	R5号	GGF-31266	GGF-31267	GGF-31268	GGF-31269	⑩GGF-31265
	R6号	GGF-31226	GGF-31227	GGF-31228	GGF-31229	⑩GGF-31225
材厚		基材厚0.35				
梱包数		10				

集水器　(R5号-60φ落し)



	ブラック	ブラウン	ガンメタ	シルバー	ホワイト
品番(R5号)	GGF-30576	GGF-30577	GGF-30578	GGF-30579	⑩GGF-30575
落ち口	61φ				
材厚	基材厚0.35				
梱包数	4				

集水器　(R6号-60φ/75φ落し)

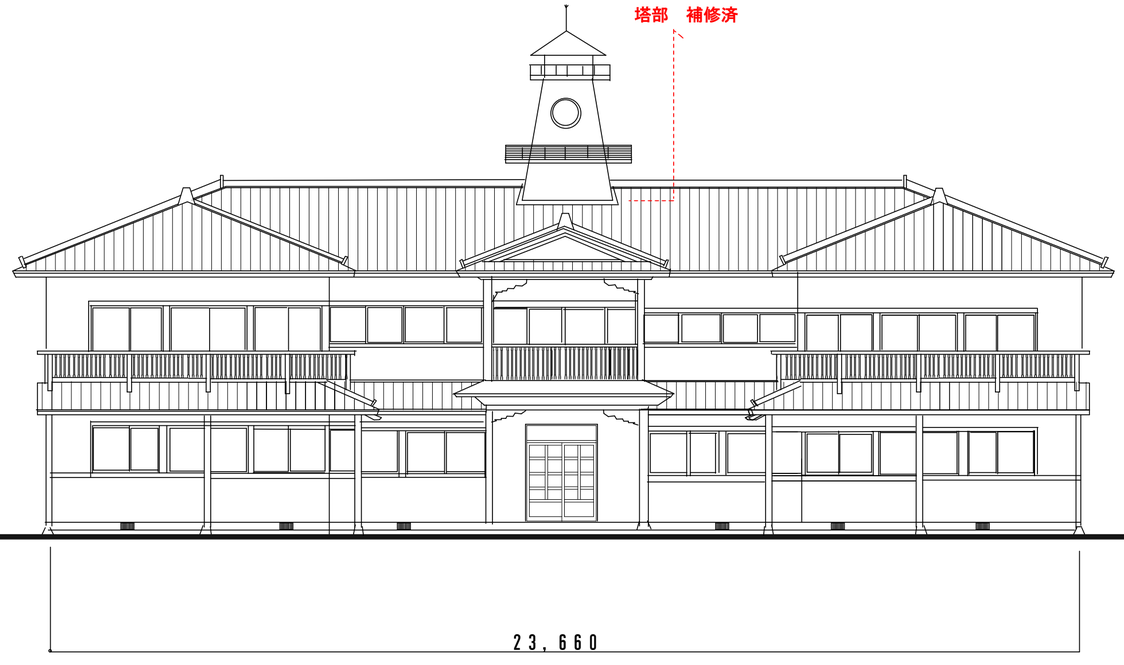


	ブラック	ブラウン	ガンメタ	シルバー	ホワイト
品番(R6号)	GGF-30596	GGF-30597	GGF-30598	GGF-30599	⑩GGF-30595
落ち口	61φ				
品番(R6号)	GGF-30616	GGF-30617	GGF-30618	GGF-30619	⑩GGF-30615
落ち口	76φ				
材厚	基材厚0.35				
梱包数	4				

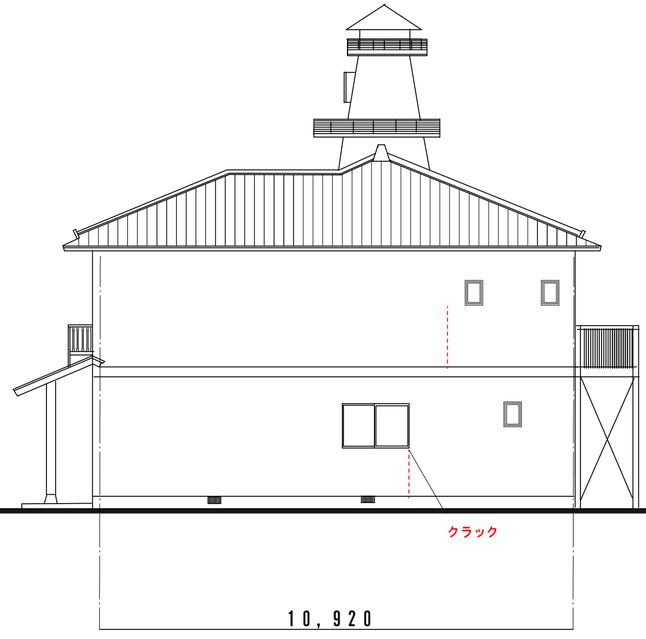
屋根・樋　新規再施工

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事
		製図 2023.7.19	担当	承認年月日	

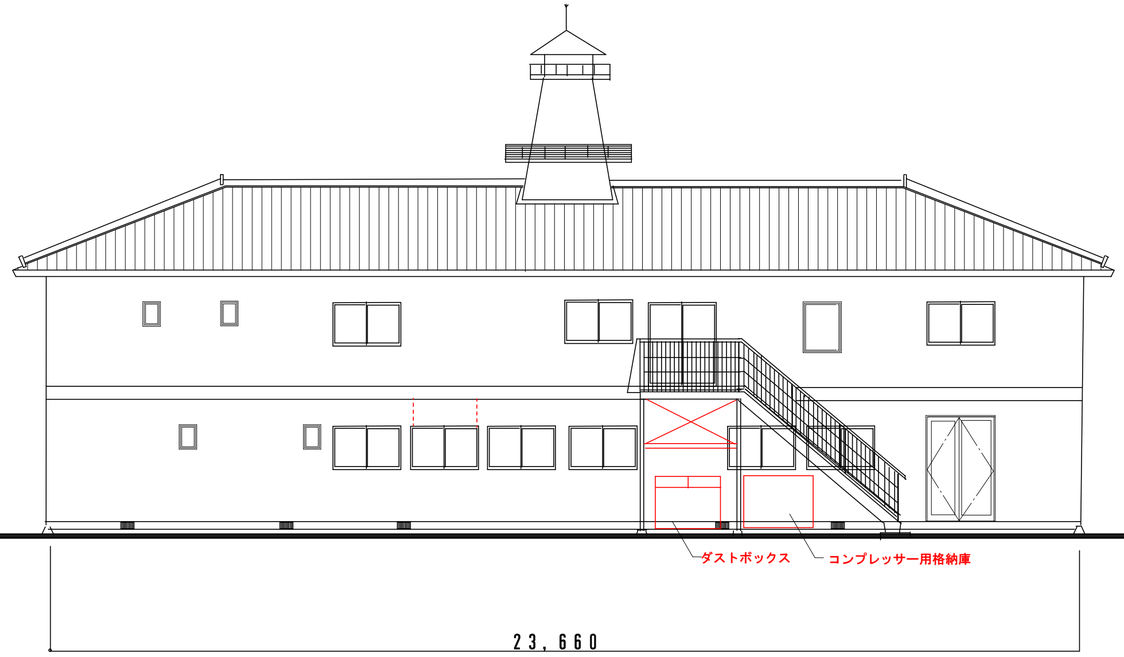
図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
改修屋根伏図	A－7
縮尺：SCALE 1：100（A－2）	



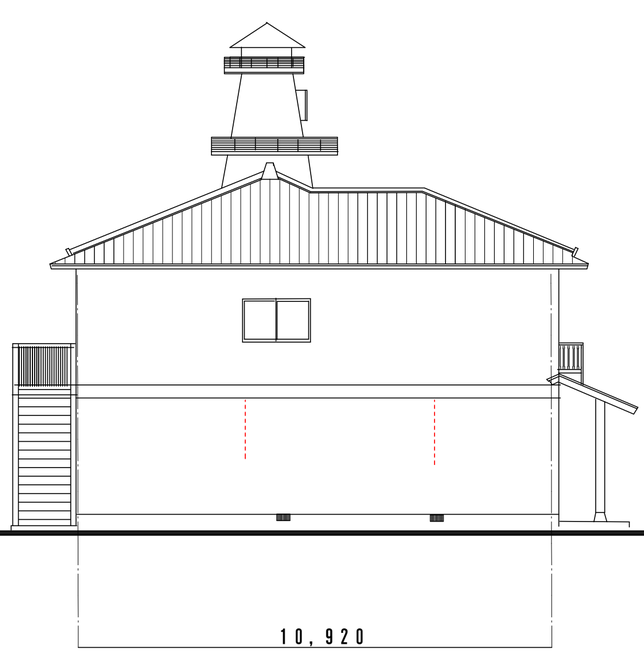
東立面図　　１／１００



北立面図　　１／１００



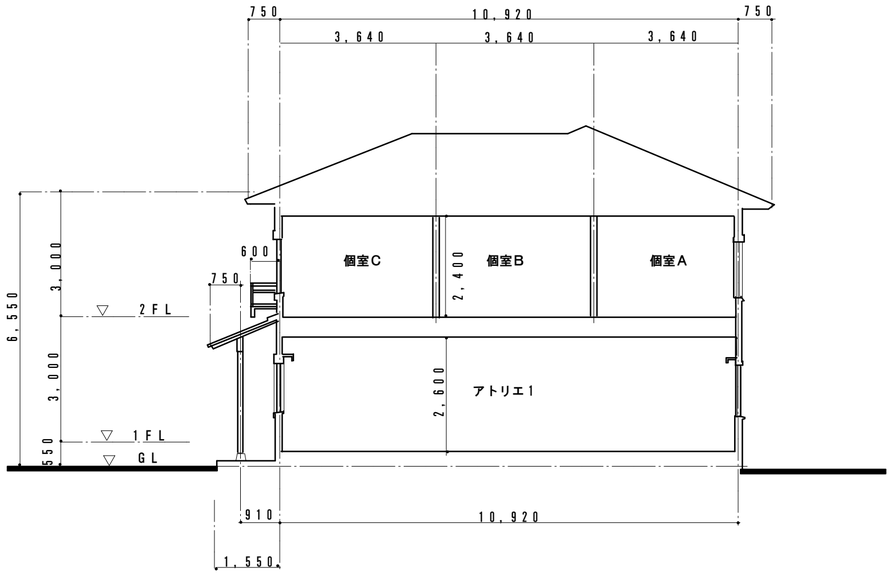
西立面図　　１／１００



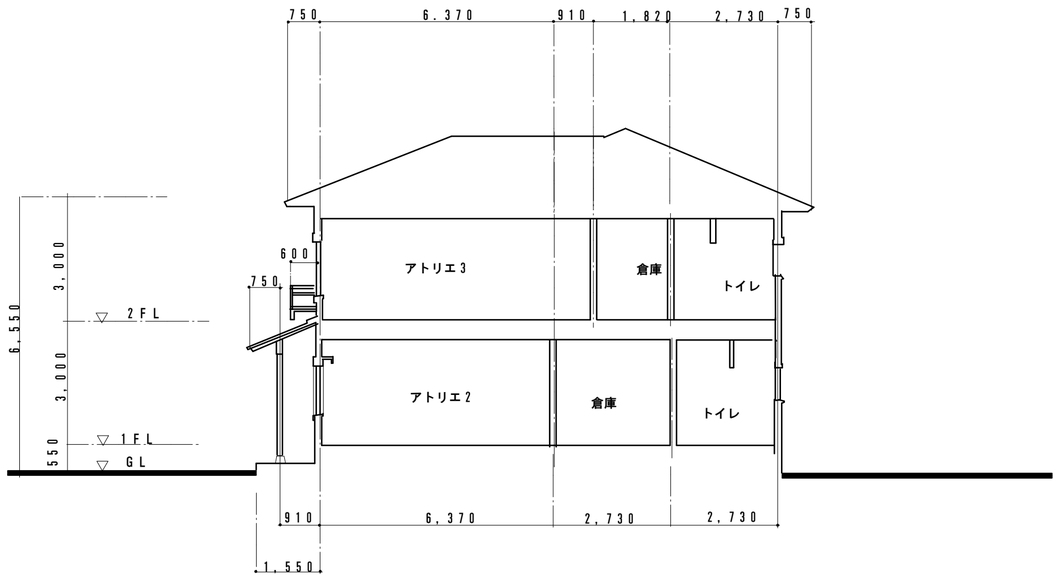
南立面図　　１／１００

クラック補修部分

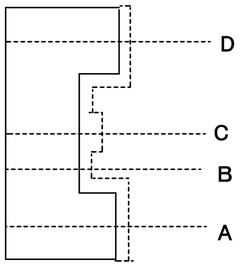
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 改修立面図	図面番号：DW　NO. A－8
		製図 2024．1．24	担当	承認年月日		縮R：SCALE 1：100（A－2）	

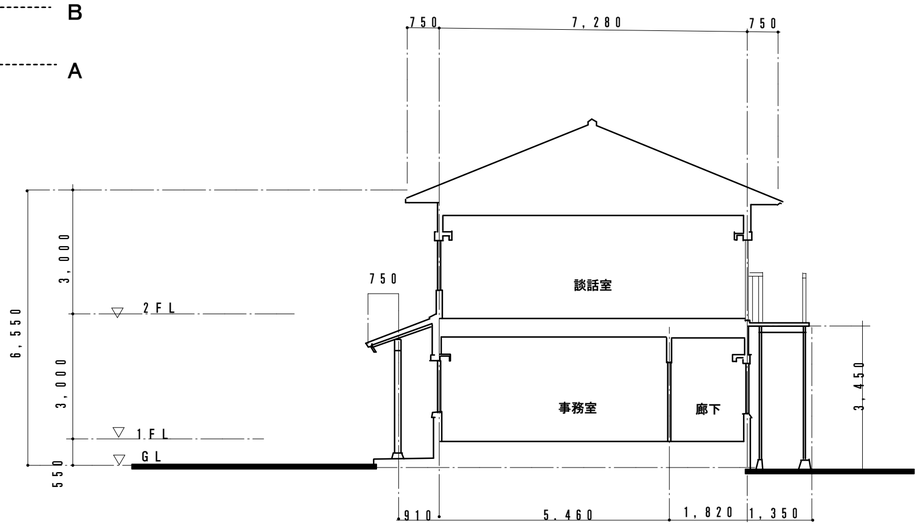


A断面図　1／100

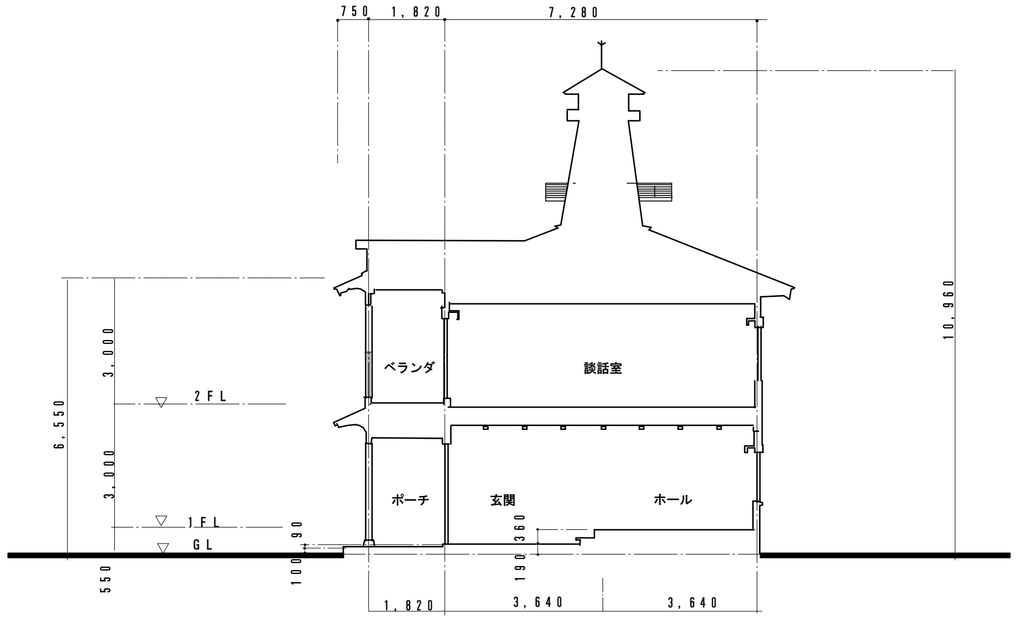


D断面図　1／100





B断面図　1／100



C断面図　1／100

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 改修断面図
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮尺：SCALE 1：100（A－2）

図面番号：DW　NO.
A－9

外部仕上表

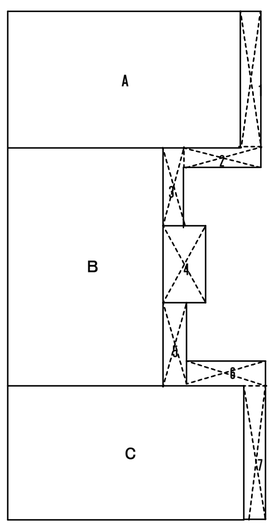
屋根	再施工	日本瓦葺　ウルトラチャンピョン下地　野地板ｔ＝１２　唐松　既存のまま	沓石	自然石	
		棟・隅棟：ノシ　瓦　３段　一部カラー鉄板一文字葺　ＯＰ（玄関上部）	外部階段	鋼製　ＯＰ　再塗装	
軒裏		ラスモルタル下地プラスター仕上 プラス一塗５mm　換気口１５０＊３００　パンチングメタル張	時計塔	屋根　カラー鉄板　＃２８（一文字葺）	
		１階犬走り部　杉板ｔ＝１２　ＯＳ　（捨下地ｔ＝１２　唐松）		上雷針取付	
外壁		ラスモルタル下地プラスター仕上 プラス一塗５mm　ラス：アングルラス張　ＬＳＴ　防水紙付　モルタルｔ＝２０ スタイロフォーム@５０＋グラスウール@１００２４Ｋ			
建具		アルミサッシュ住宅用カラーサッシュ（樹脂　トリプル）　見込（１０５）	ポーチ	磁器タイル貼　床用　２００＊２００（粗面）	
		サシュ廻コーキング（シリコン）１０＊１０		天井：ケヤキ耐水合板格天井　ＯＳ	
軒樋		タニタレクガルバＲ６号　１１８	犬走り	コンクリート打　１２０　モルタル金コテ　砂利洗い出し　高圧洗浄　施工	
竪樋		タニタレクガルバＲ６号　７６＊４６			
			ベランダ	床：コンパネｔ＝１２　耐水合板ｔ＝５．５　下地　ロンプ－ル防水　再シート防水	
木部		ベランダ手摺　その他木部ＯＰ塗		天井：ケヤキ耐水合板格天井　既存品　ＯＰ　再ＯＰ	
基礎		鉄筋コンクリートコンパネ打放　見掛リ　モルタル刷毛引ｔ＝１５　刷毛引１５		手摺　再ＯＰ	
		床下換気口　鋳鉄製　３００＊１５０			
		館銘板：既存かんなかけの上　ＣＬ塗装			

内部仕上表

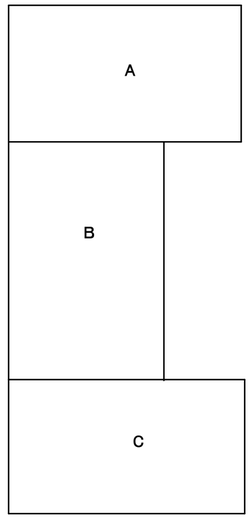
室名	床	巾木	壁	廻縁	ＣＨ	天井	備考
１Ｆ　玄関	磁器タイル貼　床用２００＊２００ カバサクラフローリング１５　塗装品	磁器タイル 木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	不燃クロス貼格子天井　（既存利用） 下地石膏ボードｔ＝９．５　ＡＥＰ	框：甲板ケアキ板張積層材ＣＬ スロープ：ノンスリップ　長尺
１Ｆ　ホール・廊下	カバサクラフローリング１５　塗装品 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	不燃クロス貼格子天井　（既存利用） 下地石膏ボードｔ＝９．５　ＡＥＰ	下駄箱　２０人用　カーテン
１Ｆ　事務室	カバサクラフローリング１５　塗装品 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	ソーラートンｔ＝１２．５ 下地石膏ボードｔ＝９．５　ＡＥＰ	カウンター　カーテン
１Ｆ　アトリエ　１	コンクリート金こて　防塵塗床	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．６００ ２．０００	ソーラートンｔ＝１２．５ 下地石膏ボードｔ＝９．５ＡＥＰ	排水桝 ステンレス流し　カーテン　暗幕
１２Ｆ　アトリエ　２・３	長尺塩ビシート２　溶接 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	ソーラートンｔ＝１２．５	ステンレス流　ピクチャ－レール　暗幕 ロールカーテン
１Ｆ　倉庫	長尺塩ビシート２　溶接 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	ソーラートンｔ＝１２．５ 下地石膏ボードｔ＝９．５ＡＥＰ	棚（大工工事）
２Ｆ　廊下	カバサクラフローリング１５　塗装品 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	不燃クロス貼格子天井　（既存利用） 下地石膏ボードｔ＝９．５	カーテン
２Ｆ　個室	タイルカーペット５mm ベニア下張ｔ＝９	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	下地石膏ボードｔ＝９．５ＡＥＰ	物干Ｌ１２００　カーテン　収納
２Ｆ　談話室	カバサクラフローリング１５　塗装品 ベニア下張ｔ＝９	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５） 一部　ＰＢｔ＝１５	２５＊４５	２．４００	不燃クロス貼格子天井（既存利用） 下地石膏ボードｔ＝９．５	カーテン
２Ｆ　居間・キッチン	カバサクラフローリング１５　塗装品 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５） 一部　ＰＢｔ＝１５	２５＊４５	２．４００	ソーラートンｔ＝１２．５ 下地石膏ボードｔ＝９．５ＡＥＰ	システムキッチン　カウンター
２Ｆ　押入・物入・収納	ラワンベニアｔ＝１２．５	雑巾摺	ラワンベニアｔ＝５．５	２５＊２５	２．４００	ラワンベニアｔ＝５．５	
２Ｆ　倉庫	長尺塩ビシート２　溶接 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	下地石膏ボードｔ＝９．５ ＡＥＰ	
２Ｆ　洗面・洗濯室	長尺塩ビシート２　溶接 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	下地石膏ボードｔ＝９．５ ＡＥＰ	物干Ｌ１２００
１Ｆ　多目的トイレ	長尺塩ビシート２　溶接 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	下地石膏ボードｔ＝９．５ ＡＥＰ	ベビーシート　ライニング
１Ｆ　掃除用具庫	長尺塩ビシート２　溶接 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２，０００	下地石膏ボードｔ＝９．５ ＡＥＰ	棚　ライニング
１・２Ｆ　トイレ	長尺塩ビシート２　溶接 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	下地石膏ボードｔ＝９．５ ＡＥＰ	
２Ｆ　脱衣	長尺塩ビシート２　溶接 ベニア下張ｔ＝１２	木：１００　ＯＳＣＬ	ＡＥＰ（下地石膏ボードｔ＝１２．５）	２５＊４５	２．４００	下地石膏ボードｔ＝９．５ ＡＥＰ	脱衣棚　鏡４５０φ

１階床下スタイロフォーム@５０充填

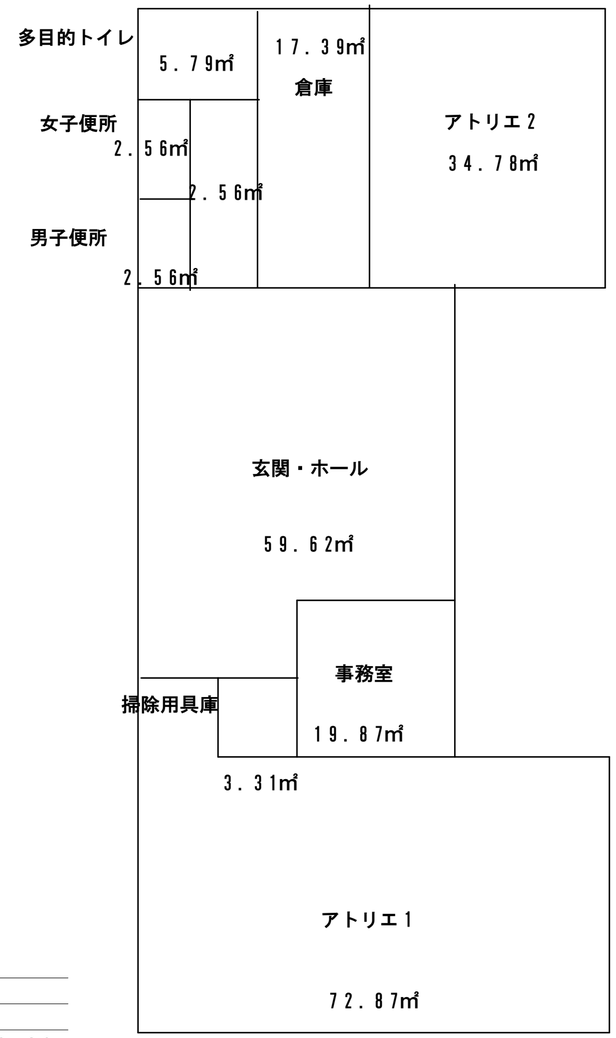
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	仕上表 縮R：SCALE （A－2）	A－10



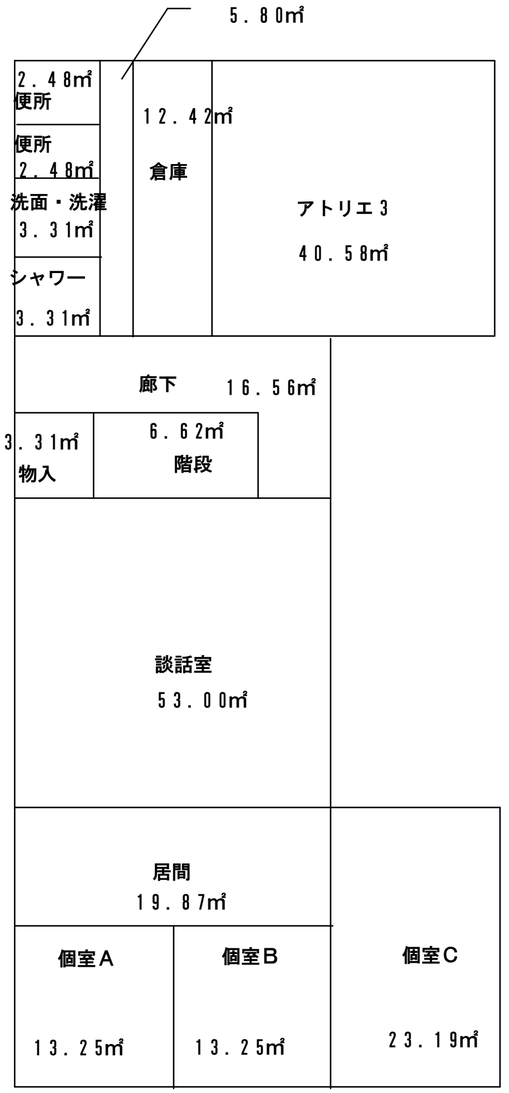
1階



2階



1階



2階

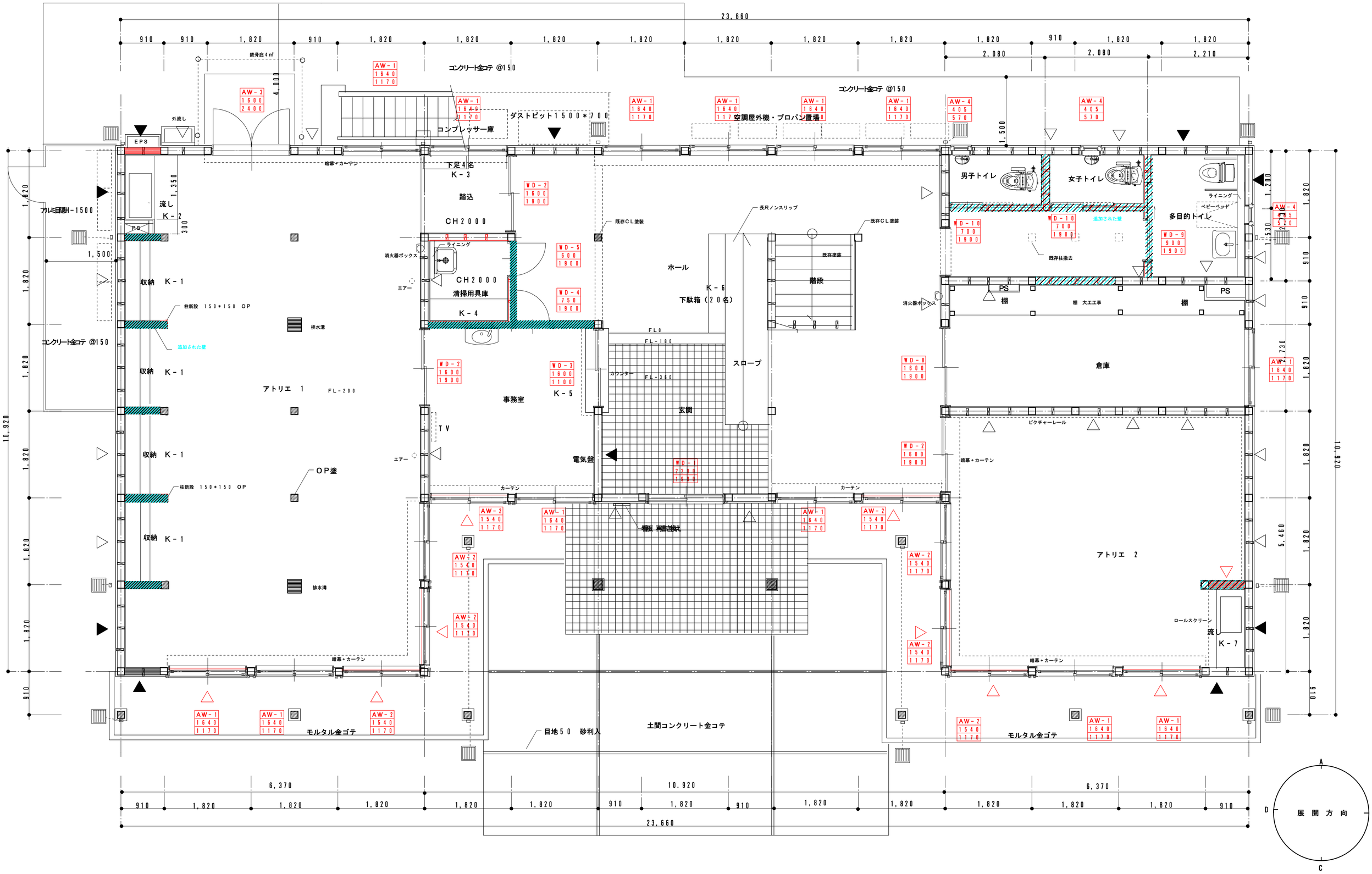
1階床面積

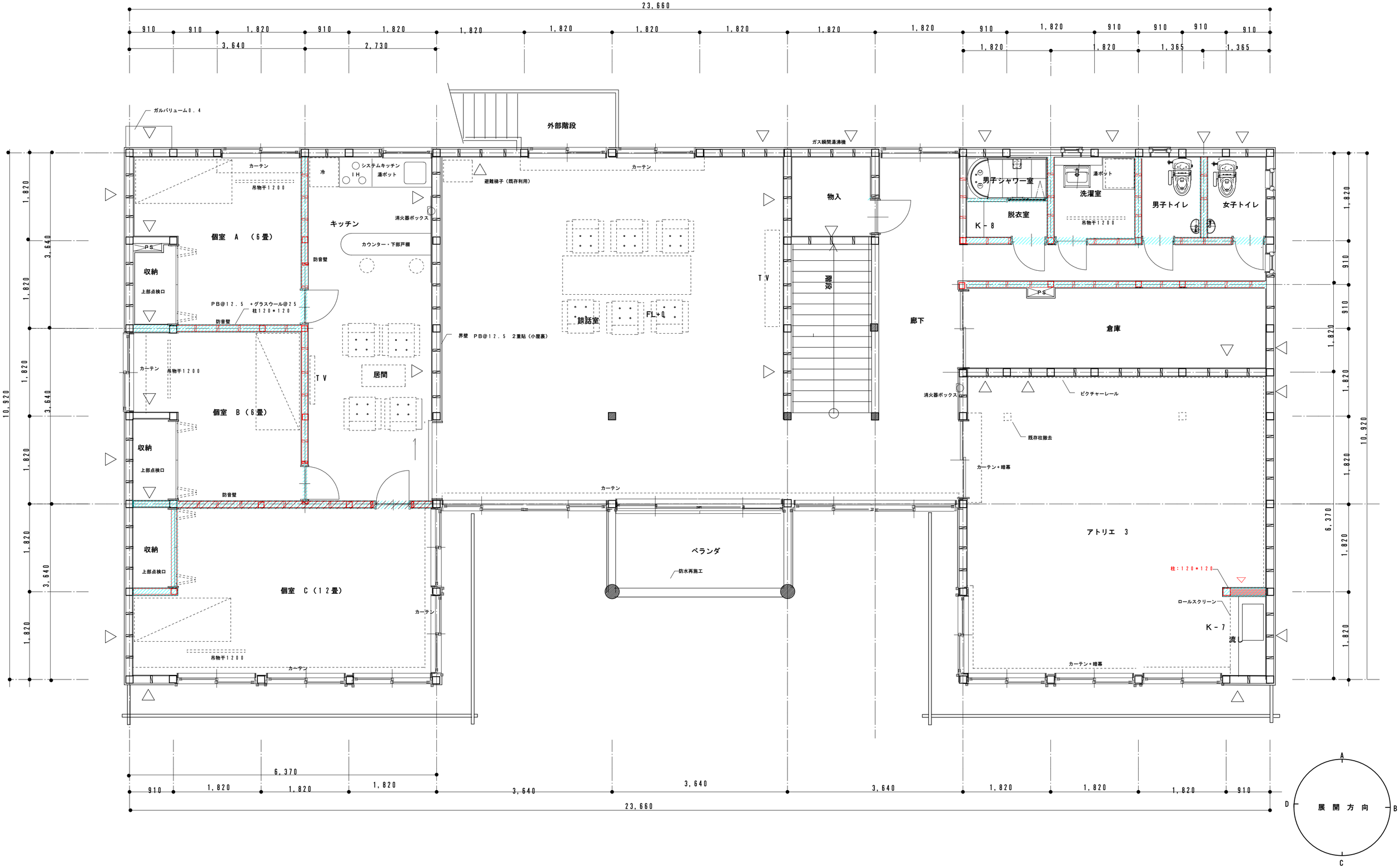
A	6．37＊10．92＝69．56		
B	10．92＊7．28＝79．50		
C	6．37＊10．92～69．56	218．62	
1	6．37＊．91＝5．80		
2	0．91＊3．64＝3．31		
3	0．91＊3．64＝3．31		
4	3．64＊1．82＝6．62		
5	0．91＊3．64＝3．31		
6	0．91＊3．64＝3．31		
7	6．37＊0．91＊＝5．60		
		250．19	

2階床面積

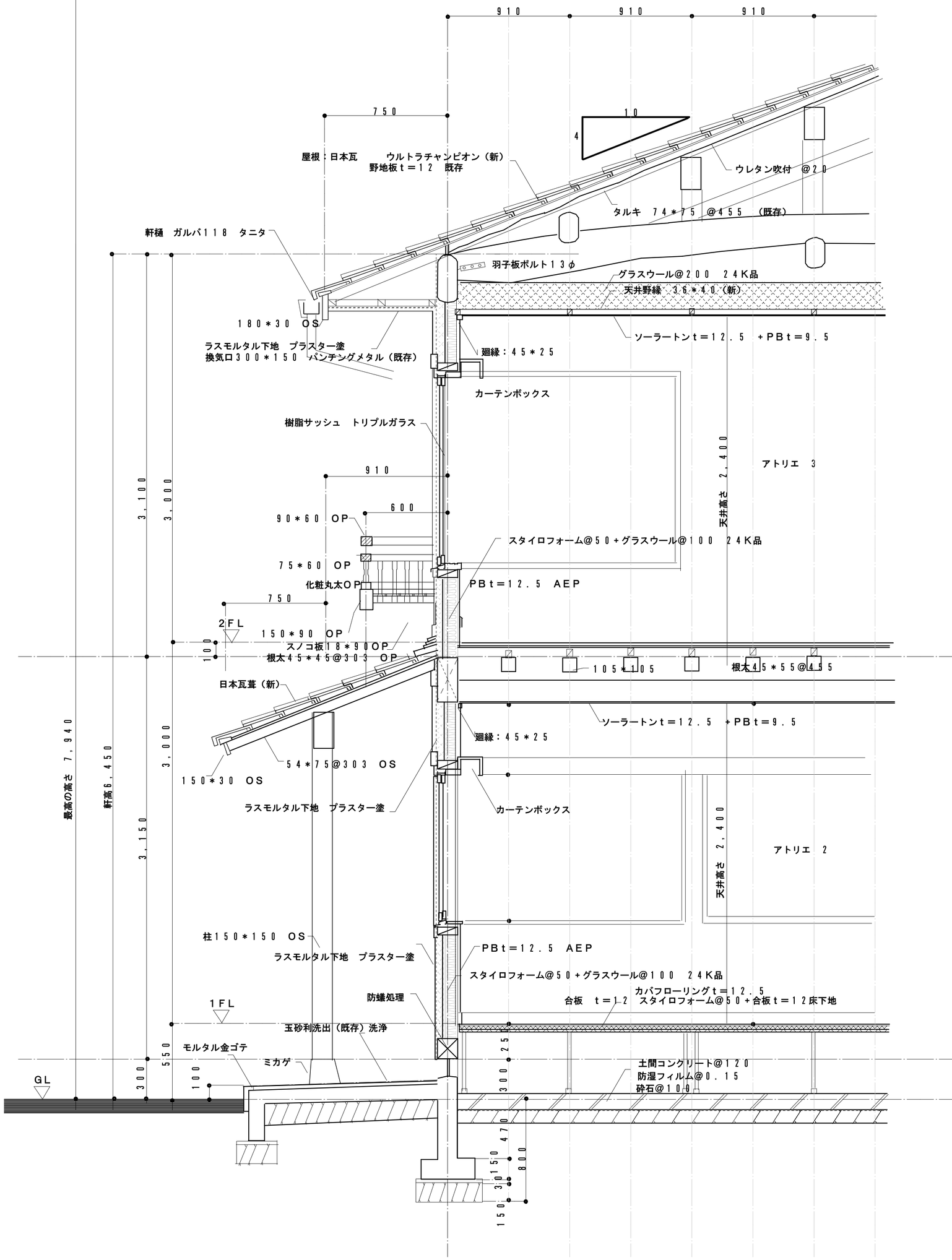
A	6．37＊10．92＝69．56		
B	10．92＊7．28＝79．50		
C	6．37＊10．92＝69．56	218．62	
建築面積		250．19	㎡
1階床面積		218．62	㎡
2階床面積		218．62	㎡
延床面積		437．24	㎡

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO.
		製図 2024．1．24	担当	承認年月日	令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	面積表	A－11
						縮尺：SCALE 1：200 1：100（A－2）	


23,660
910 910 1,820 910 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 910 1,820 1,820
2,080 2,080 2,210
鉄骨庇４ｍｍ
4,000
AW－3 1600 2400
AW－1 1640 1170
コンクリート金コテ @150
AW－1 1640 1170
ダストピット１５００＊７００
AW－1 1640 1170
AW－1 1640 1170
空調屋外機・プロパン置場
AW－1 1640 1170
AW－4 405 570
AW－4 405 570
1,500
外流し
EPS
コンプレッサー庫
暗幕＋カーテン
下足４名
K－3
踏込
WD－2 1600 1900
CH2000
既存ＣＬ塗装
長尺ノンスリップ
既存ＣＬ塗装
男子トイレ
女子トイレ
ライニング
ベビーベッド
多目的トイレ
AW－4 405 520
1,210
1,530
2,730
WD－10 700 1900
追加された壁
既存柱撤去
WD－9 900 1900
アルミ目隠Ｈ－1500
1,820
流し
K－2
1,350
300
PS
1,500
収納 K－1
消火器ボックス
ライニング
エアー
CH2000
清掃用具庫
K－4
WD－5 600 1900
WD－4 750 1900
ホール
K－6
下駄箱（２０名）
階段
既存塗装
消火器ボックス
PS
棚
棚 大工工事
棚
PS
910
柱新設 150＊150 OP
追加された壁
排水溝
FL0
FL－180
FL－360
カウンター
WD－2 1600 1900
WD－3 1600 1100
K－5
スロープ
WD－8 1600 1900
倉庫
AW－1 1640 1170
コンクリート金コテ @150
収納 K－1
アトリエ 1
FL－200
事務室
玄関
ピクチャーレール
TV
エアー
電気盤
WD－1 2730 1970
WD－2 1600 1900
暗幕＋カーテン
OP塗
柱新設 150＊150 OP
収納 K－1
カーテン
カーテン
AW－2 1540 1170
AW－1 1640 1170
AW－1 1640 1170
AW－2 1540 1170
AW－2 1540 1170
AW－2 1540



安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 2階改修平面詳細図	図面番号：DW NO. A－13
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮尺：SCALE 1：50（A－2）	



安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：DATA

設計	検図	承認印
製図	担当	承認年月日
2024.1.24		

工事名称：PR NAME

令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW NAME

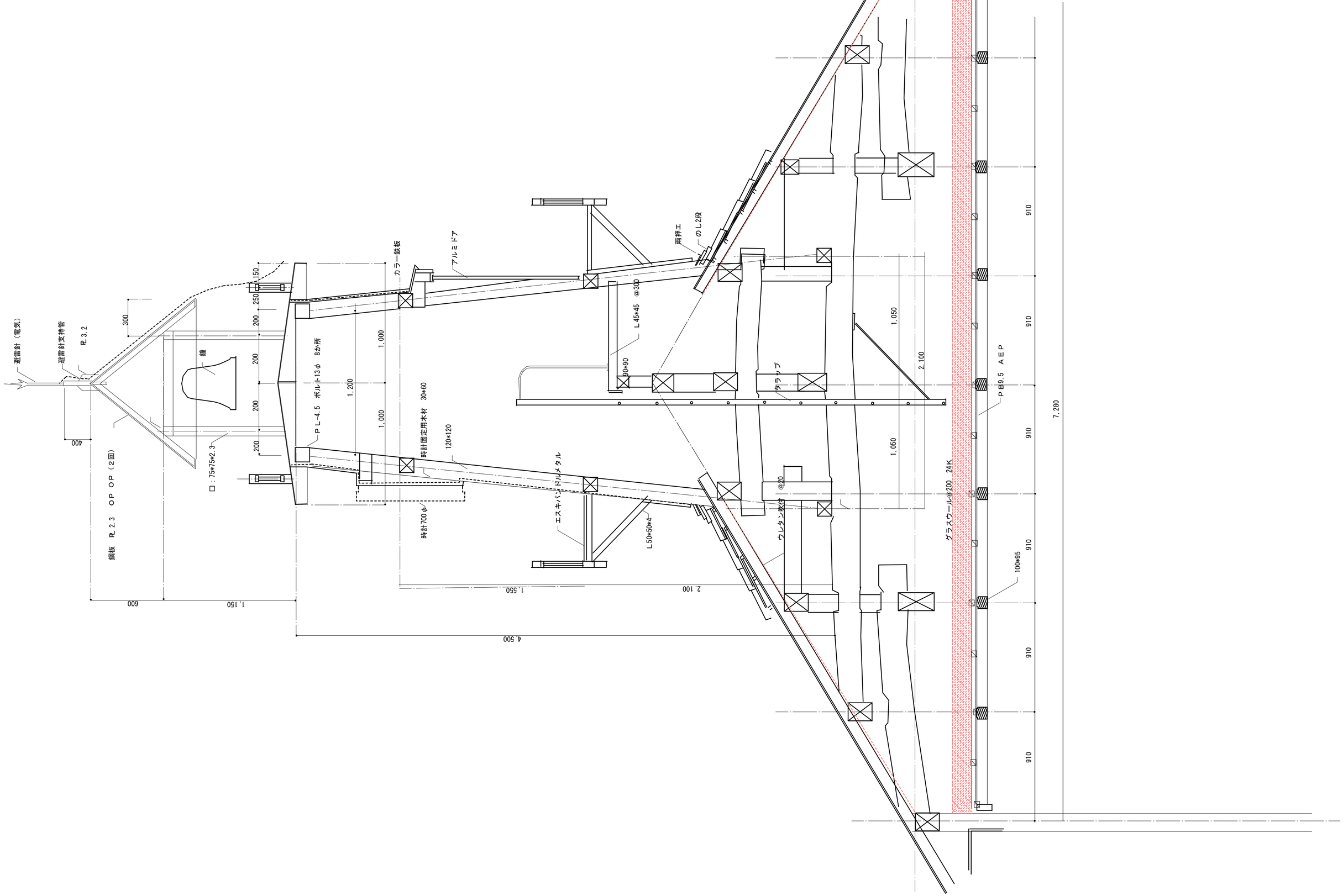
改修矩計図　１

縮尺：SCALE

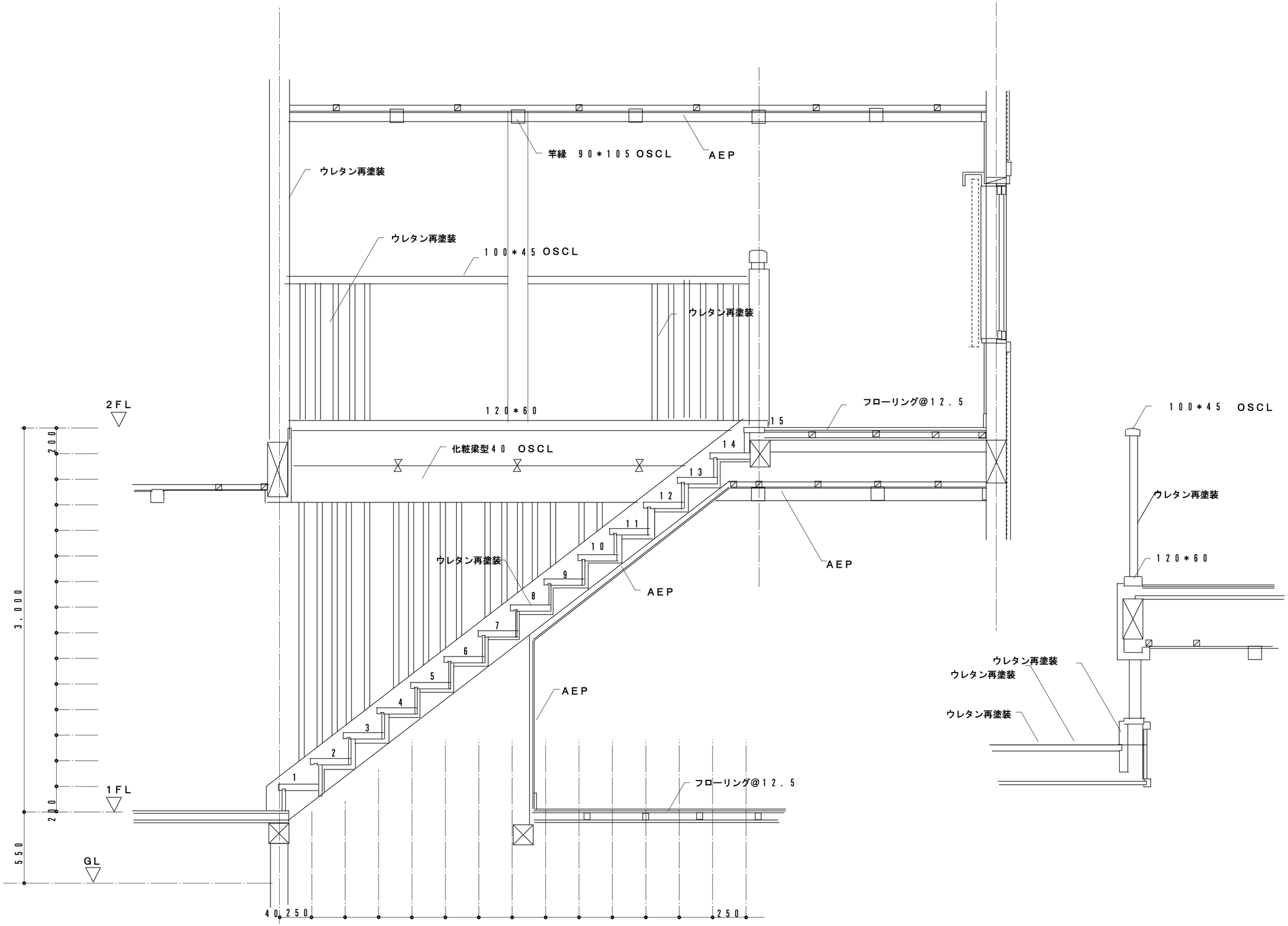
1：20（A-2）

図面番号：DW NO.

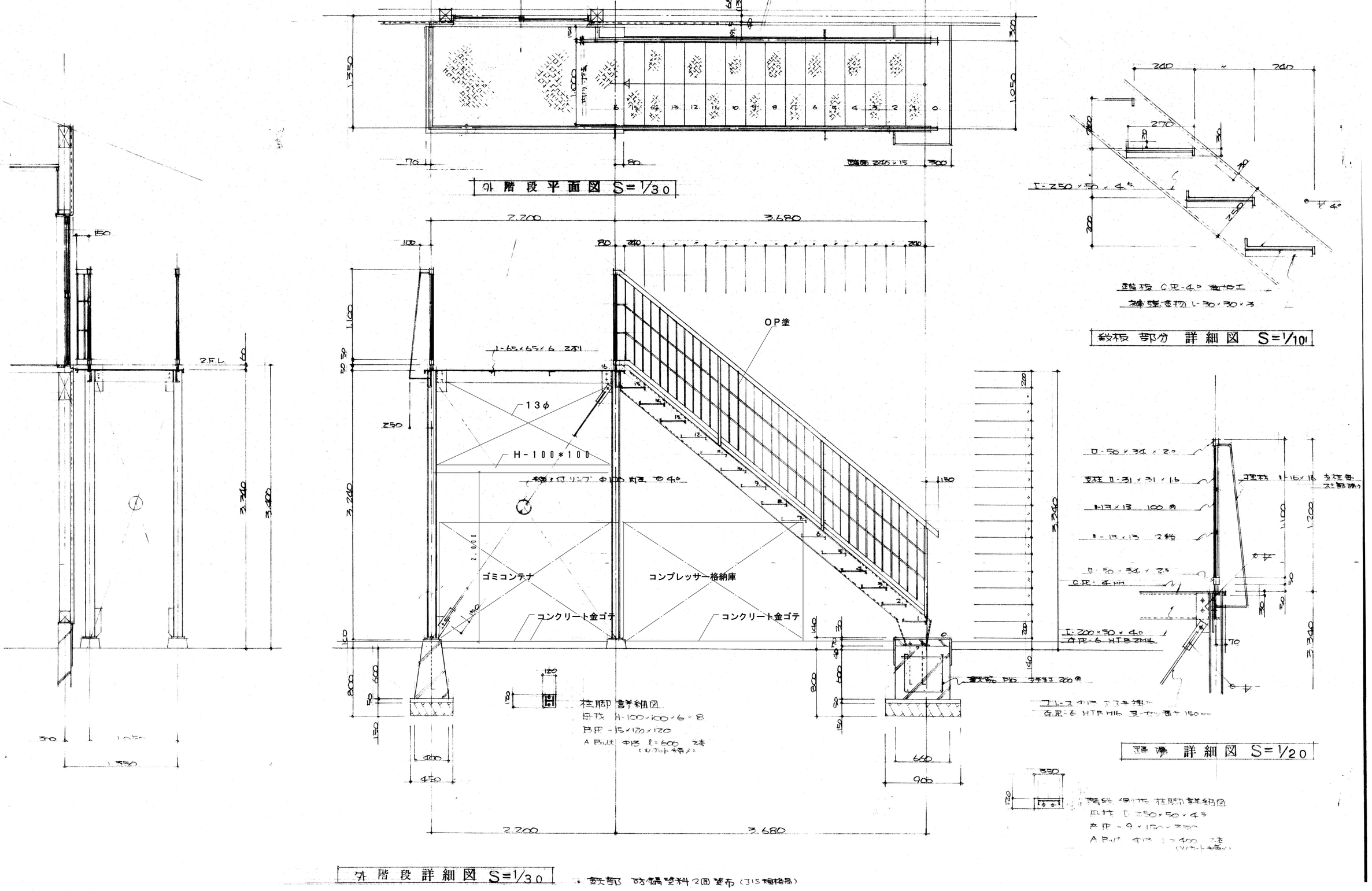
A－14



安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 改修矩計図 2	図面番号：DW NO. A－15
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮尺：SCALE 1：20（A－2）	

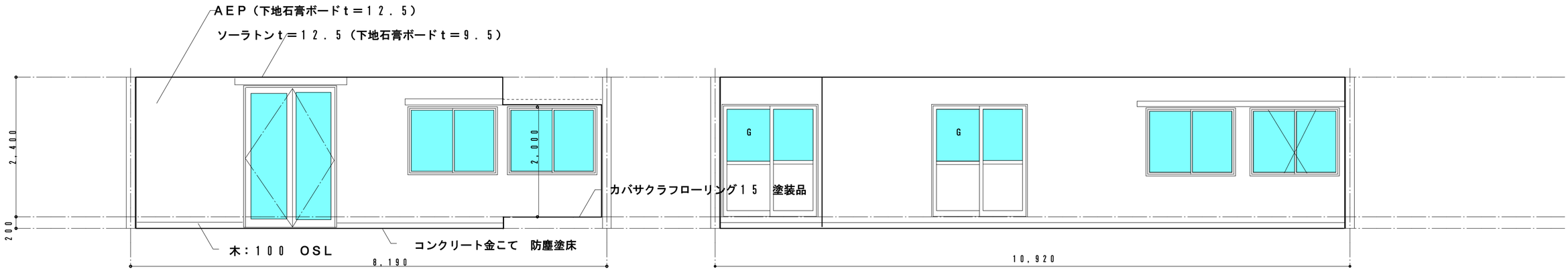


安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 改修矩計図　３	図面番号：DW　NO. A－16
		製図 ２０２４．１．２４	担当	承認年月日		縮尺：SCALE １：２０（A－２）	


外階段平面図 S=1/30
外階段詳細図 S=1/30

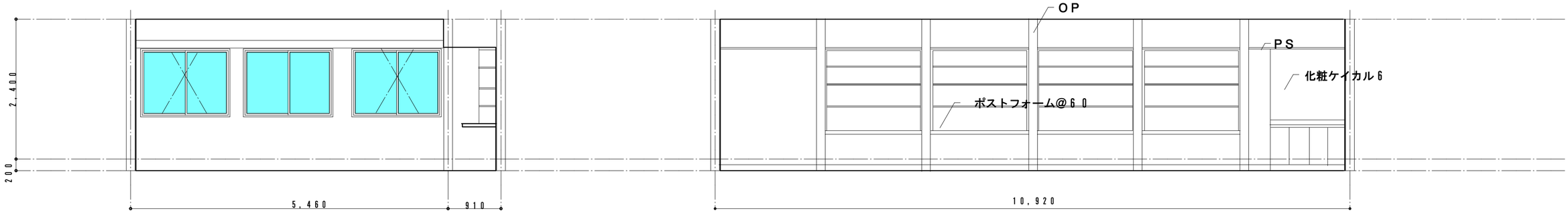
鉄板部分 詳細図 S=1/10
踏板 C.PL-4.0 曲加工
補強金物 L-30×30×3
踏場 詳細図 S=1/20
柱脚 詳細図
母材 H-100×100×6×8
B.PL-15×120×120
A.Bolt φ13 l=600 2本
(ソケット締め)
鉄部 防錆塗料2回塗布 (JIS規格品)

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日:DATA	設計	検図	承認印	工事名称:PR NAME	図面名称:DW NAME 改修階段詳細図	図面番号:DW NO.
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	縮尺:SCALE 1:30 (A-2)	A-17



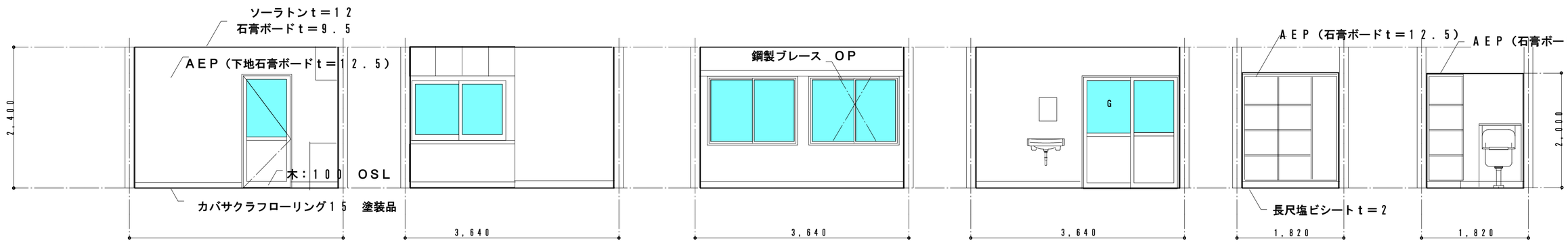
アトリエ　展開図　Ａ　１／５０

アトリエ　展開図　Ｂ　１／５０



アトリエ　展開図　Ｃ　１／５０

アトリエ　展開図　Ｄ　１／５０



事務室　展開図　Ａ　１／５０

事務室　展開図　Ｂ　１／５０

事務室　展開図　Ｃ　１／５０

事務室　展開図　Ｄ１／５０

掃除用具庫　展開図　Ａ　１／５０

掃除用具庫　展開図　Ｄ　１／５０

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：ＤＡＴＡ

設計	検図	承認印
製図 2024.1.24	担当	承認年月日

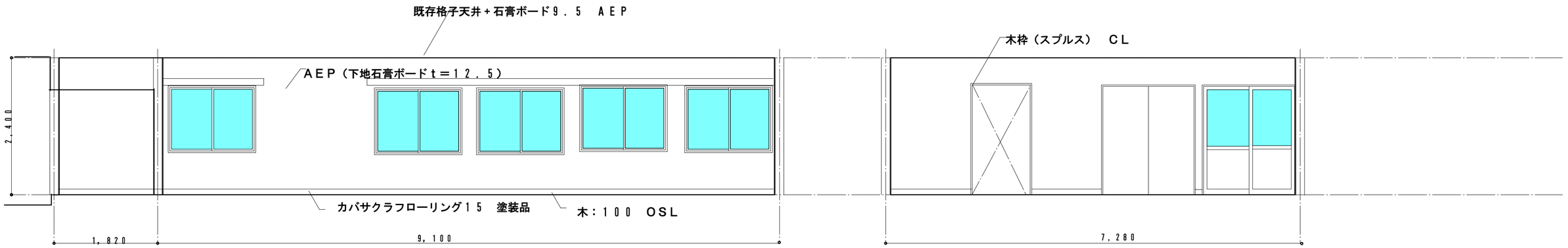
工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ

令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ　展開図　１

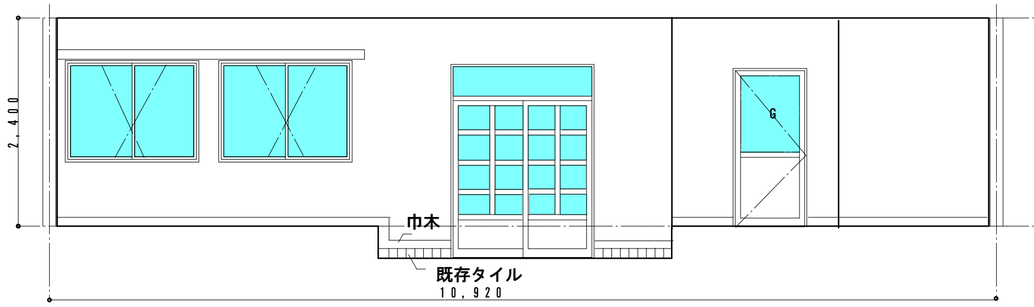
縮尺：ＳＣＡＬＥ　１：５０　（Ａ２）

図面番号：ＤＷ　ＮＯ．　Ａ－１８

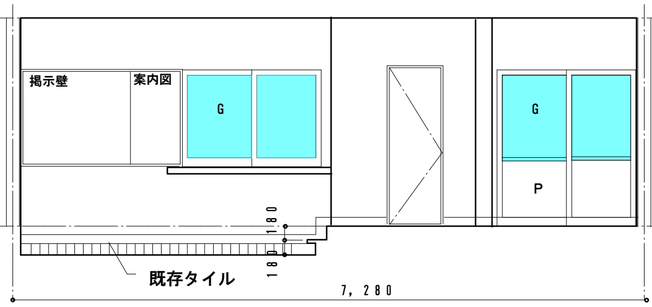


ホール　展開図　Ａ　１／５０

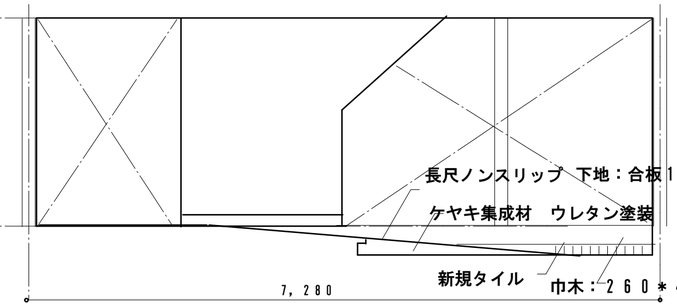
ホール　展開図　Ｂ　１／５０



ホール　展開図　Ｃ　１／５０



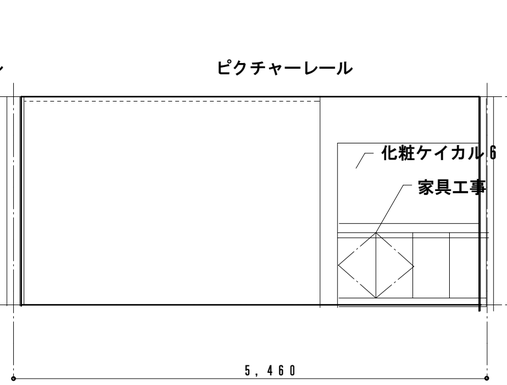
ホール　展開図　Ｄ　１／５０



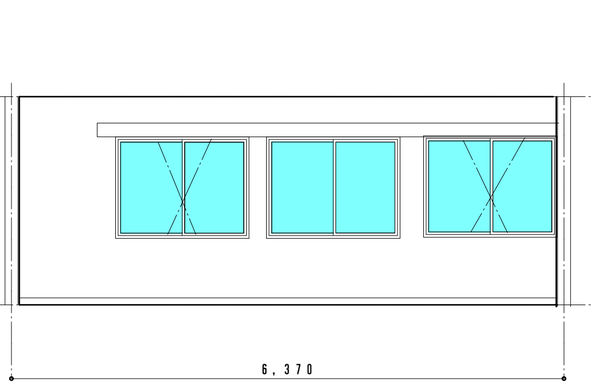
ホール　展開図　Ｃ　１／５０



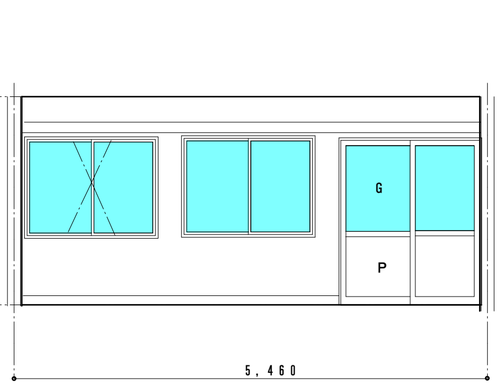
アトリエ２　展開図　Ａ　１／５０



アトリエ２　展開図　Ｂ　１／５０

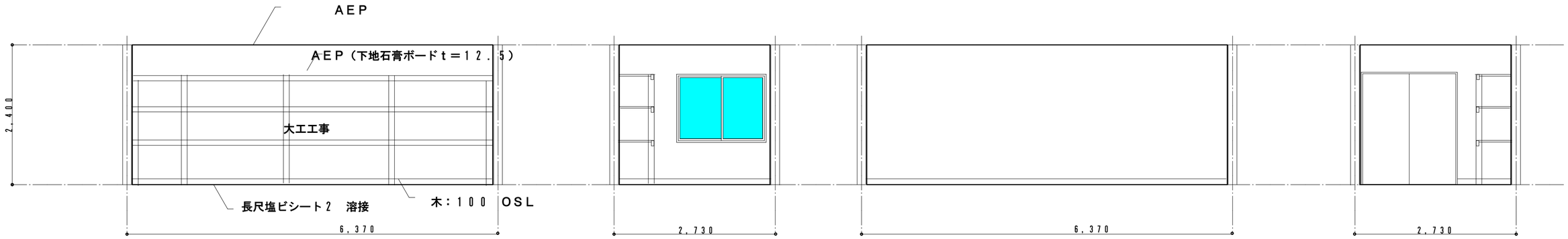


アトリエ２　展開図　Ｃ　１／５０



アトリエ２　展開図　Ｄ　１／５０

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：ＤＡＴＡ	設計 / 製図 2024.1.24	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日	工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ　令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事
					図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ　展開図　２
					縮尺：ＳＣＡＬＥ　１：５０（Ａ－２）
					図面番号：ＤＷ　ＮＯ．　Ａ－１９

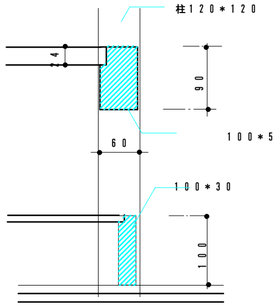


倉庫　展開図　A　1／50

倉庫　展開図　B　1／50

倉庫　展開図　C　1／50

倉庫　展開図　D　1／50



棚詳細図（大工工事）



多目的トイレ　展開図　A　1／50

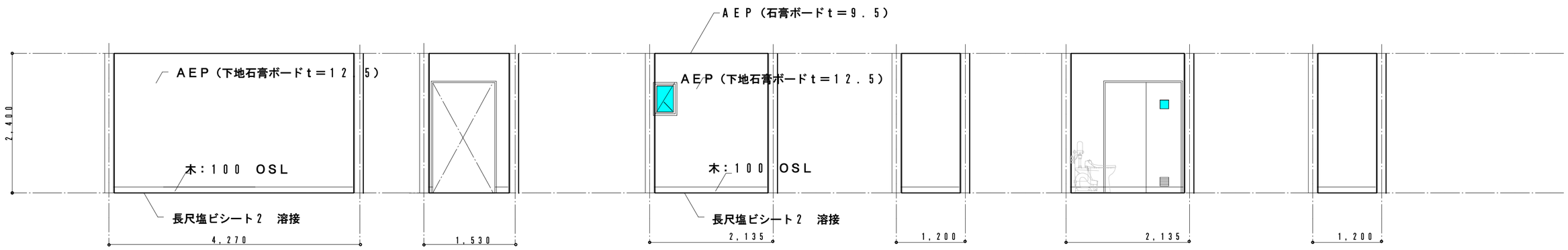
多目的トイレ　展開図　B　1／50

多目的トイレ　展開図　C　1／50

多目的トイレ　展開図　D　1／50

トイレ前室　展開図　A　1／50

トイレ前室　展開図　B　1／50



トイレ前室　展開図　C　1／50

トイレ前室　展開図　D　1／50

男子トイレ　展開図　A　1／50

男子トイレ　展開図　B　1／50

男子トイレ　展開図　C　1／50

男子トイレ　展開図　D　1／50

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：DATA

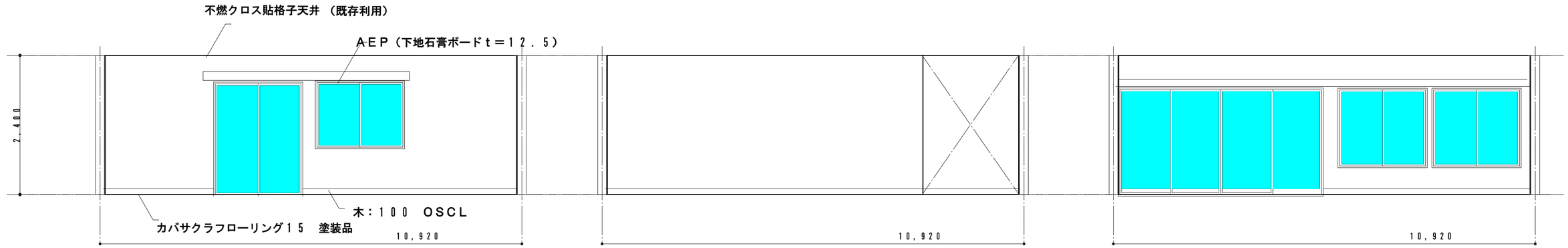
設計	検図	承認印
製図 2024.1.24	担当	承認年月日

工事名称：PR　NAME
令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW　NAME
改修展開図　3

縮尺：SCALE
1：50（A－2）

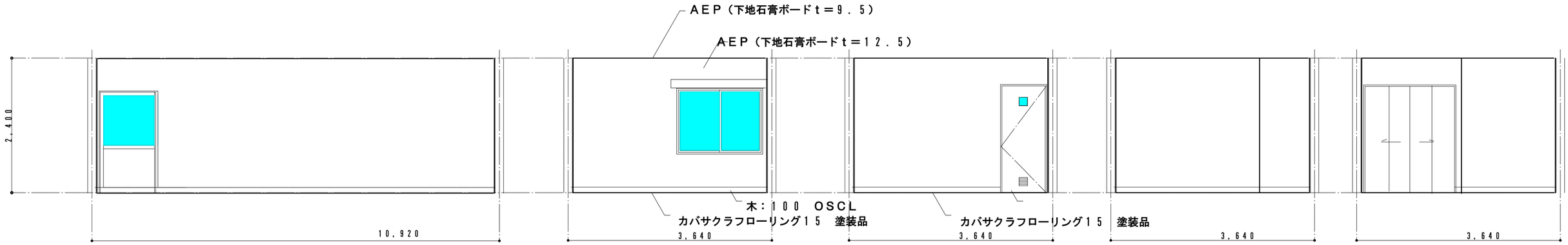
図面番号：DW　NO.
A－20



談話室　展開図　Ａ　１／５０

談話室　展開図　Ｂ　１／５０

談話室　展開図　Ｃ　１／５０



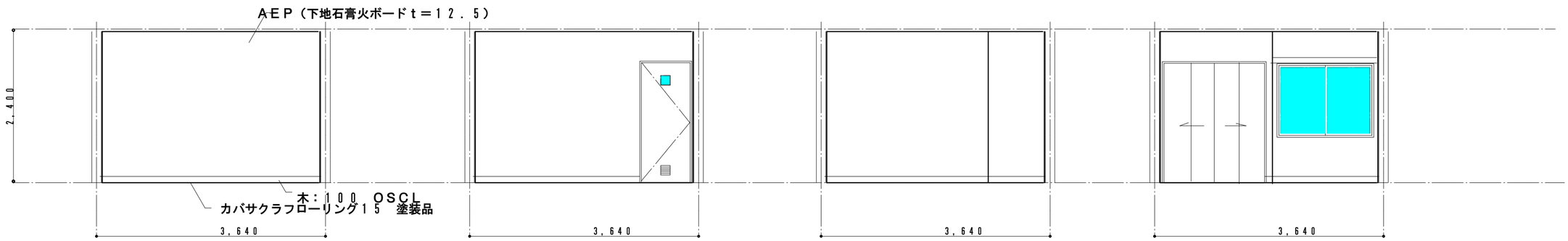
談話室　展開図　Ｄ　１／５０

個室Ａ（６畳）　展開図　Ａ　１／５０

個室Ａ（６畳）　展開図　Ａ　１／５０

個室Ａ（６畳）　展開図　Ａ　１／５０

個室Ａ（６畳）　展開図　Ａ　１／５０



個室Ｂ（６畳）　展開図　Ａ　１／５０

個室Ｂ（６畳）　展開図　Ｂ　１／５０

個室Ｂ６畳）　展開図　Ｃ１／５０

個室Ｂ（６畳）　展開図　Ｄ　１／５０

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：ＤＡＴＡ

設計	検図	承認印
製図 2024.1.24	担当	承認年月日

工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ

令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ

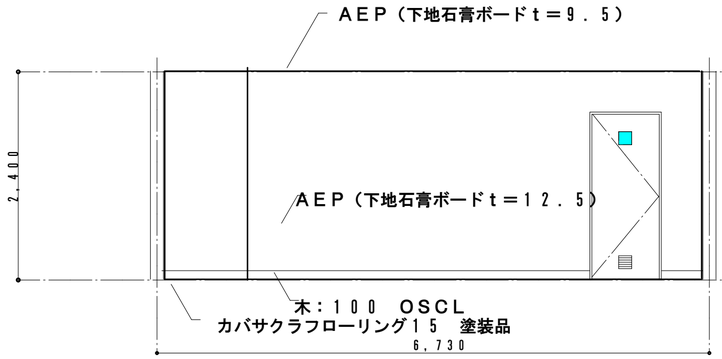
改修展開図　４

縮尺：ＳＣＡＬＥ

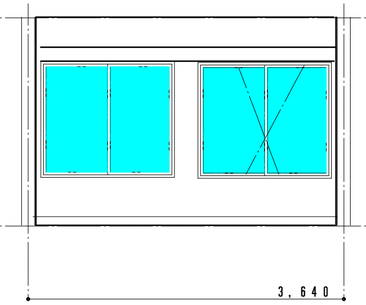
１：５０（Ａ－２）

図面番号：ＤＷ　ＮＯ．

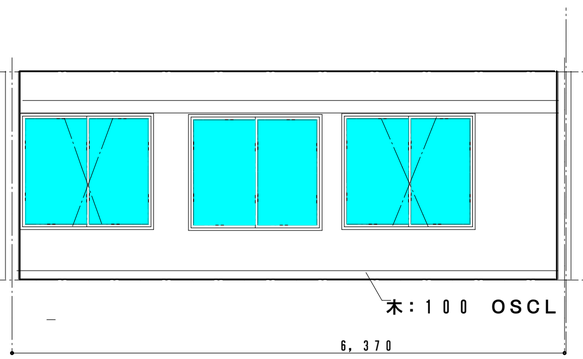
Ａ－２１



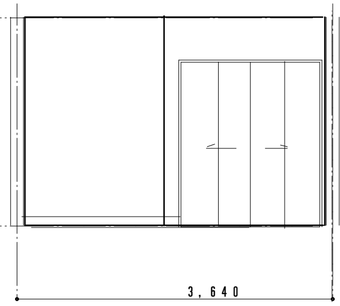
個室　Ｃ（１２畳）　展開図　Ａ　１／５０



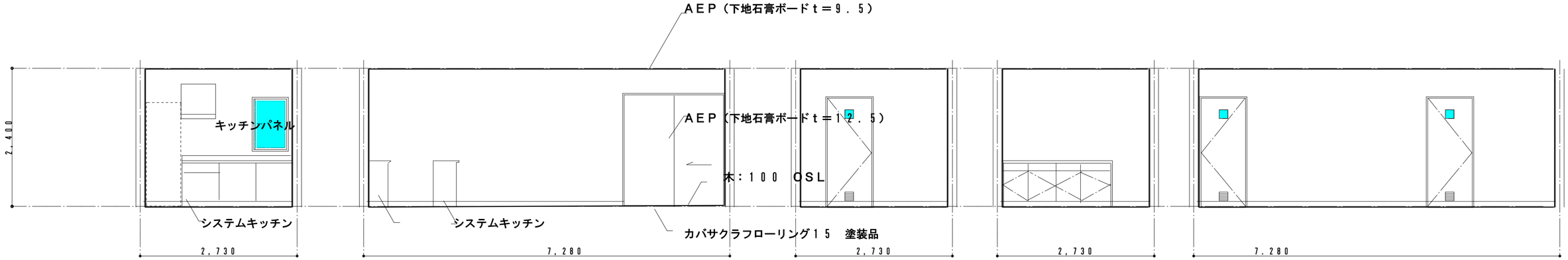
個室　Ｃ（１２畳）　展開図　Ｂ　１／５０



個室Ｃ（１２畳）　展開図　Ｃ　１／５０



個室Ｃ（１２畳）　展開図　Ｄ　１／５０



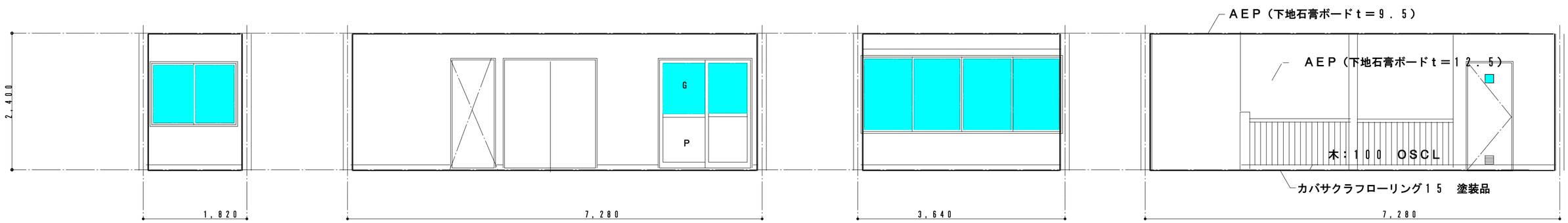
居間・キッチン　展開図　Ａ　１／５０

居間・キッチン　展開図　Ｂ　１／５０

居間・キッチン　展開図　Ｃ　１／５０

居間・キッチン　展開図　Ｃ　１／５０

居間・キッチン　展開図　Ｄ　１／５０



廊下　展開図　Ａ　１／５０

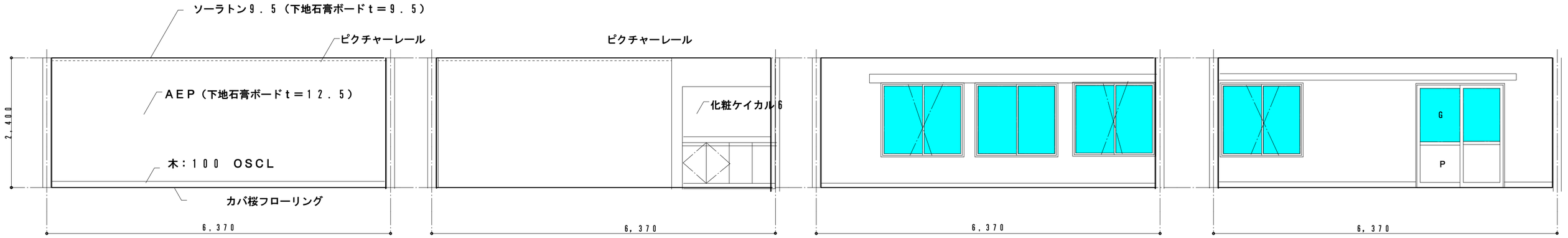
廊下　展開図　Ｄ　１／５０

廊下　展開図　Ｃ　１／５０

廊下　展開図　Ｄ　１／５０

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：ＤＡＴＡ	設計 / 製図 2024.1.24	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日	工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ　令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ　改修展開図　５	縮尺：ＳＣＡＬＥ　１：５０（Ａ－２）	図面番号：ＤＷ　ＮＯ．　Ａ－２２

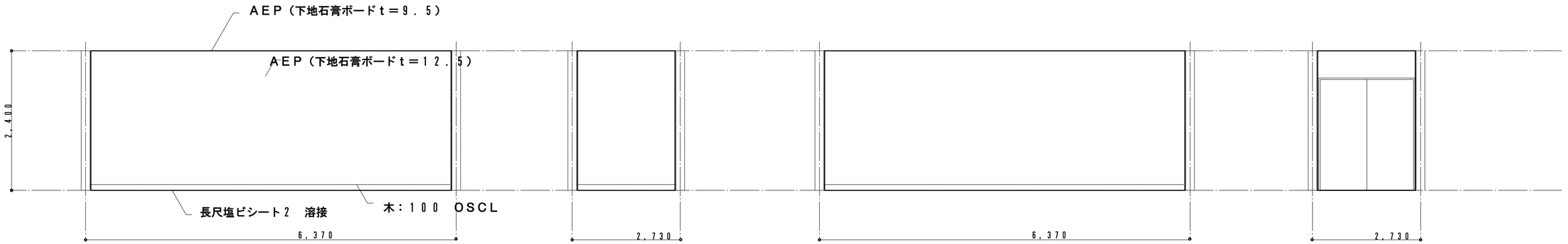


アトリエ３　展開図　Ａ　１／５０

アトリエ３　展開図　Ｂ　１／５０

アトリエ３　展開図　Ｃ　１／５０

アトリエ３　展開図　Ｄ　１／５０

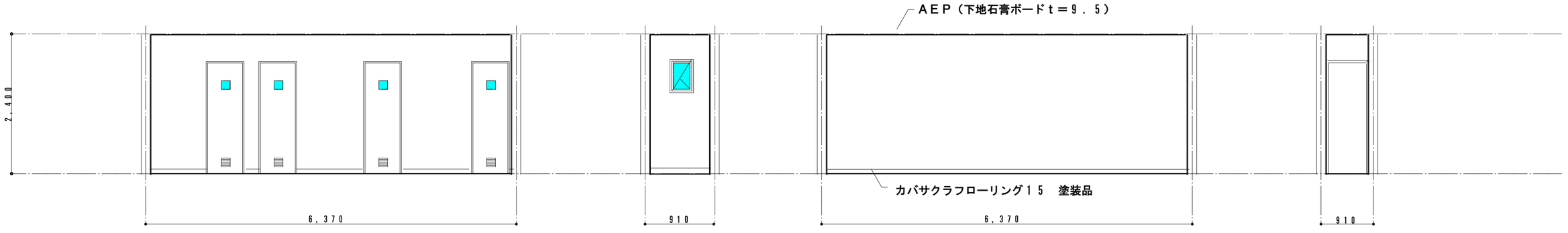


倉庫　展開図　Ａ　１／５０

倉庫　展開図　Ｂ　１／５０

倉庫　展開図　Ｃ　１／５０

倉庫　展開図　Ｄ　１／５０



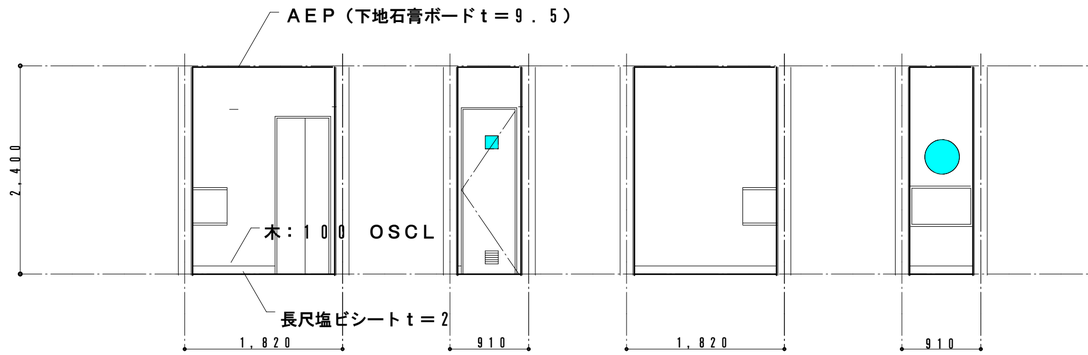
前室　展開図　Ａ　１／５０

前室　展開図　Ｂ　１／５０

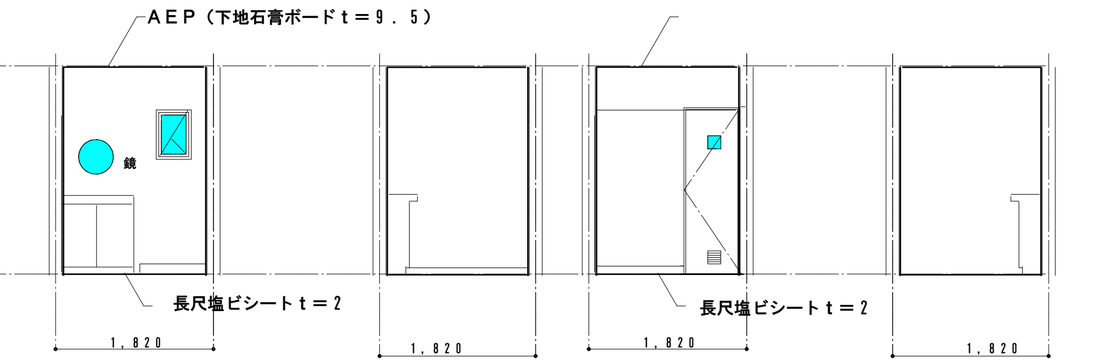
前室　展開図　Ｃ　１／５０

前室　展開図　Ｄ１／５０

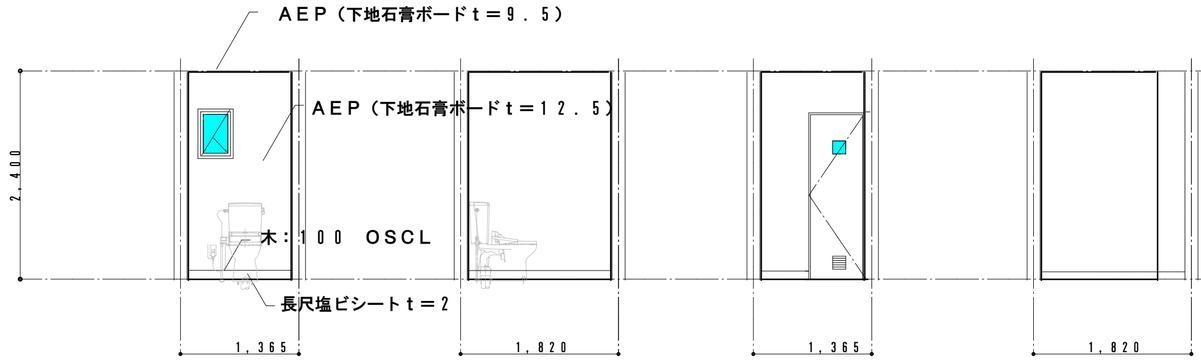
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：ＤＡＴＡ	設計	検図	承認印	工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ 展開図　６ 縮尺：ＳＣＡＬＥ １：５０（Ａ－２）
		製図 ２０２４．１．２４	担当	承認年月日		図面番号：ＤＷ　ＮＯ． Ａ－２３



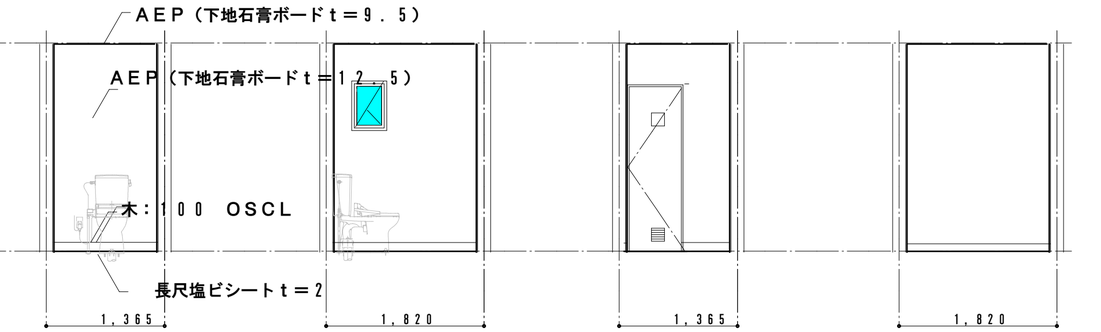
脱衣室　展開図　Ａ　１／５０ | 展開図　Ｂ　１／５０ | 展開図　Ｃ　１／５０ | 展開図　Ｄ　１／５０



洗面　展開図　Ａ　１／５０ | 洗面　展開図　Ｂ　１／５０ | 洗面　展開図　Ｃ　１／５０ | 洗面　展開図　Ｄ　１／５０



男子トイレ　展開図　Ａ　１／５０ | 展開図　Ｂ　１／５０ | 展開図　Ｃ　１／５０ | 展開図　Ｄ　１／５０



女トイレ　展開図　Ａ　１／５０ | 展開図　Ｂ　１／５０ | 展開図　Ｃ　１／５０ | 展開図　Ｄ　１／５０

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：ＤＡＴＡ	設計 / 製図 2024.1.24	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日	工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ 展開図　7 縮尺：ＳＣＡＬＥ １：５０（Ａ－２）	図面番号：ＤＷ　ＮＯ． Ａ－２４

23,660

910 910 1,820 910 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 910 1,820 1,820

10,920

1,820 1,820 1,820 1,820 910

1,200 1,530 2,730 910 910 2,730 1,820 1,820 5,460 1,820 910

空調屋外機・プロパン置場

コンプレッサー庫

点検口

流し

CH2200

新規壁

収納

収納

収納

収納

CH2200

CH2200

石膏ボード@9.5 AEP

石膏ボード@9.5 AEP

石膏ボード@9.5 AEP

CH＝2,000

踏込

CH＝2,000

清掃用具庫

エアー

エアー

アトリエ 1

ソーラトンt＝12
石膏ボードt＝9.5

事務室

TV

ソーラトンt＝12
石膏ボードt＝9.5

電気盤

ホール

階段

カウンター

玄関

既存格子天井＋石膏ボード@9.5 AEP

OS

OS

OS

プラスター塗

プラスター塗

プラスター塗

男子トイレ
石膏ボード@9.5 AEP

女子トイレ
石膏ボード@9.5 AEP

多目的トイレ
石膏ボード@9.5 AEP

石膏ボード@9.5 AEP

棚

棚

石膏ボード@9.5 AEP

倉庫

ピクチャーレール

石膏ボード@9.5 AEP

ソーラトンt＝12
石膏ボードt＝9.5

アトリエ2

Ch＝2000

ロールスクリーン

流し 点検口

暗幕＋カーテン

OS

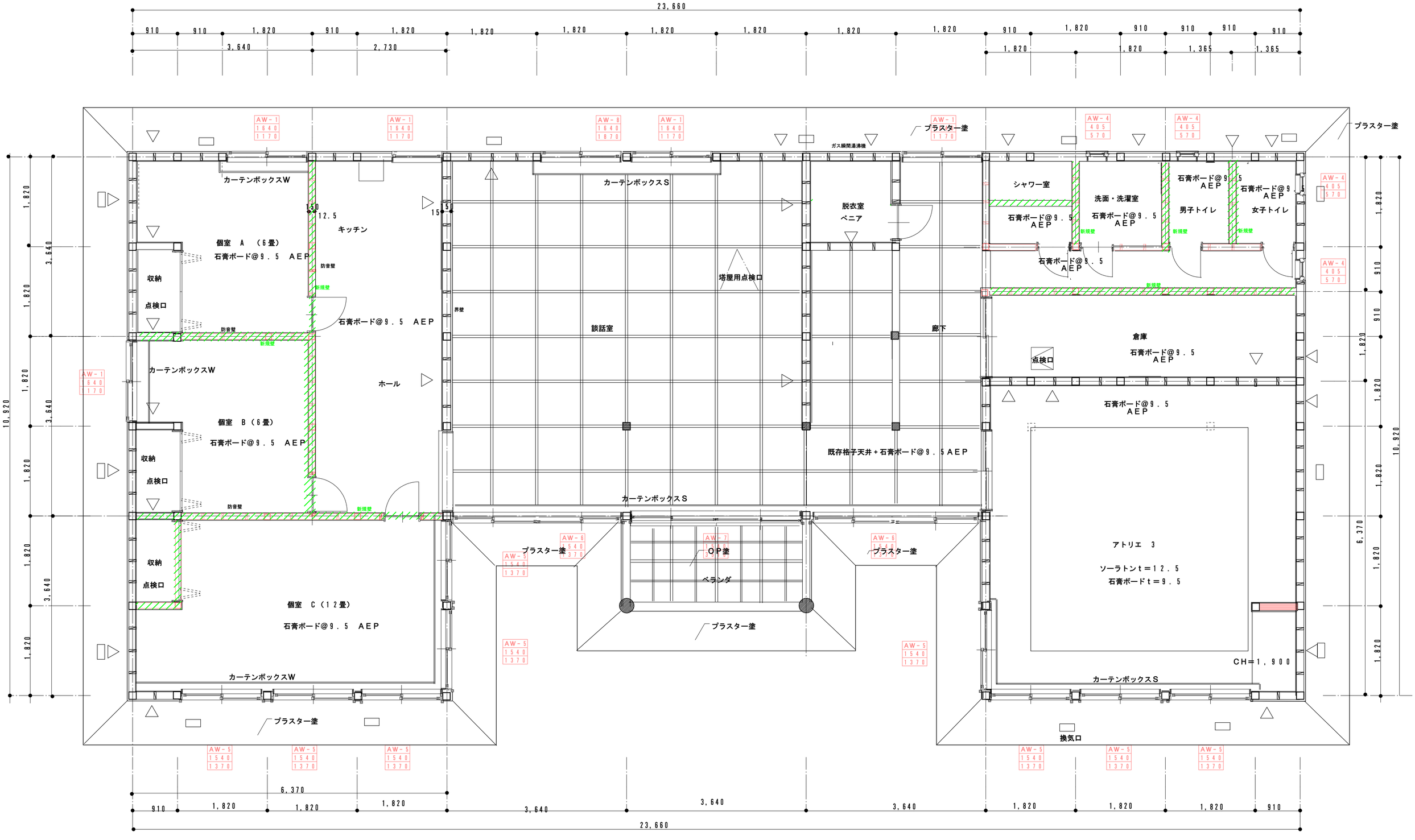
6,370 10,920 6,370

910 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 910 1,820 910 1,820 1,820 1,820 1,820 1,820 910

23,660

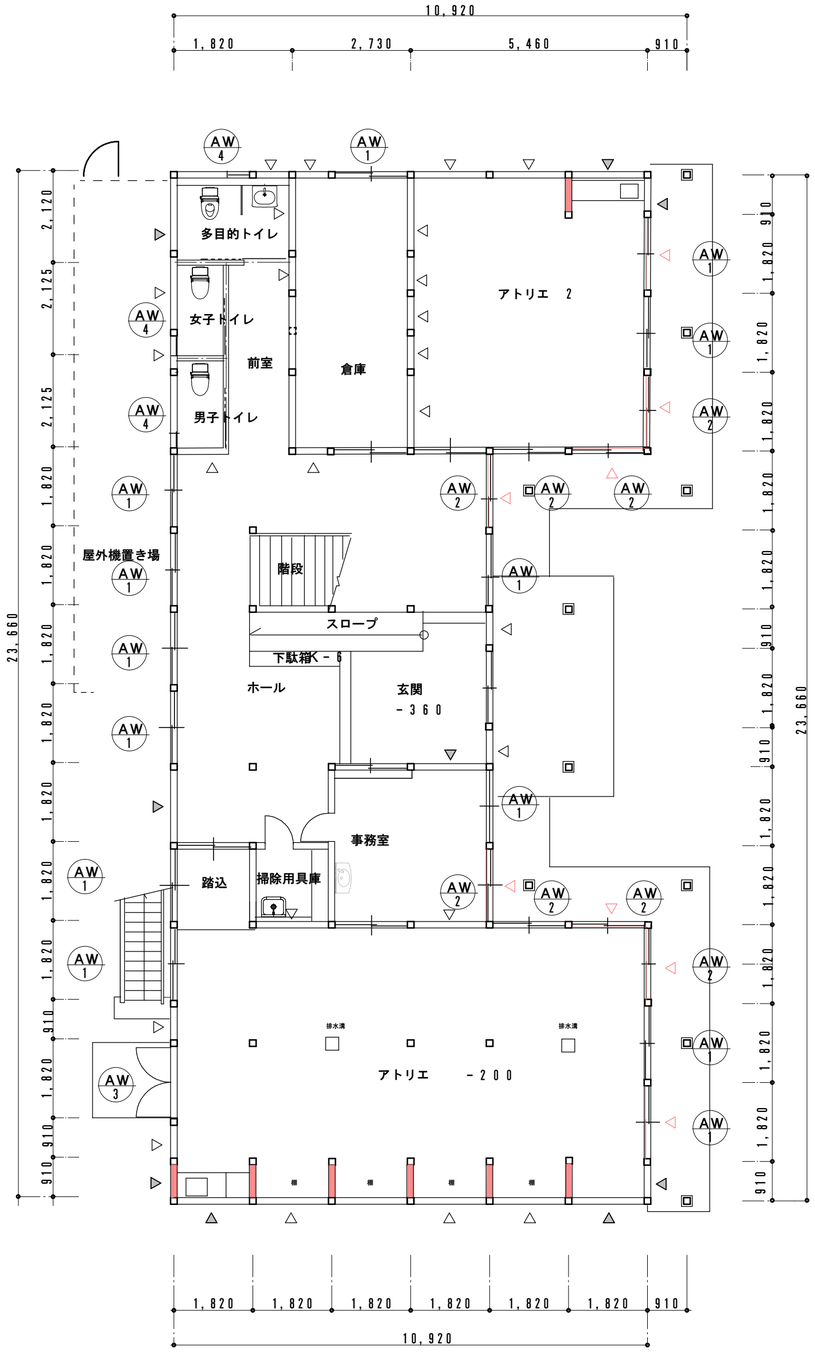
安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計 / 製図 2024.1.24	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日	工事名称：PR NAME 令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事

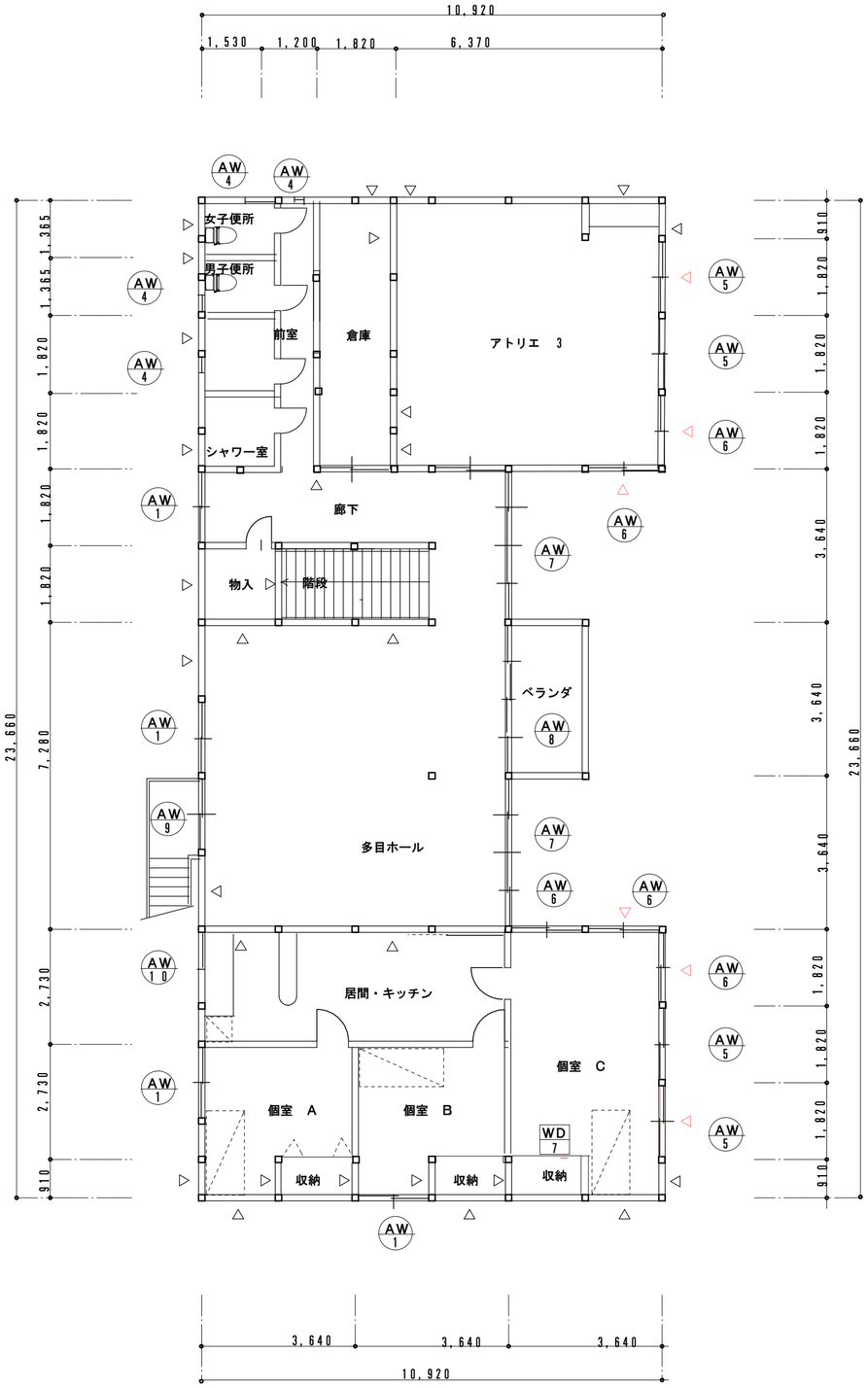
図面名称：DW NAME	1階改修天井伏図	図面番号：DW NO. A－25
縮尺：SCALE	1：50（A－2）	



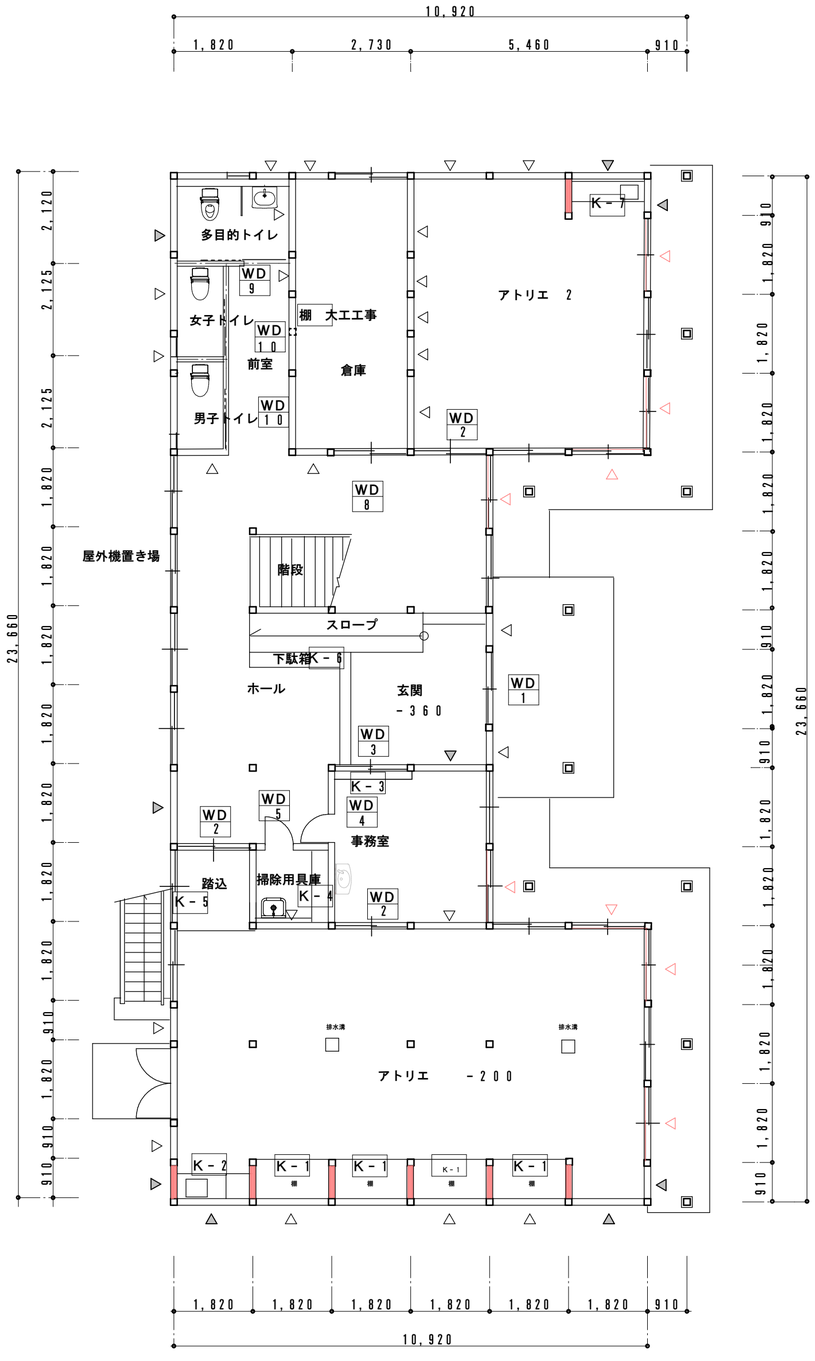
安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計 / 製図 2024.1.24	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日	工事名称：PR NAME 令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事

図面名称：DW NAME 2階改修天井伏図	縮尺：SCALE 1：50（A－2）	図面番号：DW NO. A－26

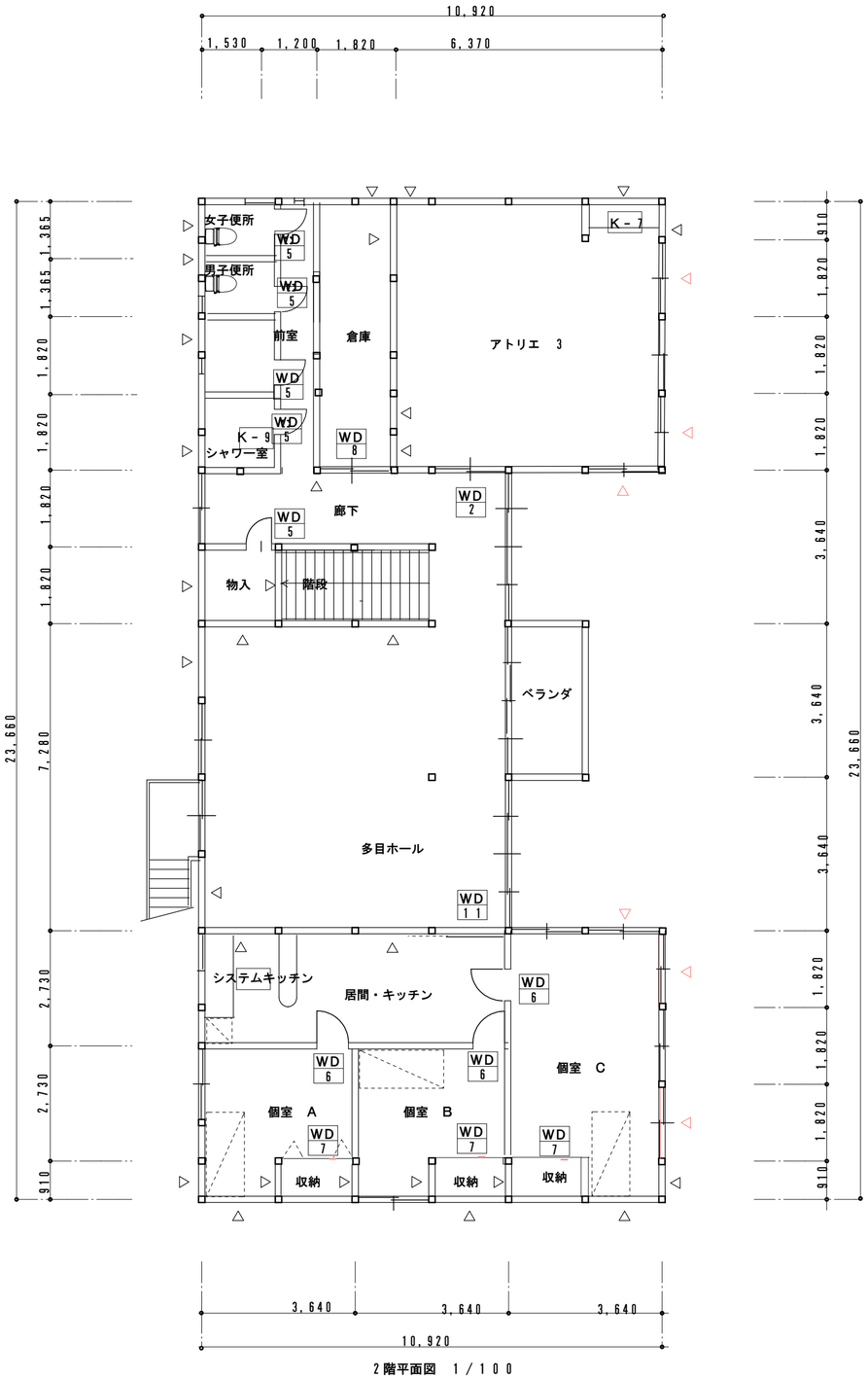




安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO.
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	改修キープラン 縮尺：SCALE 1：100（A－2）	A－27

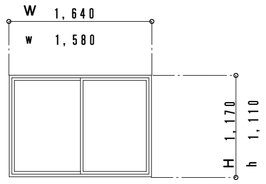
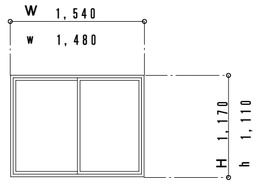
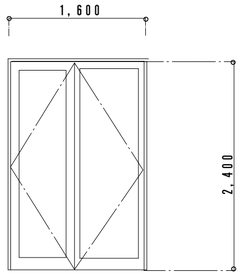
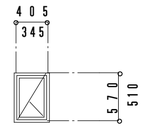
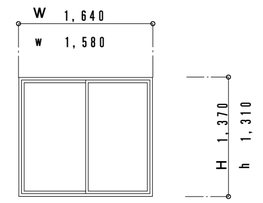


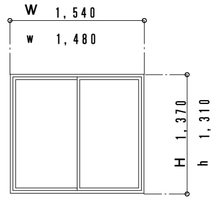
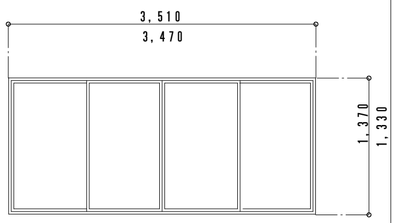
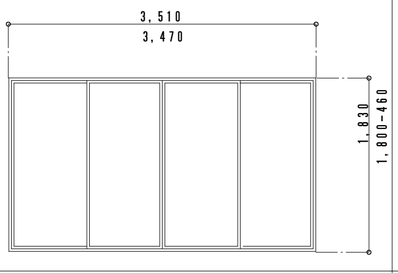
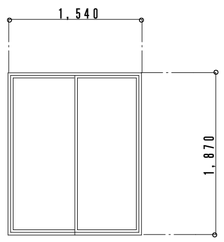
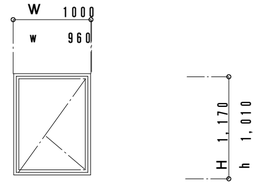
1階平面図 1／100

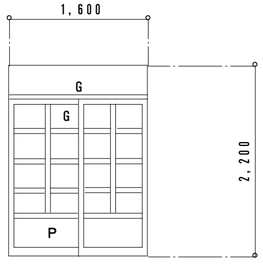
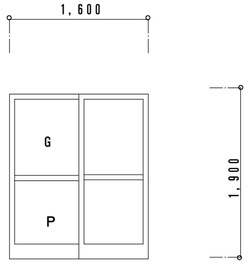
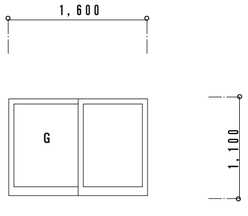
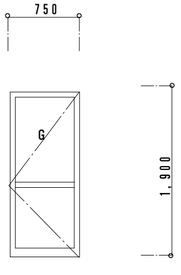
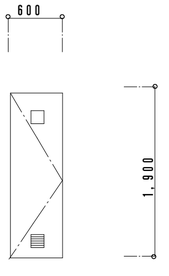


2階平面図 1／100

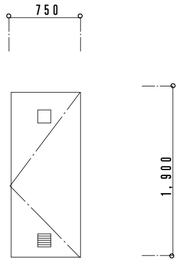
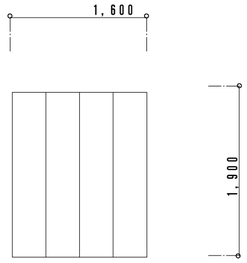
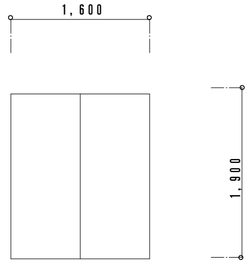
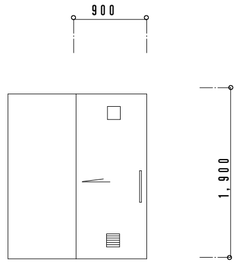
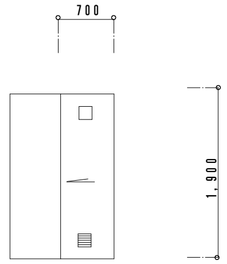
安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 改修キープラン 2	図面番号：DW NO. A－28
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮尺：SCALE 1：100（A－2）	

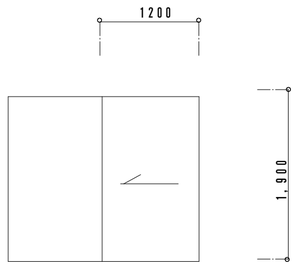
記号	数量	AW－1	16	AW－2	8	AW－3	1	AW－4	7	AW－5	4
図		1．92㎡ 		1．80㎡ 		3．84㎡ 		0．23㎡ 		2．25㎡ 	
形状	見込	引違窓	115	引違窓	115	断熱サッシュ（ビル用）	100	竪滑り出し	115	引違窓	115
材料		樹脂		樹脂		アルミ		樹脂		樹脂	
ガラス		透明トリプルガラス　LOW－E		透明トリプルガラス　LOW－E		透明トリプルガラス　LOW－E		透明トリプルガラス　LOW－E		透明トリプルガラス　LOW－E	
金物		縁戸　クレセント		縁戸　クレセント		丁番・CL／DC		縁戸　クレセント		縁戸　クレセント	
備考		APW430		APW430				APW430		APW430	

記号	数量	AW－6	5	AW－7	2	AW-8	1	AW-9	1	AW-10	1
図		2．11㎡  AW－5－2		4．81㎡ 		H40mmカット　6．42㎡ 		2．88㎡ 		1．17㎡ 	
形状	見込	引違窓	115		90	引違窓	90	引違窓	115	竪滑出し	115
材料		樹脂		樹脂＋アルミ		樹脂＋アルミ		樹脂		樹脂	
ガラス		透明トリプルガラス　LOW－E		透明トリプルガラス　LOW－E		透明トリプルガラス　LOW－E		透明トリプルガラス　LOW－E		透明トリプルガラス　LOW－E	
金物		クレセント		縁戸　クレセント		縁戸　クレセント		縁戸　クレセント		縁戸　クレセント	
備考				エピソード		エピソード		APW430		APW430	

記号	数量	WD－1	1	WD－2	4	WD－3	1	WD－4	1	WD－5	6
図		3．52㎡ 									
形状	見込	ランマ付引き違い戸	40	引き違い戸		引き違い戸		片開戸	40	片開戸	40
材料		ピーラー　オスモ		ピーラー　オスモ		ピーラー　オスモ		ピーラー　オスモ		メラミン化粧版	
ガラス		トーメーペアガラス		トーメーガラス 3 mm		トーメーガラス 3 mm		トーメーガラス 3 mm		型ガラス 4 mm	
金物		下レール　引手　シリンダー状		ハンガードア　引手　L450　鍵		ハンガードア　鍵		丁番（3）　レバーハンドル　DC　鍵		丁番（3）　レバーハンドル　DC　鍵	
備考		パッキン		下部　パネル				下部　パネル			

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 建具表　1	図面番号：DW　NO. A－29
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮尺：SCALE 1：50（A－2）	

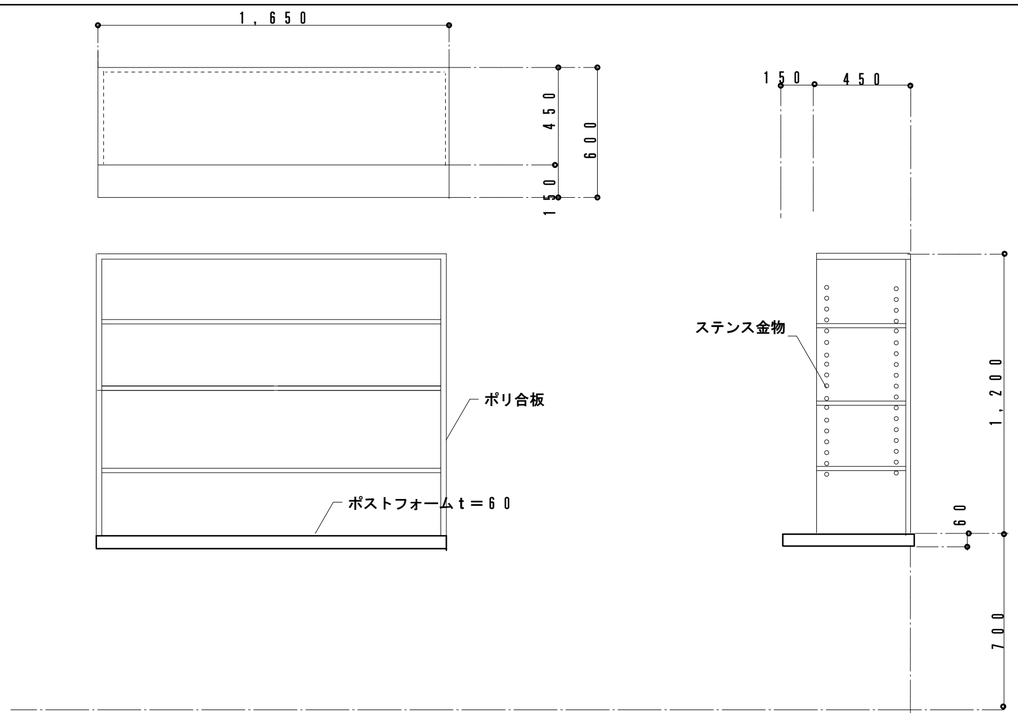
記号	数量	WD－6	3	WD－7	3	WD－8	2	WD－9	1	WD－10	2
図											
形状	見込	片開戸	40	折れ戸	40	引違戸	40	片引き戸	40	片引き戸	40
材料		メラミン化粧版		メラミン化粧版		メラミン化粧版		メラミン化粧版		メラミン化粧版	
ガラス		型ガラス4mm						型4mm		型4mm	
金物		丁番（3） レバーハンドル DC 鍵		レール 引手		引手 Mレール		引手 Mレール 表示錠		引手 Mレール 表示錠	
備考											

記号	数量	WD－11	1								
図											
形状	見込	片引き戸	40								
材料		メラミン化粧版									
ガラス		型4mm									
金物		引手 Mレール 表示錠									
備考											

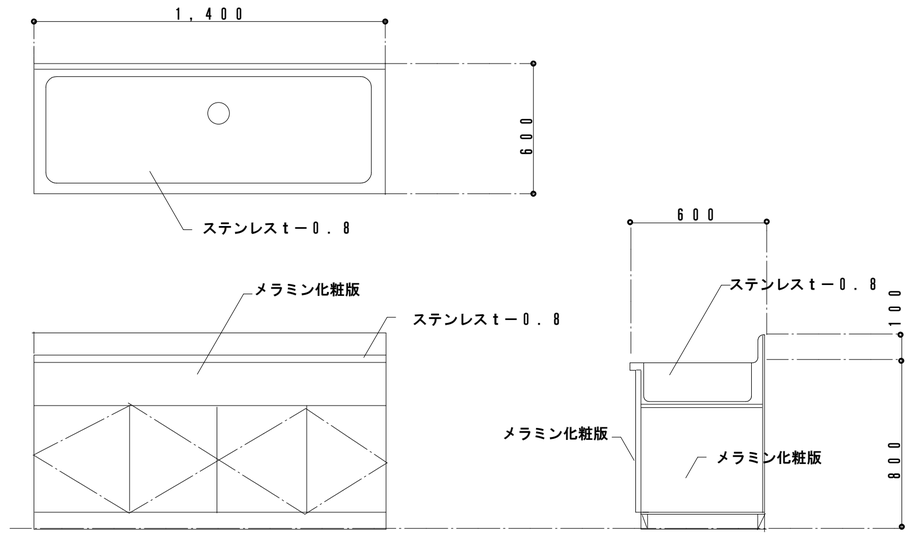
記号	数量										
図											
形状	見込										
材料											
ガラス											
金物											
備考											

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO.
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	建具表 2	A－30
						縮尺：SCALE 1：50（A－2） （A－3）	

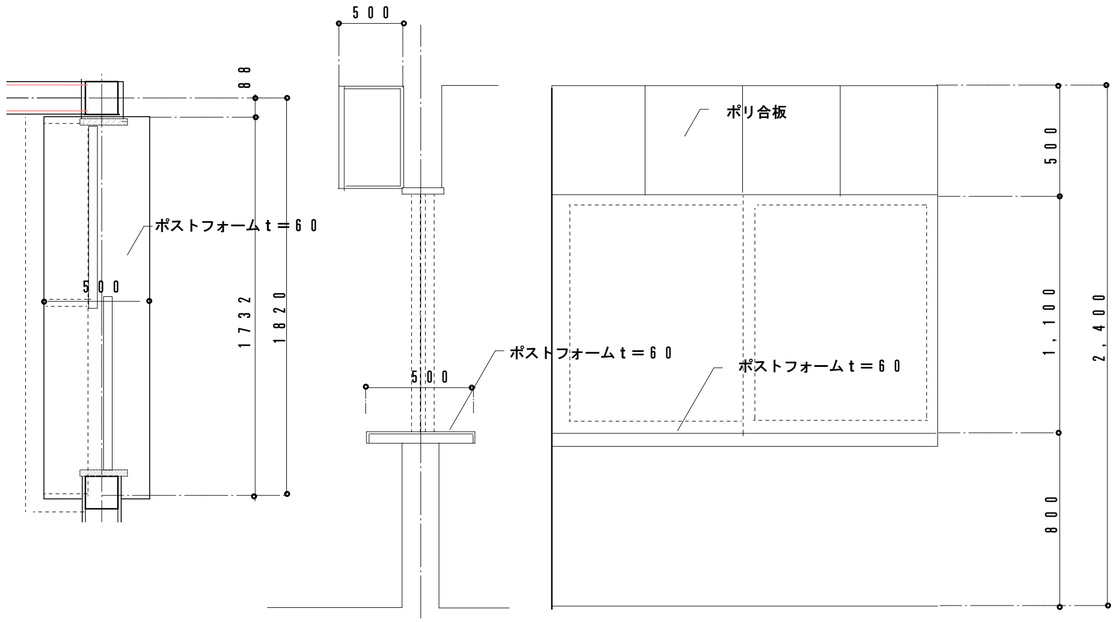
K－1　4



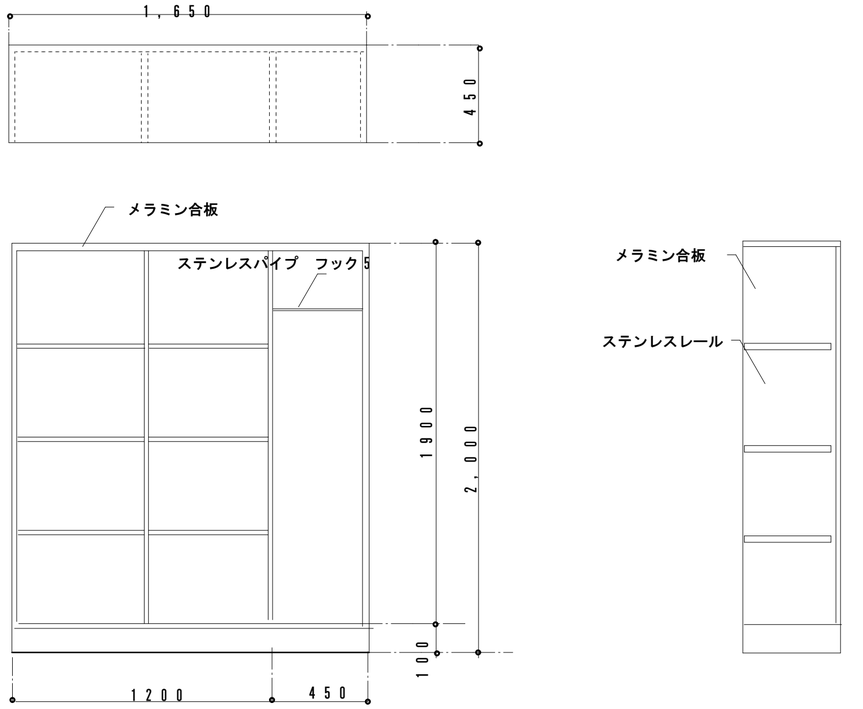
K－2　1



K－3



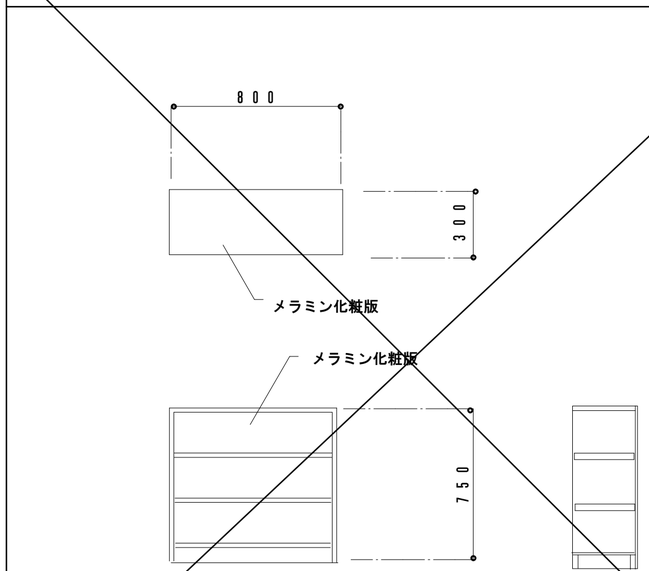
K－4　1



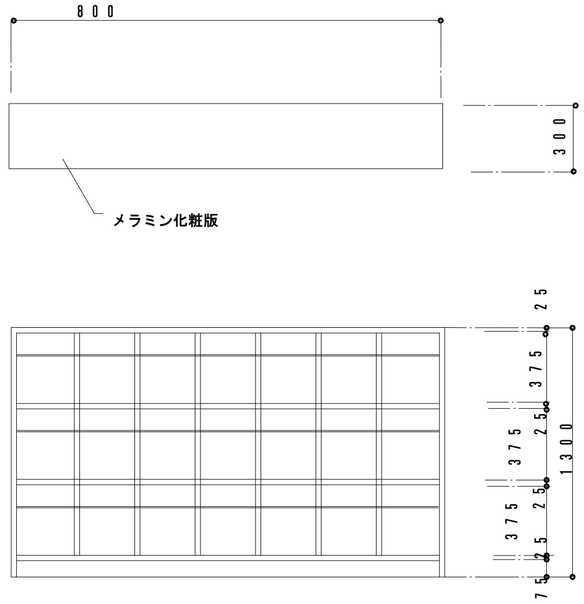
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.	
家具図　1	A－31	
縮尺：SCALE		
１：５０（A－２）		

K－5　1

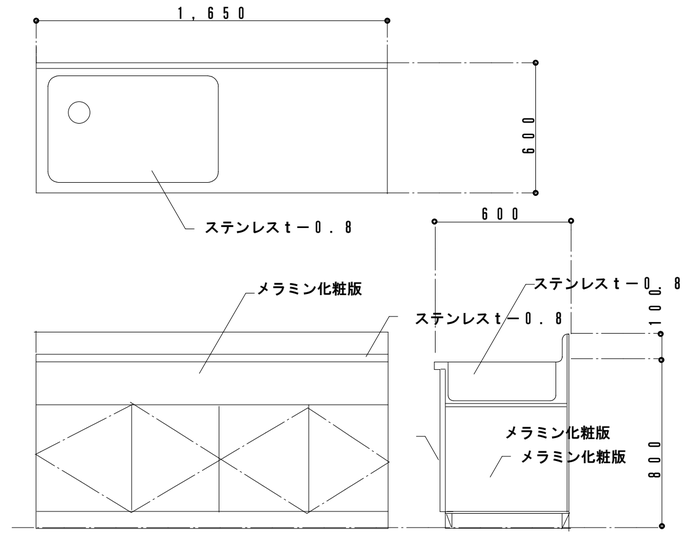


K－6　1

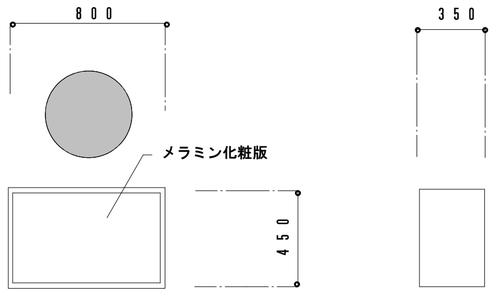


K－7　サンウェーブ既製品　2

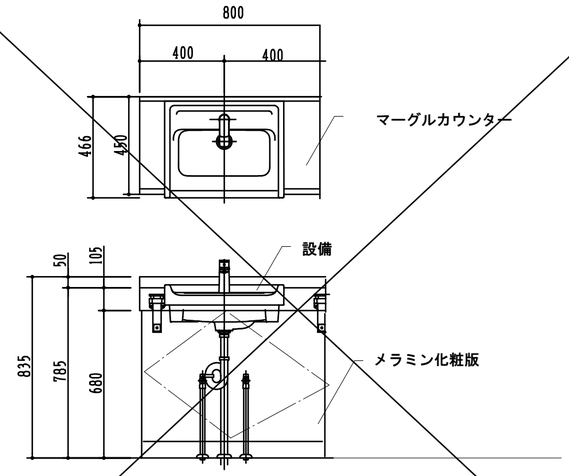
定価　１１５，０００円



K－8　2



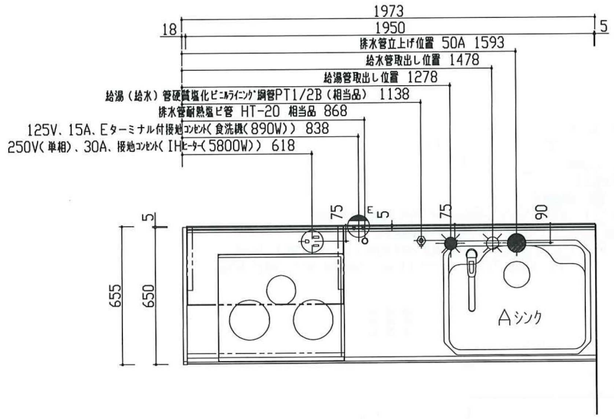
K－9　1

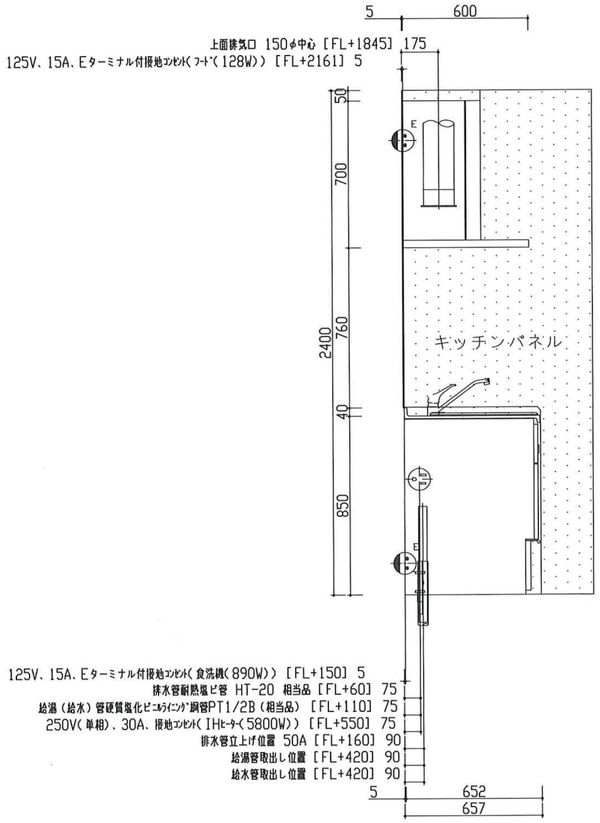


1

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA ２０２３．１２．２０	設計 製図 2024.1.24	検図 担当	承認印 承認年月日	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　耐震改修工事

図面名称：DW　NAME 家具図　2	縮尺：SCALE １：５０（A－２）	図面番号：DW　NO. A－３２





Toclas Kitchen Bb

トクラスキッチン Bb I型

鐘の鳴る丘集会所 改修工事

作成日：2023年11月10日 御見積 NO：JYQ4077K1

TOCLAS トクラスキッチン&リビング



トクラスの人造大理石

熱や衝撃、汚れに強くて、お手入れカンタンなら、いつもキレイをキープできます。


熱や衝撃に強くうっかり直置きしても安心

熱や衝撃に強い凛みと高い性能を備えています。


汚れに強くカンタンなお手入れで清潔に

調味料などの汚れが染み込みにくく毎日のお手入れはふき取るだけで清潔さを保てます。


ナイロンタワシでキズが修復できます

キズがつきにくく、万が一細かいキズがついてしまってもナイロンタワシで補修可能です。


カウンターから排水口まで"一体形状"

汚れのたまりやすい隙間や段差がないなめらかな形状なのでお手入れがカンタンです。

カウンター＆シンク

段差・隙間なしのなめらかさでお手入れのしやすさが魅力です。



とってもなめらか

カウンターとシンクのつなぎ目に隙間や段差がないので、汚れがたまる心配もありません。

排水部分もなめらか

排水部分はつなぎ目のない一体形状。お手入れが簡単です。

仕様一覧

シンクスペース



フロアスライド
ショックアブソーバー
包丁差し

食器洗い乾燥機



DP(銀はシルバー)
NP45R5KAA(パナソニック製)
浅型/色：ブラック
※写真はシルバーのためなりご選択色とは異なります。

食洗機スペース



食洗機組込みキャビネット
ショックアブソーバー
上段引出し有
（食器洗い乾燥機はイメージです）

IHヒーター



W600
2口IH+ラジエント
HT3G6ARX
（日立製）

コンロスペース



フロアスライド
ショックアブソーバー
・コンロ奥の引出し
※小引出しの個数は間口により異なります。

水栓金具



シングルレバー水栓
K87111JV/K0113TL
(SANEI製)

レンジフード



薄型フードASR/シルバー
H700用
ASR3A7527（R/L）SY

キッチンパネル LC

色未定 以下より お選びください

ラスタホワイト

ラスタベージュ

ケコミ同色仕上げ



フロア材と相性が良い、フロアスライド部分も同一仕上げ。

引出し底板



表面にEBコートを施した引出し底板はキズ・汚れに強く、油汚れもらいサビを簡単に落とせます。
※EBコート：表面の樹脂層を硬化させるコーティング技術

扉のお手入れ



扉の表面に、コート加工を施し、油汚れも内部に浸透させることがなく、サッと拭き取るだけで簡単にお手入れできます。

選択色

※1 現在選択中の色を□（赤枠）で囲んでいます。
※2 色を未選択の場合や色変更は、表示している色よりお選びください。

扉

色未定

Dシリーズ：フローズンホワイト／ミッドナイトブルー／コーラルピンク／ワインレッド／サフランイエロー／フォレストグリーン
Sシリーズ：ベーシックホワイト／シルクホワイト
Qシリーズ：グロウホワイト／グロウミディアム／グロウダーク
Nシリーズ：ペールメープル／ライトオーク／ミディアムオーク／ダークウォルナット
Yシリーズ：リファインドホワイト／リファインドモカ
Zシリーズ：グレーストーン／ダークレザー／エイジングゴールド

取手

バー取手 シルバー／バー取手 ブラック／ライン取手 シルバー

カウンター

ニューグラーナ 色未定 ニューグラーナホワイト

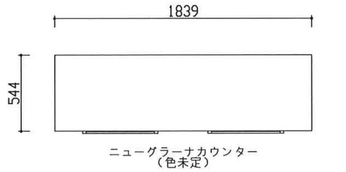
シンク

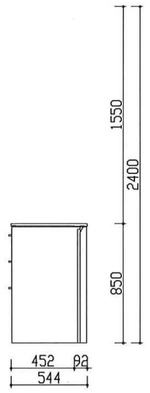

Aシンク

色未定／ソルベブルー／シックベージュ／ライムグリーン／ピーチピンク／ホワイト／カフェベージュ／グレー

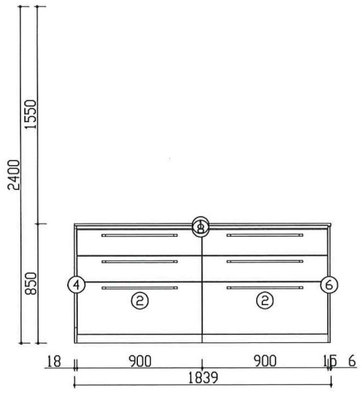
■画像は全てイメージであり実物の色や仕様と異なります。実際の商品見本をご確認いただくことをお勧めいたします。 ■ご注意：仕様一覧は主要部材のみの掲載につき、詳細は御見積明細書にてご確認ください。

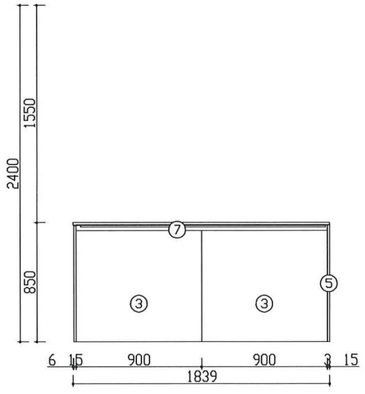
安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO.
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	システムキッチン 1	A－33
						縮尺：SCALE 1：100（A－2）	





レイアウト展開図D



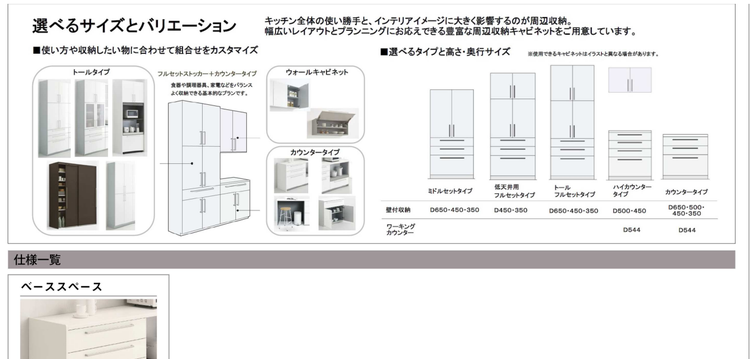


レイアウト展開図C



※ＣＧによるイメージのため、実際の色や仕様とは異なります。





仕様一覧

ベーススペース

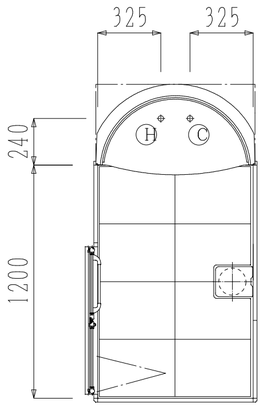


3段引出し

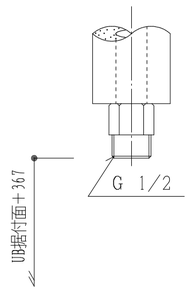
ＪＳＶ０８１６Ｘ配管接続部詳細図

＜設備業者様へ＞
ユニット設置前に給水・給湯管および雑排水管を所定の位置に立ち上げておいて下さい。

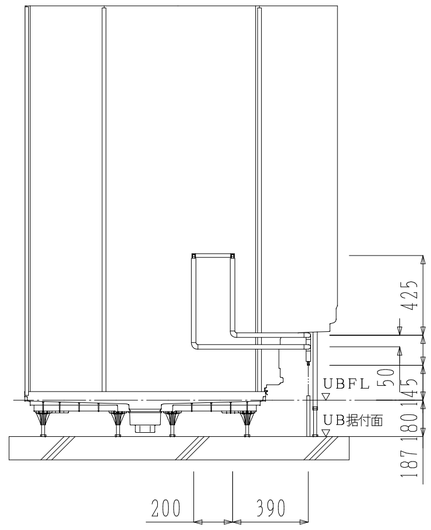
給水・給湯管の接続について

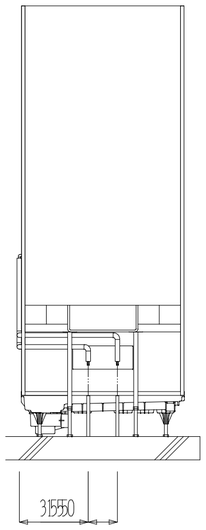


給水・給湯管平面位置図



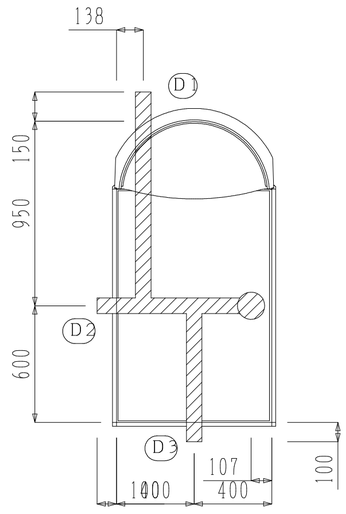
接続部詳細





配管取合図

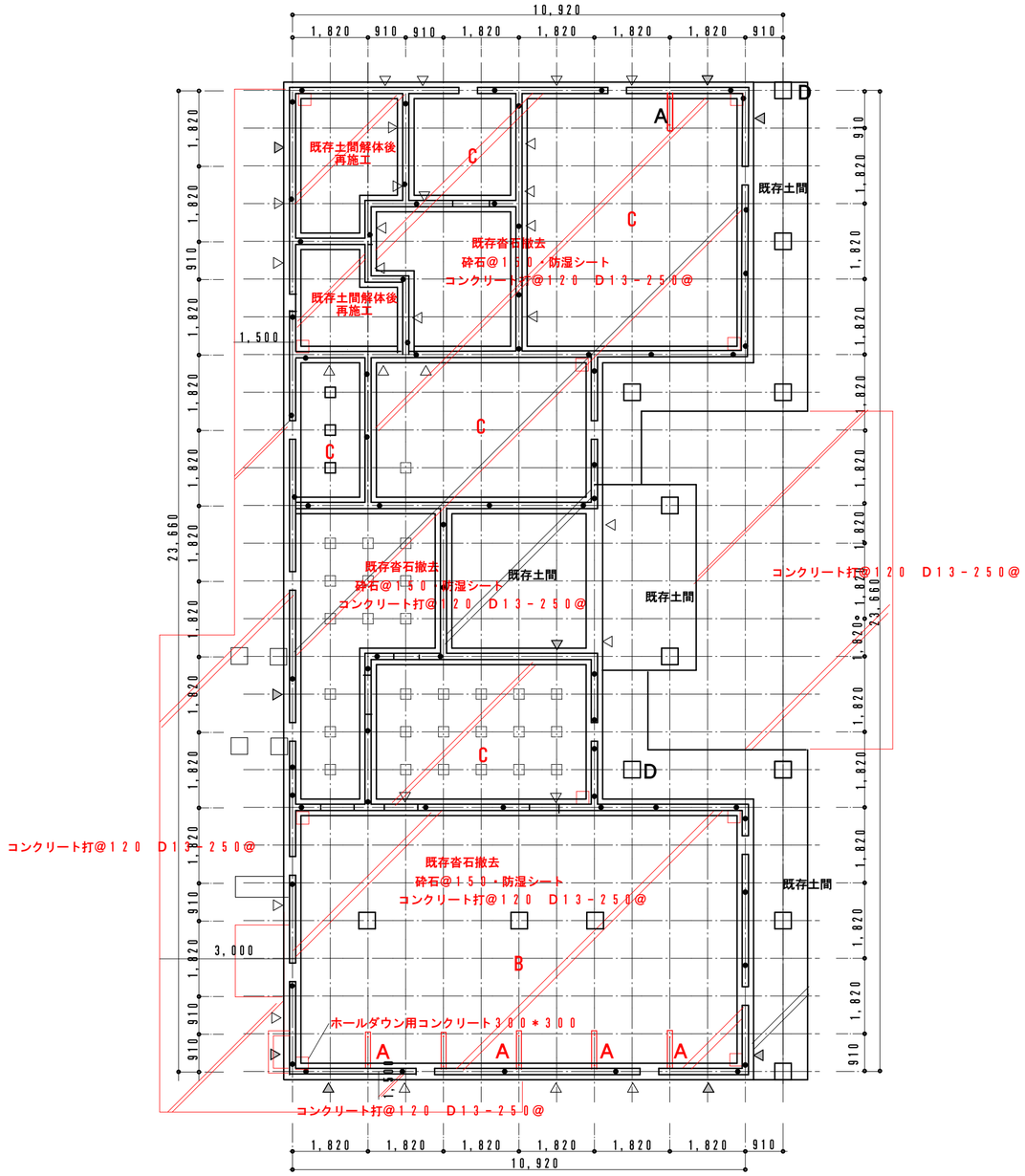
雑排水管の接続について

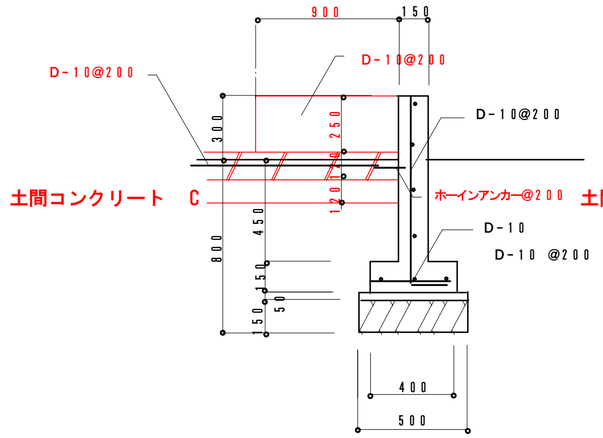


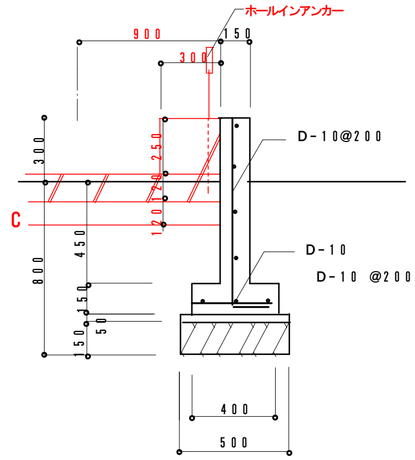
雑排水管抜き方向	UB据付面からの高さ
D1	51
D2	68
D3	64

※　上記の取り出し高さはUB据付面～UBFLまで１８７mmの場合を示します。

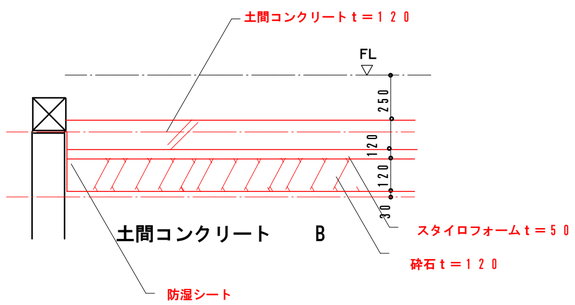
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME シャワーユニット	図面番号：DW　NO. A－35
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮尺：SCALE （A－2）	



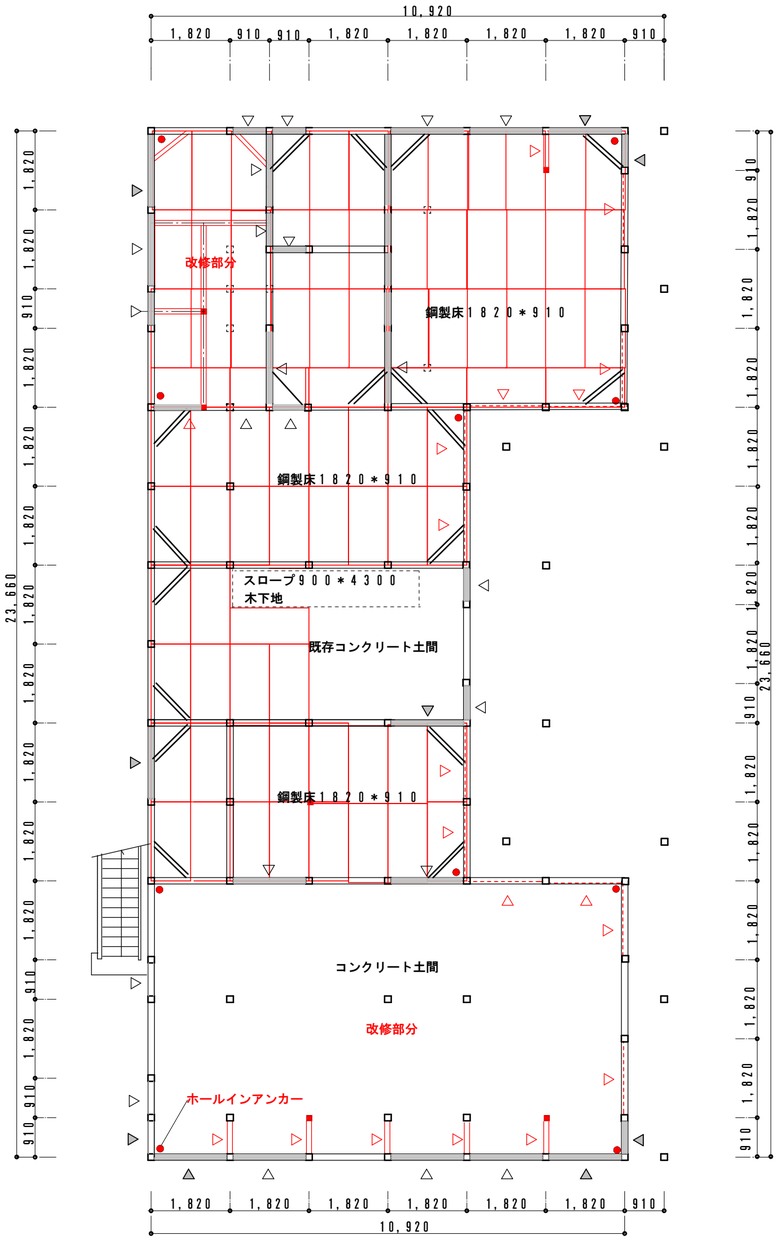




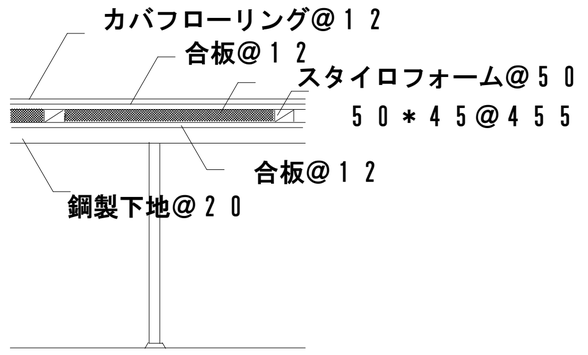
一般布基礎　A



安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：ＤＡＴＡ	設計	検図	承認印	工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ 改修基礎伏図	図面番号：ＤＷ　ＮＯ． Ａ－３６
		製図 ２０２４．１．２４	担当	承認年月日		縮尺：ＳＣＡＬＥ １：１００（Ａ－２）	



土台	１５０＊１５０	
大引	１２０＊１２０	撤去
根太	５４＊７５@３０３	撤去
根太掛	９０＊４０	撤去
火打土台	４５＊９０	



安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：ＤＡＴＡ

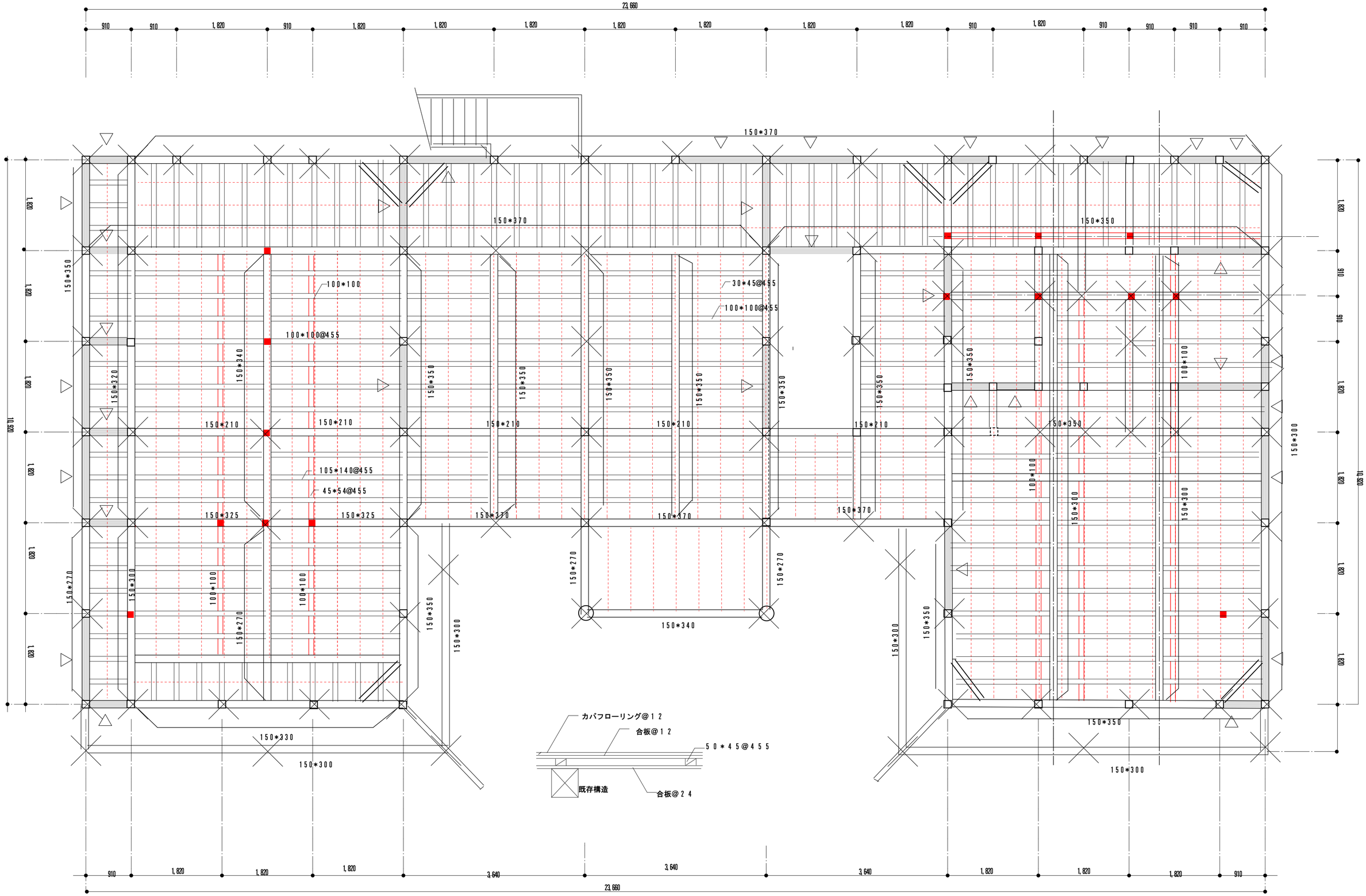
設計	検図	承認印
製図 2024.1.24	担当	承認年月日

工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ
令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

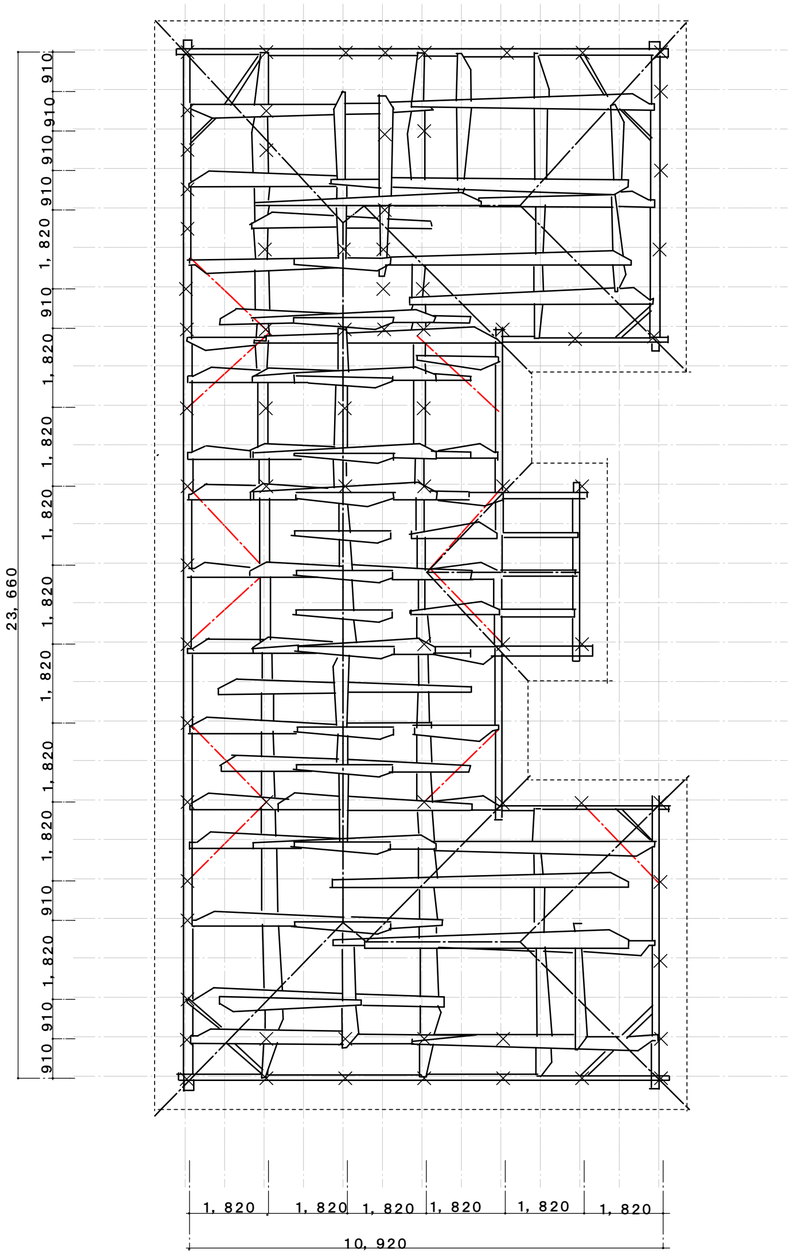
図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ
改修１階床伏図

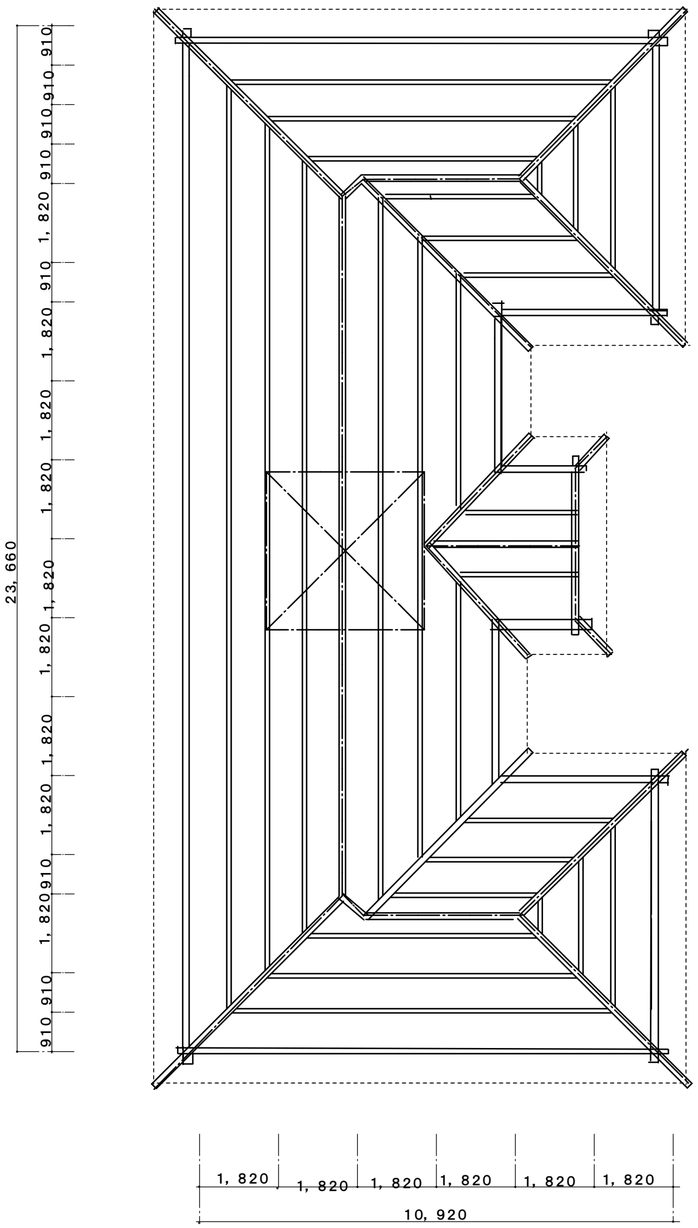
縮尺：ＳＣＡＬＥ
１：１００（Ａ－２）

図面番号：ＤＷ　ＮＯ．
Ａ－３７



安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 改修 2階床伏図
		製図 2023.7.18	担当	承認年月日		縮尺：SCALE 1：50 (A-2)
						図面番号：DW NO. A—38





桁	１５０＊２４０
小屋梁	丸太梁
母屋	１５０＊１８０
棟木	１５０＊１８０
梁	１５０＊１８０
火打梁	１０５＊１０５
タルキ	５４＊７５@４５５

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：DATA
2023.12.21

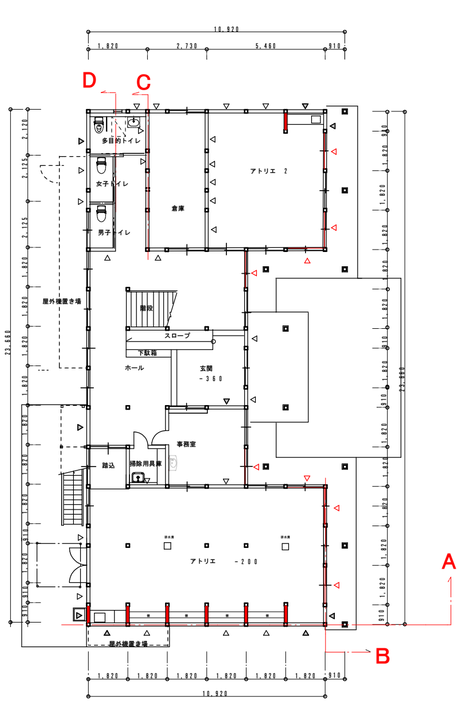
設計	検図	承認印
製図 2024.1.24	担当	承認年月日

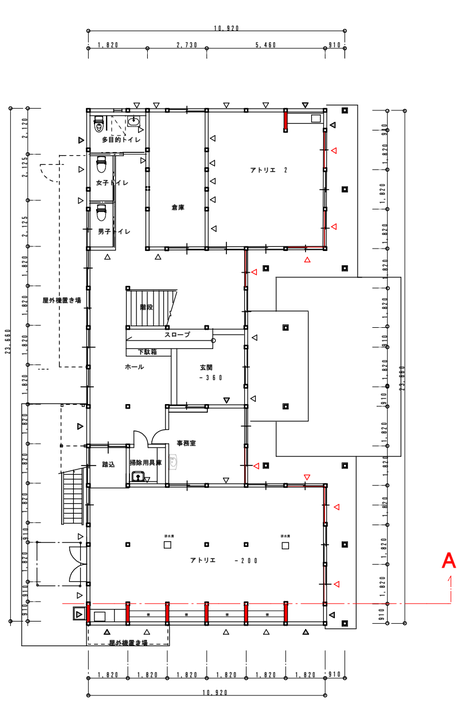
工事名称：PR　NAME
令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

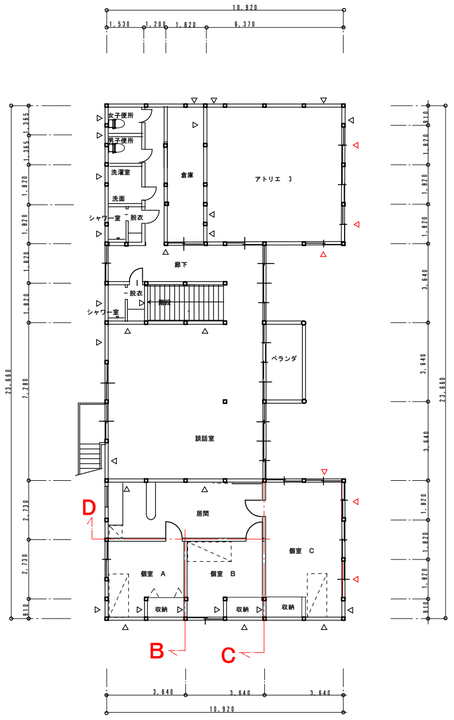
図面名称：DW　NAME
改修小屋伏図

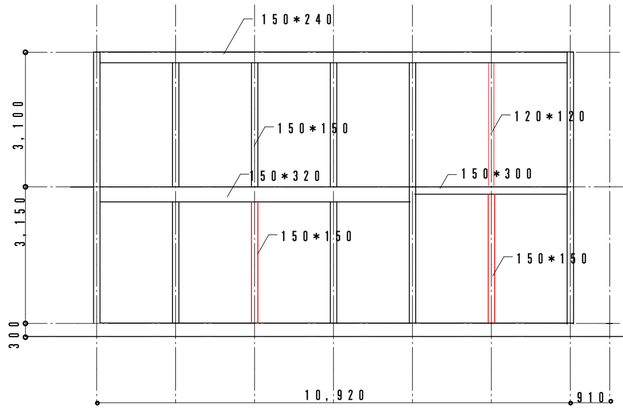
縮尺：SCALE
１：１００（A－２）

図面番号：DW　NO.
A－39

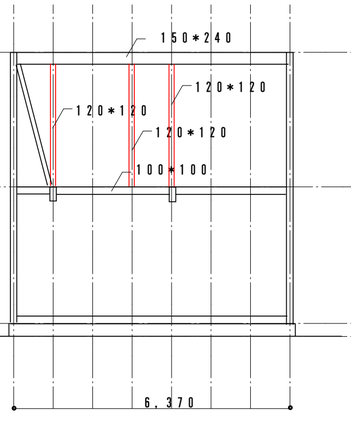

D
C
A
B
多目的トイレ
女子トイレ
男子トイレ
倉庫
アトリエ 2
屋外機置き場
階段
スロープ
下駄箱
ホール
玄関
-368
事務室
踏込
掃除用具庫
アトリエ -288
屋外機置き場
10,920
1,820
2,730
5,460
910
23,660
1,120
1,820
1,820
1,820



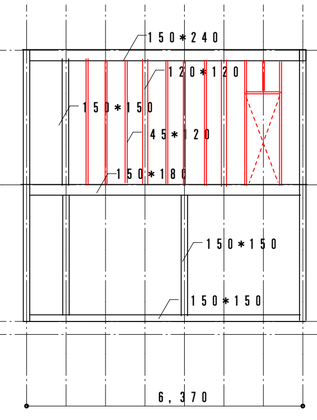




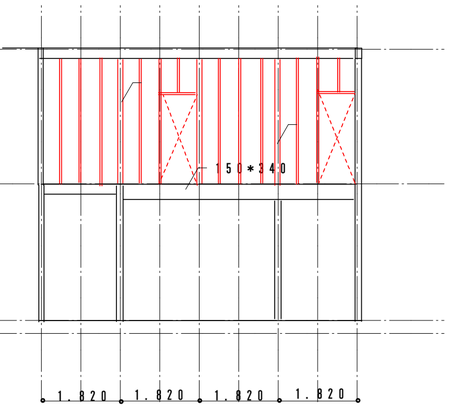
A 軸組 1／100



B 軸組 1／100



C 軸組 1／100



D 軸組 1／100

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 軸組 2
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮R：SCALE 1／100（A－2）

図面番号：DW NO. A－41

HP評価(木)-13-005-2

8 オメガ オメガメタルブレース〈壁用〉

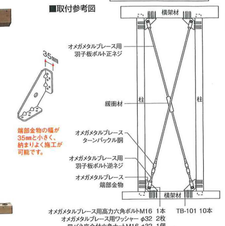
建築基準法施行令第45条第1項に定める「接合具（径9mm以上の釘類）」相当

ハウスプラス増設検査(株)
HP評価(木)-13-005-2

新築時：壁倍率2.0倍
リフォーム時：壁基準耐力3.2kN/m



■取付参考図





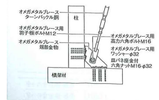




ハウスプラス確認検査(株)評価を受けています。

本商品は建築基準法施行令第45条第1項に定める「接合具（径9mm以上の釘類）」に相当する部位を含む部分について、あらかじめ、国が建築基準法施行令第47条第1項に基づく告示「平成12年建設省告示1460号」第一号に定める耐力を満たすことの評価を受けています。

■端部金物



■端部金物の取付範囲





※床合板(厚さ30mm以下)の上に使用する場合、設置いの専用ホゾピンTBA-120を床合板側に施工してください。

用途・特長

新築・リフォームの耐震補強に最適です。
①壁内にたすき掛けで施工することにより壁倍率2.0倍を確保できる鋼製ブレースです。
②端部金物も専用ビスのみでの取り付けになるため、既存の柱や横架材への加工は最小限に抑えられます。
③既存壁の内側、外側どちらからでもはがすだけで取り付けが可能なため、作業が最小限に抑えられます。
④床合板（厚さ30mm以下）の上に使用する場合は別売りの専用角ビスHCTBA-120を床合板側に施工してください。
⑤ハウスプラス確認検査(株)による評価を受けています。

施工方法

①壁の四隅それぞれにオメガメタルブレース端部金物を柱と横架材との接合部に位置を合わせ、専用角ビスHCTB-101を柱側に5本及び横架材側に5本ずつ合計10本ずつ止めてください。
②端部金物のボルト孔芯−芯のすき法をそれぞれ計測します。
③ブレースセットを組んで1本の鋼製ブレースにして長さを合わせます。(2本)
④ブレース交差部の金属管長調のための鋼製材をどちらか片方のブレースの中央にセットします。
⑤端部金物のボルト孔にブレースのボルト孔を合わせ、ワッシャーを介して、六角ボルトをナットで手で締め仮、工具で締め付けます。(2本)
⑥それぞれのターンバックル部を手で締め付けた後、工具で締め付けます。(規準トルク10N・m)
⑦それぞれのターンバックル部の両側のナットを工具で締め付けて完了です。

使用上の注意

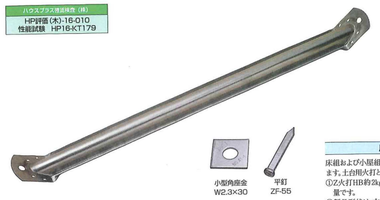
- 金物工法において、オメガメタルブレース端部金物が梁受け金物及びホゾパイプと干渉する部分には使用できません。
- 壁内にボルト【たすき掛け】で使用してください。
- 「オメガメタルブレース用」以外のブレースや筋部金物を組み合わせて使用しないでください。
- 柱頭柱脚金物は平成12年建設省告示1460号に従って確実に施工してください。
- 柱間隔や柱長さが適用範囲を超える6mについては評価外となり使用できません。
- 壁木、木材のフシ部分への施工の際は、下穴をあけてから込んでください。

HP評価(木)-16-010

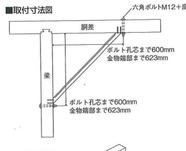
性能試験実

113 オメガ オメガ火打600 ボルトタイプ

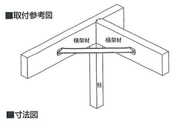
ハウスプラス確認検査(株)
HP評価(木)-16-010
性能試験 HP16-KT179



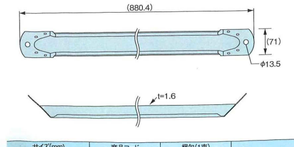
■取付寸法図



■取付参考図



■寸法図



サイズ(mm)	商品コード	梱包(1束)	付属金物	重量(kg/1束)
71×880.4×1.6(t)	AA106600	5本	5本分小袋 小型角座金 W2.3×30(10枚)　平釘 ZF-55(40本)	6.0
材質	JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)構造用 SGH490		表面処理	溶融亜鉛めっき鋼板(Z27)

用途・特長

床組および小屋組の隅角部の補強として使用します。土台用火打としても使用できます。
①Z火打HB約2kgに対し当商品は約1.2kgと軽量です。
②製品形状はプレス加工による一体成型により、軽量にして必要十分な強度を確保しました。
③ふんどりすき法が600mmのため、Z火打に比べ納まりがコンパクトになります。
④ハウスプラス確認検査(株)により、Z火打HBと同等以上の耐力を有する火打材として評価された商品です。



施工方法

①隅角部の取り合う材の面から600mmの位置に墨付けをし、ボルト孔(φ15以下)をあけてください。
②火打本体のボルト孔を木材のボルト孔に合わせて六角ボルトM12および座金(別売品)に小型角座金(付属品)を介して締め付けてください。(小型角座金は火打金物の座面の傾に使用します。)
③付属の平釘ZF-55をハンマーで釘孔に打ち込み固定してください。

注意事項

●指定の用途以外には使用しないでください。
●けが防止のため手袋等をはめて作業を行ってください。
●仮止めの状態、または取り付けた状態で木床に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
●高所作業をする場合は、安全帯を着用して施工してください。

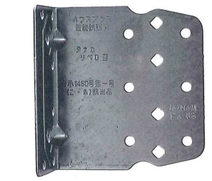
NEW

三 木

28 オメガ 2倍筋かい〈リベロⅢ〉

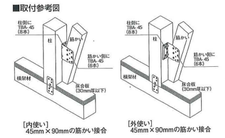
内使い対応　床合板対応　告示1460号 第一号(二)(ま)　性能試験済

リベロⅡが進化！ 薄くて軽く、さらに使いやすくなりました





■取付参考図

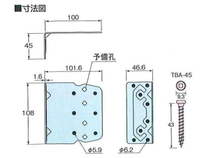


[内使い]
45mm×90mmの筋かい接合

[外使い]
45mm×90mmの筋かい接合

[内使い]
90mm×90mmの筋かい接合

■寸法図





[外使い側　床合板有り]

用途・特長

45mm×90mm以上の筋かい(壁倍率2倍)及び90mm×90mm以上の筋かい(壁倍率3倍)の端部を接合するときに使用します。
①板厚1.6mmの高張力鋼の採用とリブ補強により、耐力を確保しながら軽量化を実現しました。
②L上の形状で、横架材から離れた位置で筋かいを固定するため、柱頭柱脚金物との干渉を軽減します。
③床合板(30mm厚以下)の上に筋かいを固定するときに最適です。
④金物の形状が対称になっているため、筋かいの上下左右に区別なく取り付けができます。
⑤釘打ちにより、真壁和室側への下地を避けられます。
⑥ハウスプラス確認検査(株)による接合部金物試験済み商品です。

施工方法

①金物本体は、専用角ビットビスTBA-45(6本)で柱に取り付けてください。(横架材または床合板の上端から金物までの距離は、90〜170mmの間を目安に調整します。)
②筋かいをセットし、専用角ビットビスTBA-45(6本)でとめ付けてください。(金物の筋かい面に角孔を4箇所設置しておりますので、筋かいの端を置ける場合や金物の取り付け位置によってビスが丸孔に施工できない場合にご使用ください。)
※専用角ビットビスTBA-45の締め付けには専用角ビットビス(別売品・差込長さ110mm以上)をご使用ください。(P162)

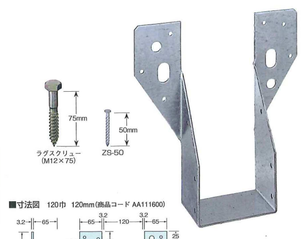
注意事項

●指定の用途以外には使用しないでください。
●けが防止のため手袋等をはめて作業を行ってください。

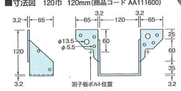
サイズ(mm)	商品コード	梱包(1ケース)	付属金物	重量(kg/ケース)
45.6×108×101.6×1.6(t)	AA109300	50個	専用角ビットビス TBA-45 (700本)	13.3
材質	JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) SGH490またはSGC490		表面処理	溶融亜鉛めっき鋼板 (Z27)

※2仕様あり(リベロIIの機能を継了しました。

124 オメガ 梁受け金物(ツメなし)



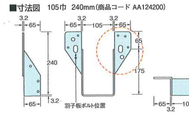
■寸法図　120巾　120mm(商品コード AA111600)



■拡大図



■寸法図　105巾　240mm(商品コード AA124200)



※寸法図・金物形状は種類により異なりますので別誌お問い合わせください。CSセンター 0120-558-313

105巾 種類	105巾 商品コード	105巾 重量(kg/ケース)	120巾 種類	120巾 商品コード	120巾 重量(kg/ケース)	梱包(1ケース)	付属金物 ラグスクリュー(M12×75)	付属金物 スクリュー釘(ZS-50)
105巾×105用	AA110500	8.1	120巾×105用	AA111500	8.4	10個	20本	100本
105巾×120用	AA110600	8.4	120巾×120用	AA111600	8.7		20本	100本
105巾×150用	AA110700	9.2	120巾×150用	AA111700	9.5		20本	120本
105巾×180用	AA110800	10.1	120巾×180用	AA111800	10.4		20本	80本
105巾×210用	AA121200	11.3	120巾×210用	AA121300	11.6		20本	100本
105巾×240用	AA124200	12.4	120巾×240用	AA124300	12.7		20本	120本
105巾×270用	AA127200	13.3	120巾×270用	AA127300	13.6		20本	140本
105巾×300用	AA130200	15.1	120巾×300用	AA130300	15.4		20本	200本
105巾×330用	AA133200	16.7	120巾×330用	AA133300	17.0		40本	180本
105巾×360用	AA136200	18.3	120巾×360用	AA136300	18.7		40本	240本
105巾×390用	AA139200	2.4/個	120巾×390用	AA139300	2.4/個		8本/個	14本/個
105巾×420用	AA142200	2.7/個	120巾×420用	AA142300	2.8/個		12本/個	18本/個
材質	JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)SGHCまたはSGCC			表面処理	溶融亜鉛めっき鋼板(Z27)			

SB2-10A02-01、SB2-10A02-02、SB2-10A01-02、SB2-10A01-03

73 オメガ ビスどめホールダウンU

U字型ホールのクリアランスにより使い易くカラーシールで耐力確認が一目でわかる定番のビスどめホールダウン金物です。

壁倍率換算	
告示1460号第一号(二)(ま)相当	
15kN用短期許容引張耐力	15.7kN
20kN用短期許容引張耐力	21.0kN
25kN用短期許容引張耐力	28.7kN
35kN用短期許容引張耐力	35.4kN

性能試験(隅柱型30kN用2個使い)

ハウスプラス確認検査(株)
性能試験 HP20E-KT041
短期基準接合耐力 57.0kN

特許取得商品





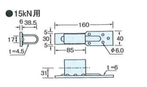
■ビスどめホールダウンU15kN用及び20kN用は、本体下部の出が30mmと長くなっているため、基礎いまたは基かい金物との干渉を最小限に抑えられます。



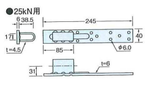
■ビスどめホールダウンU25kN用は、スマック表示金物(S-HD)にエンコントラを設計ですので、10kNから25kNの引き抜き耐力が必要な柱にこれ1種類で使用することも可能です。

■寸法図

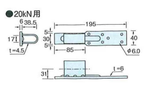
●15kN用



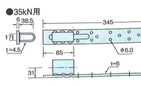
●25kN用



●20kN用



●35kN用



TBA-65

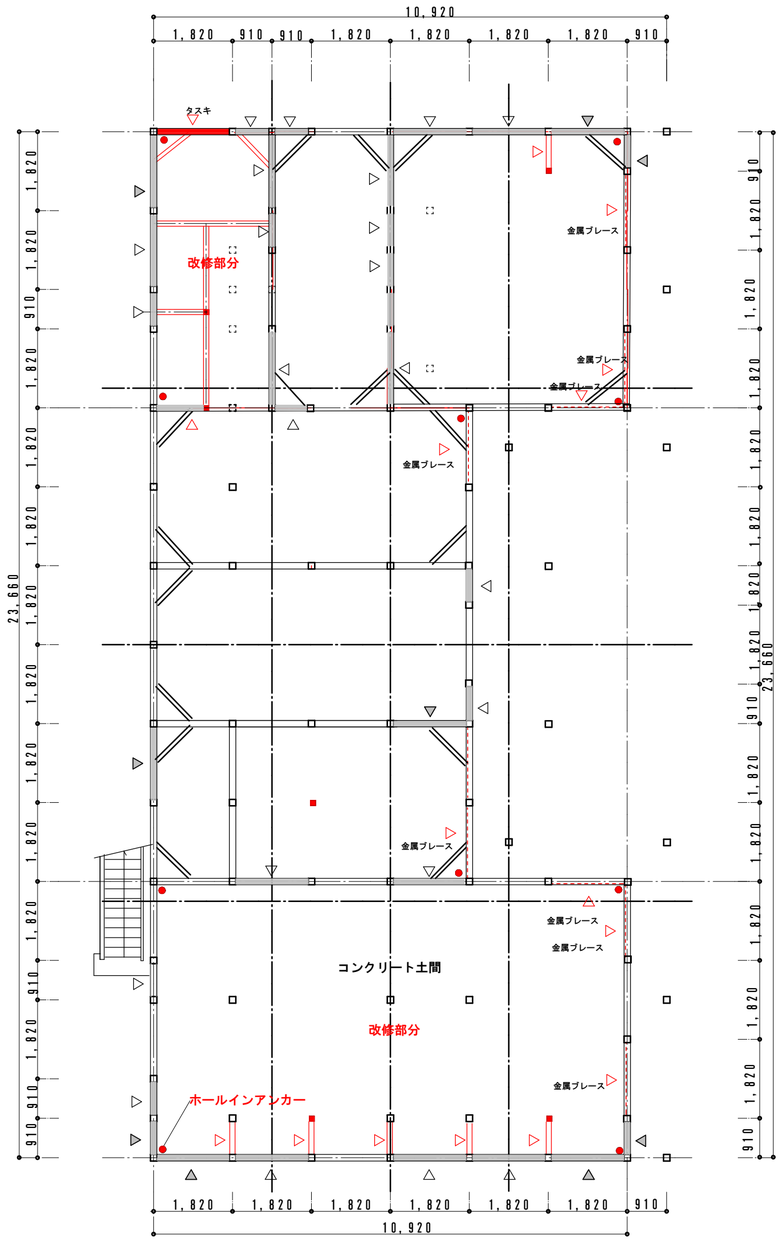


種類	サイズ(mm)	商品コード	梱包(1ケース)	付属金物	重量(kg/ケース)
15kN用	40×160×6.0(t)	AF404600	30個	専用角ビットビス TBA-65(150本) M16用平ワッシャー(30枚)	14.8
20kN用	40×195×6.0(t)	AF414600		専用角ビットビス TBA-65(210本) M16用平ワッシャー(30枚)	17.3
25kN用	40×245×6.0(t)	AF424600	25個	専用角ビットビス TBA-65(250本) M16用平ワッシャー(25枚)	18.3
35kN用	40×345×6.0(t)	AF434600		専用角ビットビス TBA-65(375本) M16用平ワッシャー(25枚)	23.3
材質	JIS G 3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)SPHC		表面処理	エコート®WH処理	

[エコート®WH処理]は、NOFメタルコーティングス(株)の登録商標です。

主な金物を示す（その他一般かなものも使用）

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
		製図 2024．1．24	担当	承認年月日	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	金物	A－42
						縮尺：SCALE （A－2）	



筋違 ９０＊４５　　係数２

筋違タスキ　　９０＊４５　係数４

筋違タスキ　９０＊４５　　係数４

金属ブレース　係数２

X方向（１階）　床面積より　２１８．００＊３３＝７１９４

風圧より　６８．００＊５０＝３４００

必要筋違量　７１９４

筋違量（１階）　１８２＊４＊５＝３６４０　９１＊２＊４＝７２８　１８２＊２＊８＝２９１２

７２８０

７２８０ ＞７１９４ ＯＫ

必要壁量（１／４）２３．６６＊１０．９２＊１／４＊３３＝２１３２

１／４（上部）　２＊２＊９１＋４＊１８２＊２＋＋１８２＊２＊２＝２５４８

２５４８ ＞２１３２ ＯＫ

必要壁量（１／４）２３．６６＊１０．９２＊１／４＊３３＝２１３２

１／４（下部）　１８２＊４＊２＋１８２＊２＊４＋＝２５４８　　２５４８ ＞ ２１３２ ＯＫ

Y方向（１階）　床面積より　２１８．００＊３３＝７１９４

風圧より　８０．３７＊５０＝４０１８．５

必要筋違量　７１９４

筋違量（１階）１＊４＊４＋１８２＊９＊２＋１８２＊４＊３＋９１＊２＊１０＝７２８０

計　７２３８

７２８０ ＞ ７１９４　　ＯＫ

必要壁量（１／４）　１０．９２＊１／４＊２３．６６＊３３＝２１３１

１／４（左）９１＊２＊４＋１８２＊４＊１＋１８２＊２＊３＝２５４８　　計　２５４８

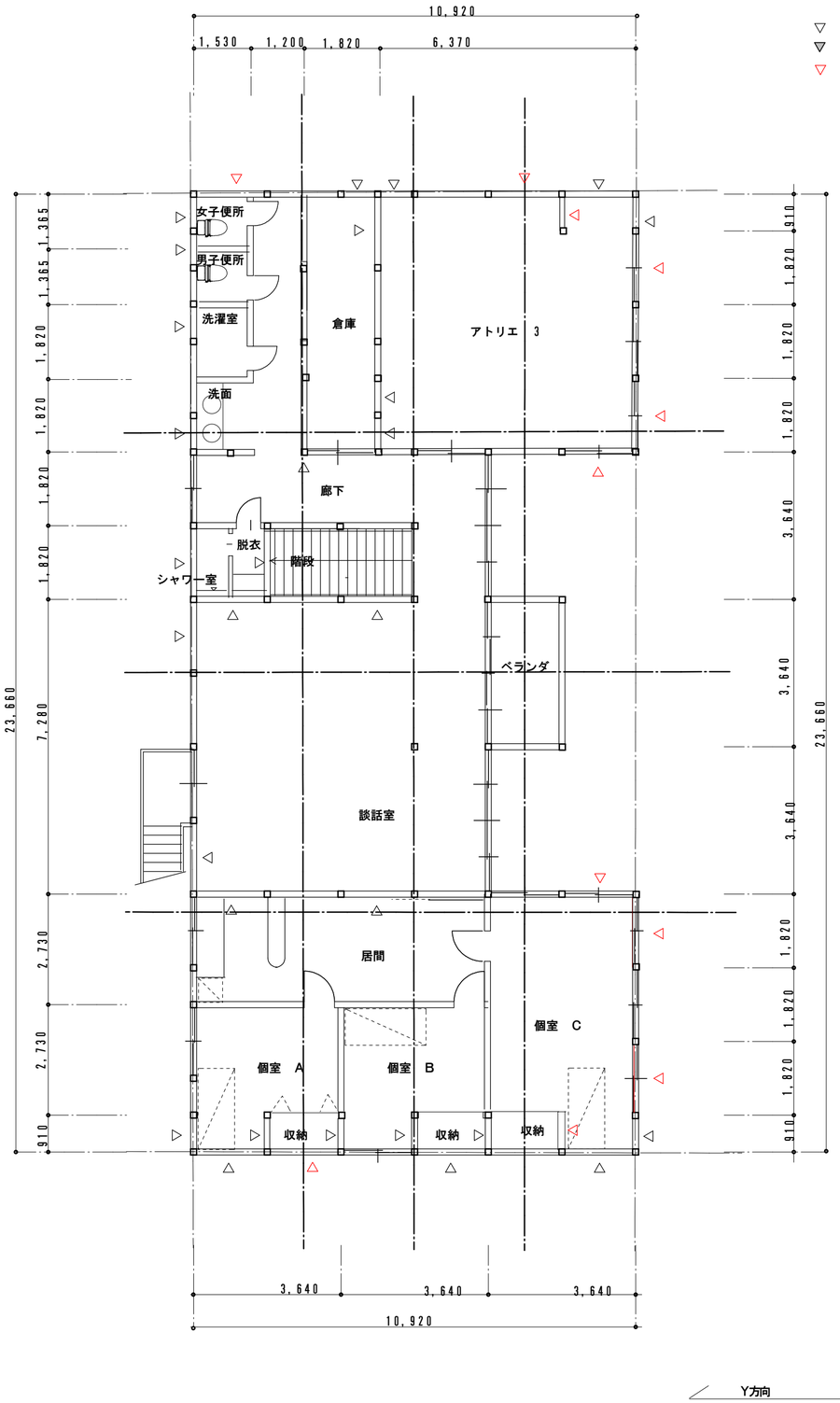
２５４８ ＞ ２１３１　ＯＫ

必要壁量（１／４）　６．３７＊１０．９２＊１／４＊３３＝５７４

１／４（右）　９１＊４＊２＋１８２＊２＊５＝２５４８

２５４６ ＞ ５７４　ＯＫ

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：ＤＡＴＡ	設計	検図	承認印	工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ 改修１階筋違計算書	図面番号：ＤＷ　ＮＯ． Ａ－４３
		製図 ２０２４．１．２４	担当	承認年月日		縮Ｒ：ＳＣＡＬＥ １：１００（Ａ－２）	



筋違 ９０＊４５　係数２

筋違タスキ　９０＊４５　係数４

筋違タスキ　９０＊４５　係数４

金属ブレース　係数２

X方向（２階）	床面積より	２１８．００＊２１＝４５７８
	風圧より	６８．００＊５０＝３４００
	必要筋違量	４５７８
	筋違量（２階）	１８２＊２＊１３＝４７３２
		４７３２＞４５７８　OK
	必要壁量（１／４）	２３．６６＊１０．９２＊１／４＊２１＝１３５６
	１／４（上部）	１８２＊２＊４＝１４５６
		１４５６ ＞１３５６ OK
	必要壁量（１／４）	１０．９２＊１／４＊６．３＊２＊２１＝１３５６
	１／４（下部）	１８２＊２＊４＝１４５６
		１４５６ ＞ １３５６ OK
Y方向（２階）	床面積より	２１８．００＊２１＝４５７８
	風圧より	８０．３７＊５０＝４０１８．５
	必要筋違量	４５７８
	筋違量（１階）	９１＊２＊１３＋１８２＊２＊７＝４７３２
		４７３２ ＞ ４５７８　OK
	必要壁量（１／４）	１０．９２＊１／４＊２３．６６＊２１＝１３６５
	１／４（左）	９１＊２＊６＋１８２＊２＊３＝２１８４
		２１８４ ＞１３５６　OK
	必要壁量（１／４）	６．３７＊１０．９２＊１／４＊２＊２１＝７３０
	１／４（右）	１８２＊２＊７＝２５４８ ＞ ７３０　OK

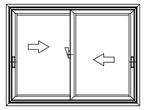
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　耐震改修工事	改修２階筋違計算	A－44
						縮R：SCALE 1：100（A－1）	

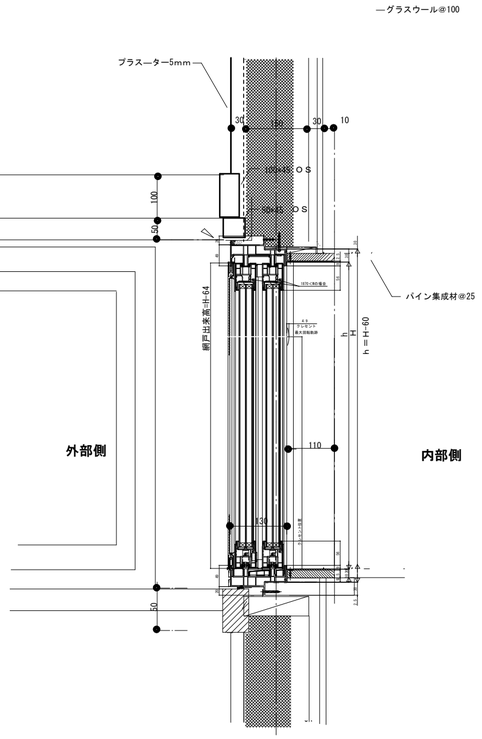
APW430

■引違い窓 クレセント仕様

●アングル付
●窓額縁納まり

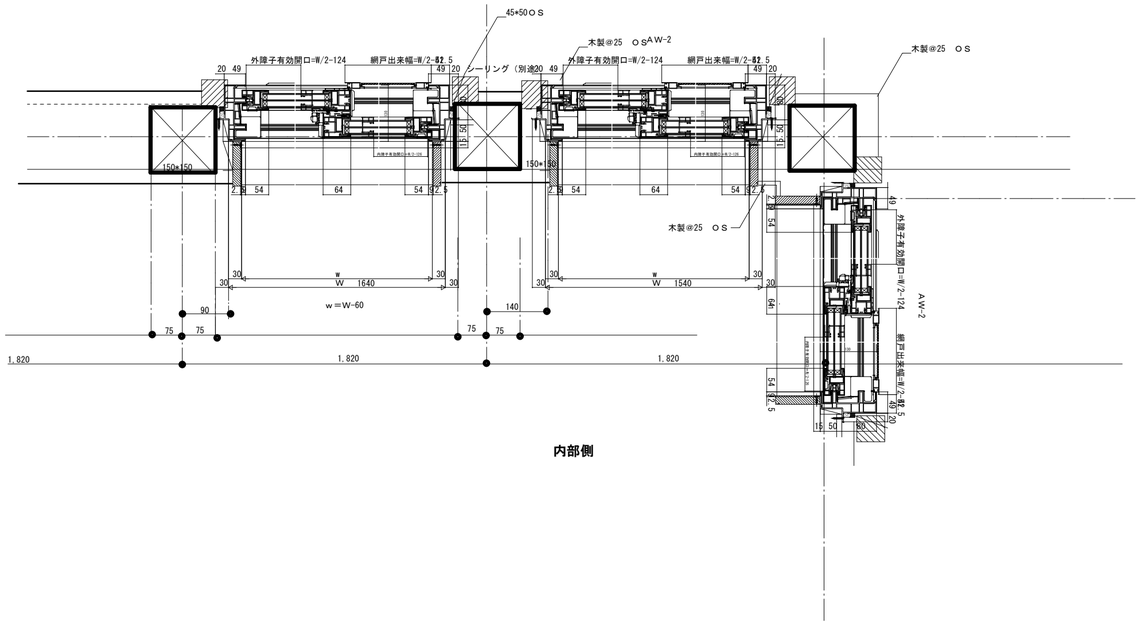
内観姿図





サッシュ　断面詳細図　1／10

外部側



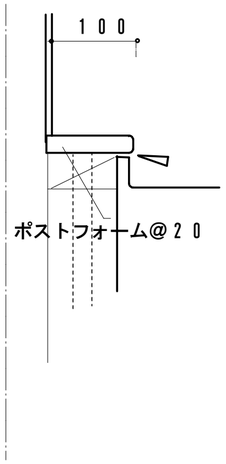
内部側

サッシュ　平面詳細図　1／10

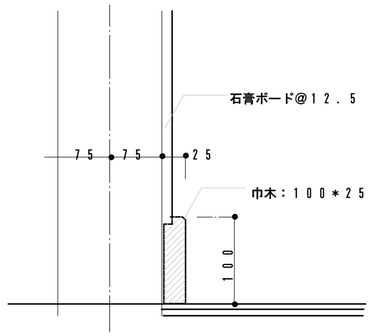
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	

図面名称：DW　NAME	部分詳細図　1
縮尺：SCALE	1：10（A－2）
図面番号：DW　NO.	A－45

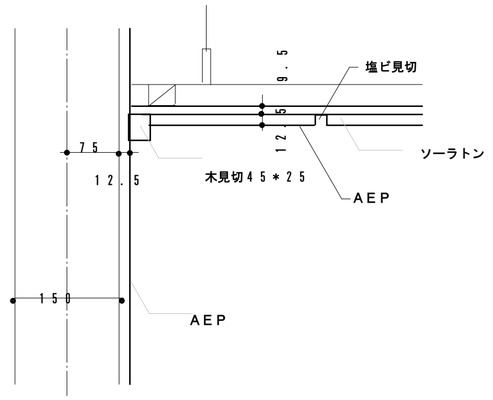
ライニング　掃除用具・多目的便所　1／5



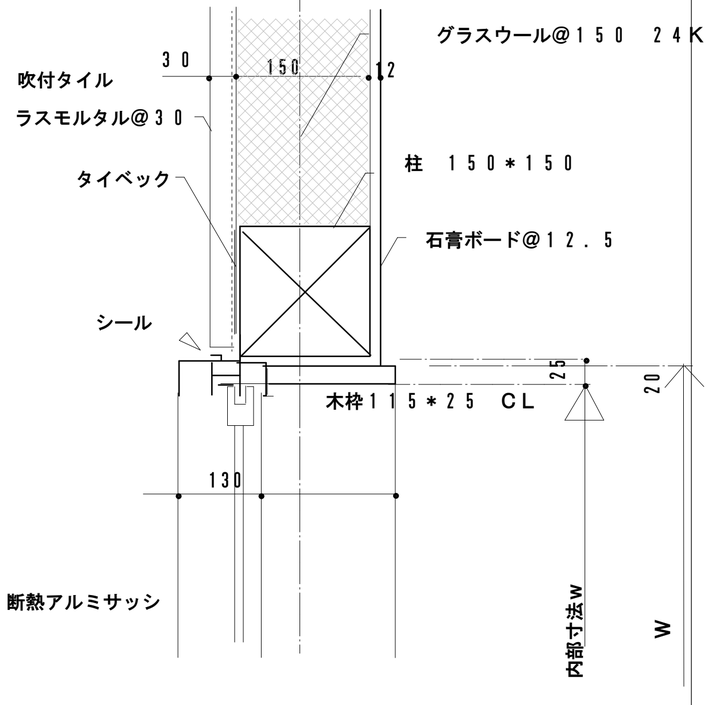
巾木詳細図

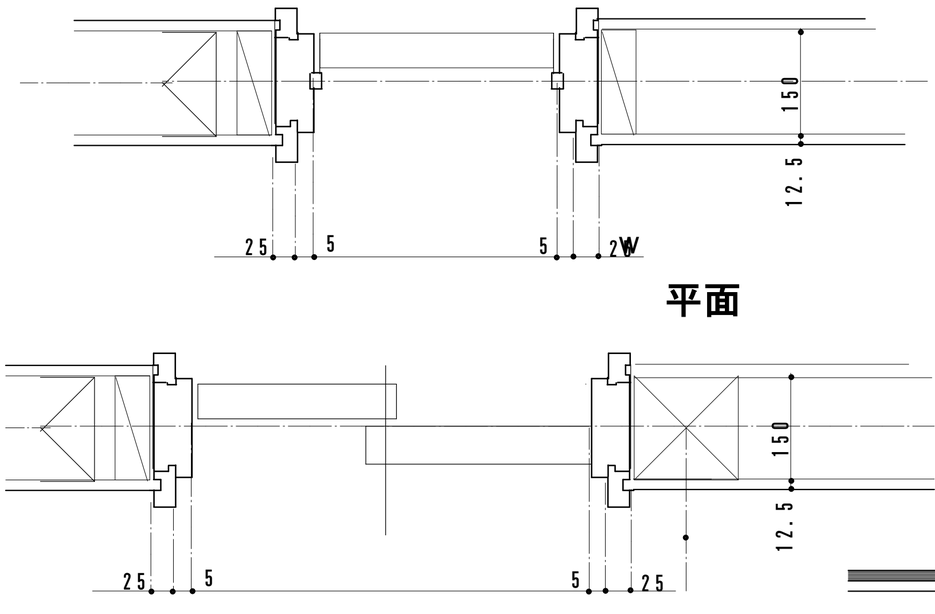


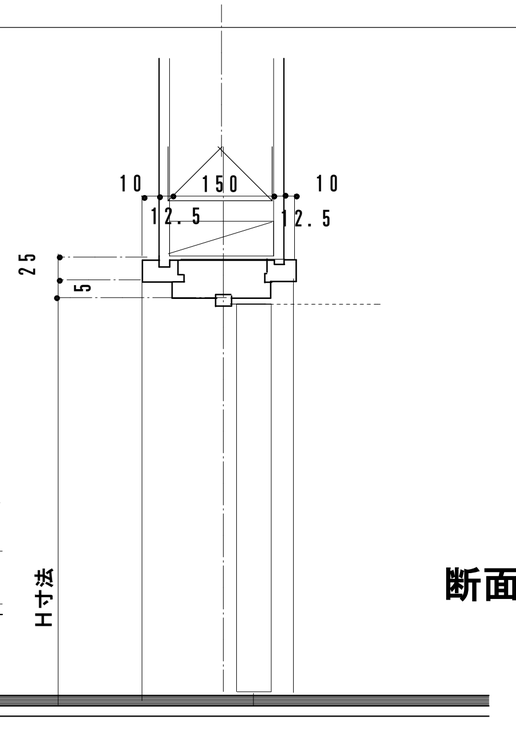
廻縁詳細図　1／5



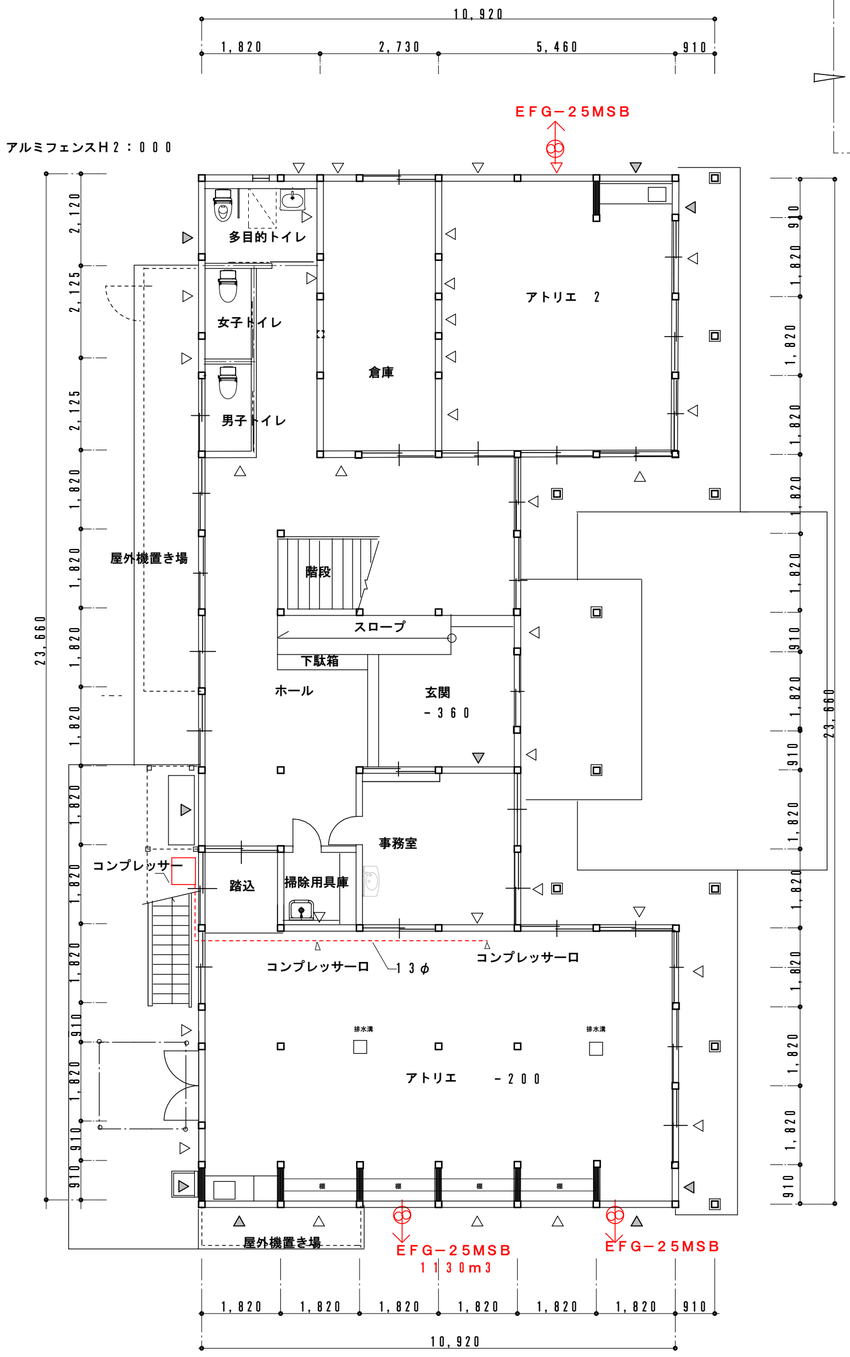
引戸詳細図　1／20







安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	部分詳細図　2	A－46
						縮R：SCALE 1：10　1：5	





定速機・空冷

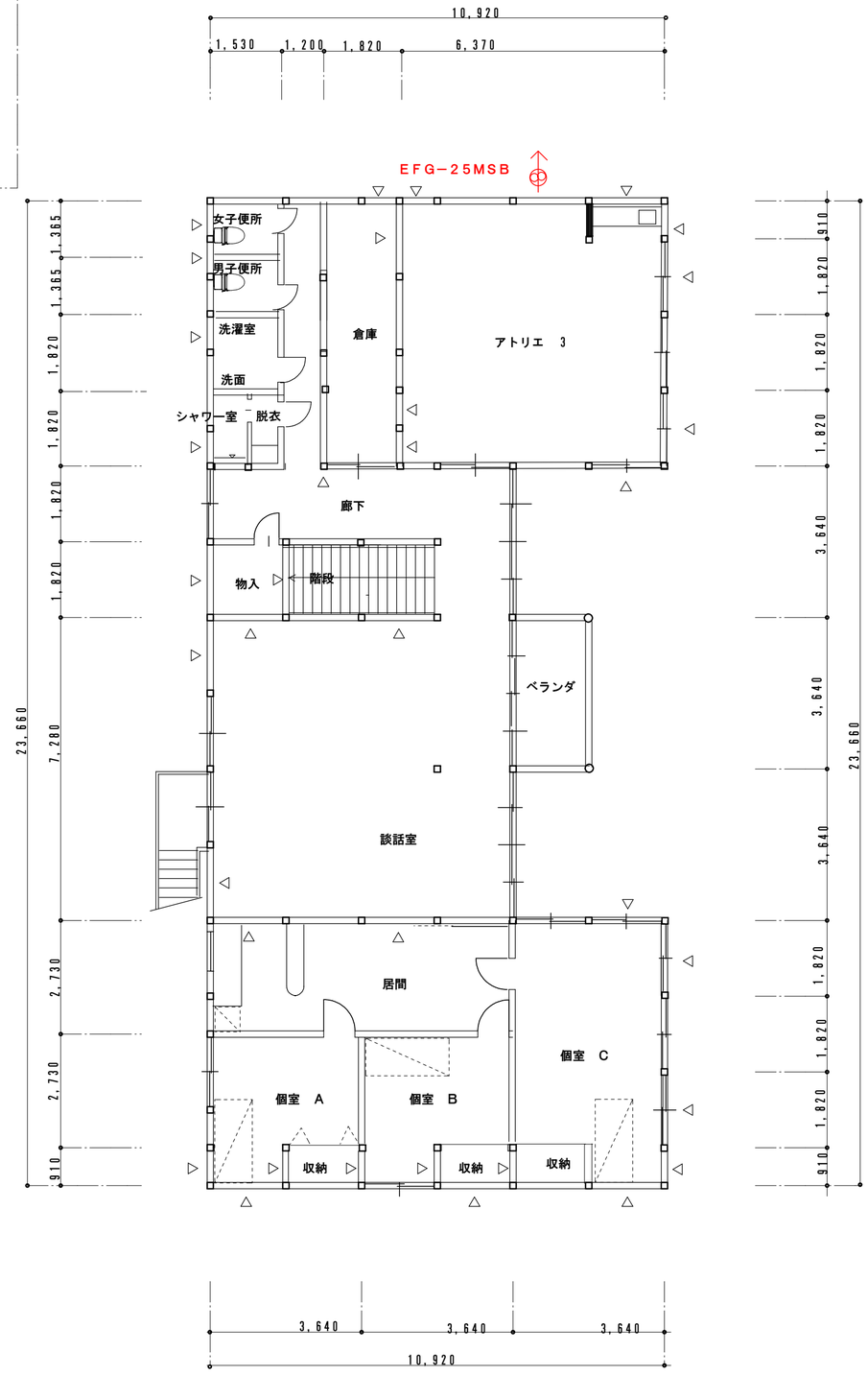
型式	最高使用吐出圧力	50/60Hz 共用 空気量	出力	吐出管径	寸法 幅×奥行×高さ	騒音値
	MPa	m³/min	kW		mm	dB(A)
ES2AB-5/6 (ES2AD-5/6)	0.8	0.17	1.5	1/4B	453×507×875 (453×682×875)	45
ES3AB-5/6 (ES3AD-5/6)		0.255	2.2	3/8B		49
ES4AB-5/6 (ES4AD-5/6)		0.43	3.7		545×622×1,058 (545×622×1,058)	
ES6AB-5/6 (ES6AD-5/6)		0.68	5.9	20A	650×955×1,195 (650×955×1,195)	52
ES8AB-5/6 (ES8AD-5/6)		0.84	7.4			53
ES11AB-5/6 (ES11AD-5/6)		1.27	11.1		650×955×1,195 (650×955×1,555)	56
ES15AB-5/6 (ES15AD-5/6)		1.68	14.8	25A	650×955×1,555 (940×955×1,555)	58

縮略質量	
起動方式	直入
電源電圧	kg
200V級	90 (116)
	103 (129)
	139 (154)
	270 (320)
	288 (338)
	372 (442)
	481 (576)

ドライヤ仕様（ドライヤー体型）

型式	出口 空気露点	冷媒	冷媒 圧縮機 公称出力
	℃	種別	kW
ES2ADB-5/6	圧力下 15以下	HFC134a	0.24/ 0.23
ES3ADB-5/6			
ES4ADB-5/6			0.26/ 0.25
ES6ADB-5/6			
ES8ADB-5/6	圧力下 12以下		0.41/ 0.43
ES11ADB-5/6			
ES15ADB-5/6			0.53/ 0.59

EFG−25MSB　フード　・木枠・スイッチ共
1130m3



安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO.
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	アトリエ設備図	A−47
						縮尺：SCALE 1：100（A−2）	



正面外観（東）



塔



外部階段



東外観



ベランダ



外部柱



窓廻り詳細



窓廻り詳細



屋根　棟



玄関枠



２階ベランダ

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 写真　1 縮尺：SCALE （A－２）	図面番号：DW　NO. A―48
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日			



１階会議室



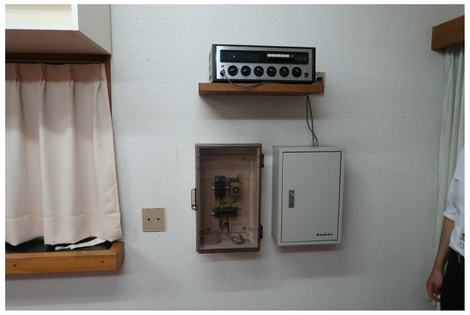
玄関ホール



事務室カウンター



階段



事務室



１階調理室



２階和室



階段



２階会議室



２階資料室



２階和室下梁



２階和室下根太＋調整根太

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計 / 製図 2024.1.24	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　耐震改修工事
図面名称：DW　NAME 現状写真　2	縮尺：SCALE	図面番号：DW　NO. A－49			



２階ベランダ天井



外部手摺詳細



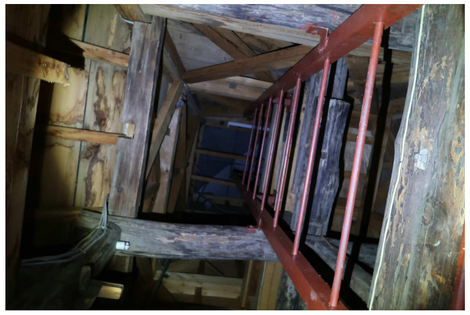
外部手摺詳細



外部手摺詳細



内部格子天井



２階小屋裏　塔屋へのタラップ



２階小屋裏　梁組



柱１５０＊５０　筋違１００＊６０



２階ベランダ



外部　石



２階和室下梁



２階和室下根太＋調整根太

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 現状写真　3
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮尺：SCALE

図面番号：DW　NO.
A－50



塔　部分



塔　部分



塔　部分　　３５０＊１８０



玄関軒裏



外部階段　　正面ブレースは撤去



２階小ベランダ



玄関　表札　　３５０＊１８００　削る　文字は別途　再塗装



庇



玄関廻



洗面

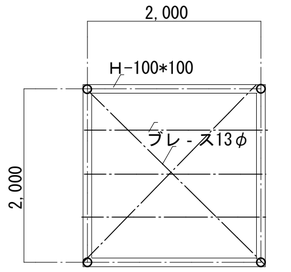


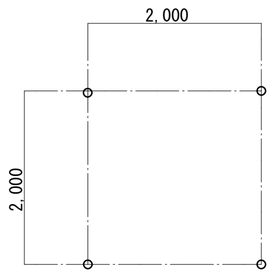
２階　押入より　小屋裏を見る

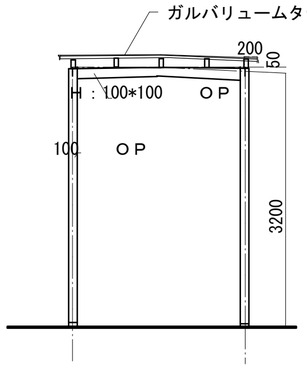


２階　アトリエ３の床下を見る　　梁１５０＊３００

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 現状写真　4	図面番号：DW　NO. A－51
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮尺：SCALE	







柱部材リスト

部材符号	部　材	柱　脚	ベースプレート	アンカーボルト	備　考
C1	○-89.1×4.0（STK400）		250×250×16	4-M19（ABR）	

大梁　部材リスト

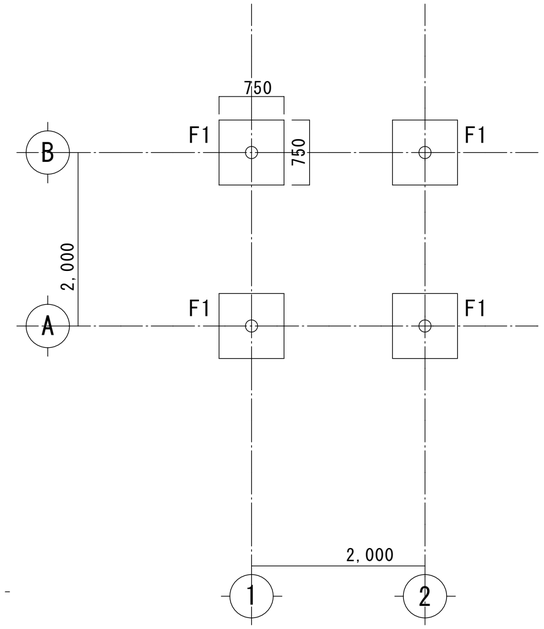
使用材質：SS400　梁継手はSCSS-H97による。　特殊高力ボルト：S10T、PLは梁と同種とする。

部材符号	部　材	フランジ継手			ウェブ継手		備　考
		ボルト	外添板	内添板	ボルト	添　板	
G1	H-100×100×6×9	4-M16（1列）	PL-12		2-M16	2PL-6	

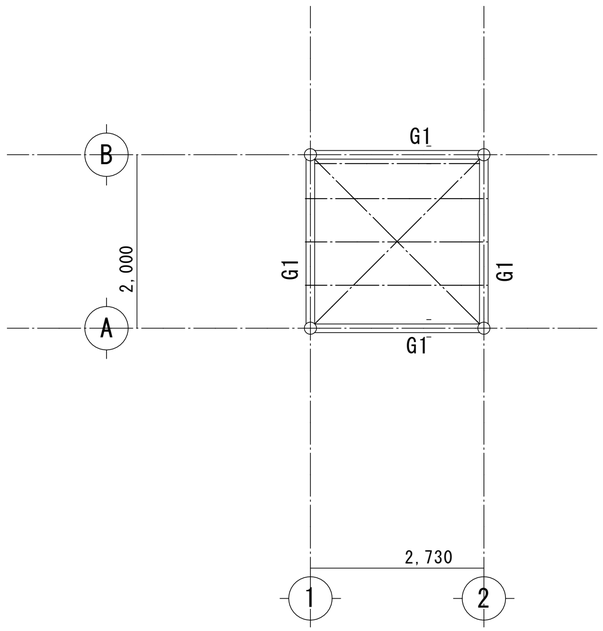
小梁他　部材リスト

使用材質：SS400　特殊高力ボルト：S10T

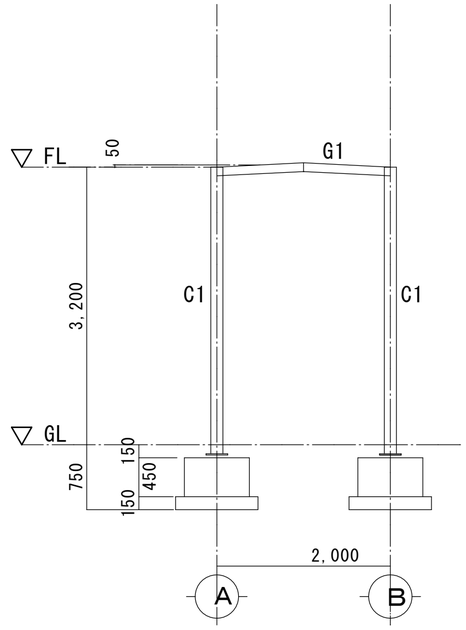
部材符号	部　材	ボルト	GPL	備　考
屋根ブレース	1-M16　GPL-9			
母　屋	C-100×50×20×2.3	中ボルト　2-M12	PL-4.5	@455



庇部分基礎伏図　1/50



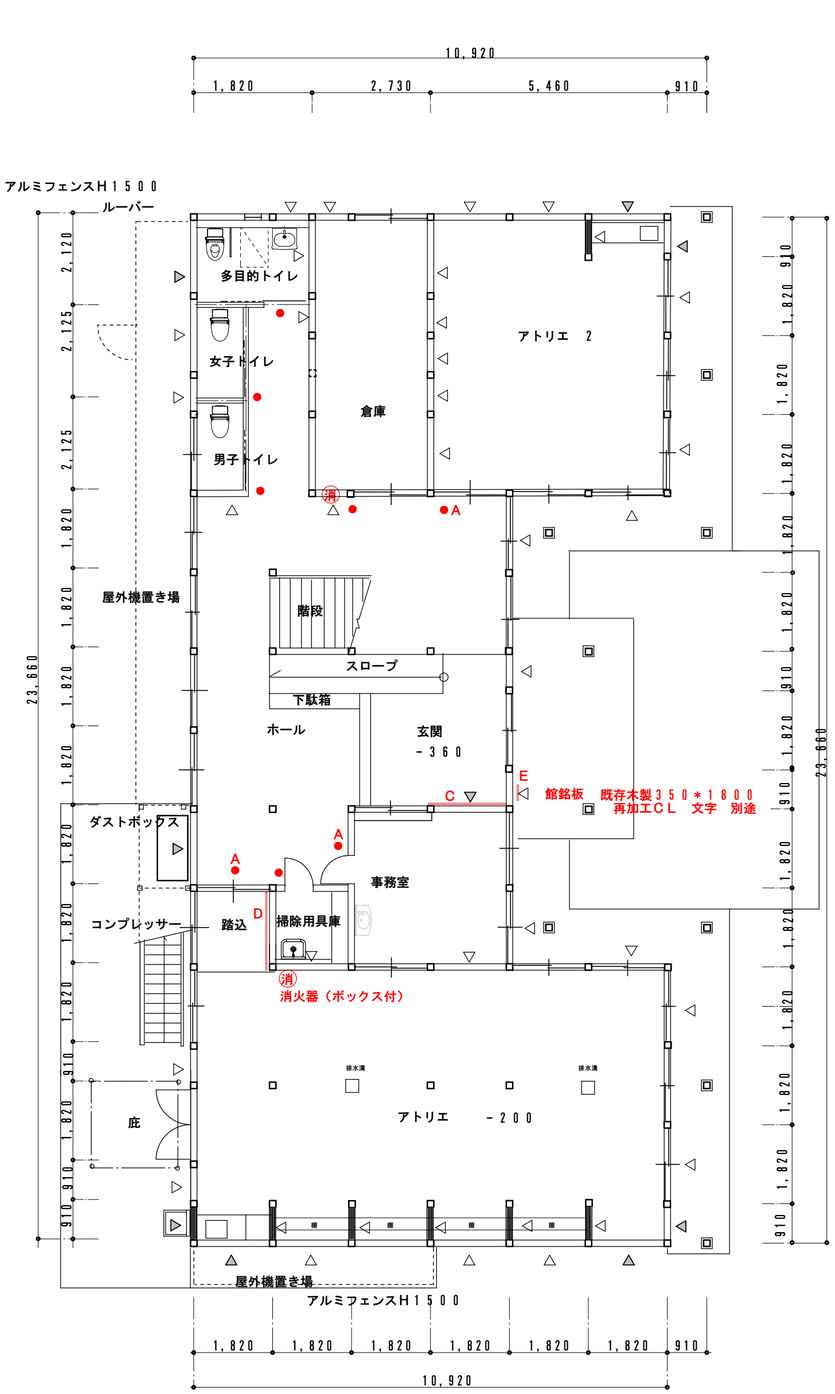
庇部分梁伏図　1/50



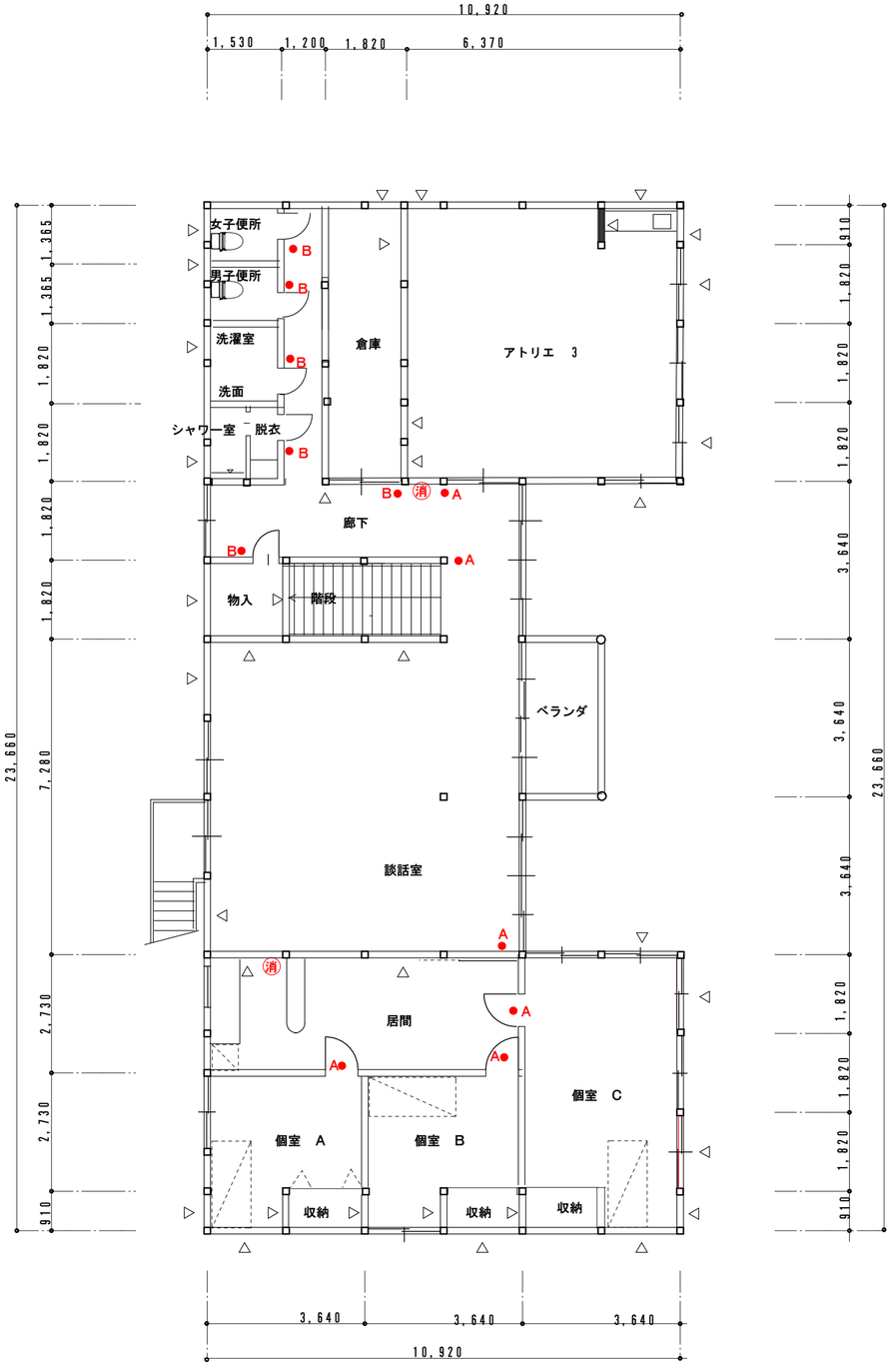
庇部分　2通軸組図　1/50

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 庇詳細図
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮尺：SCALE 1：50（A-2）

図面番号：DW　NO.
A-52



１階平面図　１／１００



２階平面図　１／１００

A　室名札　３００＊３００＊１０
木製フラッシュ

B　室名札　２００＊２００＊５
アクリル

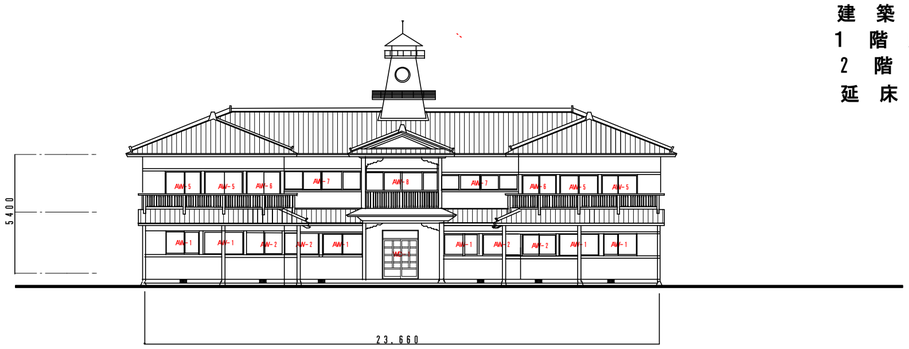
C　掲示板＋案内図　１８００＊９００
アクリル＋掲示クロス
マップ

D　注意事項　１８００＊９００
アクリル

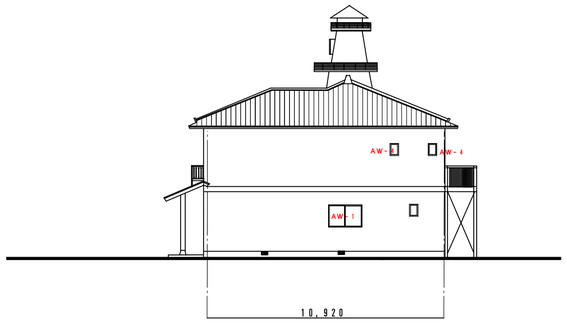
●室名札　３００＊３００　木製　切り文字

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME サイン等計画図	図面番号：DW　NO. A－５３
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮尺：SCALE １：１００（A－２）	

建　築　面　積	250.19	㎡
1　階　床　面　積	218.62	㎡
2　階　床　面　積	218.62	㎡
延　床　面　積	437.24	㎡



(E)　東立面図　1／100



(N)　北立面図　1／100

外皮平均熱貫流率　UA値　0．6　以上

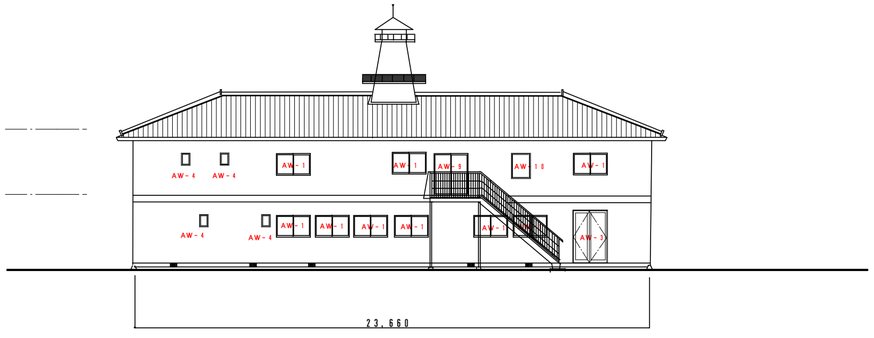
(E)　面積　5．4＊23．66＝127．76

記号	個数	面積計算	合計面積	熱貫流率
AW-1	6箇所	1．58＊1．11＊6	10．52	
AW-2	4箇所	1．48＊1．11＊4	6．57	
AW-5	4箇所	1．58＊1．31＊4	8．28	
AW-6	2箇所	1．48＊1．31＊2	3．88	
AW-7	2箇所	3．47＊1．33＊2	9．23	
AW-8	1箇所	3．47＊1．8	6．26	

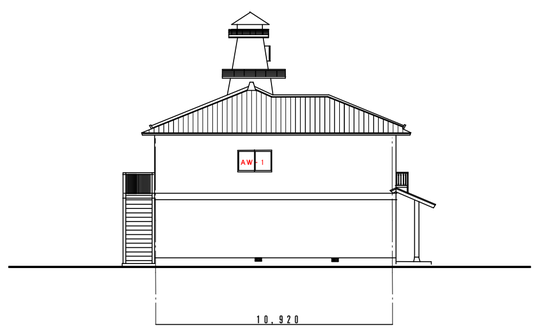
グラスウール　200	高性能HGXX-31 0．031W/ ㎡・K
グラスウール　100	高性能HGXX-31 0．031W/ ㎡・K
硬質ウレタンフォーム　一種@50	0．029　W/ ㎡・K

(N)　面積　5．4＊10．92＋3．64＊5．4＝＝78．62

記号	個数	面積計算	合計面積	
AW-1	1箇所	1．58＊1．11＊6	10．52	
AW-2	3箇所	1．48＊1．11＊4	6．57	
AW-4	3箇所	0．345＊0．5＊3	0．52	
AW-6	2箇所	1．48＊1．31＊2	3．88	



(W)　西立面図　1／100



(S)　南立面図　1／100

(W)　面積　5．4＊23．66＝127．76

記号	個数	面積計算	合計面積	熱貫流率
AW-1	9箇所	1．58＊1．11＊9	15．78	
AW-3	1箇所	1．6＊2．4	3．84	
AW-4	4箇所	0．345＊0．5＊4	0．69	
AW-9	1箇所	1．54＊1．87	2．88	
AW-10	1箇所	0．96＊1．01	0．97	

(S)　面積　5．4＊10．92＋3．64＊5．4＝＝78．62

記号	個数	面積計算	合計面積	熱貫流率
AW-1	1箇所	1．58＊1．11＊1	1．75	
AW-2	2箇所	1．48＊1．11＊2	3．29	
AW-6	2箇所	1．48＊1．31＊2	3．88	

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：DATA

設計	検図	承認印
製図 2024．1．24	担当	承認年月日

工事名称：PR　NAME
令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW　NAME
省エネ計算

縮尺：SCALE
1：200（A-2）

図面番号：DW　NO.
A－54

令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　耐震改修工事　（１）

TOTO

屋外



T200BSQF13C
横水栓
（吐水口回転式）
※寒冷地用

1F 身障者トイレ



CS20AB+SS30BFKL
床置床排水大便器(高座面対応)+
密結タンク
（流動方式）



HE20JKR
リモコン便器洗浄ユニット



TCF587P
ウォシュレットP
※擬音装置付
※金属製ベースプレート専用便座



YH702
棚付二連紙巻器



T112HK8R
腰掛便器用手すり(可動式)
はね上げタイプ(ロック付)
(L=800)



T112CL10
腰掛便器用手すりL型
(L=700×700)前出寸法120



L103A
車いす用壁掛洗面器



TLE26SS1A
台付自動水栓
（単水栓・AC100V）



YM6090A
化粧鏡
（600×900）



YKA24S
ベビーシート

1F 清掃用具室



SK22A
掃除用流し



T23AEQ20C
横水栓
（送り座付）

1F 事務室



LSG722BAPMW
ベッセル式洗面器セット一式
（洗面器・自動水栓・水石けん入れセット）



YM4560AE
盗難防止形化粧鏡
（450×600）



YT500S4
タオル掛け

●商品は印刷のため実際の色とは多少異なっております。●商品によっては、改良などにより仕様、寸法、カラーなどに変更が生じる場合がございます。●本紙掲載の写真はイメージとなります。ご発注の際は改めて、お見積り・カタログにて確認の程お願いいたします。

P24010108-1(2024/01/17)

令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　耐震改修工事　（２）

TOTO

1・2F 男子便所 / 1・2F 女子便所



CS232B+SH232BF
床置床排水大便器+密結タンク
ピュアレストQR
（流動方式）



HE38
リモコン便器洗浄ユニット



TCF587
ウォシュレットP
※擬音装置付



YH600FMR
棚付二連紙巻器



LSA90AAPT
壁掛手洗器セット一式
（手洗器・自動水栓・
タオルバーセット）



YT408R
タオルリング

1F 調理室 / 1F アトリエ1 / 2F キッチン・ホール / 2F アトリエ3



TKS05311J
壁付シングル混合水栓



REW25C2BK
電気温水器
（温度調節・25Lタイプ）

2F 洗濯・洗面



L270CM
壁掛洗面器



REAH06A11SSC41A1K
電気温水器・自動水栓・
脱炭水処理ユニット・耐震用脚セット
（適温出湯・6Lタイプ）



TLK05202J
水石けん入れ



YM4560AE
盗難防止形化粧鏡
（450×600）



YT500S4
タオル掛け



PWP740N2W
洗濯機パン740サイズ



PJ2008NW
ABS製横引き排水トラップ



TW11RF
洗濯機用横水栓
（緊急止水）
※寒冷地用

2F シャワー室1・2



イメージ写真

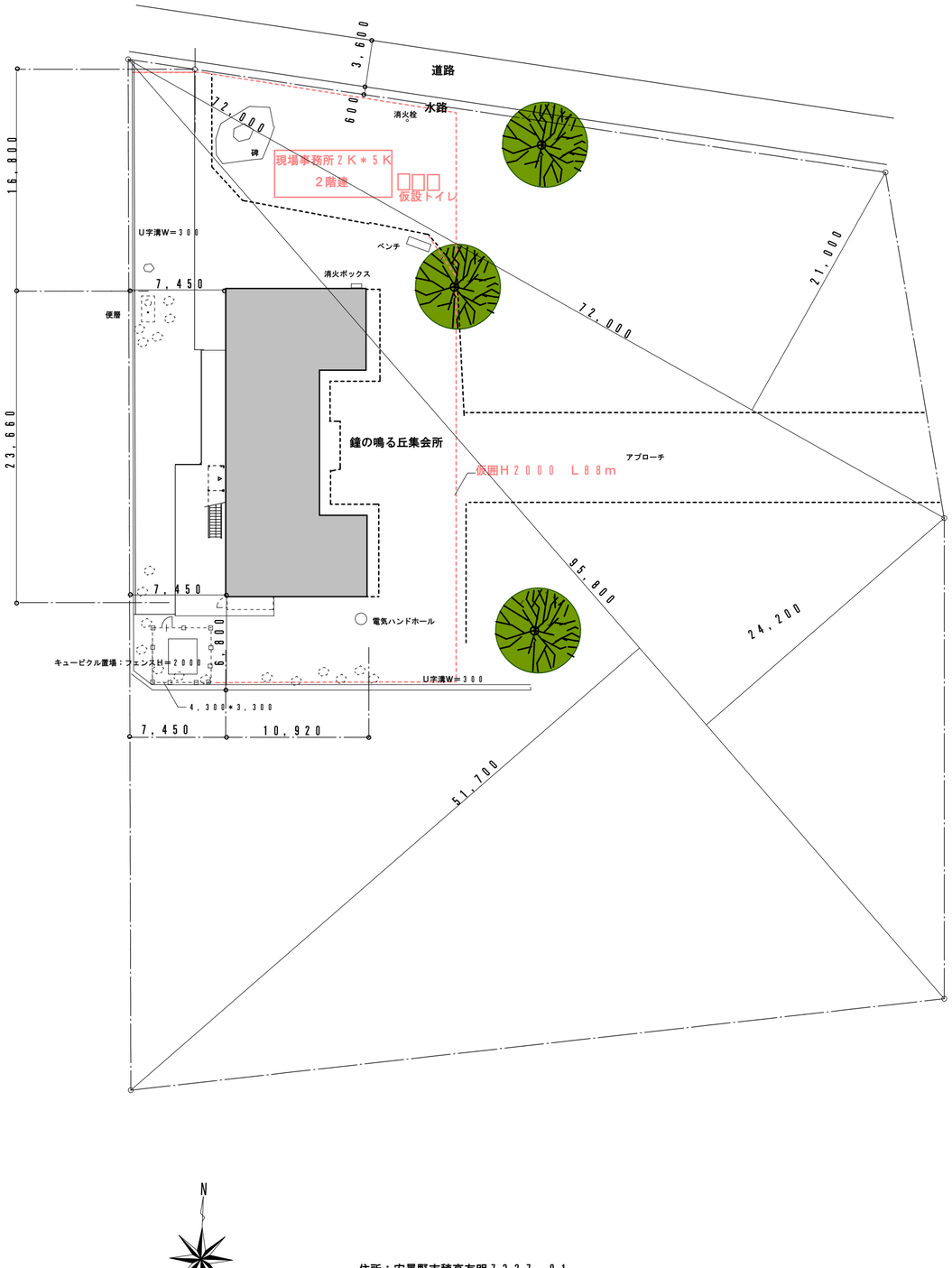
JSV0816UXW3AK
シャワーユニット

●商品は印刷のため実際の色とは多少異なっております。●商品によっては、改良などにより仕様、寸法、カラーなどに変更が生じる場合がございます。●本紙掲載の写真はイメージとなります。ご発注の際は改めて、お見積り・カタログにて確認の程お願いいたします。

P24010108-1(2024/01/17)

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME TOTO　器具表
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日		縮尺：SCALE （A－2）

図面番号：DW　NO.
A－55

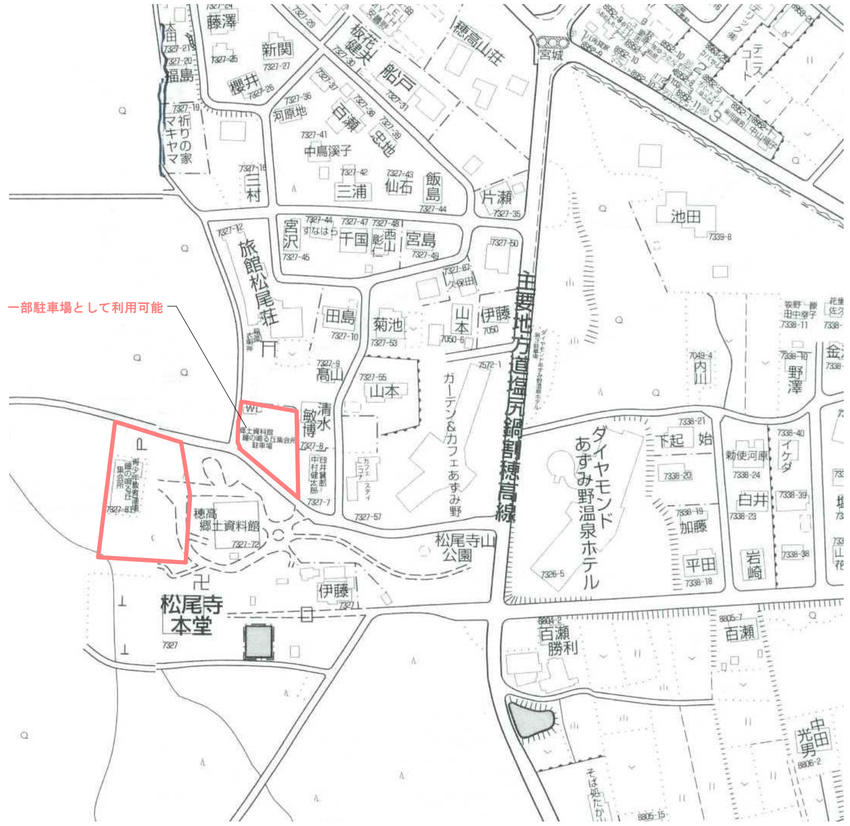


住所：安曇野市穂高有明７３２７－８１

穂高郷土博物館



現場事務所位置



安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
		製図 2024.1.24	担当	承認年月日	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	仮設計画図 縮R：SCALE　1：300（A－2）	A－56

電　気　設　備　工　事

Ⅰ 工事概要

1　工事場所　　安曇野市穂高有明７３２７－８１

2　建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	備考
鐘の鳴る丘集会場	木造	2			

3　工事種目　　（○印のついたものを適用する。）

工事種目	項目	建物別及び屋外 新設	搬去（建築）		
電灯設備		○	○		
動力設備		○			
電熱設備					
雷保護設備		○			
受変電設備		○			
静止形電源設備					
発電設備					
構内情報通信網設備		○			
構内交換設備	電話用カラ配管設備	○	○		
情報表示設備	太陽電池時計設備				
映像・音響設備					
拡声設備	オルゴール放送設備	○			
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備	○			
テレビ共同受信設備		○			
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備					
自動火災報知設備		○	○		
自動閉鎖設備					
非常警報設備					
ガス漏れ警報設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路		○	○		
構内通信線路		○			
昇降機設備					
昇降機設備					

4　図面目録

番号	図面名称
1	電気設備工事特記仕様書
2	配置図
3	屋外キュービクル結線図・参考姿図
4	動力盤 結線図
5	電灯盤 結線図
6	幹線・動力設備 １階 改修平面図
7	幹線・動力設備 ２階 改修平面図
8	コンセント設備 １階 改修平面図
9	コンセント設備 ２階 改修平面図
10	照明器具姿図（新設）
11	電灯設備 １階 改修平面図
12	電灯設備 ２階 改修平面図
13	非常照明・誘導灯設備 １階 改修平面図
14	非常照明・誘導灯設備 ２階 改修平面図
15	弱電設備　系統図
16	弱電設備　参考姿図
17	電話カラ配管・構内情報通信網・テレビ共同受信設備 １階 改修平面図
18	電話カラ配管・構内情報通信網・テレビ共同受信設備 ２階 改修平面図
19	インターホン・トイレ呼出設備 １階 改修平面図
20	インターホン・トイレ呼出設備 ２階 改修平面図

番号	図面名称
21	オルゴール放送設備 １階 改修平面図
22	オルゴール放送設備 ２階 改修平面図
23	自動火災報知設備 系統図
24	自動火災報知設備 １階 改修平面図
25	自動火災報知設備 ２階 改修平面図
26	雷保護設備
27	**既設屋外幹線設備（撤去参考図）**
28	既設 幹線設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）
29	既設 照明器具姿図・分電盤結線図（撤去参考図）
30	既設 コンセント設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）
31	既設電灯設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）
32	既設 弱電設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）
33	既設 自動火災報知設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

Ⅱ 工事仕様

1　共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。)による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

参考図書

○ 安曇野市建築工事の手引き）（以下、「手引き」という。）安曇野市規格財政部監修

2　特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。

項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。
③ 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料
規制対象外	①JIS及びJASの Fc☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 ａ 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ 接着剤等不使用 ｃ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 ｄ ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ｅ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 ｆ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第三種	①JIS及びJASの Fc☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのＥＯ規格品 ④旧JASのＦＯＯ規格品
④ 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
⑤ 電気工事士	契約電力５００ｋW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
⑥ 実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。
⑦ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
⑧ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの　○無　・有（　　） (2)引渡しを要するもの以外　・構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物　○無　・有（　　） (4)再利用又は再資源化を図るもの ○無　・有（・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類）
9 監督員事務所	・設けない　・設ける（規模：　　） ・備品（　　）
⑩ 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが　・できる　・できない
⑪ 足場・さん橋類	・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○内部仮設足場等（・架台足場　・移動式足場　・移動式室内足場　・　　） ・外部仮設足場等（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種）　・防護シート（　　）
⑫ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
⑭ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。
15 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
⑯ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針２００５版（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量［ｋｇｆ］に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。

項目	特記事項
	設計用標準水平地震度

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※１）	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※１）	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・１階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類（※１）	1.5	1.0	1.0	0.6

（※１）水槽類にはオイルタンク等を含む。

◎重要機器の定義は次による。

○受変電設備　・発電設備　・直流電源設備　・交流無停電電源装置　・交換機　○自動火災報知受信機　・中央監視装置　・

◎上層階の定義は次による。

２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階以上の場合は上層４階とする。

(2)設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

⑰ あと施工アンカー	(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2節8.2.4及び11節による。 (2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。 （引抜き試験を　・　実施する　・　実施しない　）
⑱ 防火区画等の貫通処理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切を貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。
⑲ 電線・ケーブル	(1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「ﾀｲｼﾞｲﾝ EM-EEF」と表記されたものを使用する。 (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。
⑳ 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器４個以下の場合は(25)を１本５個以上の場合は(25)を２本、天井まで立上げる。
㉑ 呼び線	長さ１m以上の入線しない電線管には、１．２mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
㉒ 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ○屋　外　○屋　内（　　）
23 埋め戻し土	・種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める
㉔ 建設発生土の処理	・場外搬出処理　○構内の指定場所に敷き均し
㉕ ケーブル埋設表	(1)　地中線路には、ケーブル埋設表をもうける。　・鉄製　○コンクリート製 (2)　低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3)　配管埋設幅が50mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは２条以上敷設する。
㉖ プルボックス	(1)　露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2)　露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。
㉗ フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き　○金属製　・樹脂製
㉘ プレートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。
㉙ 配線器具	タンブラスイッチは連用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、２口の場合は横式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。
30 フロアコンセント	・直付（ビス止め）型上下式（・銅合金製　・アルミ製）とする ・直付（ビス止め）型垂直上下式（銅合金製）とする
㉛ 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
㉜ 照度測定	(1)　非常用照明の照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。 (2)　学校施設における室内照度測定（測定教室：　個所、　測定黒板面：　個所） ※教室の照度は、１教室当たり机上面９か所、黒板垂直面９か所で測定する
㉝ 盤類	(1)　分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2)　端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。
34 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材>　・照明制御システム　・変圧器　・（　　） <建設機器>　・排出ガス対策型建設機器　・低騒音型建設機器
㉟ 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表（平成　年版）による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。
㊱ その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)

（別表）　しゅん工時提出物　　（・に○印のついたものを提出する。）

個別提出物	一括提出物
1 完成図	⑤ 機器完成図
○ 原図（Ａ２版　ケース入り）	⑥ 工事写真
○ 陽画（Ａ２　２つ折り製本　１部）	⑦ 完成写真
・ マイクロフィルム（アパーチュアカード貼付　台紙は黄色）	⑧ 工事記録　（打合せ簿、工事日誌、協議書）
○ CADデータ	⑨ 機材の試験成績書
2 設計図	⑩ 施工の試験成績書
・ マイクロフィルム（アパーチュアカード貼付　台紙は青色）	⑪ 社内試験成績書
3 引渡書	⑫ 発生材処理報告書（廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図）
4 納入品	⑬ 納入品一覧表
○ 予備品　○ ハンドホールフック、ジャッキ	⑭ 官公署手続、検査書（管理者用正本、写し）
○ 盤類の鍵　・	⑮ 保全に関する資料（取扱い説明書も含む）

3　ハンドホール

下表による。（梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを１組納入する。）

ブロックハンドホール　　（寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。）

○コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。

○ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。

	ハンドホール Ｎo.－	１、５００×１、５００×１、５００Ｄ　底部 ＧＬ－１、７４０以上 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）　（アルミ梯子付）
	ハンドホール Ｎo.－	１、２００×１、２００×１、５００Ｄ　底部 ＧＬ－１、７００以上 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）　（アルミ梯子付）
	ハンドホール Ｎo.－	１、０００×１、０００×１、４００Ｄ　底部 ＧＬ－１、６００以上 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）　（アルミ梯子付）
	ハンドホール Ｎo.－ １	１、０００×１、０００×１、１００Ｄ　底部 ＧＬ－１、３００以上 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）　（アルミ梯子付）
	ハンドホール Ｎo.－	１、０００×１、０００×　９００Ｄ　底部 ＧＬ－１、０６０以上 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）　（アルミ梯子付）
	ハンドホール Ｎo.－	９００×　９００×１、１００Ｄ　底部 ＧＬ－１、２６０以上 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）　（アルミ梯子付）
	ハンドホール Ｎo.－ ２	９００×　９００×　９００Ｄ　底部 ＧＬ－１、０６０以上 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）　（既製足場付）
	ハンドホール Ｎo.－	６００×　６００×　６８０Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）　（既製足場付）
	ハンドホール Ｎo.－	４５０×　４５０×　６８０Ｄ　※植栽等等車両の通行の恐れがない場所、 蓋 ＷＰＭ－４５Ｂ　（Ｅマーク入）　収容ケーブルが少ない場所に限る

4　接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

Ａ種接地	銅板１．５ｔ×９００×９００　補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ　２ｍ　埋設標（黄銅製又はステンレス製）
Ｂ種接地	銅板１．５ｔ×６００×６００　補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ　２ｍ　埋設標（黄銅製又はステンレス製）
Ｃ種接地	銅板１．５ｔ×３００×３００　補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ１．５ｍ　埋設標（黄銅製又はステンレス製）
Ｄ種接地	接地棒（１０φ×１、５００）　リード端子付　打ち込み式 埋設標（黄銅製又はステンレス製）

5　機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名称	測点	取付高(mm)		名称	測点	取付高(mm)
共通	取引用計器	地上～上端	2,000	時計	壁掛形親時計	床上～中心	1,500
	引込開閉器	床上～上端	1,800				(上端1,900以下)
	警報盤	床上～中心	1,500	拡声	子時計	〃	(天井高)×0.9
電灯	分電盤	床上～中心	1,500		壁掛形スピーカー	〃	(天井高)×0.9
			(上端1,900以下)		アッテネーター	〃	1,300
	タンブラスイッチ	〃	1,300	表示	表示盤	床上～中心	(天井高)×0.9
	〃（身障者用）	〃	1,100		壁付発信器	〃	1,300
	コンセント（一般）	〃	300		ベル	〃	(天井高)×0.9
	〃（和室）	〃	150		ブザー	〃	(天井高)×0.9
	〃（便所等）	〃	500		押ボタン	〃	1,300
	〃（台上）	台上～中心	150		〃（身障者用押釦）	〃	900
	ブラケット（一般）	床上～中心	2,100		身障者用表示灯	〃	2,000
	〃（誘導）	〃	2,500		復帰ボタン		1,800
	〃（鏡上）	鏡端～中心	150	インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上		〃（身障者用）	〃	1,100
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下		壁付位置ボックス（壁付インターホンを除く）		
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500		〃（一般）	〃	300
			(上端1,900以下)		〃（和室）	〃	150
	手元開閉器	〃	1,500	テレビ共同受信	機器収容箱	床上～中心	(天井高)×0.9
	操作スイッチ押ボタン	〃	1,300		アウトレット		
電話	室内端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300		〃（一般）	〃	300
	中間端子盤（EPS・電気室）	床上～中心	1,500		〃（和室）	〃	150
	集合保安器箱	〃	(天井高)×0.9	火災報知	受信機	床上～操作部	800～1,500
	壁付アウトレットボックス（一般）	〃	300		副受信機	〃	800～1,500
	〃（和室）	〃	150		機器収容箱	床上～中心	800～1,500
					発信器	〃	800～1,500
					ベル	〃	(天井高)×0.9
					消火栓表示灯	〃	(天井高)×0.8

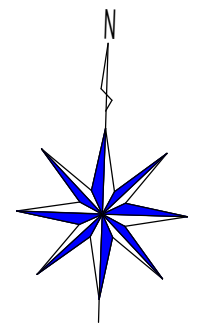
・既設オルゴール盤は、撤去せず再使用とする。

・既設太陽電池時計は、撤去せず再使用とする。

・既設電気設備の撤去工事（産廃処理含む）は、建築工事の解体工事に含む。

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事
		製図	担当	承認年月日 2024．1．24	

図面名称：DW　NAME	電気設備工事特記仕様書	図面番号：DW　NO.
縮尺：SCALE		Ｅ－０１



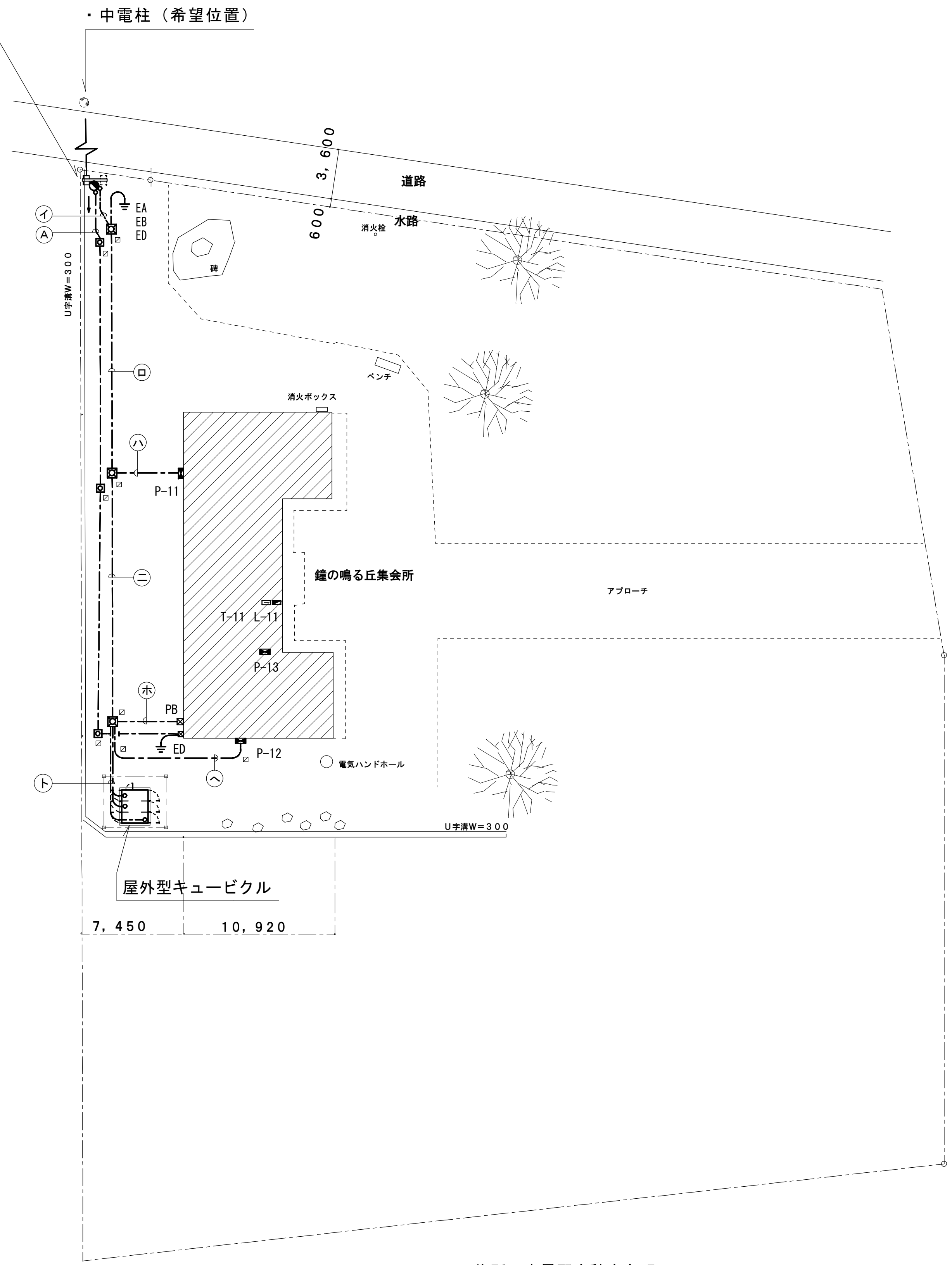
・構内第1柱　コン柱　12-19-350
根枷共
・装柱材・支線材（支線ガード共）
・PAS 7.2kV 200A
SOG 方向性　VT,LA内蔵型
（コン柱立上ケ所は（ＰＥ管）とする。

配線リスト（強電）

記号	名 称	ケーブルサイズ	保護管	露出部	自	至
イ	高圧引込	6.6kV EM-CET 38sq IE14sq	(FEP80)	(PE82)	第1柱	Ｃｕｂ
	高圧ヨビ	--—e—--	(FEP80)	(PE82)	〃	〃
ロ	高圧引込	6.6kV EM-CET 38sq IE14sq	(FEP80)	—	第1柱	Ｃｕｂ
	高圧ヨビ	--—e—--	(FEP80)	—	〃	〃
	低圧ヨビ	--—e—--	(FEP65)x2	—	ＨＨ	ＨＨ
	接地	裸銅線 60sq	—	—	—	—
		接地棒 14Φ x 1.500Ｌ@3m	—	—	—	—
ハ	P-11	EM-CET 100sq IE14sq	(FEP65)	—	Ｃｕｂ	P-11
ニ	高圧引込	6.6kV EM-CET 38sq IE14sq	(FEP80)	—	第1柱	Ｃｕｂ
	高圧ヨビ	--—e—--	(FEP80)	—	〃	〃
	低圧ヨビ	--—e—--	(FEP65)x2	—	ＨＨ	ＨＨ
	接地	裸銅線 60sq	—	—	—	—
		接地棒 14Φ x 1.500Ｌ@3m	—	—	—	—
	P-11	EM-CET 100sq IE14sq	(FEP65)	—	Ｃｕｂ	P-11
ホ	P-13	EM-CET 38sq IE14sq	(FEP50)	(G42)	Ｃｕｂ	P-13
	L-11	EM-CET 60sq IE14sq	(FEP65)	(G54)	Ｃｕｂ	L-11
	L-21	EM-CET 60sq IE14sq	(FEP65)	(G54)	Ｃｕｂ	L-21
	外灯（将来）	--—e—--	(FEP30)	(G22)	L-11,⑥	外灯
	警報	EM-CEE 2sq-3C	(FEP30)	(G22)	Ｃｕｂ	警報盤
	ヨビ	--—e—--	(FEP65)	(G54)	Ｃｕｂ	天井内
ヘ	P-12	EM-CET 38sq IE5.5sq	(FEP50)	—	Ｃｕｂ	P-12
ト	高圧引込	6.6kV EM-CET 38sq IE14sq	(FEP80)	—	第1柱	Ｃｕｂ
	高圧ヨビ	--—e—--	(FEP80)	—	〃	〃
	低圧ヨビ	--—e—--	(FEP65)x3	—	ＨＨ	〃
	接地	裸銅線 60sq	—	—	—	—
		接地棒 14Φ x 1.500Ｌ@3m	—	—	—	—
	P-11	EM-CET 100sq IE14sq	(FEP65)	—	Ｃｕｂ	P-11
	P-13	EM-CET 38sq IE14sq	(FEP50)	—	Ｃｕｂ	P-13
	L-11	EM-CET 60sq IE14sq	(FEP65)	—	Ｃｕｂ	L-11
	L-21	EM-CET 60sq IE14sq	(FEP65)	—	Ｃｕｂ	L-21
	警報	EM-CEE 2sq-3C	(FEP30)	(G22)	Ｃｕｂ	警報盤
	ヨビ	--—e—--	(FEP65)	—	Ｃｕｂ	天井内
	P-12	EM-CET 38sq IE5.5sq	(FEP50)	—	Ｃｕｂ	P-12

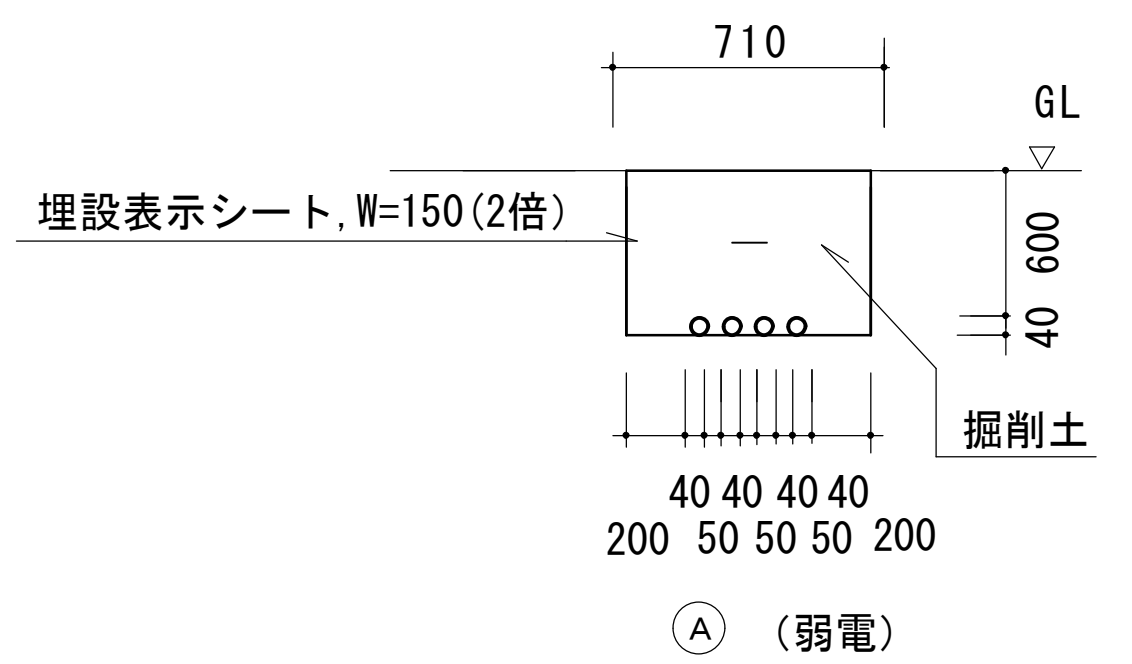
配線リスト（弱電）

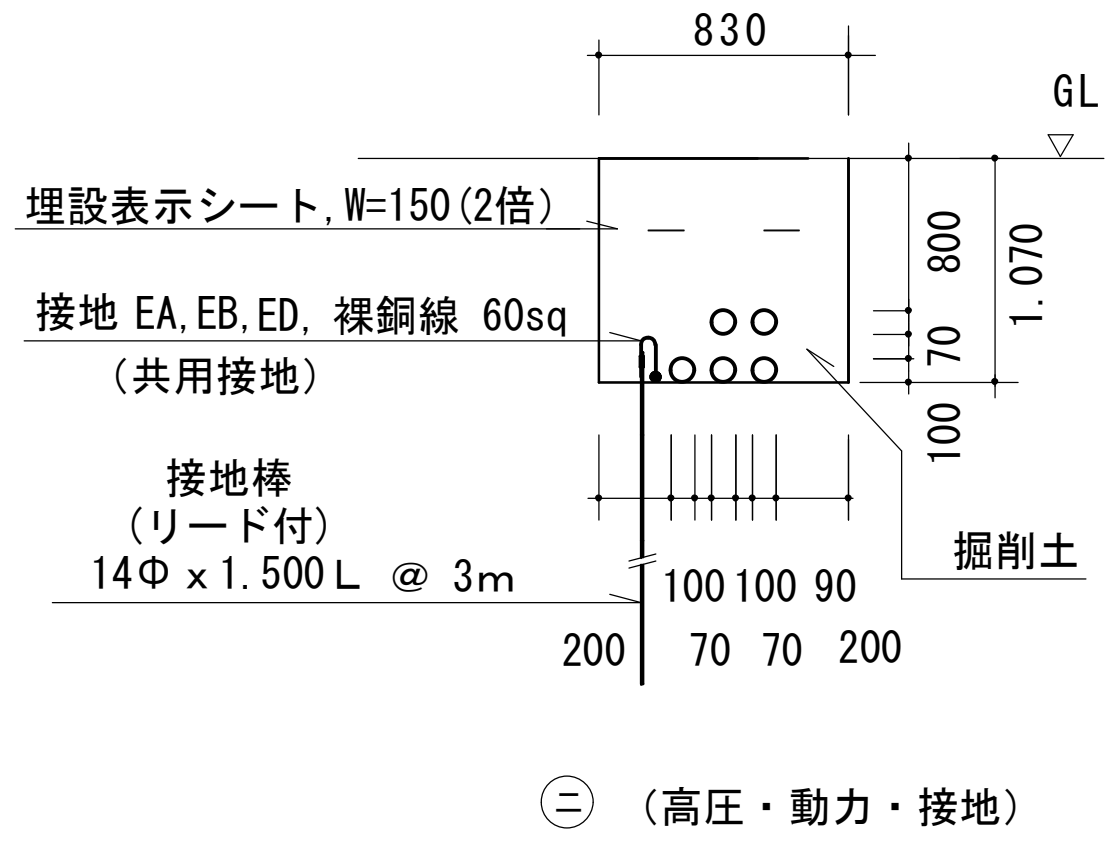
記号	名 称	ケーブルサイズ	保護管	コン柱	自	至
Ⓐ	電話引込	--e--	(FEP30)	(PE28)	第1柱	T-11
	LAN 〃	--e--	(FEP30)	(PE28)	〃	〃
	CATV 〃	--e--	(FEP30)	(PE28)	〃	〃
	ヨビ 〃	--e--	(FEP30)	(PE28)	〃	〃



住所：安曇野市穂高有明７３２７－８１

埋設配管、参考図





凡例

シンボル	名 称 ・ 規 格
⊠	・ブロックハンドホール　Ｈ２－９
	（９００ｘ９００ｘ９００）セパレート付
	鉄蓋：Ｒ８Ｋ－６００（電気文字入り）
◙	・ブロックハンドホール　Ｈ１－９
	（６００ｘ６００ｘ９００）
	鉄蓋：Ｒ８Ｋ－６００（電気文字入り）
⏚	・接地（線状並列接地）　EA,EB,ED　共用接地
⧄	・埋設表示杭　コンクリート製
―-――-―	地中埋設配管

注記

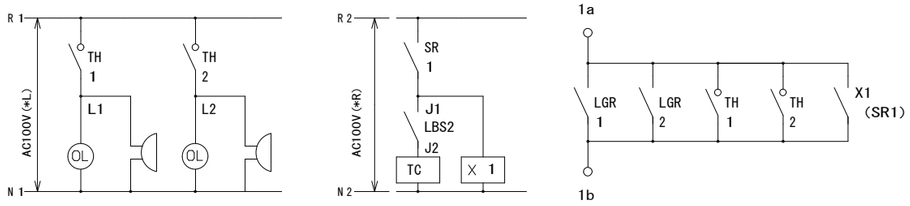
- ・中電引込柱の位置及び配電線のルートは、協議による。（希望位置あり）
- ・接地工事方法は１例を示し、現場合わせとする。
- ・キュービクルは、建物から３ｍ以上離すこと。（認定ｷｭｰﾋﾞｸﾙとなるため）
- ・地中配管の埋戻しにおいて、地盤が沈下しないように十分転圧をすること。

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計 / 製図	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日 2024.1.24	工事名称：PR NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事
図面名称：DW NAME 配置図	縮尺：SCALE １：３００（Ａ－２）	図面番号：DW NO. Ｅ－０２			

キュービクル仕様

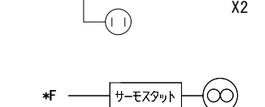
⊙ 印を適用

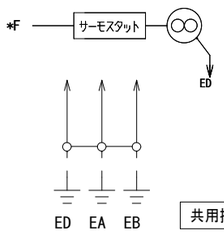
1. キュービクルの設置場所	・ 屋内 ⊙ 屋外 （底板付）
2. 材質、塗装	⊙ メーカー標準色 ・ 指定色 ・溶融亜鉛メッキ＋塗装
3. 形式	⊙ 経済型 ・ （社）日本電気協会の認定品及び推奨品
	・ 消防庁告示７号適合品 ・ 消防予 第206号 適合品
4. ブレーカー取付	・ 埋フラッシュプレート形 ⊙ 表面露出形
5. 換気扇	⊙ サーモスタットによる自動運転
6. 高圧主回路・低圧主回路には、サーモラベル取付	
7. 予備品：高圧、低圧フューズを実装数・フック棒	
8. 基礎及びフェンスは建築工事	9. キュービクルは,建物から３ｍ以上離すこと。



ＯＬｘ６，ブザー、ブザー停止ボタン、電池内蔵（30分）

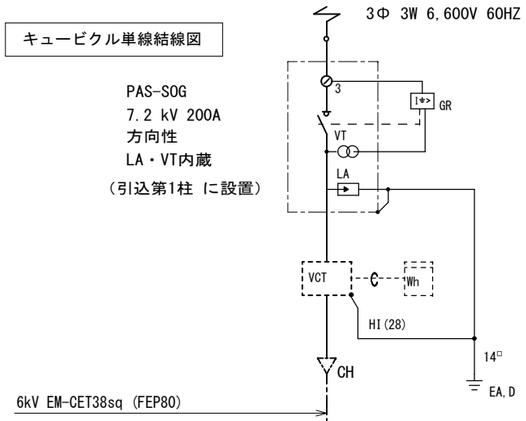
警報項目		Cub	警報盤
・漏電継電器(ELR)	1	○	
〃	2	○	
・熱動過電流継電器(THR)	1	○	○
〃	2	○	
・リアクトル		○	





共用接地

キュービクル単線結線図



単相負荷

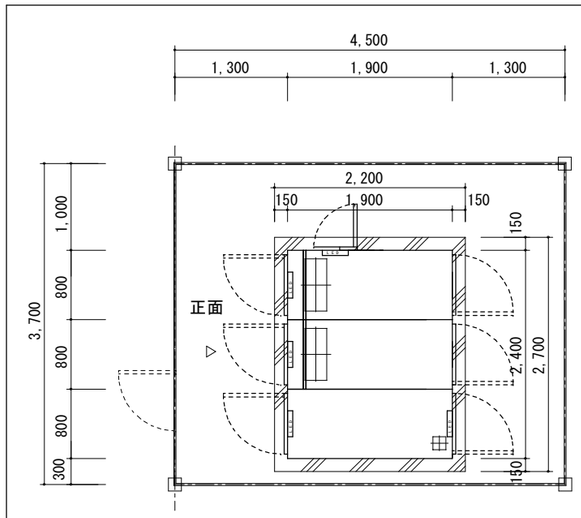
No	遮断器 P AF/AT	負荷名称	容量 (KW)	サイズ mm 2
1A	MCB3P225/150	L-11	22.0	CET 60
1B	MCB3P225/125	L-21	19.0	CET 60
——	MCB3P100スペース	——————	———	———
a	MCB2P 50/ 20	照明・コンセント用電源	———	———
b	MCB2P 50/ 20	所内警報用電源	———	———
c	MCB2P 50/ 20	換気扇用電源	———	———
d	MCB2P 50/ 20	SC系統用制御電源	———	———

計 41.0 (KVA)

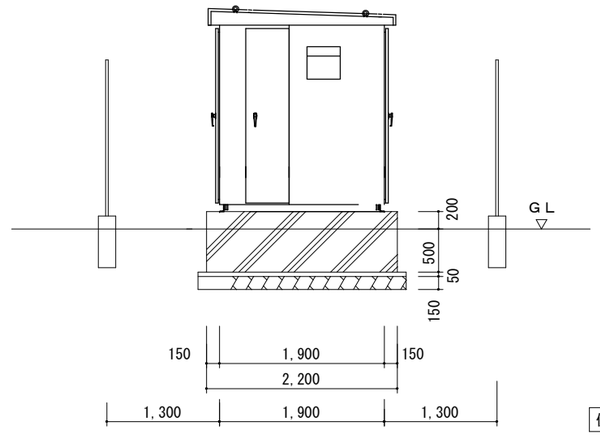
三相負荷

No	遮断器 P AF/AT	負荷名称	容量 (KW)	サイズ mm 2
2A	MCB3P225/200	P-11,エアコン	42.0	CET 100
2B	MCB3P100/100	P-12,ルームエアコン	14.0	CET 38
2C	MCB3P100/100	P-13,コンプレッサー他	10.0	CET 38
——	MCB3P100スペース		———	———

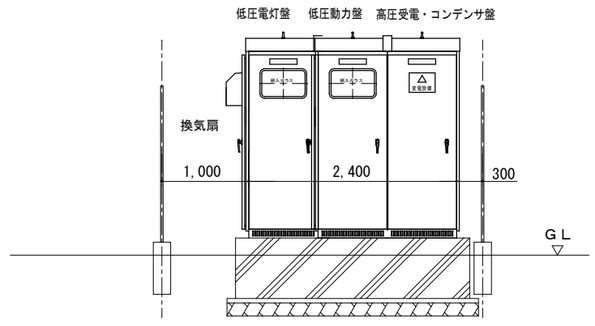
計 66.0 (KW)



平面図



側面図



（注記）
- なるべく小さなものとする。
- ２面体又は３面体とする。
- 参考寸法とする。
- 基礎及びフェンスは建築工事とする。

正面図

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO.
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	屋外キュービクル結線図・参考姿図	E－０３
						縮R：SCALE １：５０（A－２）	

盤名称・形式

Ｐ－１１

屋外、防水型

（壁掛型）

3φ3W200V

Ｃｕｂより

ＥＭ－ＣＥＴ１００□

ＭＣＣＢ　3Ｐ

２２５^{AF}/２００

回路番号	負荷番号	負荷名称	最大消費電力（最大低温時）（ｋＷ）	定格電流（Ａ）（定格暖房時）	最大電流（Ａ）	配線用遮断器 種別	Ｐ	ＡＦ	ＡＴ	２次側配線 ケーブル	露出配管保護	機器接続部分（ビニル被覆付）
①	ACP-1	ホール	７、３１	９、６	２５	Ｅ	３	３０	３０	ＥＭ－ＣＥ ５，５ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２８）	Ｆ２－３０＃
②	ACP-2	アトリエ１	７、３１	９、６	２５	Ｅ	３	３０	３０	ＥＭ－ＣＥ ５，５ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２８）	Ｆ２－３０＃
③	ACP-3	アトリエ２	７、３１	９、６	２５	Ｅ	３	３０	３０	ＥＭ－ＣＥ ５，５ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２８）	Ｆ２－３０＃
④	ACP-4	談話室（２階）	７、３１	９、６	２５	Ｅ	３	３０	３０	ＥＭ－ＣＥ ５，５ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２８）	Ｆ２－３０＃
⑤	ACP-5	アトリエ３（２階）	５、１８	７，８	２１	Ｅ	３	３０	３０	ＥＭ－ＣＥ ５，５ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２８）	Ｆ２－３０＃
⑥	ACP-6	廊下（２階）	７、００	９，０	２２	Ｅ	３	３０	３０	ＥＭ－ＣＥ ５，５ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２８）	Ｆ２－３０＃
—		ヨビスペース	——	——	——	—	３	３０	—	—	—	—

計　４１、４２（ｋＷ）　５５，２（Ａ）　１４３（Ａ）

盤名称・形式

Ｐ－１２

屋外、防水型

（壁掛型）

3φ3W200V

Ｃｕｂより

ＥＭ－ＣＥＴ３８□

ＭＣＣＢ　3Ｐ

１００^{AF}/１００

回路番号	負荷番号	負荷名称	最大消費電力（最大低温時）（ｋＷ）	定格電流（Ａ）（定格暖房時）	最大電流（Ａ）	配線用遮断器 種別	Ｐ	ＡＦ	ＡＴ	２次側配線 ケーブル	露出配管保護	機器接続部分（ビニル被覆付）
⑦	ACR-1	事務室	２，５	４，５	１５	Ｅ	２	３０	１５	ＥＭ－ＥＦＦ２，０－３Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２２）	Ｆ２－２４＃
⑧	ACR-2	個室Ａ（２階）	２，５	５，３	１５	Ｅ	２	３０	１５	ＥＭ－ＥＦＦ２，０－３Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２２）	Ｆ２－２４＃
⑨	ACR-３	キッチン（２階）	３，０	７，８	２０	Ｅ	２	３０	２０	ＥＭ－ＥＦＦ２，６－３Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２８）	Ｆ２－３０＃
⑩	ACR-4	個室Ｃ（２階）	３，０	８，２	２０	Ｅ	２	３０	２０	ＥＭ－ＥＦＦ２，６－３Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２８）	Ｆ２－３０＃
⑪	ACR-5	個室Ｂ	２，５	５，３	１５	Ｅ	２	３０	１５	ＥＭ－ＥＦＦ２，０－３Ｃ（内１本Ｅ）	Ｇ（２２）	Ｆ２－２４＃
—		ヨビスペース	——	——	——	—	２	３０	—	—	—	—

計　１３、５（ｋＷ）　３１，１（Ａ）　８５（Ａ）

盤名称・形式

Ｐ－１３

屋内、露出型

（壁掛型）

3φ3W200V

Ｃｕｂより

ＥＭ－ＣＥＴ３８□

Ｆ　ＷＬ(LED)

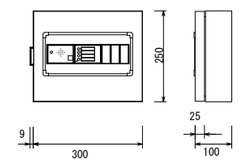
ＭＣＣＢ　3Ｐ

２２５^{AF}/１２５

回路番号	負荷名称	消費電力	配線用遮断器 種別	Ｐ	ＡＦ	ＡＴ	２次側配線 ケーブル	露出配管保護	参考品番
⑫	コンプレッサー（屋外,階段下）	３．７（ｋＷ）	Ｅ	３	６０		ＥＭ－ＣＥ ５，５ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）	ＺＧ（２８）	日立産機システム　3.7OP-14VP5
⑬	コンプレッサー（アトリエ１）	1.5　（ｋＷ）	Ｅ	３	３０		ＥＭ－ＣＥ ８ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）		アネスト岩田　CLP 15C-8.5D
⑭	集塵機（アトリエ１）	推定 1.5（ｋＷ）	Ｅ	３	３０		ＥＭ－ＣＥ ８ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）		KERV DC-103 集塵機
⑮	動力機器（アトリエ１　外部）	推定 1.5（ｋＷ）	Ｅ	３	３０		ＥＭ－ＣＥ ８ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）		
⑯	動力機器（アトリエ２）	推定 1.5（ｋＷ）	Ｅ	３	３０		ＥＭ－ＣＥ １４ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）		
⑰	動力機器（アトリエ３）	推定 1.5（ｋＷ）	Ｅ	３	３０		ＥＭ－ＣＥ １４ｓｑ－４Ｃ（内１本Ｅ）		
—	ヨビスペース	—	—	３	３０	—	—		
—	ヨビスペース	—	—	３	３０	—	—		
—	ヨビスペース	—	—	３	３０	—	—		

計　９，７（ｋＷ）

警報盤　４Ｌ、電池内蔵



回路名（打合せによる）

1.キュービクル異常

2.ヨビ　3.ヨビ　4.ヨビ

参考姿図

注記

1．仕様は経済型とする。

2．配線用遮断器 種別

Ｍは、MCCB

Ｅは、ELCB　30mA　0.1sec を示す。

3．遮断器はインバーター回路用とする。

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：ＤＡＴＡ	設計	検図	承認印	工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ	図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ	図面番号：ＤＷ　ＮＯ．確認
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	動力盤 結線図	Ｅ－０４
						縮尺：ＳＣＡＬＥ	

Ｌ－１１

屋内壁掛
露出型
鋼板製

1φ3W200/100V
ＥＭ－ＣＥＴ６０□

MCCB
3P
１５０AT

※

分岐

● ELCB（スリム型）2P50/20x52

24H、２回路、停保付

AS ― TS

※ ― 庭園灯 ― COS(自・停・手) ― R

― ライトアップ ― COS(自・停・手) ― R

照明負荷　2,222
コンセント負荷　19,300
計　21,522　(VA)

名称・形式	結線	回路番号	開閉器種別	P	AF	AT	電圧	負荷名称	負荷容量（VA）
		Ⓐ	●	2	50	20	100	非常照明	―
		Ⓑ	●	2	50	20	100	誘導灯	3
		Ⓒ	●	2	50	20	100	自火報受信機	100
		①	●	2	50	20	100	事務室・掃除用具庫・踏込　電灯	293
		②	●	2	50	20	100	アトリエ１　電灯	693
		③	●	2	50	20	100	玄関・ホール　電灯	364
		④	●	2	50	20	100	アトリエ２　電灯	450
		⑤	●	2	50	20	100	倉庫・便所　電灯	262
		⑥	●	2	50	20	100	~~庭園灯・ライトアップ~~　（将来）	~~57~~
		―	●	2	50	20	100	ヨビ	
		―	●	2	50	20	100	ヨビ	
		1	●	2	50	20	200	アトリエ１　温水器　コンセント	2,000
		2	●	2	50	20	200	アトリエ１　温水器　コンセント	2,000
		3	●	2	50	20	200	トイレパネルヒーター　コンセント	1,500
		4	●	2	50	20	200	アトリエ１　電動工具用	1,000
		5	●	2	50	20	200	アトリエ１　電動工具用	1,000
		6	●	2	50	20	200	アトリエ２　電動工具用	1,000
		7	●	2	50	20	200	アトリエ２　電動工具用	1,000
		―	●	2	50	20	200	ヨビ	
		1	●	2	50	20	100	警報盤、オルゴール、トイレ呼出、親時計	200
		2	●	2	50	20	100	ＬＡＮ機器　コンセント	200
		3	●	2	50	20	100	事務室　コンセント	400
		4	●	2	50	20	100	事務室　温水器　コンセント	600
		5	●	2	50	20	100	アトリエ1、天井ファクトライン　コンセント	200
		6	●	2	50	20	100	アトリエ1、天井ファクトライン　コンセント	200
		7	●	2	50	20	100	アトリエ1、天井ファクトライン　コンセント	200
		8	●	2	50	20	100	アトリエ1、天井ファクトライン　コンセント	200
		9	●	2	50	20	100	アトリエ１、壁　コンセント	200
		10	●	2	50	20	100	アトリエ１、壁　コンセント	200
		11	●	2	50	20	100	アトリエ１、壁　コンセント	200
		12	●	2	50	20	100	アトリエ１、壁　コンセント	200
		13	●	2	50	20	100	アトリエ１、机上　コンセント	200
		14	●	2	50	20	100	アトリエ１、机上　コンセント	200
		15	●	2	50	20	100	アトリエ１、壁　コンセント	200
		16	●	2	50	20	100	玄関・ホール・倉庫・通路・凍結防止　〃	600
		17	●	2	50	20	100	アトリエ2、天井ファクトライン　コンセント	200
		18	●	2	50	20	100	アトリエ2、天井ファクトライン　コンセント	200
		19	●	2	50	20	100	アトリエ２、壁　コンセント	300
		20	●	2	50	20	100	アトリエ２、壁　コンセント	200
		21	●	2	50	20	100	アトリエ２、壁　コンセント	300
		22	●	2	50	20	100	男子トイレ　コンセント	1,300
		23	●	2	50	20	100	女子トイレ　コンセント	1,300
		24	●	2	50	20	100	多目的トイレ　コンセント	1,300
		25	●	2	50	20	100	玄関先　外壁　コンセント	100
		26	●	2	50	20	100	玄関先　外壁　コンセント	100
100	玄関先　外壁	20	50	2	●	27			
100	玄関先　外壁	20	50	2	●	28			
100	外壁コンセント	20	50	2	●	29			
―	ヨビ	20	50	2	●	―			
―	ヨビ	20	50	2	●	―			
―	ヨビ	20	50	2	●	―			
―	ヨビ	20	50	2	●	―			

Ｌ－２１

屋内壁掛
露出型
鋼板製

1φ3W200/100V
ＥＭ－ＣＥＴ６０□

MCCB
3P
１２５AT

分岐

● ELCB（スリム型）2P50/30x　1

● ELCB（スリム型）2P50/20x36

照明負荷　2,200
コンセント負荷　16,500
計　18,700　(VA)

名称・形式	結線	回路番号	開閉器種別	P	AF	AT	電圧	負荷名称	負荷容量（VA）
		A	●	2	50	30	200	（IHヒータ）	
		Ⓐ	●	2	50	20	100	非常照明	―
		Ⓑ	●	2	50	20	100	誘導灯	3
		①	●	2	50	20	100	倉庫・便所・シャワー室　電灯	388
		②	●	2	50	20	100	アトリエ３　電灯	450
		③	●	2	50	20	100	階段・廊下　電灯	136
		④	●	2	50	20	100	談話室　電灯	707
		⑤	●	2	50	20	100	キッチン・ホール・個室A，B，C　電灯	516
		―	●	2	50	20	100	ヨビ	―
		1	●	2	50	20	200	キッチン　温水器　コンセント	2,000
		2	●	2	50	20	200	アトリエ３　温水器　〃	2,000
		3	●	2	50	20	200	トイレパネルヒーター　〃	1,500
		4	●	2	50	20	200	アトリエ３　電動工具用　〃	1,000
		5	●	2	50	20	200	アトリエ３　電動工具用　〃	1,000
		―	●	2	50	20	200	ヨビ	―
		1	●	2	50	20	100	アトリエ３　コンセント	200
		2	●	2	50	20	100	アトリエ３　コンセント	200
		3	●	2	50	20	100	アトリエ３　コンセント	300
		4	●	2	50	20	100	アトリエ３　天井 コンセント	200
		5	●	2	50	20	100	倉庫・廊下	300
		6	●	2	50	20	100	洗濯室　温水器	600
		7	●	2	50	20	100	洗濯室　乾燥機　コンセント	500
		8	●	2	50	20	100	洗濯室、洗濯機用　コンセント	500
		9	●	2	50	20	100	男子トイレ　コンセント	1,300
		10	●	2	50	20	100	女子トイレ　コンセント	1,300
		11	●	2	50	20	100	談話室　コンセント	300
		12	●	2	50	20	100	談話室　コンセント	400
		13	●	2	50	20	100	キッチン　コンセント	200
		14	●	2	50	20	100	キッチン　コンセント	200
		15	●	2	50	20	100	キッチン、電子レンジ　コンセント	800
		16	●	2	50	20	100	キッチン、冷蔵庫　コンセント	300
		17	●	2	50	20	100	ホール　コンセント	400
		18	●	2	50	20	100	個室A　コンセント	300
		19	●	2	50	20	100	個室B　コンセント	300
		20	●	2	50	20	100	個室C　コンセント	400
		21	●	2	50	20	100	ヨビ	―
		22	●	2	50	20	100	ヨビ	―

1. 電灯盤・動力盤 仕様　⊙印を適用

・ 国交省　⊙ 経済型

安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日：DATA

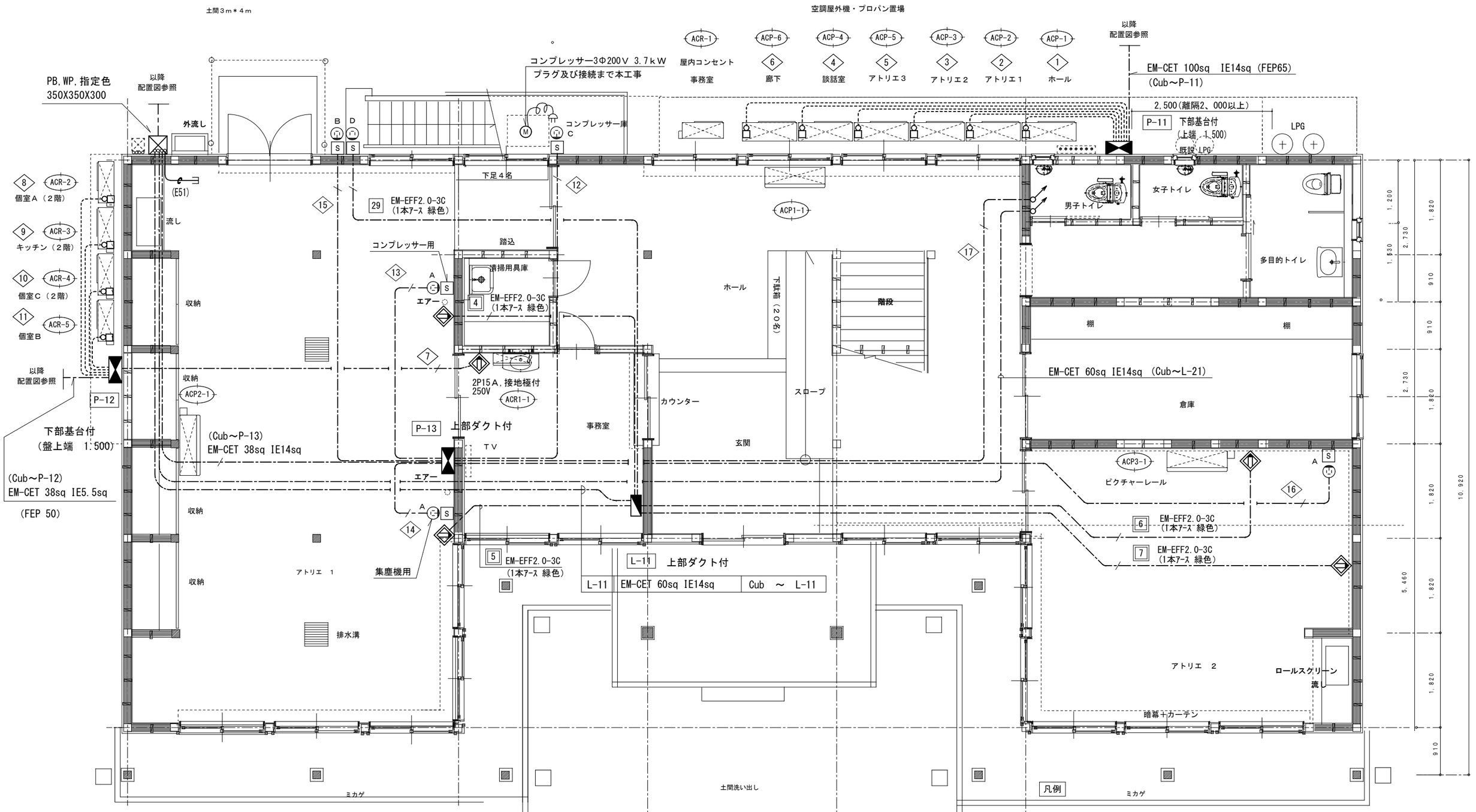
設計	検図	承認印
製図	担当	承認年月日 2024.1.24

工事名称：PR NAME　令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW NAME　電灯盤 結線図

縮尺：SCALE

図面番号：DW NO.　確認　Ｅ－０５



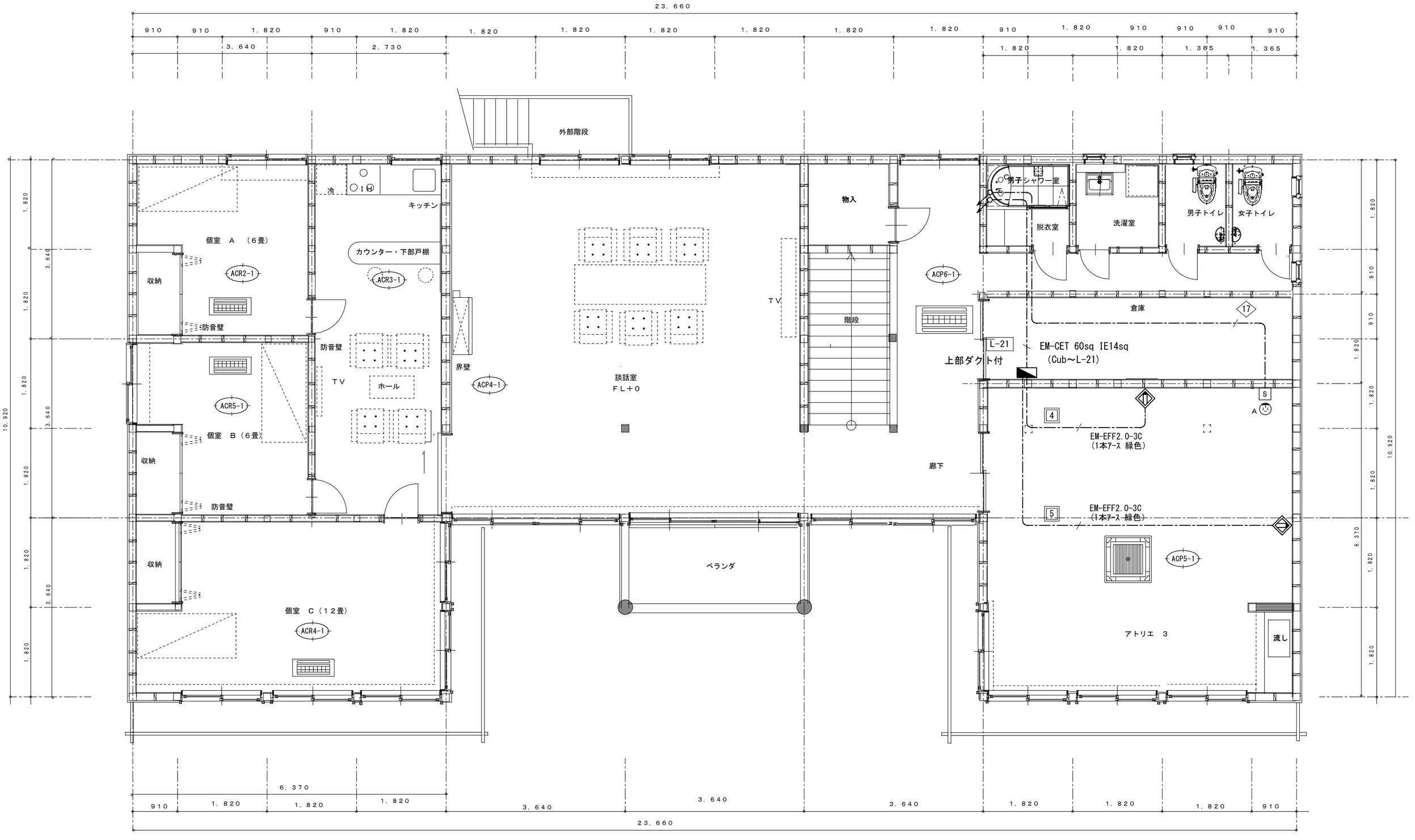
シンボル	名称				参考品番
S A	ケースブレーカー	屋内用	ELB3P30AF/30A,接地ｺﾝｾﾝﾄ3P20Ax2	3Φ3W 200V	BDDB 3303 R3K
S B	〃	屋外用	ELB3P30AF/30A,接地ｺﾝｾﾝﾄ3P20Ax1	3Φ3W 200V	BED 3303 R271K
S C	〃	〃	ELB3P30AF/15A 3.7kW	3Φ3W 200V	BCK 31571K
S D	〃	〃	ELB2P30AF/20Ax2,接地ｺﾝｾﾝﾄ2P20Ax2	1Φ2W 100V	BEDS 22031 R57
	埋込コンセント	屋内用	ワイド型、15Ａ・20Ａ兼用型、接地端子付	1Φ2W 200V	WTF 19324 WK

注記

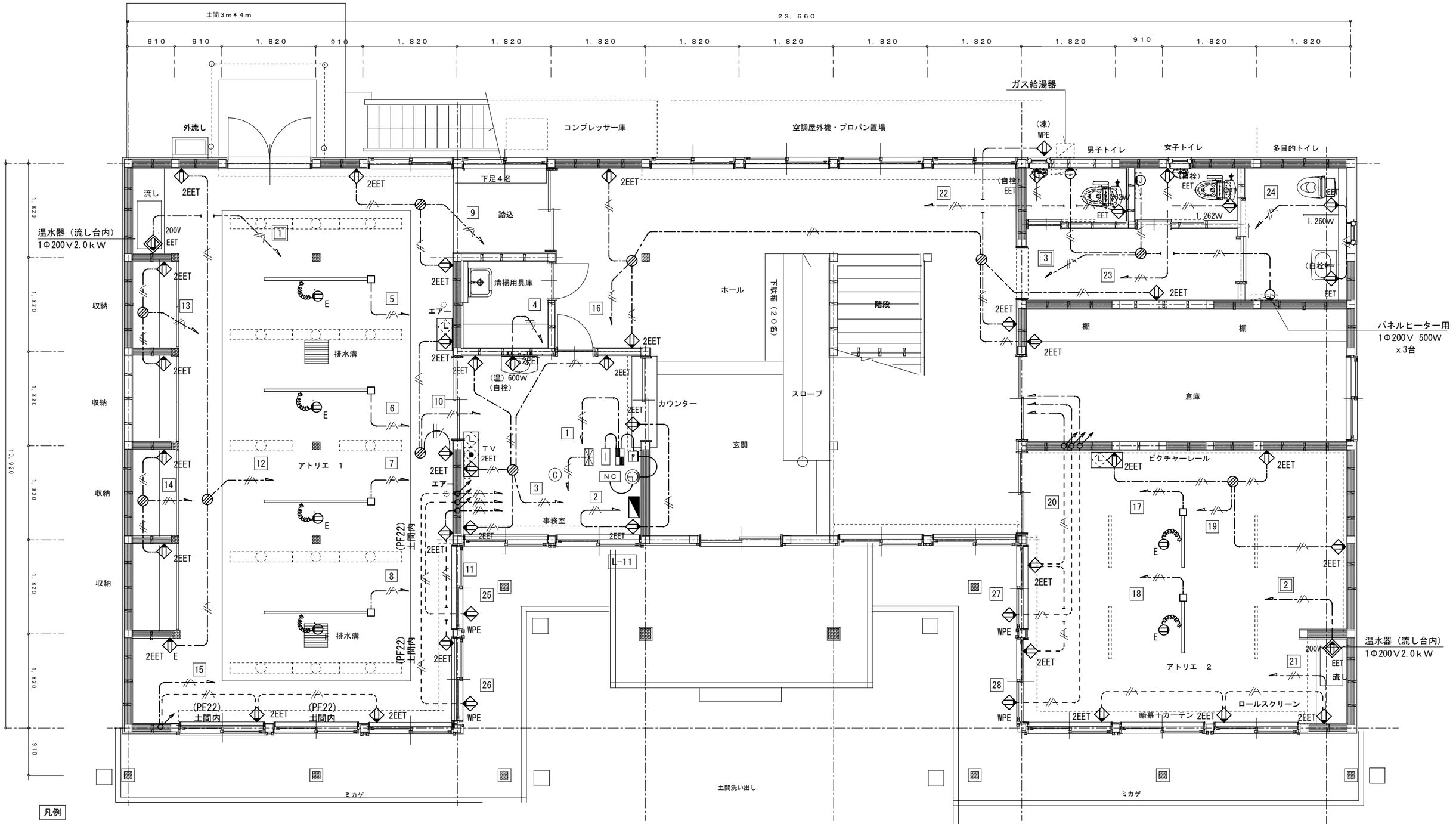
・集塵機・コンプレッサー・ケースブレーカー・コンセントの位置は、監理者の指示による。

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 幹線・動力設備 １階 改修平面図
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮尺：SCALE １：５０（Ａ－２）

図面番号：DW NO. 確認 Ｅ－０６



安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 幹線・動力設備　２階 改修平面図	図面番号：DW　NO. Ｅ－０７
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮R：SCALE １：５０（Ａ－２）	



凡例

シンボル	名　称		
EET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ　ﾜｲﾄﾞ型	2P15A 接地極付x1+ET	
2EET	〃　〃	2P15A 接地極付x2+ET	
200V EET	〃　〃	15A,20A兼用型 250V	
2EET	〃　〃	（耐火防音ボックス）	
2EET	〃　〃	（防音スイッチボックス）	
2EET	〃　〃	+TV+LAN	

シンボル	名　称
30A	2P30A接地極（IHﾋｰﾀｰ仕様による）
E	ﾌｧｸﾄﾗｲﾝ20ﾘｰﾗｰｺﾝｾﾝﾄE付 DH26751W
WPE	ｽﾏｰﾄ防水 WK 4632（色は打合）
	ファクトライン２０Ａ、Ｅ付
防火	国交通省認定工法　防火区画処理
防音	防音区画処理

凡例

シンボル	名　称
	EM-EFF 2.0-2C （1線アース　緑色） 天井いんぺい配線
	EM-EFF 2.0-3C （1線アース　緑色） 〃
	EM-EFF 2.0-3C （1線アース 緑色） PF(22) 床いんぺい配線

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：DATA

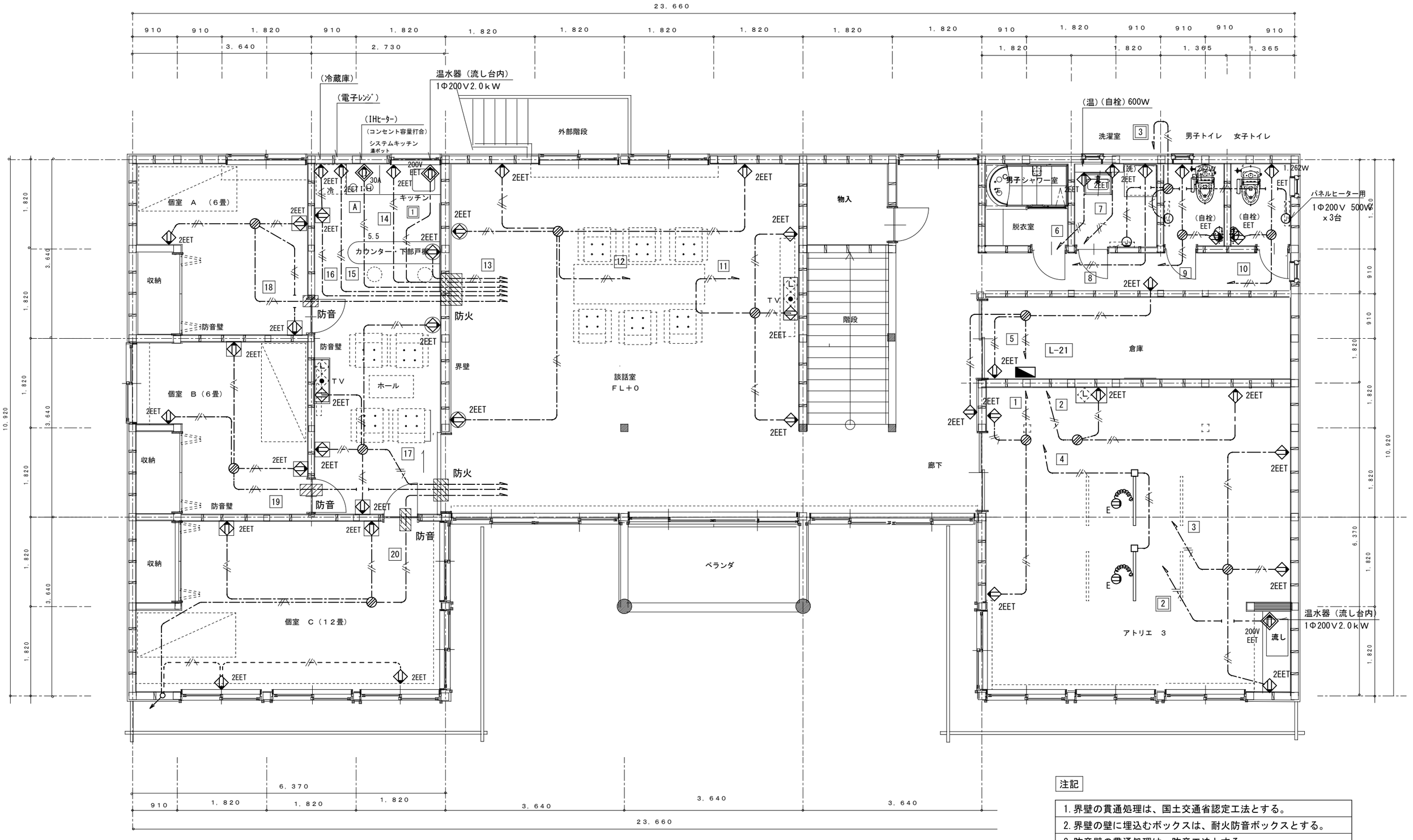
設計	検図	承認印
製図	担当	承認年月日 2024.1.24

工事名称：PR NAME
令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW NAME
コンセント設備　１階 改修平面図

縮尺：SCALE
１：５０（Ａ－２）

図面番号：DW NO.　確認
Ｅ－０８



注記

1. 界壁の貫通処理は、国土交通省認定工法とする。
2. 界壁の壁に埋込むボックスは、耐火防音ボックスとする。
3. 防音壁の貫通処理は、防音工法とする。
4. 防音壁に埋込むボックスは、防音ボックスとする。

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO.
		製図	担当	承認年月日 2024，1，24	令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	コンセント設備 ２階 改修平面図	E－０９
						縮尺：SCALE １：５０（A－２）	

照明器具姿図（新設）

A （富士２２） ＬＳＳ９－２－３０

３，２００ Ｌｍ



２Ｆ倉庫

B （富士３１） ＬＳＳ９－４－３０

３，２００ Ｌｍ



１Ｆ倉庫

C （富士４２） ＬＳＳ９－４－６５

６，９００ Ｌｍ



事務室

D （ダウン１００W型） ７３６ Ｌｍ

オーデリック OD 361 041 （044 ） 同等品

※ 枠の色は、施工時に決定とする。
※ 光源の色温度は、施工時に決定とする。



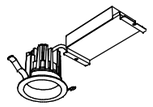
高気密ＳＢ
LED 7.2W 5000K
巾φ87 埋込穴φ75 埋込高85
高演色LED 調光器不可

洗濯室
２Ｆ廊下
２Ｆ便所通路
女子トイレ
男子トイレ

E （ダウン１５０W型） １，１５０ Ｌｍ

オーデリック OD 361 488 （491） 同等品

※ 枠の色は、施工時に決定とする。
※ 光源の色温度は、施工時に決定とする。

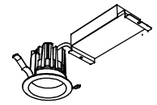


高気密ＳＢ
LED 11.4W 5000K
巾φ114 埋込穴φ100 埋込高100
高演色LED 調光 位相制御

階段
玄関・ホール
多目的トイレ
アトリエ１
アトリエ２
アトリエ３

F （ダウン２００W型） １，５００ Ｌｍ

オーデリック OD 361 483 R 同等品



高気密ＳＢ
LED 14.5W 5000K
巾φ114 埋込穴φ100 埋込高100
高演色LED 調光 位相制御

踏込
１Ｆ便所通路

G （直付、調光、調色） ４、９００ Ｌｍ

オーデリック OL 291 508 同等品

※ 枠の色は、施工時に決定とする。



LED 48W 2700~6500K
巾□500 高45
高演色LED Bluetooth調光・調色
コントローラー別売 調光器不可

談話室

H （ダクト用３２） ５，０００ Ｌｍ

オーデリック OL 291 567 R1M 同等品

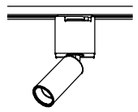


LEDユニット UN6101RM
34W 2700~6500K
巾36 長1,200 高76
高演色LED Bluetooth調光・調色
コントローラー別売 調光器不可 レール取付専用

アトリエ２
アトリエ３

I （ダクト用スポット） ５２１ Ｌｍ

オーデリック OS 256 678 BR 同等品



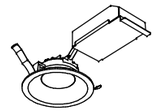
LED 6.2W 2700~6500K
巾φ45 長102
高演色LED Bluetooth調光・調色
コントローラー別売 調光器不可 レール取付専用

アトリエ２
アトリエ３

K （ダウン２００W型 調光、調色）

オーデリック OD 361 277(278) BR 同等品

※ 枠の色は、施工時に決定とする。



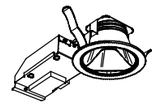
15VA
１，４５０ Ｌｍ
高気密ＳＢ
LED 15W 2700~6500K
巾φ140 埋込穴φ125 埋込高100
高演色LED Bluetooth調光・調色
コントローラー別売 調光器不可

キッチン ホール
談話室

L （ダウン２００W型 調光、調色）

オーデリック OD 361 443(444) BCR 同等品

※ 枠の色は、施工時に決定とする。

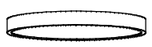


８７９ Ｌｍ
高気密ＳＢ
LED 8.5W 2700~6500K
巾φ114 埋込穴φ100 埋込高80
高演色LED Bluetooth調光・調色
コントローラー別売 調光器不可

キッチンカウンター

M （直付、調光、調色） ３、５２０ Ｌｍ

オーデリック OL 291 363 BR 同等品

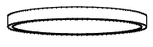


LED 32W 2700~6500K
巾φ500 高45
高演色LED Bluetooth調光・調色
コントローラー別売 調光器不可

個室Ａ（６畳）
個室Ｂ（６畳）

N （直付、調光、調色） ５，３００ Ｌｍ

オーデリック OL 291 411 BR 同等品



LED 52W 2700~6500K
巾φ600 高45
高演色LED Bluetooth調光・調色
コントローラー別売 調光器不可

個室Ｃ（１２畳）

O （直付防湿） ５９１Ｌｍ

オーデリック OW 269 045 LR 同等品



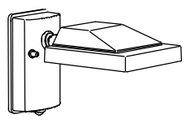
LED電球一般形 7.2W 2700K
巾φ140 高168
高演色LED 防湿型 調光器不可

清掃用具庫
物入

P （壁付１５０W型） １，２０１ Ｌｍ

オーデリック OG 254 681（683）同等品

※ 枠の色は、施工時に決定とする。
※ 光源の色温度は、施工時に決定とする。

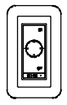


LED 12W 5000K
巾145 長160
人感センサー付 防雨型 調光器不可

外壁

Q コネクテッドスイッチ

オーデリック ＬＣ ６１７ 同等品



巾70 高120 出14

各所

S （直付、調光、調色） ５、０００ Ｌｍ

オーデリック OL 291 573 RIM 同等品



LEDユニット UN6101RM 34W 2700~6500K
巾36 長1,200 高72
高演色LED Bluetooth調光・調色
コントローラー別売 調光器不可

アトリエ１

T （直付、調光、調色） ３、８００ Ｌｍ

オーデリック OL 291 574 RIM 同等品



LEDユニット UN6201RM 25.8W 2700~6500K
巾36 長900 高72
高演色LED Bluetooth調光・調色
コントローラー別売 調光器不可

アトリエ１

U （軒天、親機） 510 Ｌｍ

パナ LRDC3144L LE1（LRDC3143L LE1）同等品

※ 枠の色は、施工時に決定とする。



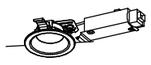
電球色
器具光束５１０ｌｍ、消費電力７．６W、電圧１００Ｖ
電源ユニット内蔵、拡散タイプ、ＰａＰＩＲｓ・明るさセンサ付
防雨型、高気密ＳＢ形、点灯照度調整機能付
※ 枠：アルミダイカスト（ブラックつや消し）
埋込穴φ１００

玄関外 軒天

V （軒天、子機） 550 Ｌｍ

パナ LRD3101L LB1（LRD3100L LB1） 同等品

※ 枠の色は、施工時に決定とする。

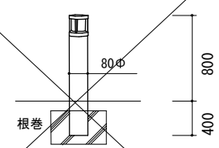


電球色
器具光束５５０ｌｍ、消費電力７．３W、電圧１００Ｖ
拡散タイプ、高気密ＳＢ形、防湿型・防雨型
位相制御対（２線式）
※ 枠：アルミ（ブラックつや消し）
埋込穴φ１００

玄関外 軒天

W （アプローチライト） 1.201 Ｌｍ

パナ エントランスライト、XLGE532BHZ 同等品

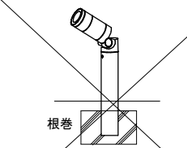


電球色（２７００Ｋ）、Ｒａ８０
器具光束１２０ｌｍ、消費電力４．３W、電圧１００Ｖ
防雨型、ネジ方式 幅φ８４・地上高８００
ポール：ステンレス（オフブラック）
グローブ：アクリル（乳白）
ガード：アルミダイカスト（オフブラック）

外部

X （ライトアップ） 5.701 Ｌｍ

パナ LEDガーデンライトXLGE7712LE1 同等品



電球色（２７００Ｋ）、Ｒａ８３ 集光タイプ、防雨型
器具光束５７０ｌｍ、消費電力８．２W、電圧１００Ｖ
ポール：アルミ（オフブラック）、アルミダイカスト（オフブラック）
パネル：ガラス（透明）
可動範囲上下９０度、回転方向１８０度
灯具部幅φ５７・長１１７・地上高８２５

外部

（特記） 1.姿図は参考とし最終決定は協議による。
2.色温度は協議による。

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計 / 製図	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日 2024.1.24	工事名称：PR NAME 令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 照明器具姿図（新設） / 縮尺：SCALE	図面番号：DW NO. 確認 E－１０

踏込	
F	（ダウン２００W型）、１，５００ Ｌｍｘ１台

清掃用具庫	
O	（直付防湿）　　５９１ Ｌｍ　ｘ１台

玄関・ホール	
E	（ダウン１５０W型）、１，１５０ Ｌｍｘ２９台

女子トイレ	
D	（ダウン１００W型）、　７３６ Ｌｍｘ１台

多目的トイレ	
E	（ダウン１５０W型）、１，１５０ Ｌｍｘ２台

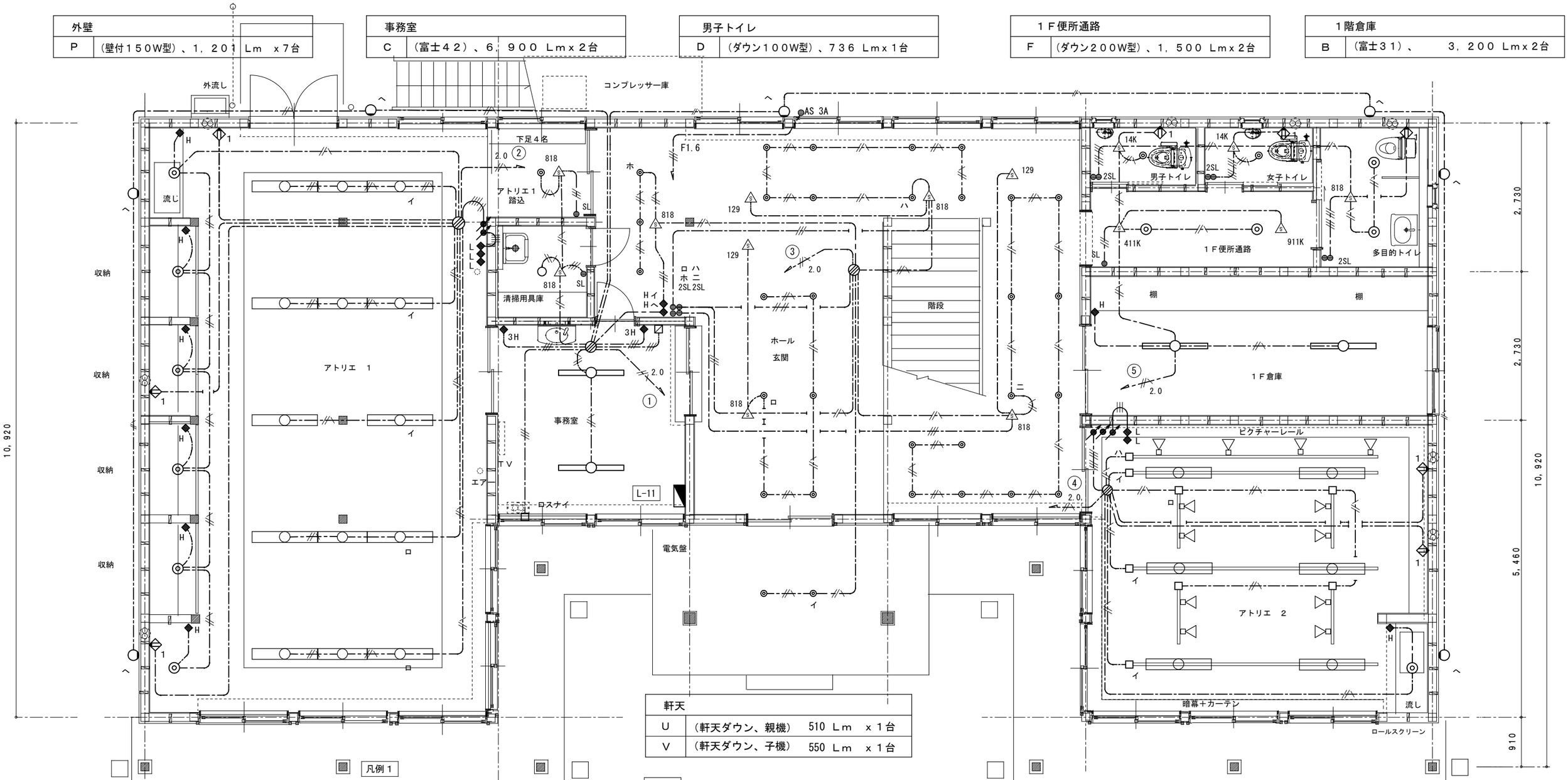
外壁	
P	（壁付１５０W型）、１，２０１ Ｌｍ　ｘ７台

事務室	
C	（富士４２）、６，９００ Ｌｍｘ２台

男子トイレ	
D	（ダウン１００W型）、７３６ Ｌｍｘ１台

１Ｆ便所通路	
F	（ダウン２００W型）、１，５００ Ｌｍｘ２台

１階倉庫	
B	（富士３１）、　　３，２００ Ｌｍｘ２台



軒天	
U	（軒天ダウン、親機）　510 Ｌｍ　ｘ１台
V	（軒天ダウン、子機）　550 Ｌｍ　ｘ１台

アトリエ1　　。	
S	（直付、調光、調色）５、０００ Ｌｍｘ１０台
T	（直付、調光、調色）３、８００ Ｌｍｘ４台
E	（ダウン１５０W型）、１，１５０ Ｌｍｘ２台
F	（ダウン２００W型）、１，５００ Ｌｍｘ５台
Q	コネクテッドスイッチ　ｘ２個

（注記）、外壁灯の位置は係員と協議のこと。

凡例１

シンボル	名　　称
◆	ﾜｲﾄﾞ型　1P 15Ax1 ネーム付
◆H	〃　1P 15Ax1 ネーム付：ホタル
◆3	〃　3W 15Ax1 ネーム付
◆3H	〃　3W 15Ax1 ネーム付：ホタル
◆L	〃　1P 0.5A パイロット、ネーム付
▨	換気スイッチ（設備支給品）取付本工事
	コネクテッドスイッチ（照明姿図：Q）
	〃　（防音スイッチボックス）
	〃　（耐火防音ボックス）

凡例２

シンボル	名　　称
S 818	人感センサー　親機 8A　WTK 24818
S 129	〃　子機　WTK 29129
S 411K	〃　廊下（親機）　WTK 2411 K
S 911K	〃　廊下（子機）　WTK 2911 K
S 14K	〃　照明＋換気　WTK 2614 K
● SL	操作ユニット　１回路用　WTC 5820 W
●● 2SL	〃　２回路用　WTC 5822 W
□	配線ダクト２ＰＥ付　１５Ａ

凡例３

シンボル	名　　称
ーー—ーー	EM-EFF 1.6-2C　天井いんぺい配線
ーー//ーー	EM-EFF 1.6-3C　〃
ーー//ーー	EM-EFF 1.6-2Cx2　〃
ーー///ーー	EM-EFF 1.6-2C+3C　〃
ーー//ーー 2.0	EM-EFF 2.0-3C （1線アース 緑色）〃
ーー//ーー	EM-EFF 1.6-3C （1線アース 緑色）〃

アトリエ２	
H	（ダクト用３２）、　５，０００ Ｌｍｘ６台
I	（ダクト用スポット）、５２１ Ｌｍｘ１２台
E	（ダウン１５０W型）、１，１５０ Ｌｍｘ１台
Q	コネクテッドスイッチ　ｘ３個
ー	配線ダクト２ＰＥ付　１５Ａｘ　４，５ｍｘ４組
ー	配線ダクト２ＰＥ付　１５Ａｘ　１，０ｍｘ４組

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO. 確認
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	電灯設備　１階 改修平面図	Ｅ－１１
						縮尺：SCALE １：５０（A－2）	

個室Ａ（６畳）	
M	（直付、調光、調色） ３、５２０ Ｌｍｘ１台
Q	コネクテッドスイッチ ｘ１個

キッチン・ホール	
K	（ダウン２００W型 調光、調色）１，４５０ Ｌｍｘ８台
L	（ダウン２００W型 調光、調色）８７９ Ｌｍｘ２台
Q	コネクテッドスイッチ ｘ３個

物入	
O	（直付防湿）、５９１ Ｌｍｘ１台

階段	
E	（ダウン１５０W型）１，１５０ Ｌｍｘ６台

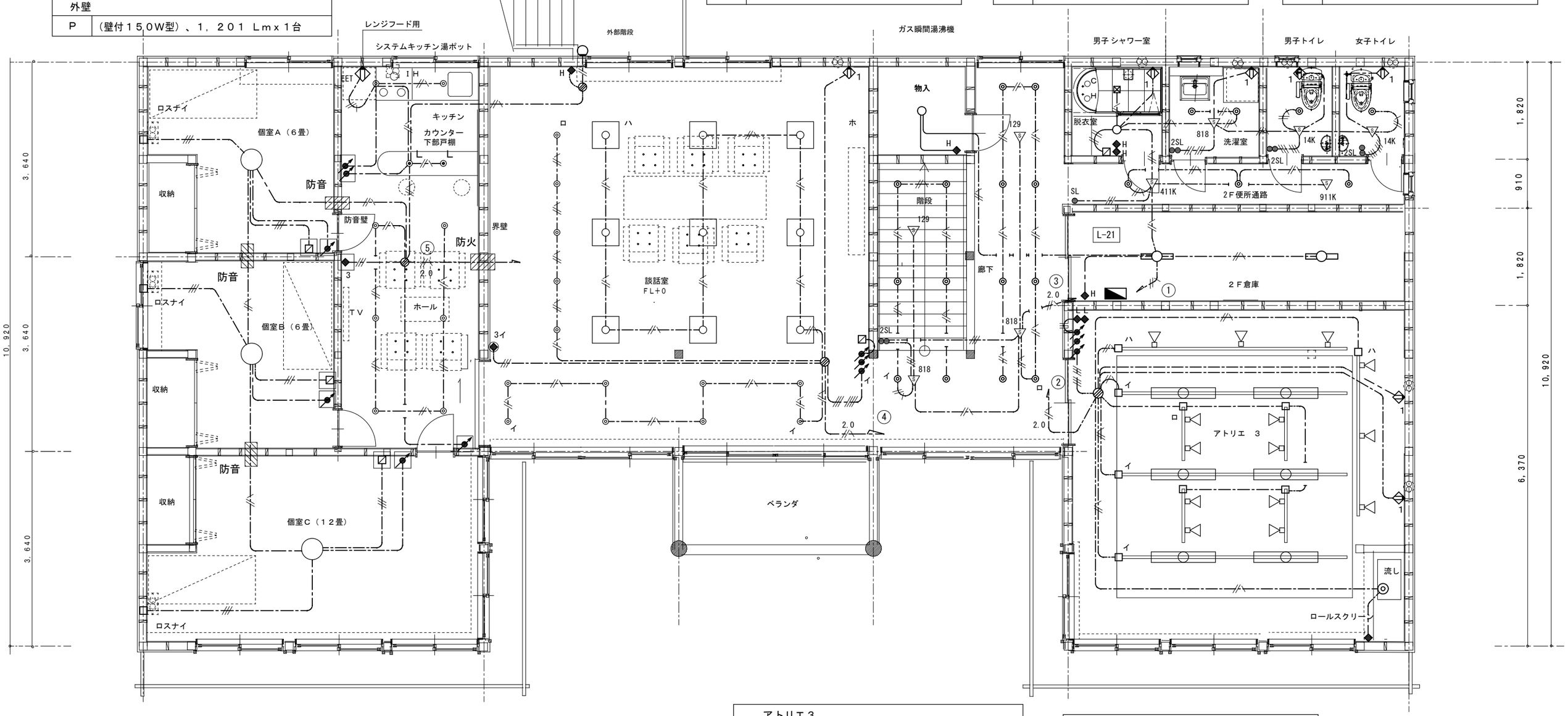
廊下	
D	（ダウン１００W型）、７３６ Ｌｍｘ８台

脱衣室	
O	（直付防湿）、５９１ Ｌｍｘ１台

洗濯室	
D	（ダウン１００W型）、７３６ Ｌｍｘ２台

男子トイレ	
D	（ダウン１００W型）、７３６ Ｌｍｘ１台

外壁	
P	（壁付１５０W型）、１，２０１ Ｌｍｘ１台



個室Ｂ（６畳）	
M	（直付、調光、調色） ３、５２０ Ｌｍｘ１台
Q	コネクテッドスイッチ ｘ１個

個室Ｃ（１２畳）	
N	（直付、調光、調色） ５，３００ Ｌｍｘ１台
Q	コネクテッドスイッチ ｘ１個

談話室	
G	（直付、調光、調色） 4、９００ Ｌｍｘ９台
K	（ダウン２００W型 調光、調色） １，４５０ Ｌｍｘ１３台
Q	コネクテッドスイッチ ｘ３個

アトリエ３	
H	（ダクト用３２）、 ５，０００ Ｌｍｘ６台
I	（ダクト用スポット）、５２１ Ｌｍｘ１４台
E	（ダウン１５０W型）、１，１５０ Ｌｍｘ１台
Q	コネクテッドスイッチ ｘ３個
―	配線ダクト２ＰＥ付 １５Ａｘ ４．０ｍｘ４組
―	配線ダクト２ＰＥ付 １５Ａｘ ３、０ｍｘ１組
―	配線ダクト２ＰＥ付 １５Ａｘ １、０ｍｘ４組

女子トイレ	
D	（ダウン１００W型）、７３６ Ｌｍｘ１台

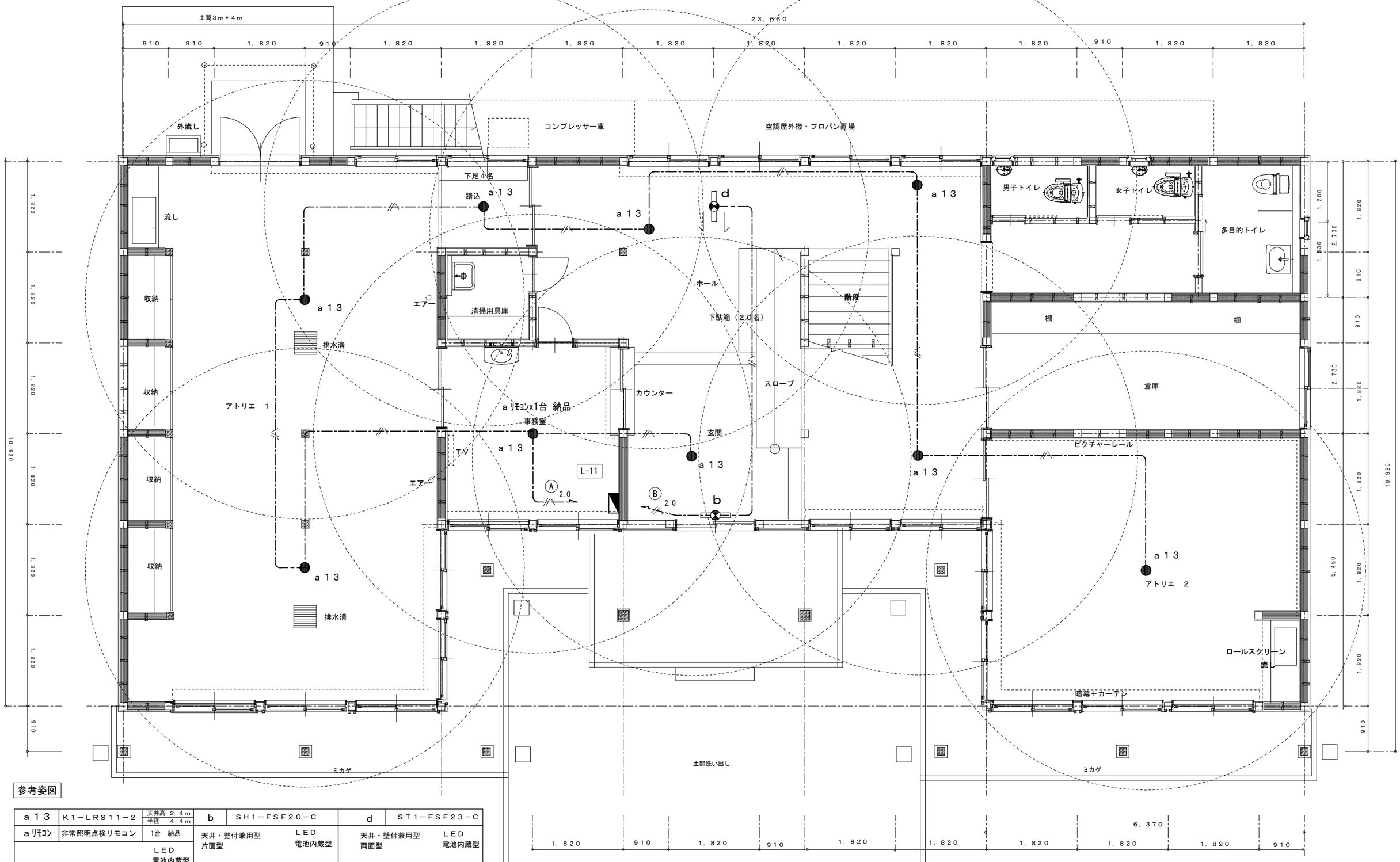
２Ｆ便所通路	
D	（ダウン１００W型）、７３６ Ｌｍｘ３台

２階倉庫	
A	（富士２２）、３．２００ Ｌｍｘ２台

凡例

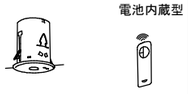
シンボル	名 称
防火	国交通省認定工法 防火区画処理
防音	防音区画処理

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計 / 製図	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日 2024.1.24	工事名称：PR NAME 令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 電灯設備 ２階 改修平面図 / 縮尺：SCALE １：５０（A－２）	図面番号：DW NO. 確認 E－１２



参考姿図

a13	K1−LRS11−2	天井高 2.4m 半径 4.4m	b	SH1−FSF20−C	d	ST1−FSF23−C
aリモコン	非常照明点検リモコン	1台 納品	天井・壁付兼用型 片面型	LED 電池内蔵型	天井・壁付兼用型 両面型	LED 電池内蔵型





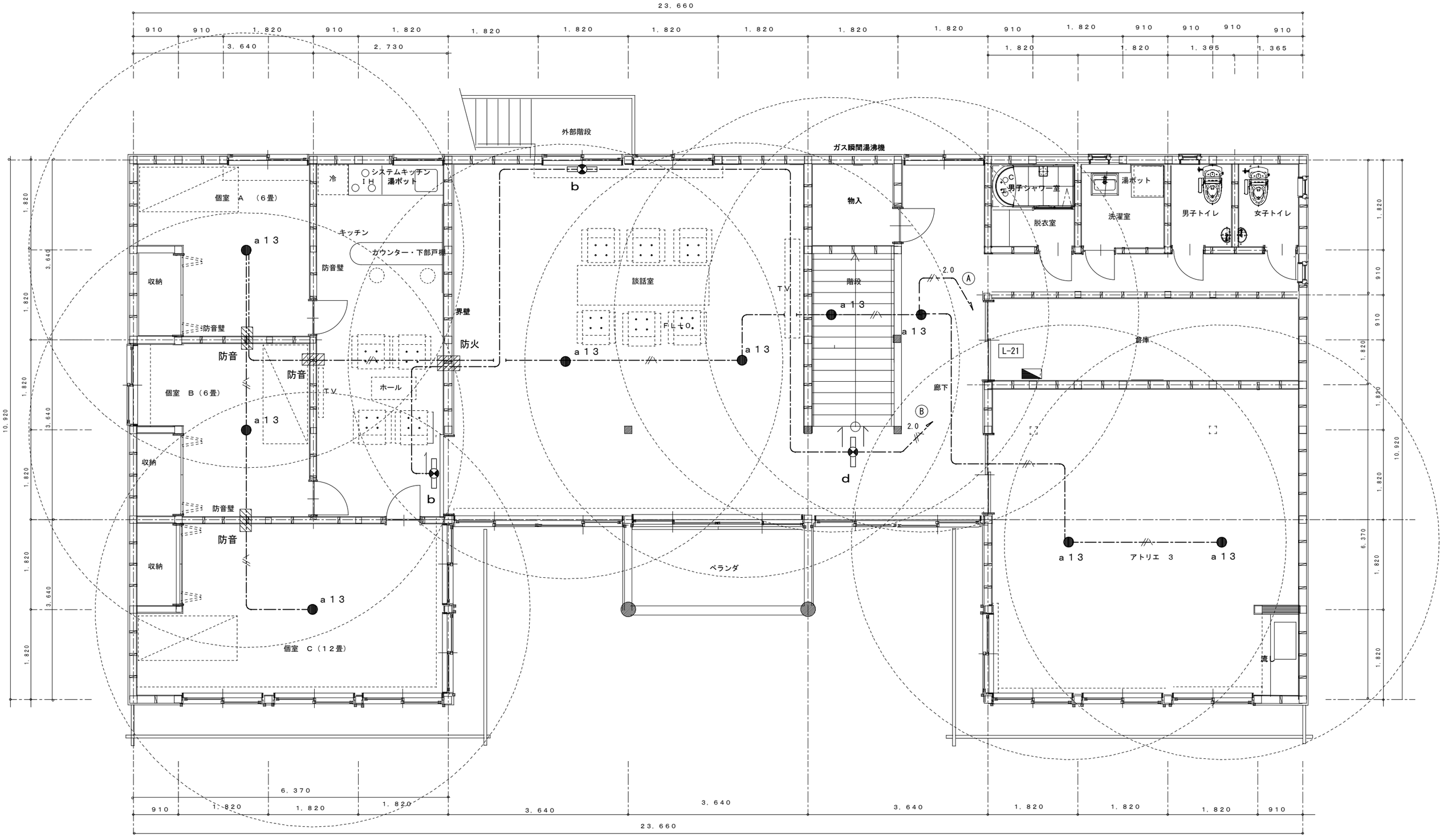


凡例

シンボル	名　称
2.0	EM-EFF 2.0-3C （1線アース 緑色） 天井いんぺい配線
	EM-EFF 1.6-3C （1線アース 緑色） 〃

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW NAME 非常照明・誘導灯設備 1階 改修平面図
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮尺：SCALE 1：50（A−2）

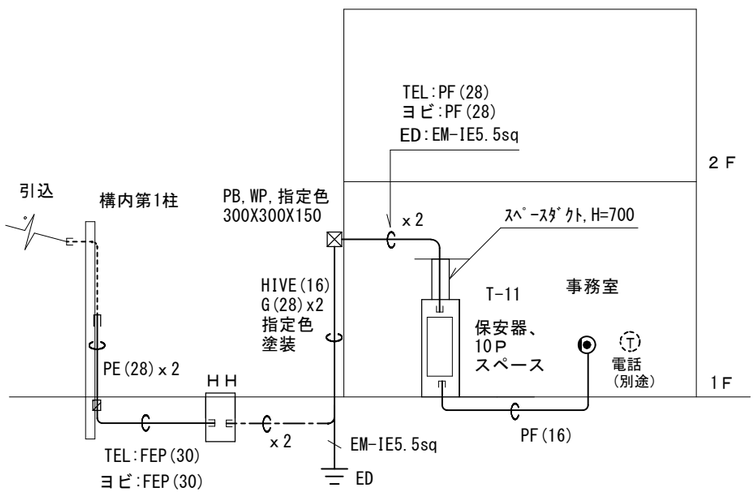
図面番号：DW NO. 確認
E−13



安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 非常照明・誘導灯設備　２階　改修平面図	図面番号：DW　NO. Ｅ－１４
		製図	担当	承認年月日 2024．1．24		縮尺：SCALE １：５０（A－２）	

電話カラ配管設備 系統図

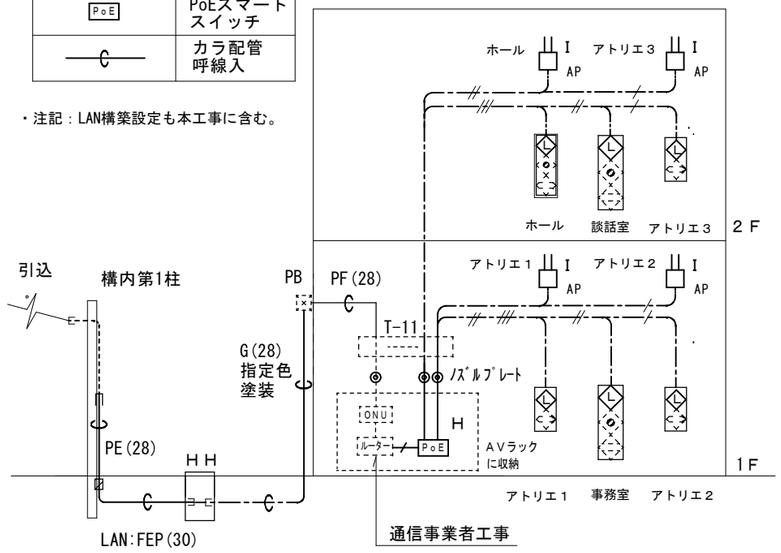
凡例	名　　称
——C——	カラ配管、呼線入
◉	電話用モジュラージャック （6極4芯）
(T)	電話器 （別途工事）



構内情報通信網設備（ＬＡＮ） 系統図

凡例	名　　称
／	EM-UTP 0.5-4P(CAT6)　天井いんぺい
L	情報用モジュラージャック （CAT6） ﾜｲﾄﾞ型、複合ﾌﾟﾚｰﾄ
AP	無線LANアクセスポイント
PoE	PoEスマートスイッチ
——C——	カラ配管 呼線入

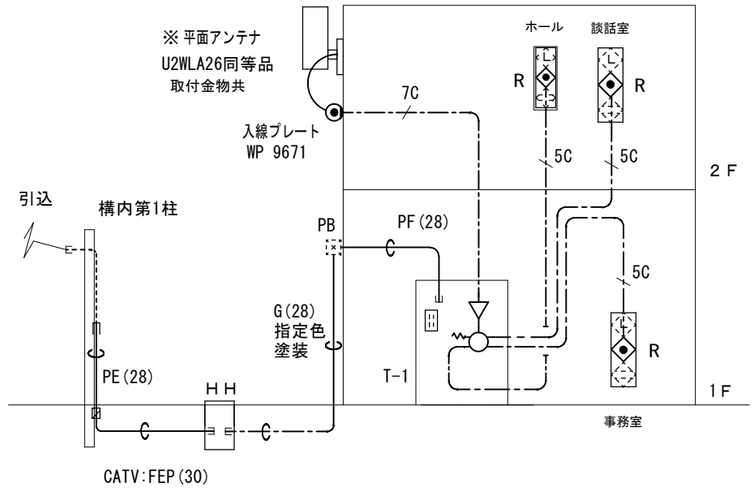
・注記：LAN構築設定も本工事に含む。



テレビ共同受信設備 系統図

凡例	名　　称		
7C	EM-S-7C-FB　天井いんぺい	▽	CATV/UHF・CS・BSブースター 10UBCAW33S 同等品
5C	EM-S-5C-FB　天井いんぺい	⊥○⊥	4分配器:SH-D4
——C——	カラ配管、呼線入	◈R	テレビ端子:SH-7F

※1　アンテナの位置・向きは
現場調査により決定のこと。

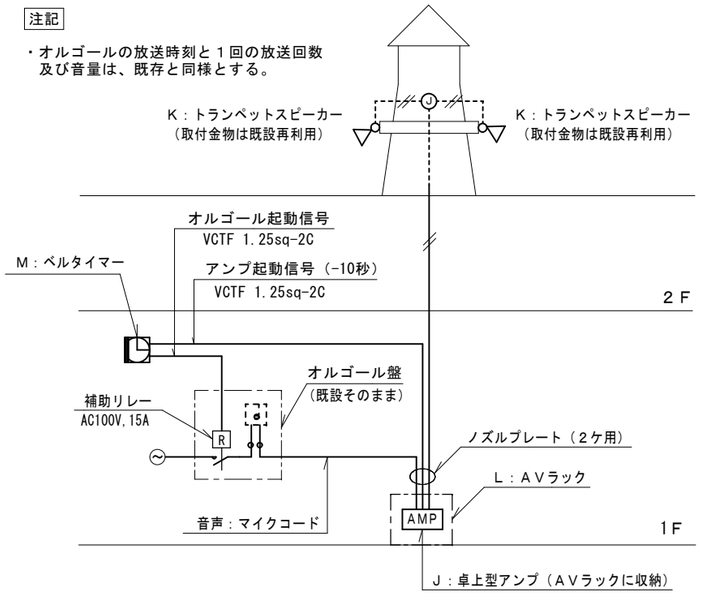


オルゴール放送設備　系統図

凡例	名　　称
／／	EM-AE 1.2-2C　天井いんぺい
(PF16) ／／	EM-AE 1.2-2C　(PF16) 塗装

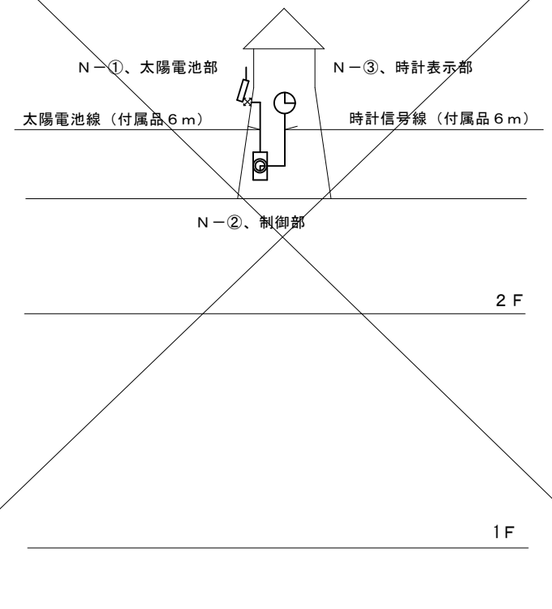
注記

・オルゴールの放送時刻と１回の放送回数
及び音量は、既存と同様とする。



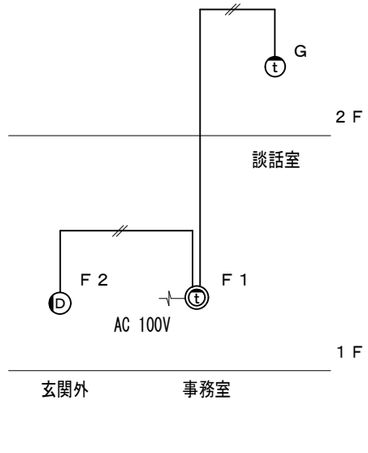
太陽電池時計設備　系統図

凡例	名　　称	凡例	名　　称
◷	壁取付型、700Φ	／	太陽電池部（時計に付属）
▣	制御部（時計に付属）電池内蔵、ラジコン付		



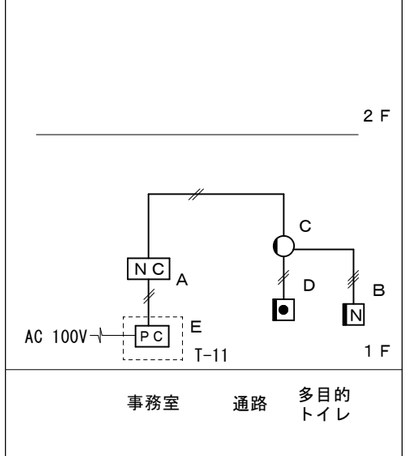
インターホン設備　系統図

凡例	名　　称
／／	EM-AE 1.2-2C 天井いんぺい



トイレ呼出設備　系統図

凡例	名　　称
／／	EM-AE 1.2-3C 天井いんぺい
／／	EM-AE 1.2-2C 天井いんぺい



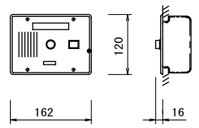
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	弱電設備　系統図 縮R：SCALE	Ｅ－１５

参考弱電姿図

電気時計設備　系統図

NC　A：埋込形表示器（トイレ呼出）　１台

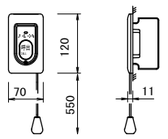
CN-1A34/A 同等品



電源電圧	ＤＣ１２Ｖ（電源アダプタから供給）
形　状	埋込形（ＪＩＳ３個用スイッチボックス）
材　質	ステンレス
窓　数	１窓
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯

N　B：呼出ボタン(引きひも付)　１個

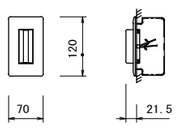
NBR-7HWA-TC110 同等品



形　状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	自己消火性樹脂
備　考	引きひも式、押ボタン式両用
	点字案内文有

C：角型廊下灯　１個

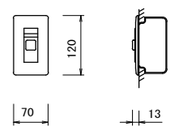
NBR-4B 同等品



形　状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材　質	パネル部：自己消火性樹脂
	ランプカバー：ポリカーボネート
備　考	LED方式(赤色)

D：復旧ボタン　１個

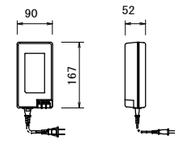
NBR-2A-C 同等品



形　状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材　質	樹脂
備　考	非防水形
	材　質　難燃性樹脂

PS　E：電源アダプター（端子盤Ｔ－１に収納）　１個

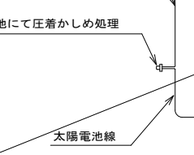
PS-1225A 同等品



電源電圧	AC100V 50/60Hz
入力容量	75VA
出力電圧	DC12V
出力電流	2.5A
形　状	据置・壁取付（専用金具）両用

F１：テレビドアホンセット(録画機能付)　１組

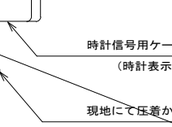
JS-12E（JS-1ME-T，JS-DA）　同等品



モニター付親機
セット品

電源電圧	AC100V　50/60Hz
形　状	壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)
	本体:自己消火性樹脂
材　質	パネル部:難燃性樹脂
通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話
ディスプレー	3.5型TFTカラー液晶
録画機能	自動・手動録画、再生、保護、消去

F２：カメラ付玄関子機　（Ｆ１に含む）

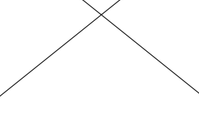


セット品

電源電圧	モニター付親機から供給
形　状	壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	自己消火性樹脂
通話方式	自動交互通話
カメラ	1/5型カラーCMOS

G：モニター付子機　１台

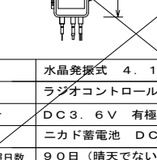
JS-1H-T　同等品



電源電圧	AC100V　50/60Hz
形　状	壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	本体:自己消火性樹脂・パネル部:難燃性樹脂
通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話
ディスプレー	3.5型TFTカラー液晶

PoE　H：PoEスマートスイッチ（ＡＶラックに収納）　１台

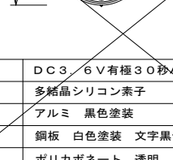
BUFFALO
BS-MS2016P
同等品



ポート数	RJ45:16ポート(100BASE-TX、1000M/2.5GBASE-T)
	RJ45:2ポート(100BASE-TX、1000M/2.5G/5G/10GBASE-T)
	SFP+:1ポート
	各ポート：最大30W
PoE 給電機能	最大供給電力：240W

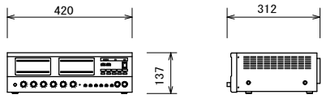
AP　I：無線LANアクセスポイント　４台

BUFFALO
WAPM-AX4R
同等品



無線ＬＡＮ	11ax/an/n/a/g/b　5Ghz　1201Mbps+2.4Ghz 573Mbps
有線ＬＡＮ	2ポート　1000M/100M/10Mbps

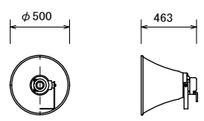
AMP　J：卓上型アンプ、（ＡＶラックに収納）　１台



定格出力	80 W（ハイインピーダンス）
スピーカー制御出力	5回線
入　力	マイク x2、マイク/外部（切替） x2、外部 x2、
	フロント外部、リモコンマイク、ページング、
	パワーアンプ、マイクインサーション
出　力	録音、ライン
外部制御	電源起動、スピーカー回線選択、非常時音声遮断入力

K：トランペットスピーカー　２台

（取付金物は既設再利用）

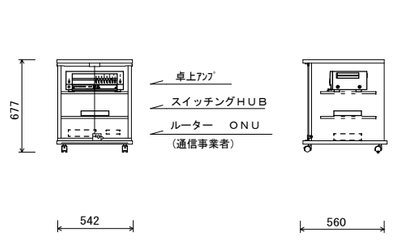


L級

定格入力	30 W/15 W/10 W/5 W
出力音圧レベル	112 dB/W（1 m）
周波数特性	200 Hz～6 kHz
入力インピーダンス	330 Ω/670 Ω/1 kΩ/2 KΩ
防塵・防水性能	IP65準拠
質　量	4.5 kg

L：ＡＶラック　１台

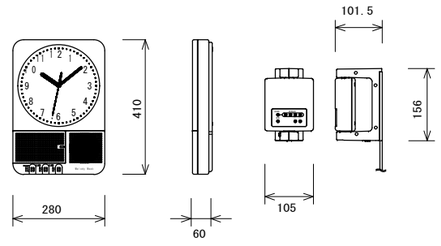
LK-F710　同等品



棚板２枚付

M：ベルタイマー（電波受信機能付）　１台

ＴＤＷ７３　同等品



受信ユニット

定格	ＡＣ１００Ｖ／２００Ｖ±１０％　５０Ｈｚ／６０Ｈｚ
停電補償時間	８００時間以上（デジタル時計とアナログ時計の駆動のみ　その他の機能は停止）
設定器取外し時の動作時間	３０時間以上
時間精度	標準電波受信により積算誤差０秒
受信電波	長波標準電源４０ＫＨｚまたは６０ＫＨｚ
制御出力	２回路独立　無電圧ａ接出力
プログラム設定	周期：週間　最大プログラム数：１２０プログラム（回路ごと）　最大年間休日設定数：３６６日

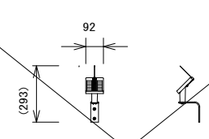
N：φ７００　壁取付型　太陽電池時計（ＦＭラジオコントロール機能付き）　１組

配線系統図

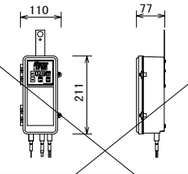
ＴＣ７１５０　同等品

セット品
- N－①、太陽電池
- N－②、制御部
- N－③、時計表示部

N－①、太陽電池部　（セット品）

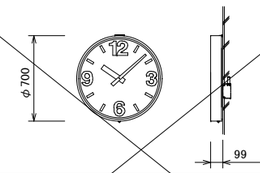


N－②、制御部　（セット品）



原振	水晶発振式　４．１９４３０４ＭＨｚ
精度	ラジオコントロールより積算誤差０秒
出力信号	ＤＣ３．６Ｖ　有極３０秒パルス
蓄電池	ニカド蓄電池　ＤＣ３．６Ｖ　１２００ｍＡｈ
動作可能参日照日数	９０日（晴天でない時が続いた場合）
修正回数	１日１回　ＡＭ７：００に修正
受信周波数	ＮＨＫ－ＦＭ放送（受信周波数　７６～９０ＭＨｚ）

N－③、時計表示部　（セット品）



機械	ＤＣ３．６Ｖ有極３０秒パルス
太陽電池	多結晶シリコン素子
指針	アルミ　黒色塗装
文字板	鋼板　白色塗装　文字黒色印刷
表ガラス	ポリカボネート　透明　ｔ＝３
ケース	鋼板　コーヒーブラウン色塗装

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 弱電設備　参考姿図	図面番号：DW　NO. Ｅ－１６
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮尺：SCALE	

電話カラ配管設備

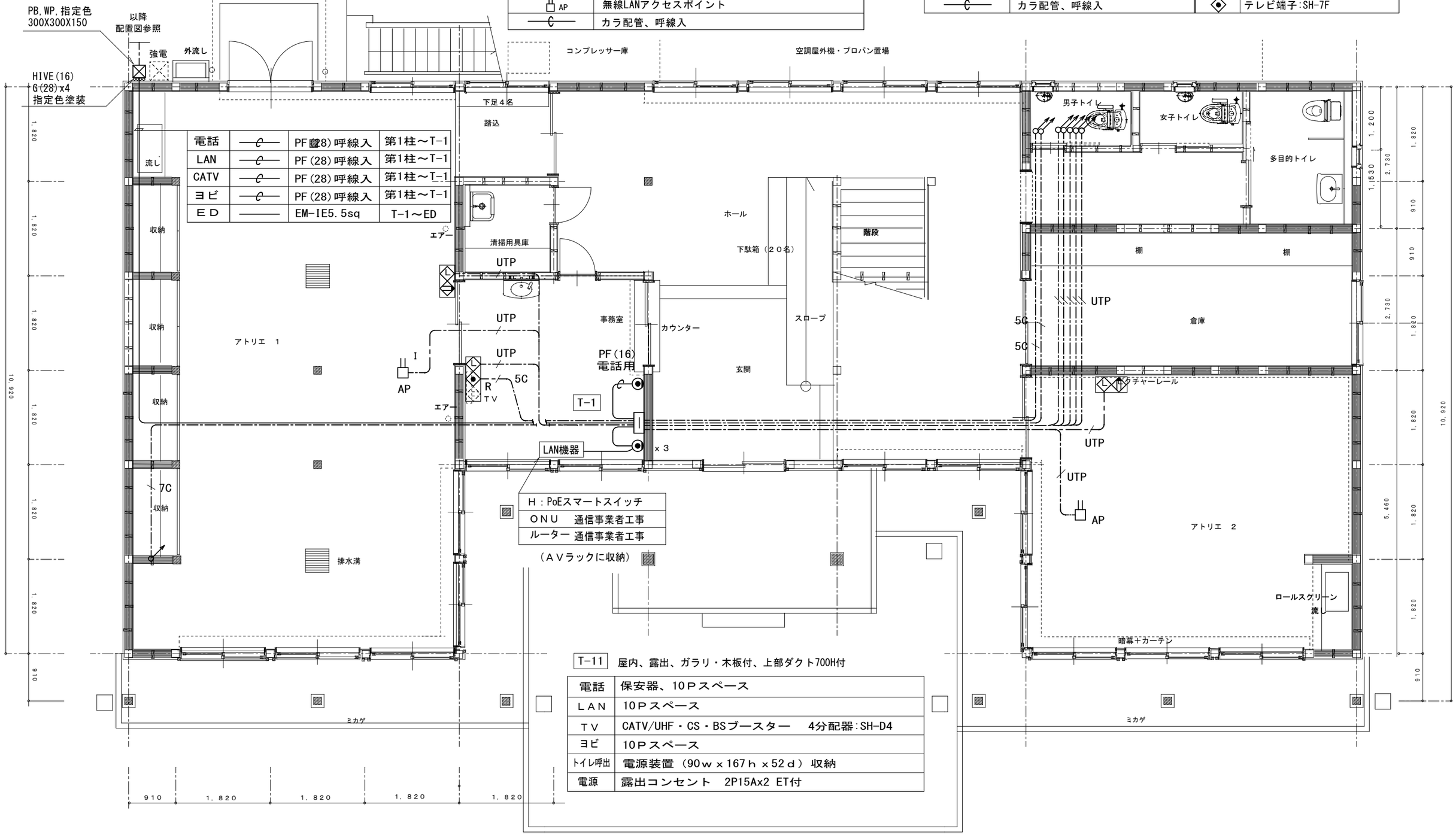
凡例	名　称
C	カラ配管、呼線入
◉	電話用モジュラージャック（6極4芯）

構内情報網設備（ＬＡＮ）

凡例	名　称
UTP	EM-UTP 0.5-4P 天井いんぺい
◇L	情報用モジュラージャック（CAT6）　ﾜｲﾄﾞ型、複合ﾌﾟﾚｰﾄ
AP	無線LANアクセスポイント
C	カラ配管、呼線入

テレビ共同受信設備

凡例	名　称		
7C	EM-S-7C-FB 天井いんぺい	▽	CATV/UHF・CS・BSブースター（一般品）
5C	EM-S-5C-FB 天井いんぺい	◎	4分配器:SH-D4
C	カラ配管、呼線入	◇●	テレビ端子:SH-7F



電話	C	PF(28)呼線入	第1柱～T-1
LAN	C	PF(28)呼線入	第1柱～T-1
CATV	C	PF(28)呼線入	第1柱～T-1
ヨビ	C	PF(28)呼線入	第1柱～T-1
ＥＤ	———	EM-IE5.5sq	T-1～ED

H：PoEスマートスイッチ
ＯＮＵ　通信事業者工事
ルーター 通信事業者工事

（ＡＶラックに収納）

T-11　屋内、露出、ガラリ・木板付、上部ダクト700H付

電話	保安器、10Ｐスペース
ＬＡＮ	10Ｐスペース
ＴＶ	CATV/UHF・CS・BSブースター　4分配器:SH-D4
ヨビ	10Ｐスペース
トイレ呼出	電源装置（90ｗ×167ｈ×52ｄ）収納
電源	露出コンセント　2P15Ax2　ET付

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

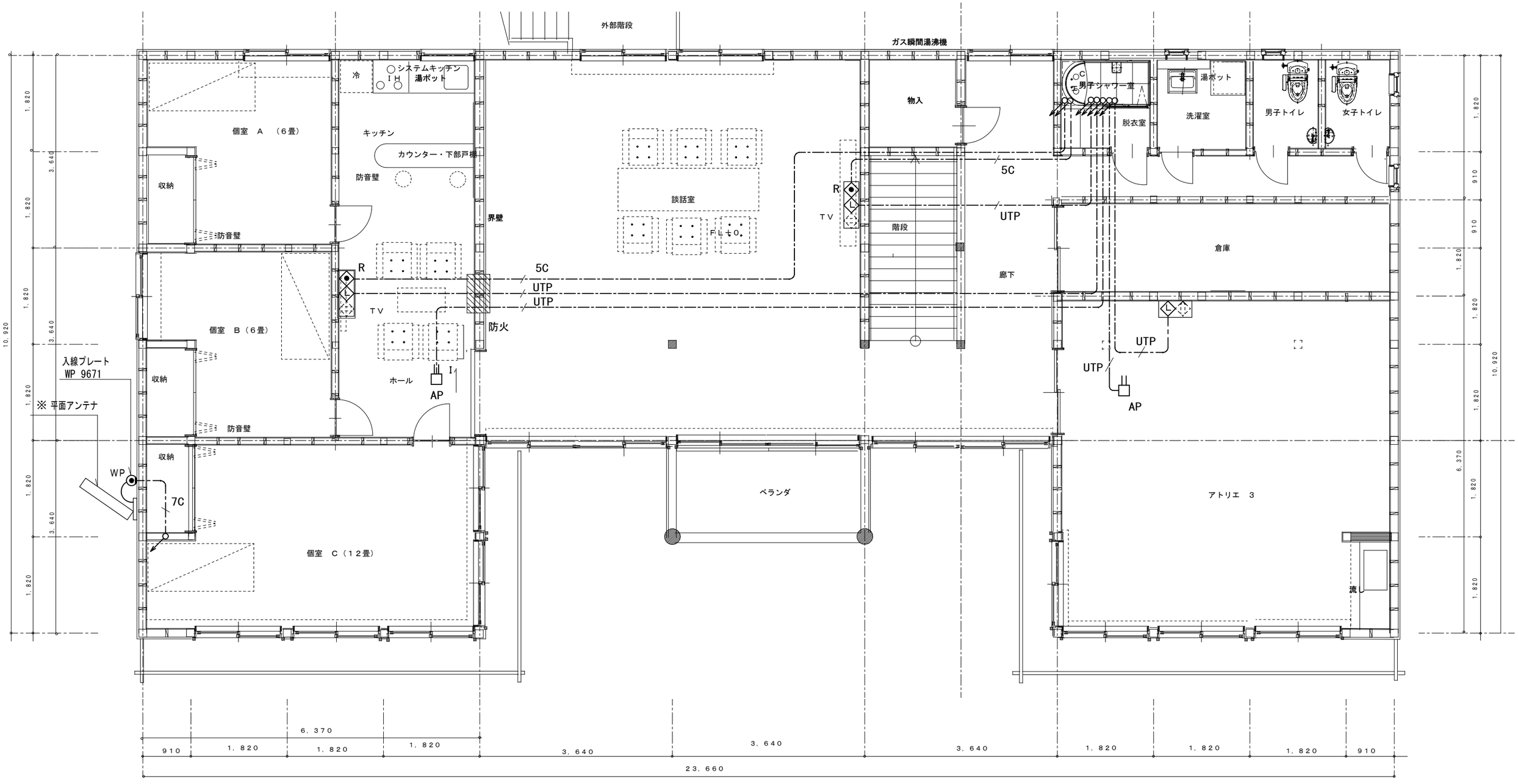
図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.　確認	
電話カラ配管・構内情報通信網・テレビ共同受信設備　1階 改修平面図	Ｅ－１７	
縮尺：SCALE　１：５０（Ａ－２）		

構内情報網設備（ＬＡＮ）

凡例	名　　称
UTP	EM-UTP 0.5-4P(CAT6) 天井いんぺい
L	情報用モジュラージャック（CAT6）　ﾜｲﾄﾞ型、複合ﾌﾟﾚｰﾄ
AP	無線LANアクセスポイント

テレビ共同受信設備

凡例	名　　称	凡例	名　　称
7C	EM-S-7C-FB 天井いんぺい		CATV/UHF・CS・BSブースター（一般品）
5C	EM-S-5C-FB 天井いんぺい		4分配器:SH-D4
		R	テレビ端子:SH-7F



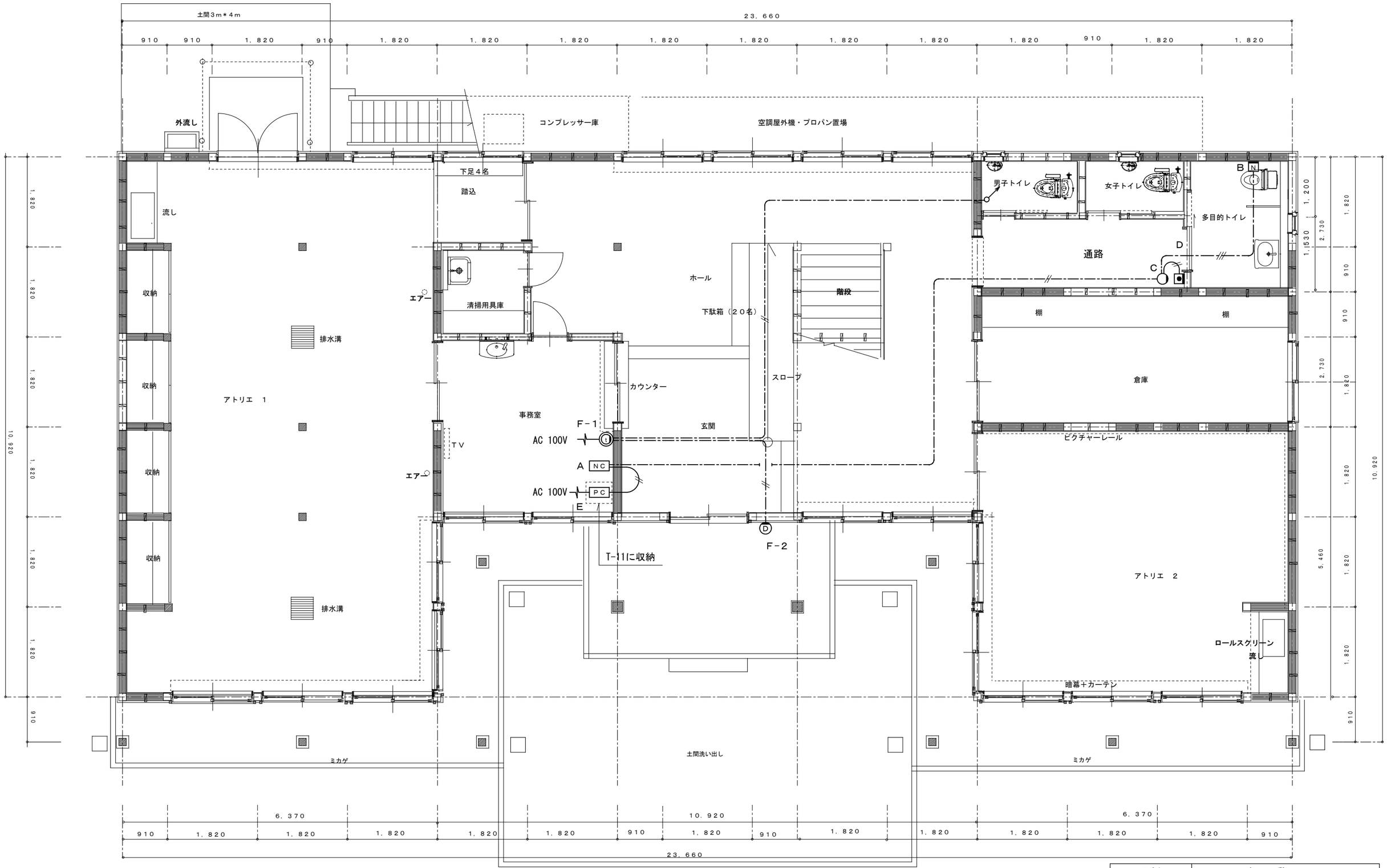
注記

※1　アンテナの位置・向きは
　　現場調査により決定のこと。

凡　例	名　　称
防火	国交通省認定工法　防火区画処理
防音	防音区画処理

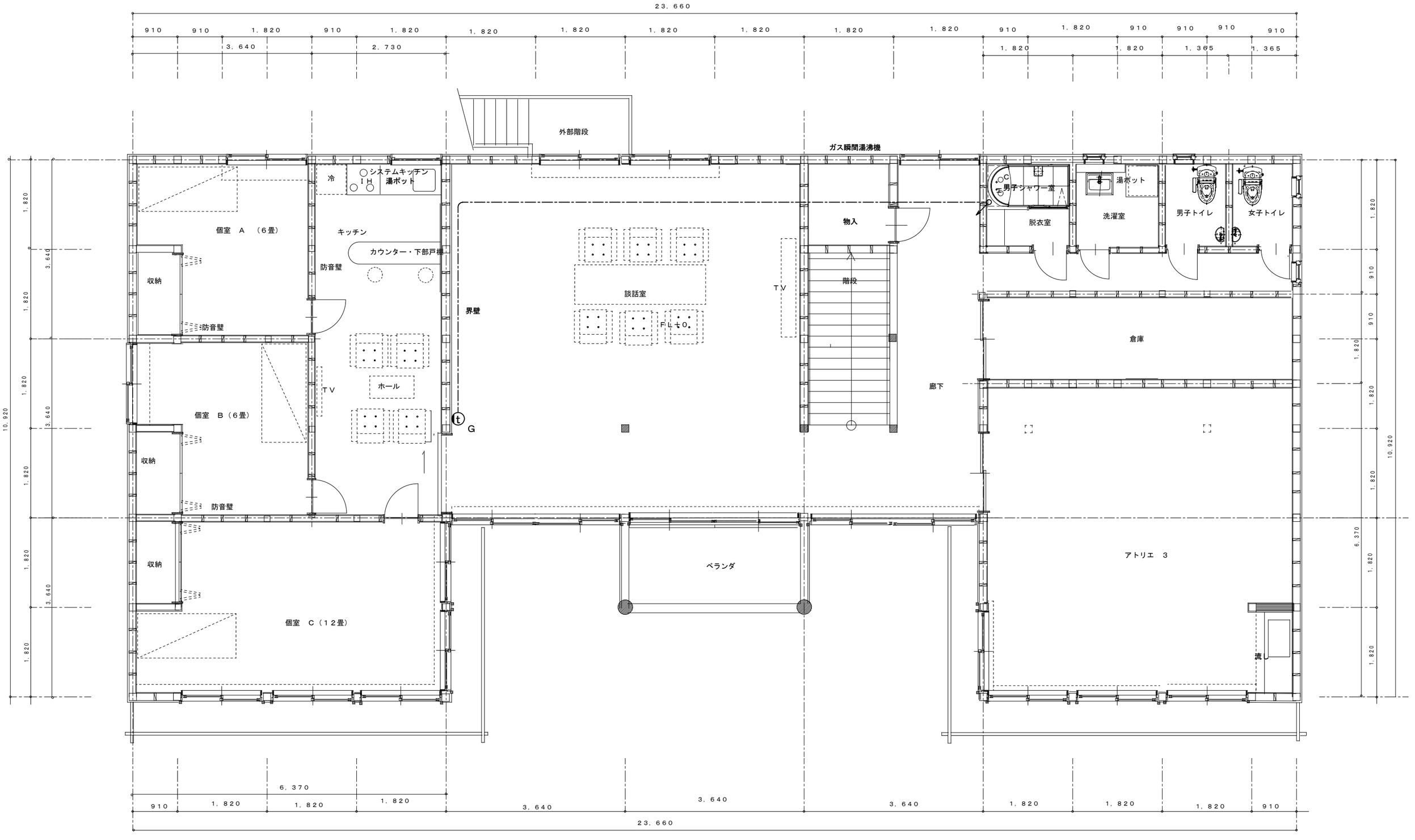
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 電話カラ配管・構内情報通信網・テレビ共同受信設備　2階 改修平面図
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮R：SCALE １：５０（Ａ－２）

図面番号：DW　NO.
Ｅ－１８

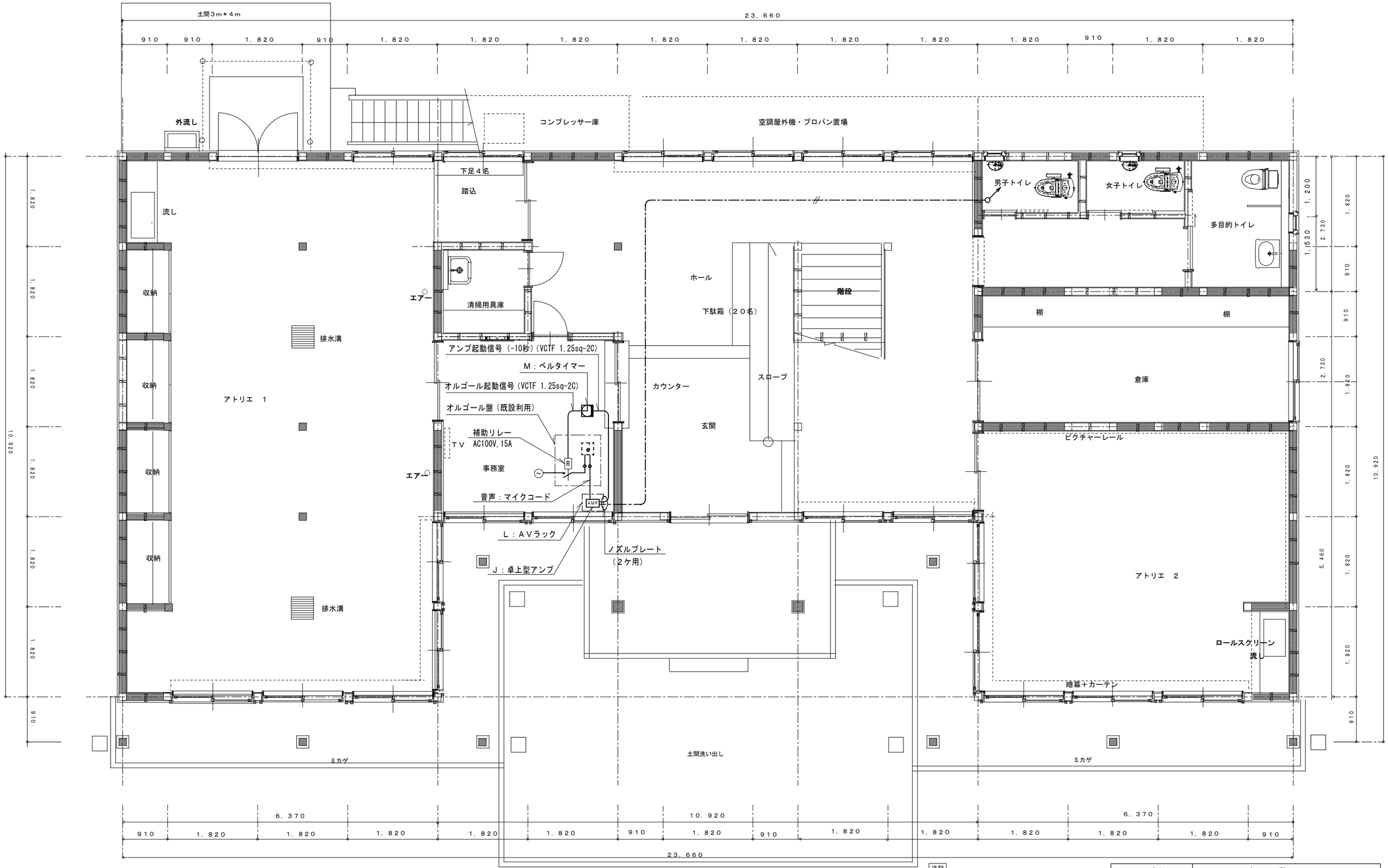


凡例	名　　称
——//——	EM-AE 1.2-2C　天井いんぺい
——///——	EM-AE 1.2-3C　天井いんぺい

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME インターホン・トイレ呼出設備　１階 改修平面図	図面番号：DW　NO.　確認 Ｅ－１９
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮尺：SCALE １：５０（Ａ－２）	



安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME インターホン・トイレ呼出設備　2階 改修平面図	図面番号：DW　NO. Ｅ－２０
		製図	担当	承認年月日 2024．1．24		縮R：SCALE １：５０（A－2）	



注記

・オルゴールの放送時刻と１回の放送回数及び音量は、既存と同様とする。

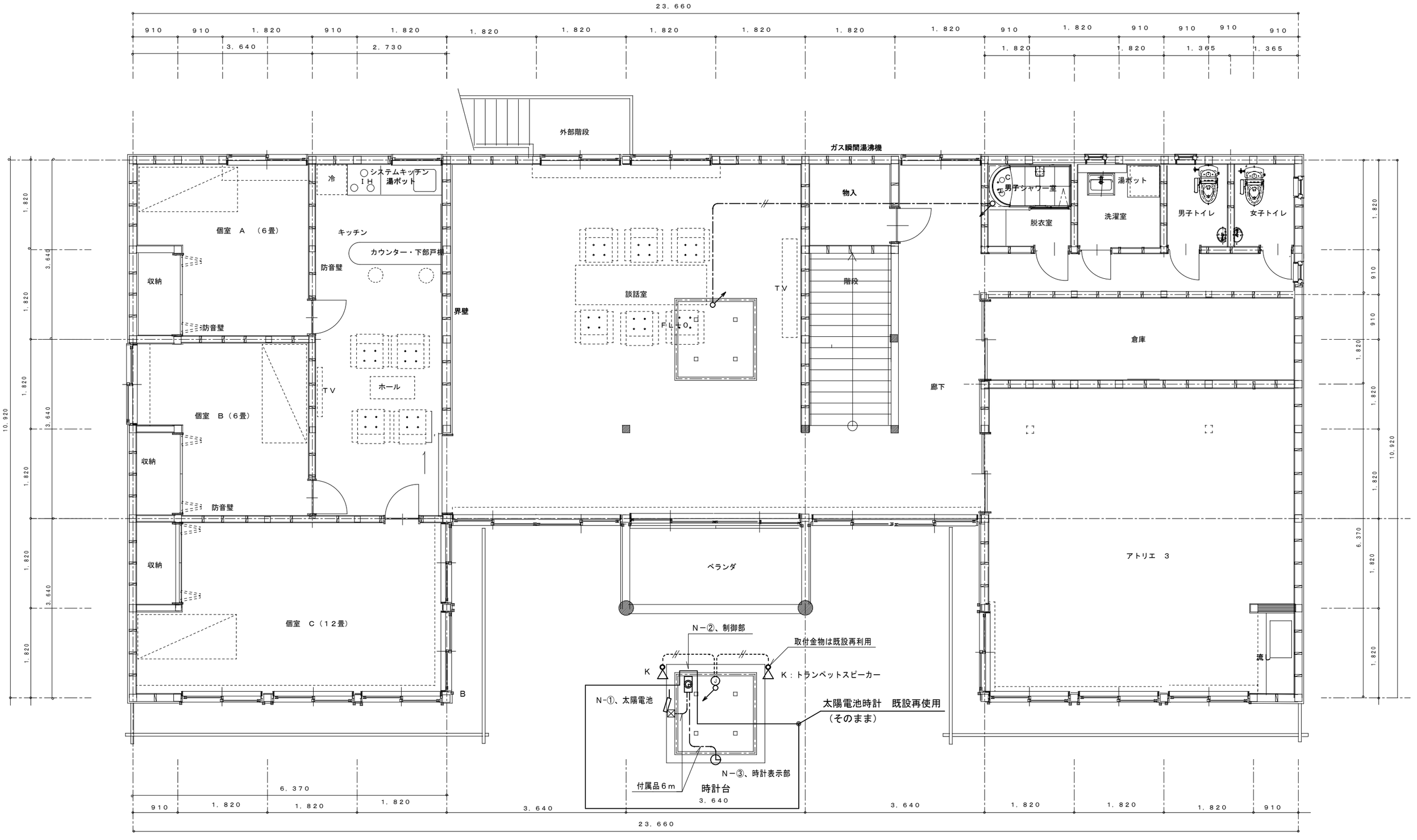
・オルゴール盤は、既設をそのまま使用する。

凡例	名　　称
——//——	EM-AE 1.2-2C　天井いんぺい
------//------	EM-AE 1.2-2C　(PF16) 露出、塗装

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME オルゴール放送設備　１階 改修平面図
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮R：SCALE １：５０（A－2）

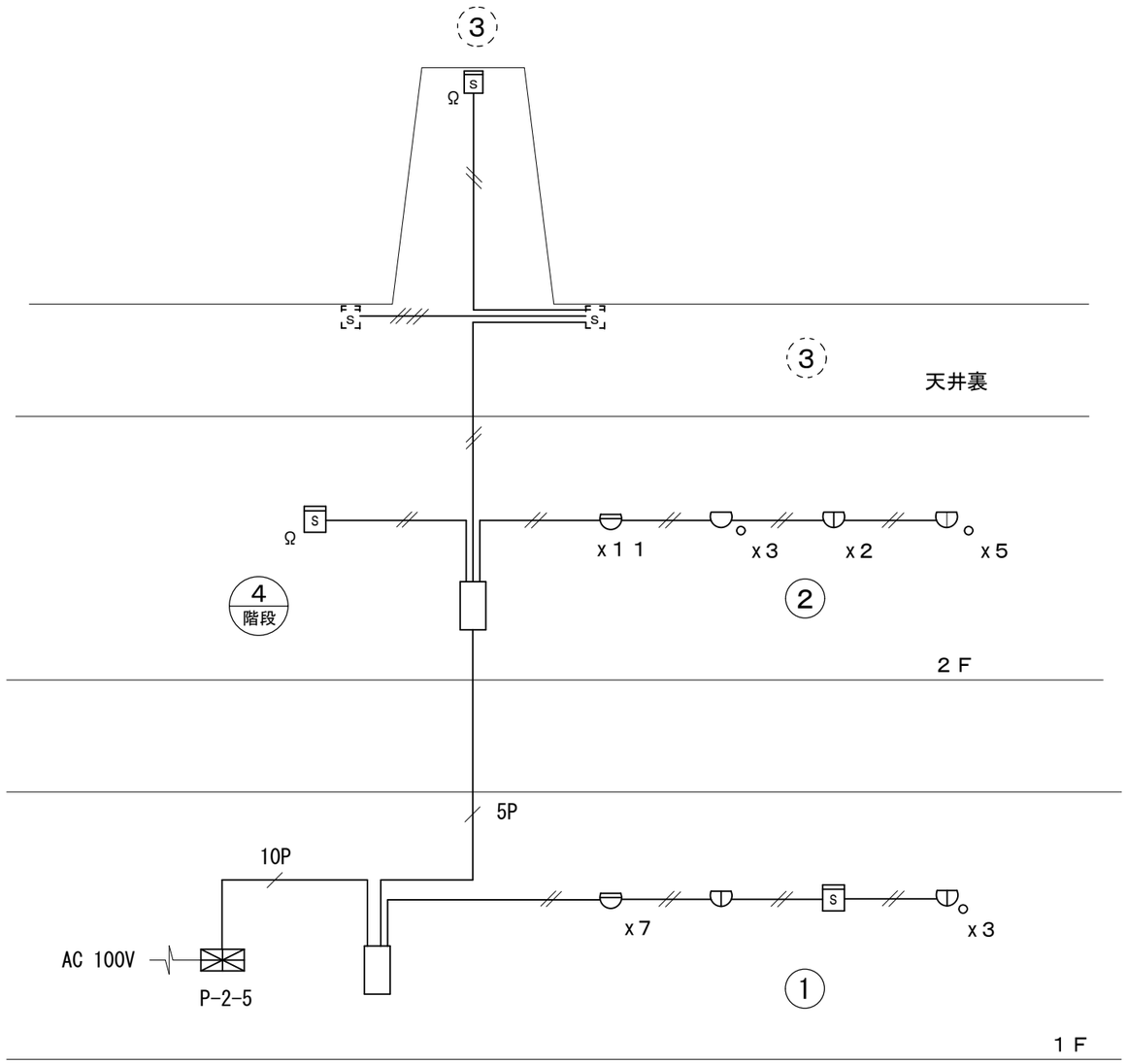
図面番号：DW　NO.　確認

Ｅ－２１



凡　例	名　　称
防火	国交通省認定工法　防火区画処理
防音	防音区画処理

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
		製図	担当	承認年月日	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	オルゴール放送設備　２階　改修平面図	Ｅ－２２
				2024．1．24		縮尺：SCALE　１：５０（Ａ－２）	

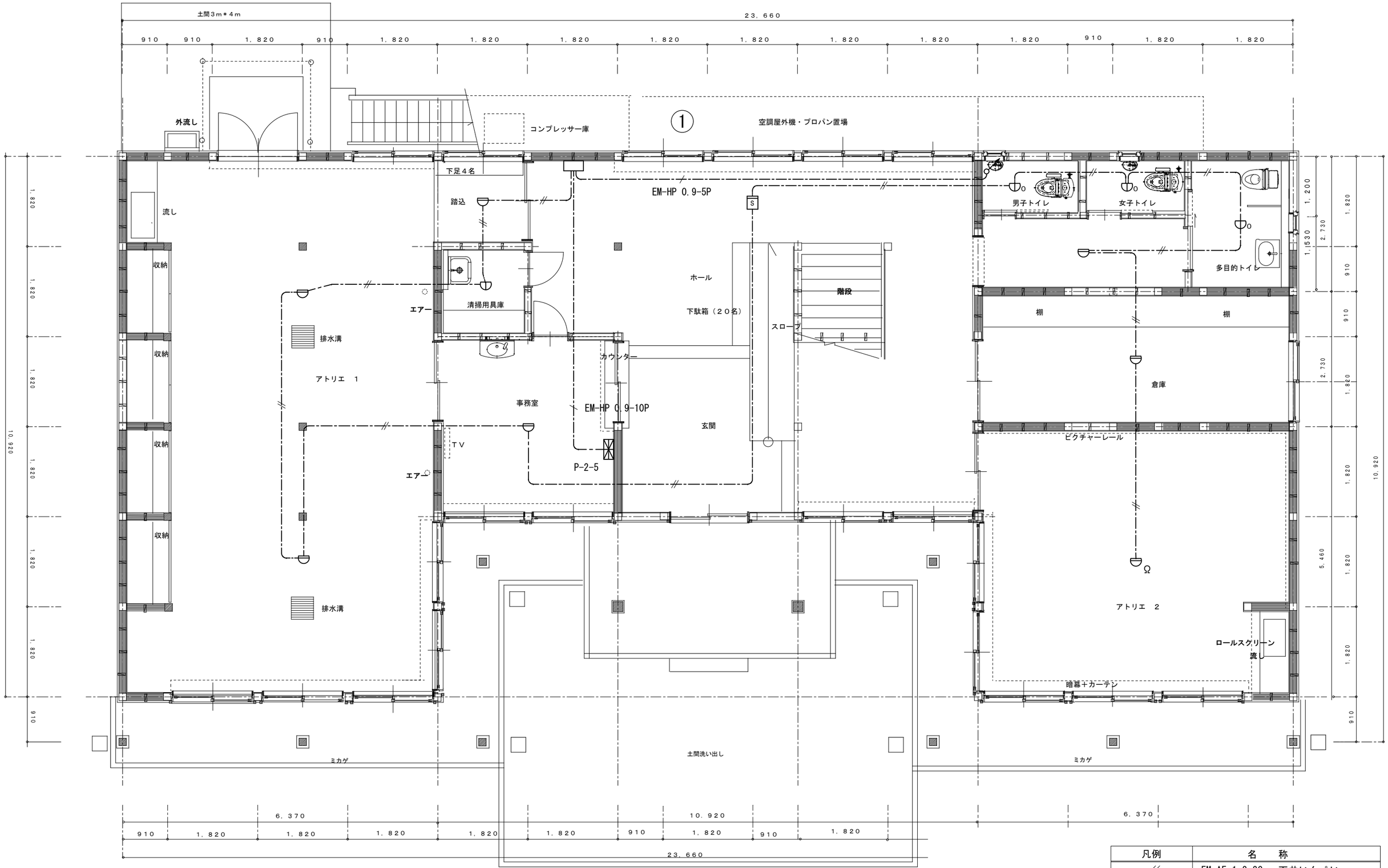


系統図

凡		例
記　号	名　称	備　考
⊠	複合盤	P型２級５回線
□	機器収容箱	露出型
S	光電式スポット型感知器	２種　露出型
⊖	差温式スポット型感知器	２種
○	定温式スポット型感知器	特種
◫	定温式スポット型感知器	１種　防水型
◫	定温式スポット型感知器	特種　防水型
S	光電式スポット型感知器	２種　露出型　天井裏用
Ω	終端器	
——-——	ケーブル配線	天井いんぺい
	配管配線	立上がり・引下げ
——・——	警戒区域境界線	
◯	警戒区域番号	自火報用
◯	警戒区域番号	天井裏用

凡　例	名　称
//	EM-AE 1.2-2C　天井いんぺい
///	EM-AE 1.2-4C　天井いんぺい
5P	EM-HP 0.9-5P　天井いんぺい
10P	EM-HP 0.9-10P　天井いんぺい
防火	国交通省認定工法　防火区画処理
防音	防音区画処理

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 自動火災報知設備　系統図	図面番号：DW　NO. Ｅ－２３
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮尺：SCALE	



凡例	名　　称
——//——	EM-AE 1.2-2C　天井いんぺい
——////——	EM-AE 1.2-4C　天井いんぺい
----//----	EM-AE 1.2-4C (PF16) 露出

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：DATA

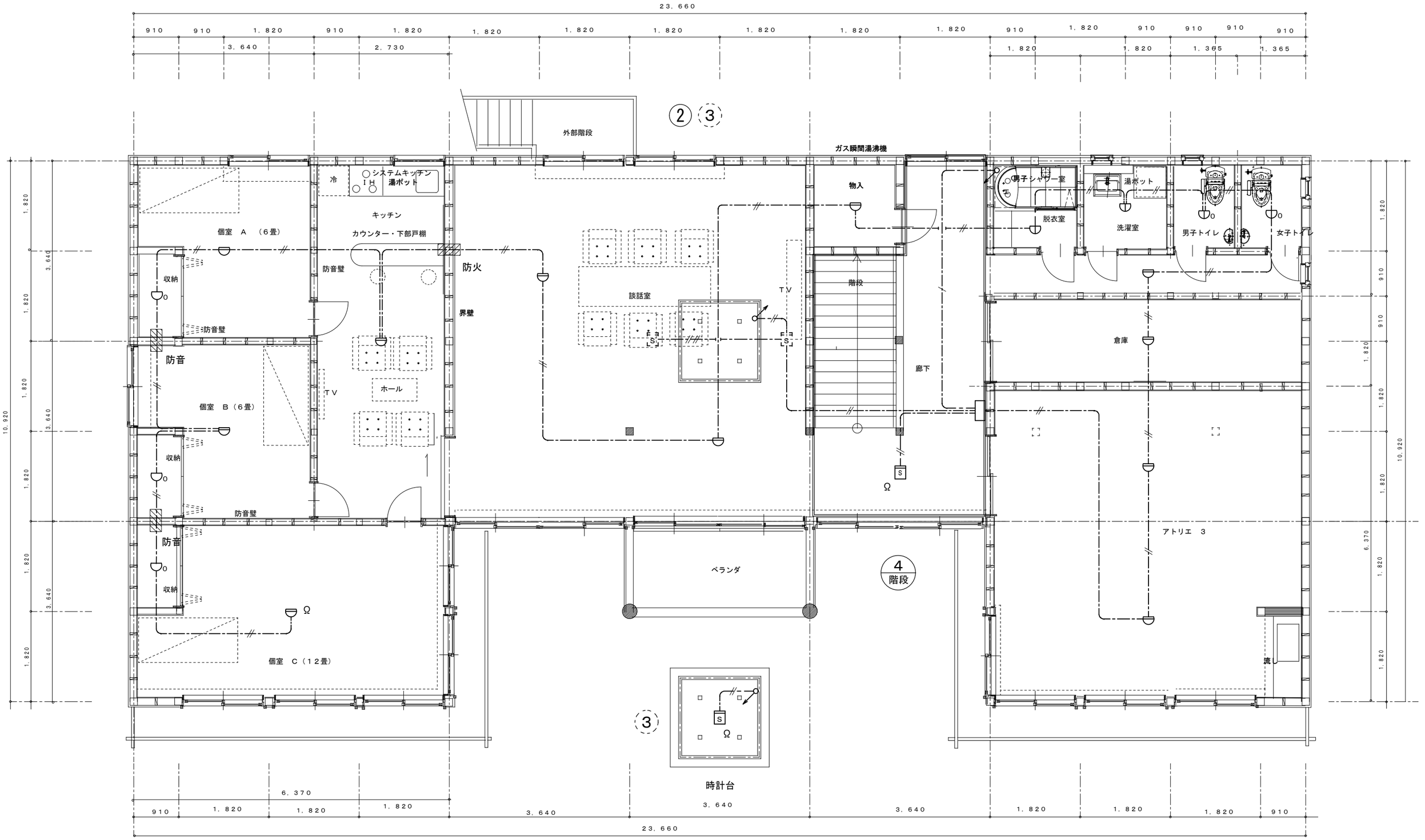
設計	検図	承認印
製図	担当	承認年月日 2024.1.24

工事名称：PR　NAME
令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：DW　NAME
自動火災報知設備　１階 改修平面図

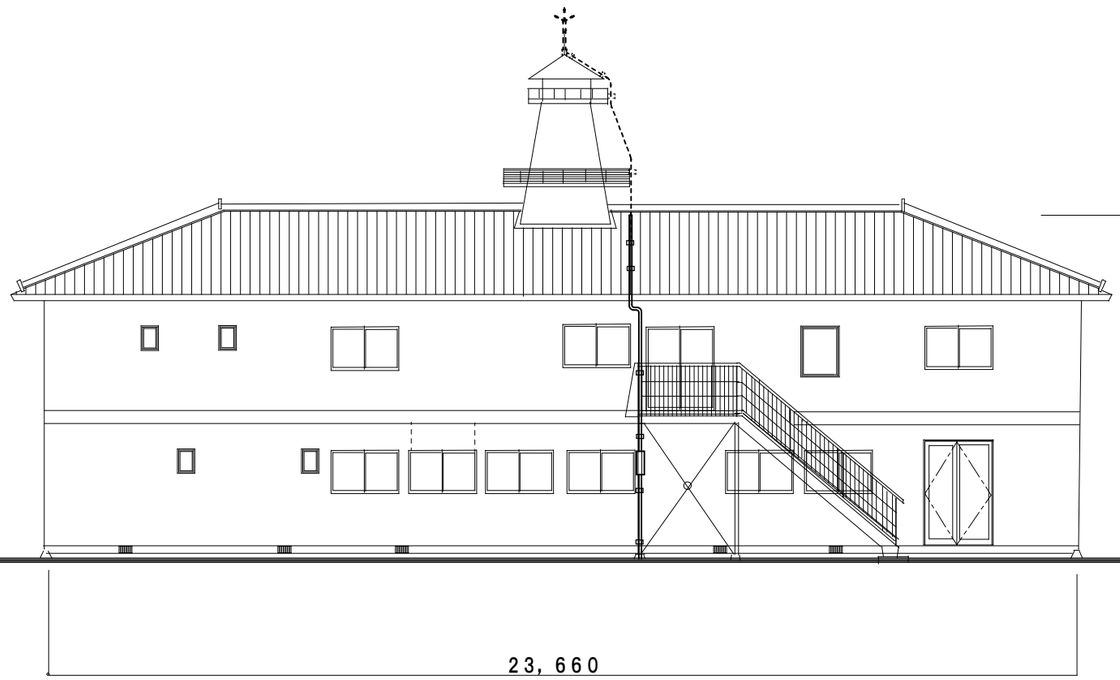
縮尺：SCALE
１：５０（A－２）

図面番号：DW　NO.　確認
Ｅ－２４



凡　例	名　　称
防火	国交通省認定工法　防火区画処理
防音	防音区画処理

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
		製図	担当	承認年月日	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	自動火災報知設備　2階 改修平面図	Ｅ－２５
				2024．1．24		縮尺：SCALE　１：５０（A－2）	

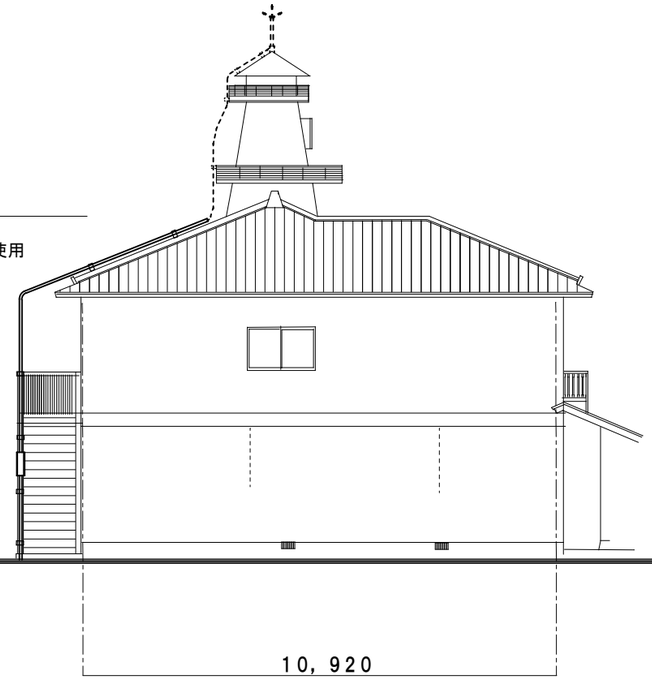


西立面図　　１／１００

・避雷針　　そのまま
・鬼撚線 40sq　　そのまま
・導線支持材　　そのまま

・鬼撚線 40sq　　撤去（引抜）・再使用
・保護管（HIVE28）撤去・新設
・配管支持材　　撤去・新設
・端子ボックス　　撤去・新設
（1端子、露出、ＳＵＳ製）
・塗装工事　　新設
（配管・端子ボックス）

・接地工事　　そのまま

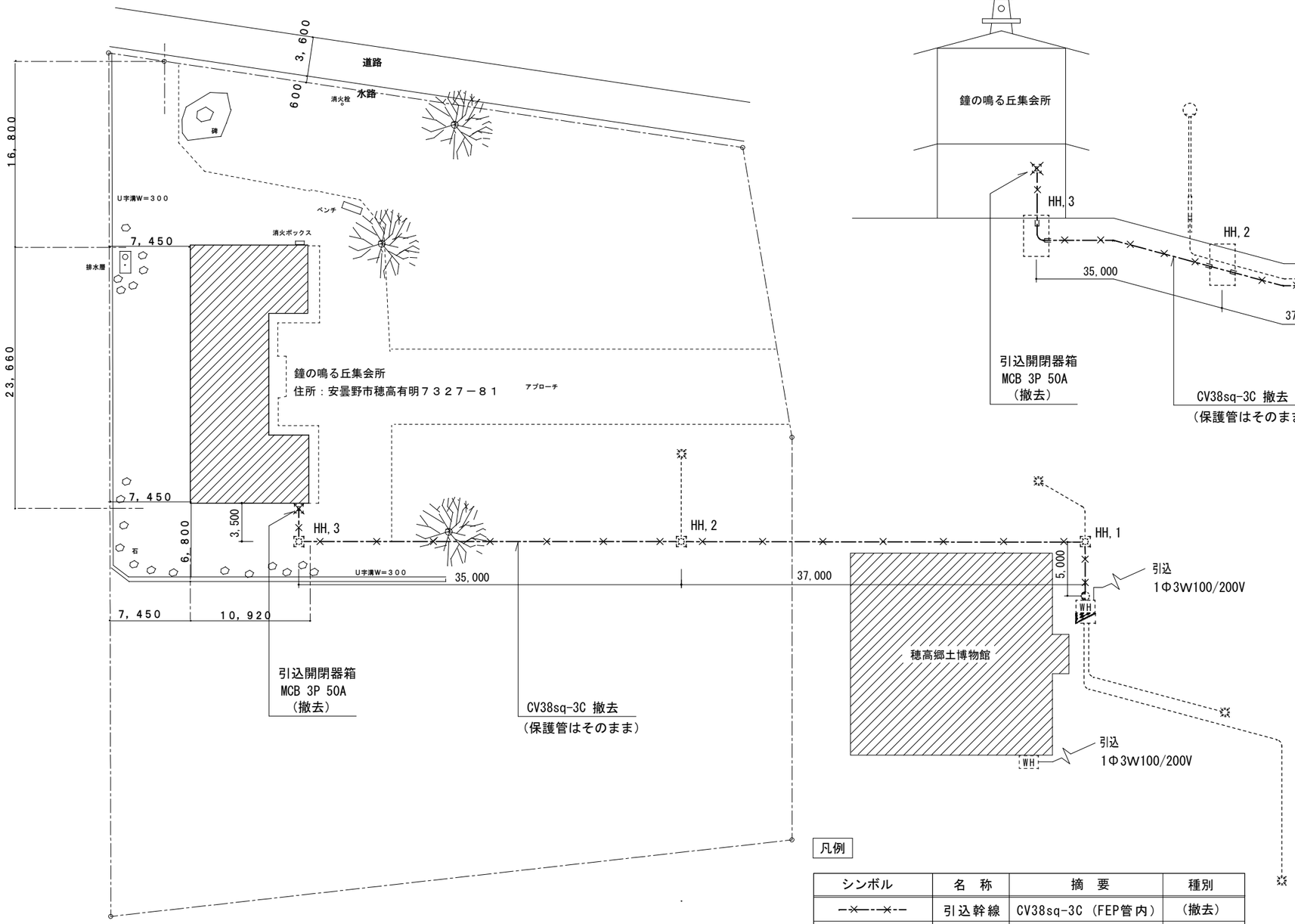


南立面図　　１／１００

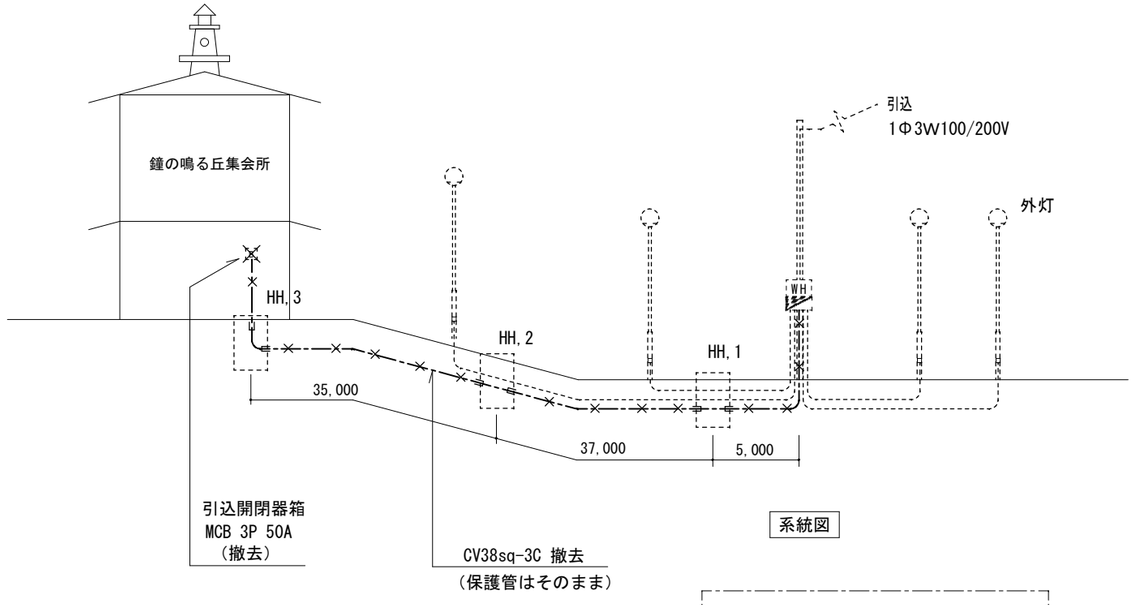
注記

・塗装は剥離しないものとする。

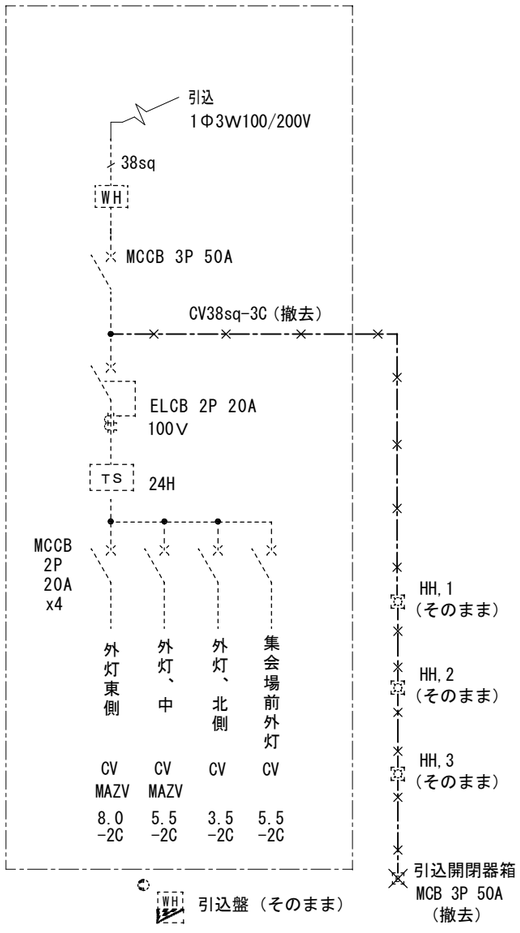
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 雷保護設備	図面番号：DW　NO. Ｅ－２６
		製図	担当	承認年月日 2024．1．24		縮R：SCALE １：１００（A－2）	



配置図



系統図



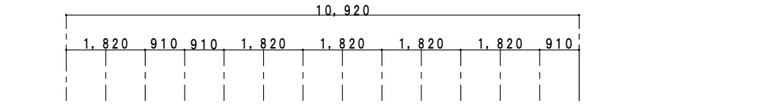
凡例

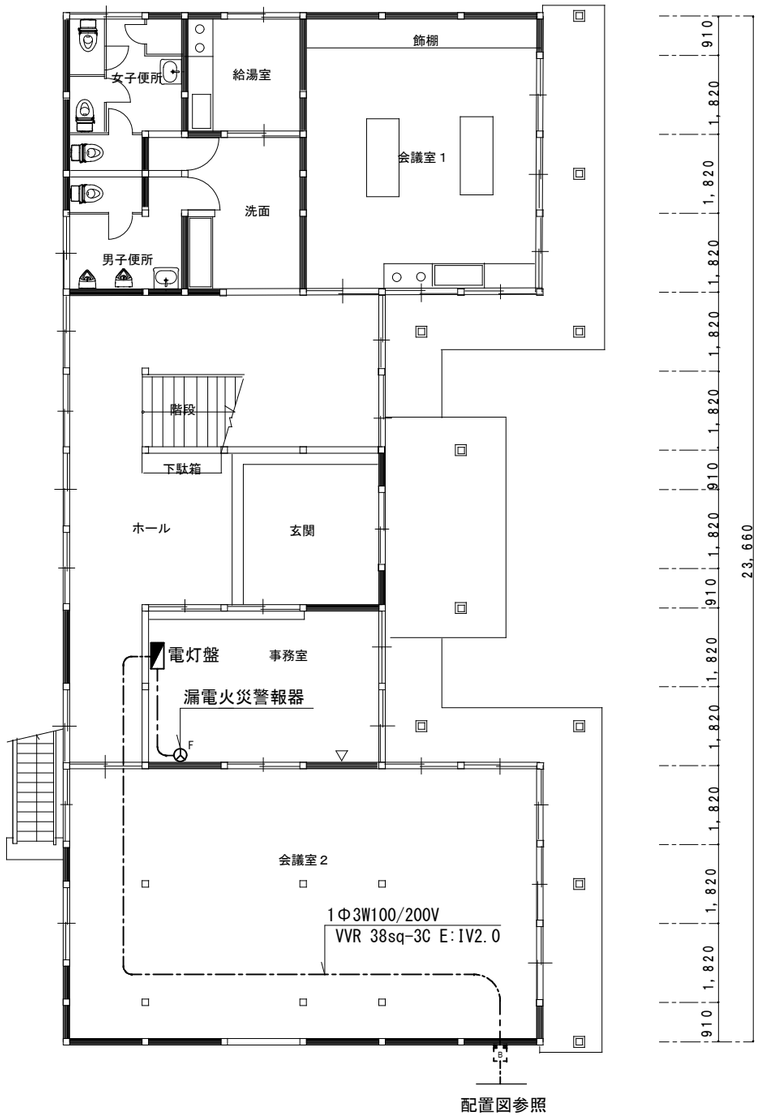
シンボル	名　称	摘　要	種別
	引込幹線	CV38sq-3C（FEP管内）	（撤去）
	引込開閉器箱	MCB 3P 50A	（撤去）
	埋設配線		（そのまま）
	ハンドホール		（そのまま）
	外灯		（そのまま）
	引込柱	スッキリポール	（そのまま）
WH	引込盤		（そのまま）

注記

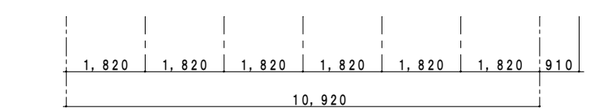
・既設屋外幹線及び既設屋内電気設備の撤去及び処分は、建築工事の解体工事に含む。
　但し低圧受電から高圧受電の契約変更申請は電気設備工事とする。

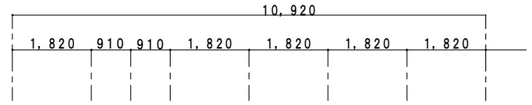
安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	既設屋外幹線設備（撤去参考図） 縮R：SCALE　１：３００（A－２）	Ｅ－２７

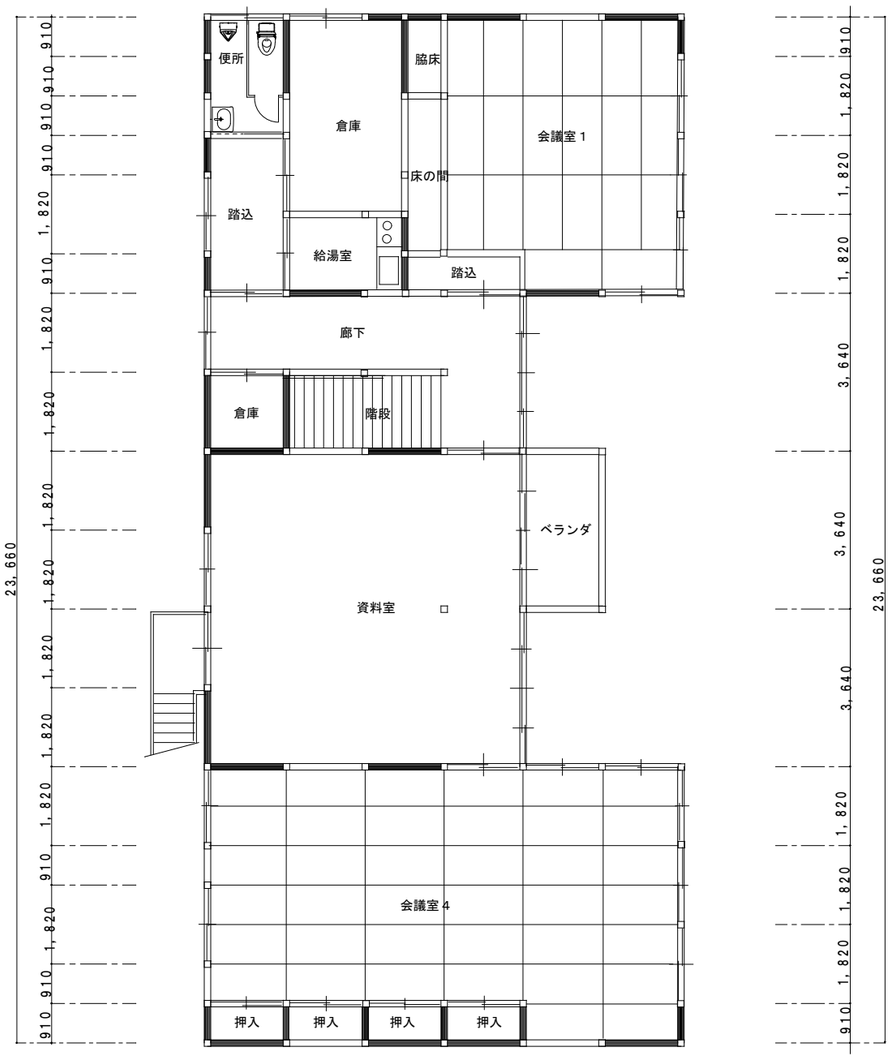


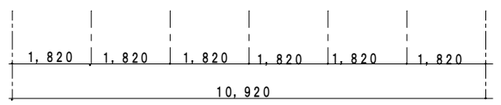


配置図参照









注記

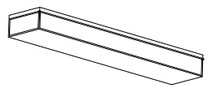
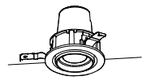
・表記部分は撤去を示す。
・撤去は再使用無しとする。
・既存調査を行い障害の無いよう撤去のこと。

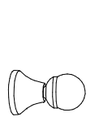
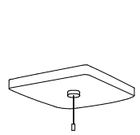
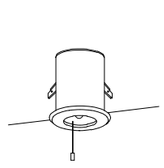
【既設電気設備の撤去及び処分は、建築工事の解体工事に含む。】

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計 / 製図	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日 2024.1.24	工事名称：PR NAME 令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 既設 幹線設備 １階・２階 平面図（撤去参考図） / 縮R：SCALE １：１００（A－２）	図面番号：DW NO. 確認 Ｅ－２８

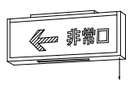
照明器具姿図（既設）

A	ＦＣＬ−４０Ｗｘ１	B	ＦＬ−４０Ｗｘ５	C	ＦＬ−４０Ｗｘ２	D	ＦＬ−４０Ｗｘ１	E	ＦＬ−２０Ｗｘ２
・〈玄関・ホール〉		・〈１階 会議室１〉		・〈１階 会議室２〉 ・〈１階 事務室〉		・〈１階 男女便所〉 ・〈２階 倉庫〉		・〈１階 給湯室〉	
									

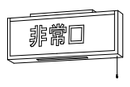
F	ＦＬ−２０Ｗｘ１	G	ＦＬ−２０Ｗｘ１	H	ＦＬ−２０Ｗｘ１	I	ＦＬ−４０Ｗｘ２	J	ＩＬ−７５Ｗ
・〈２階 給湯室〉 ・〈２階 便所〉 ・〈２階 倉庫〉		・〈１階 給湯室〉		・〈２階 会議室１〉 ・〈２階 会議室４〉 床の間		・〈２階 会議室１〉 ・〈２階 会議室４〉		・〈１階 会議室１〉	
									

K	ＦＣＬ−３０Ｗｘ１	L	ＩＬ−６０Ｗ	M	ＦＬ−２０Ｗｘ１	N	ＦＣＬ−２０Ｗｘ１	O	ＩＬ−２０Ｗ
・〈１階 洗面〉		・〈１階 洗面〉		・〈１階 廊下〉 ・〈２階 廊下〉		・〈１階 階段〉			
									
電池内蔵型				電池内蔵型 ２５％		電池内蔵型		電池内蔵型	

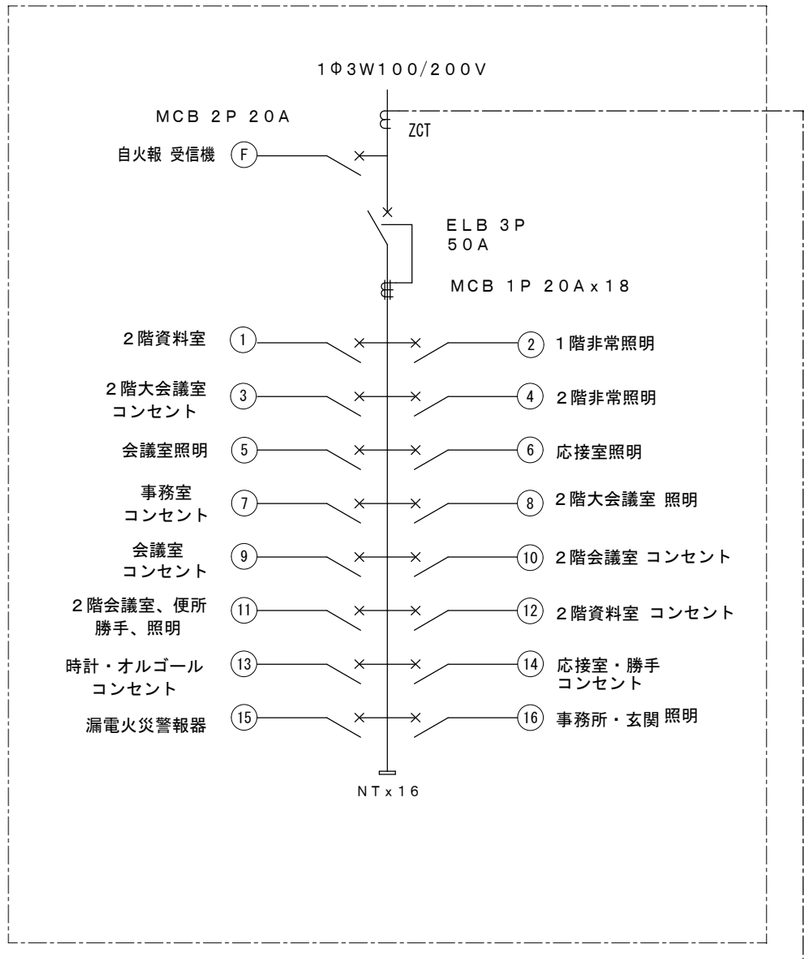
P１	ＩＬ−１０Ｗｘ１　片面表示	Q	ＦＬ−２０Ｗｘ１
P２	ＩＬ−１０Ｗｘ１　両面表示		



電池内蔵型



電池内蔵型



分電盤 結線図　（鋼板製・埋込型）



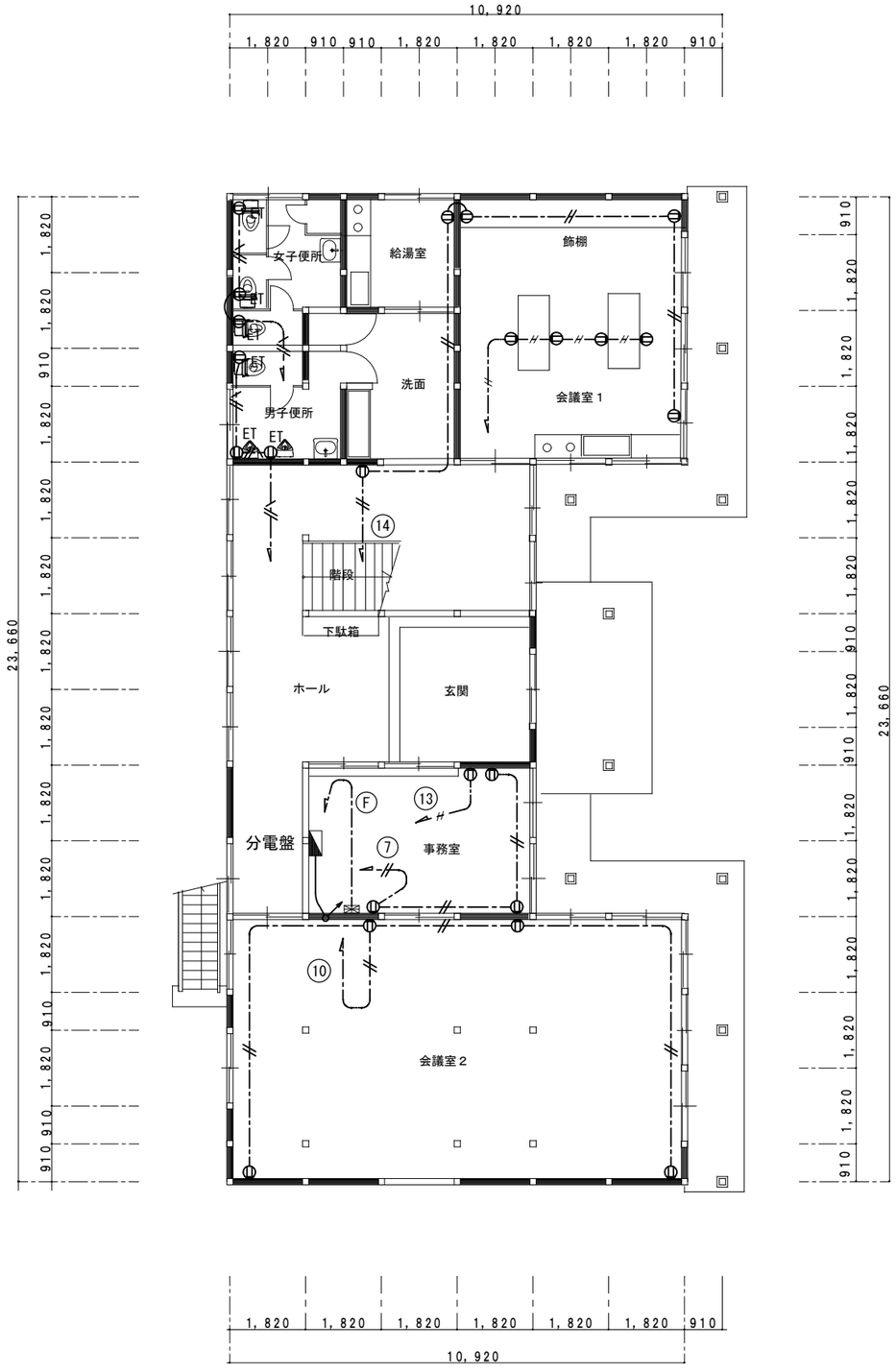
漏電火災警報器

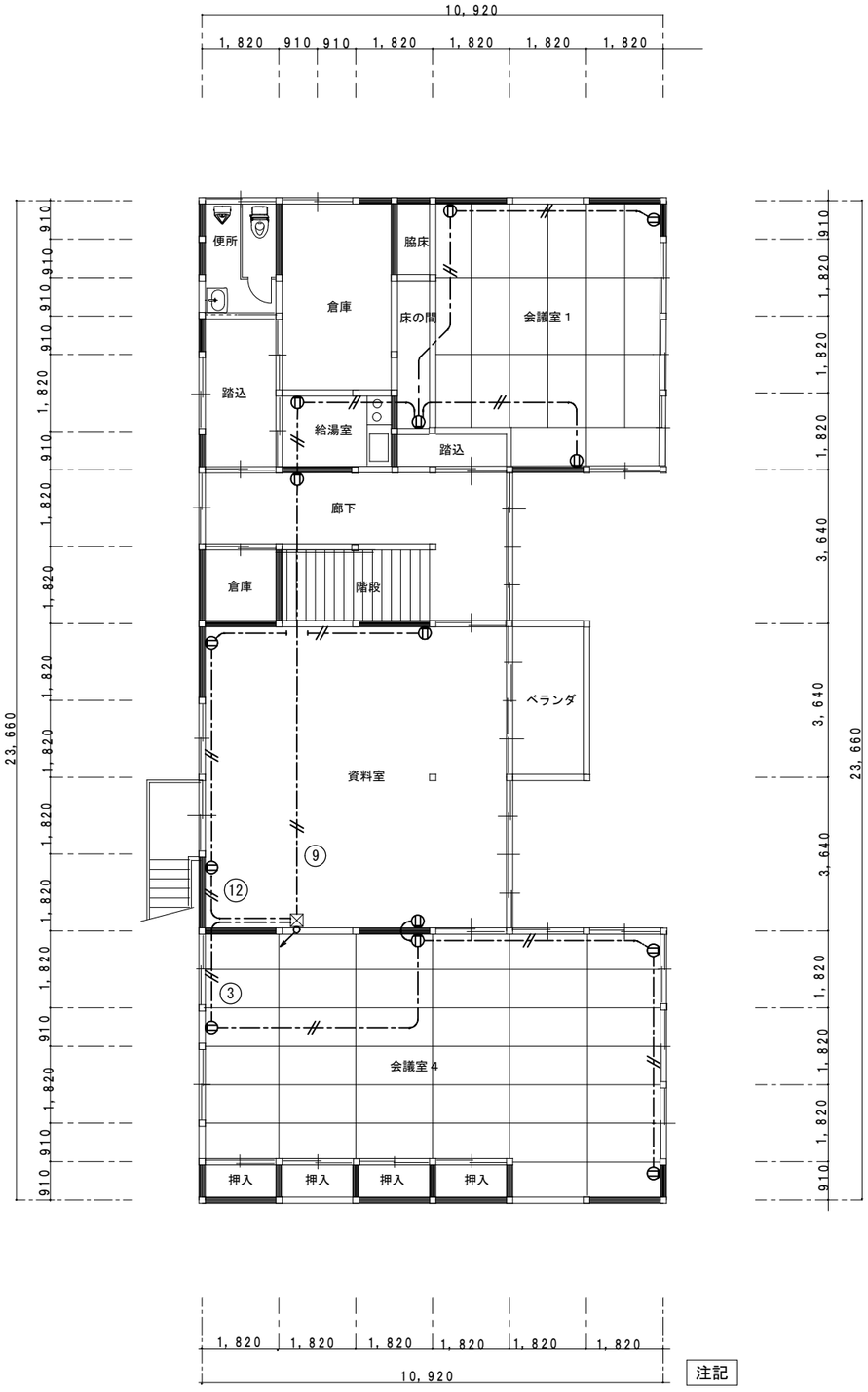
注記

・表記部分は撤去を示す。
・撤去は再使用無しとする。
・既存調査を行い障害の無いよう撤去のこと。

【既設電気設備の撤去及び処分は、建築工事の解体工事に含む。】

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.　確認
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	既設 照明器具姿図・分電盤結線図（撤去参考図） 縮尺：SCALE	Ｅ−２９



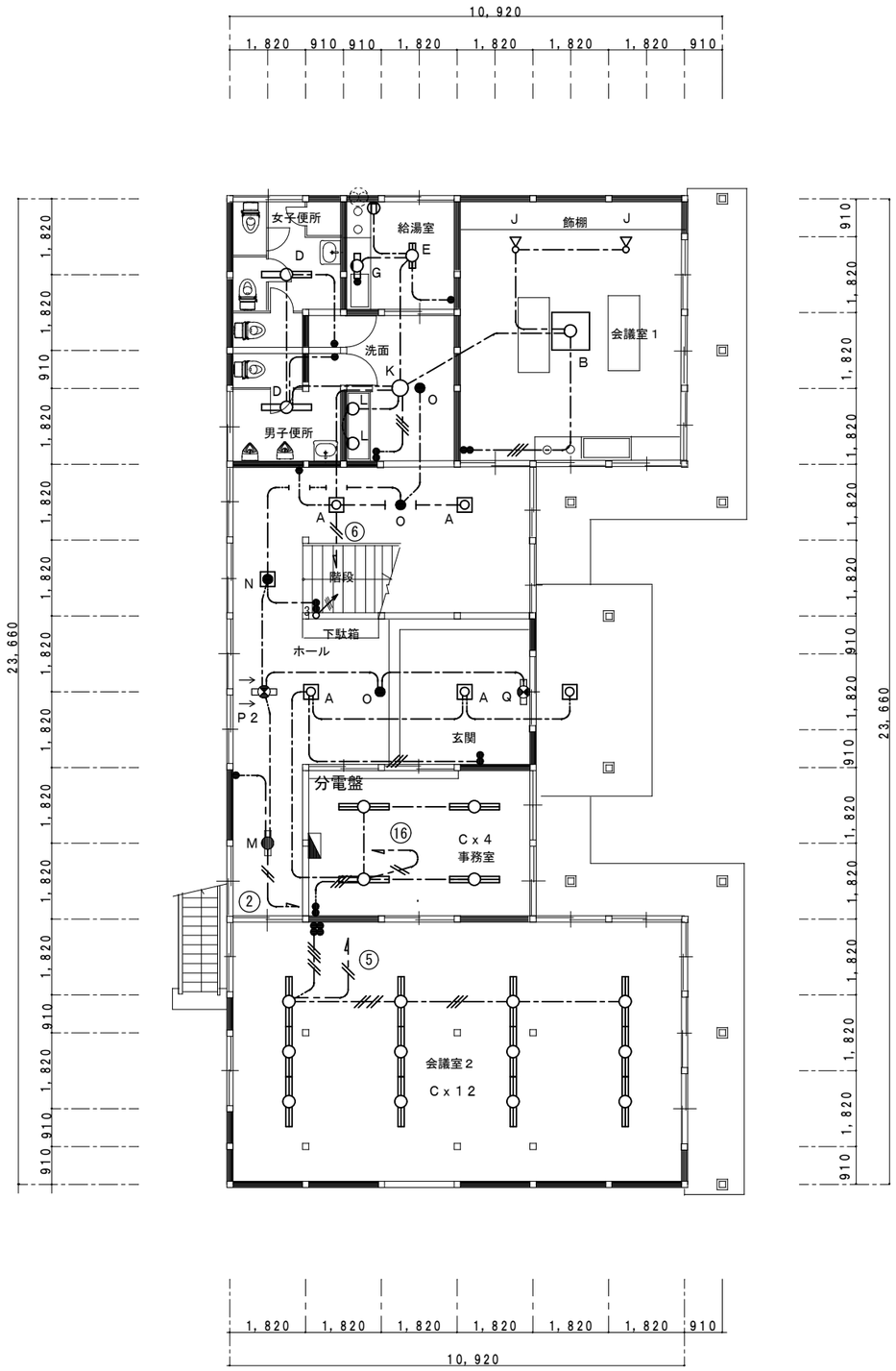


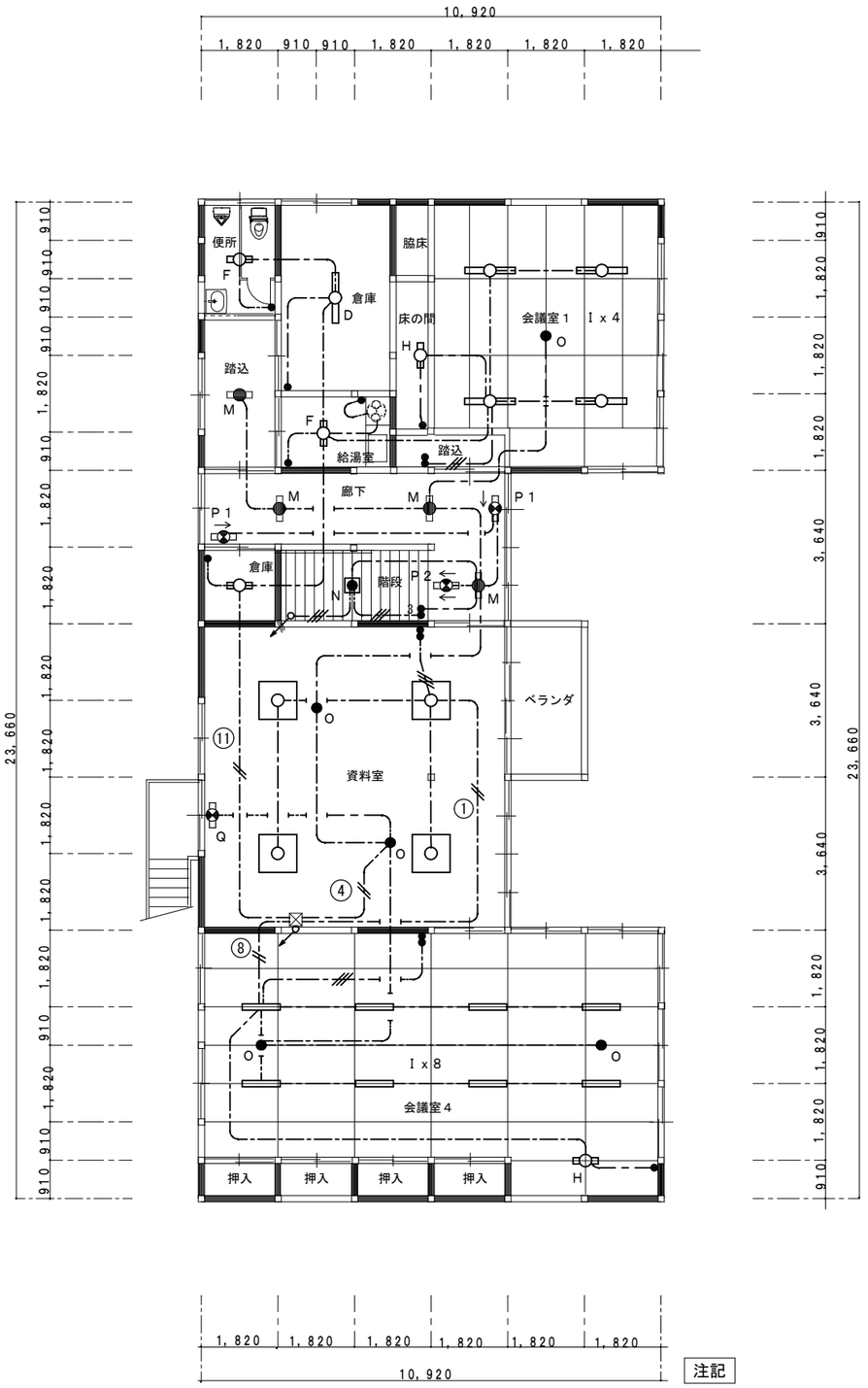
注記

・表記部分は撤去を示す。
・撤去は再使用無しとする。
・既存調査を行い障害の無いよう撤去のこと。

【既設電気設備の撤去及び処分は、建築工事の解体工事に含む。】

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO. 確認
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	既設 コンセント設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）	E－３０
						縮尺：SCALE １：１００（A－２）	



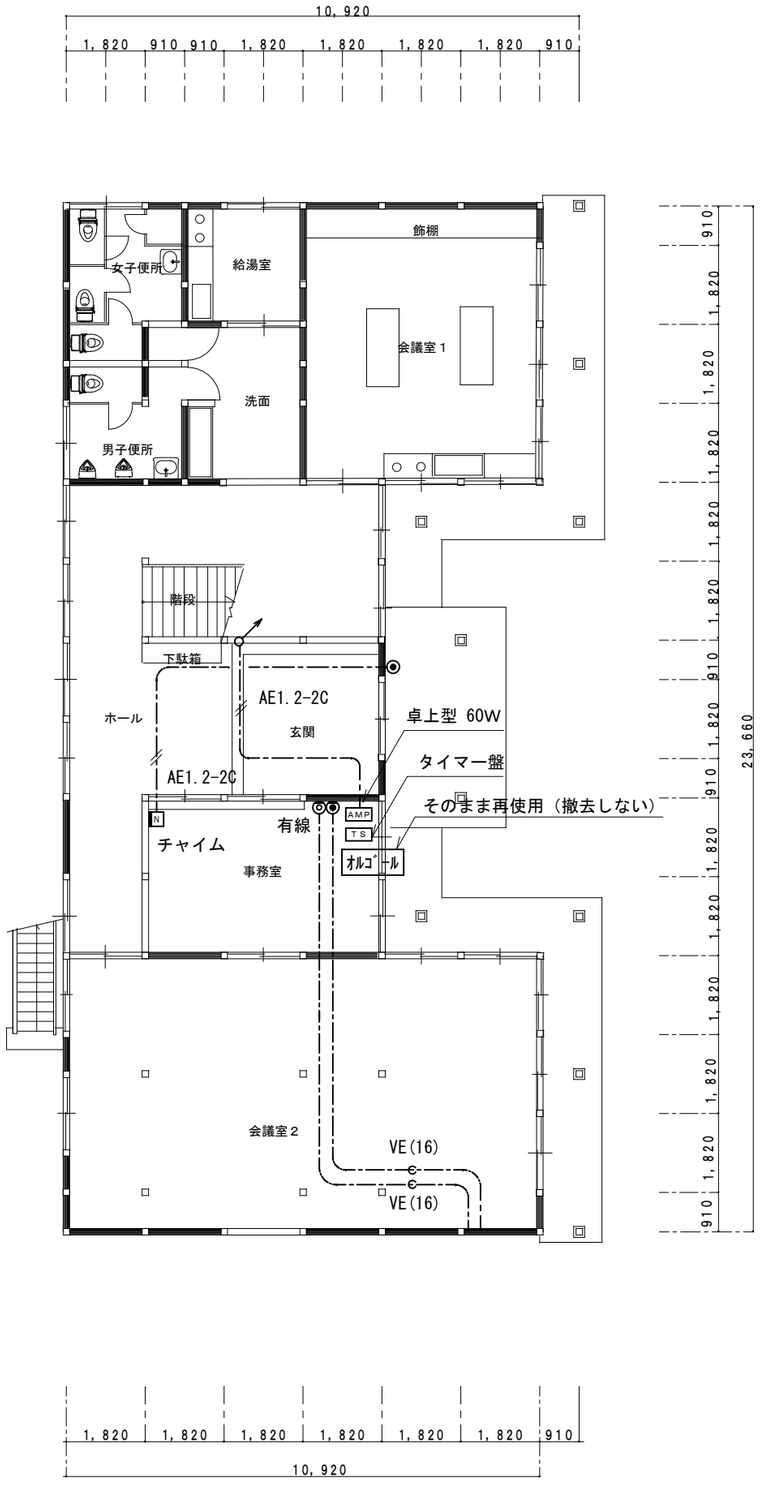


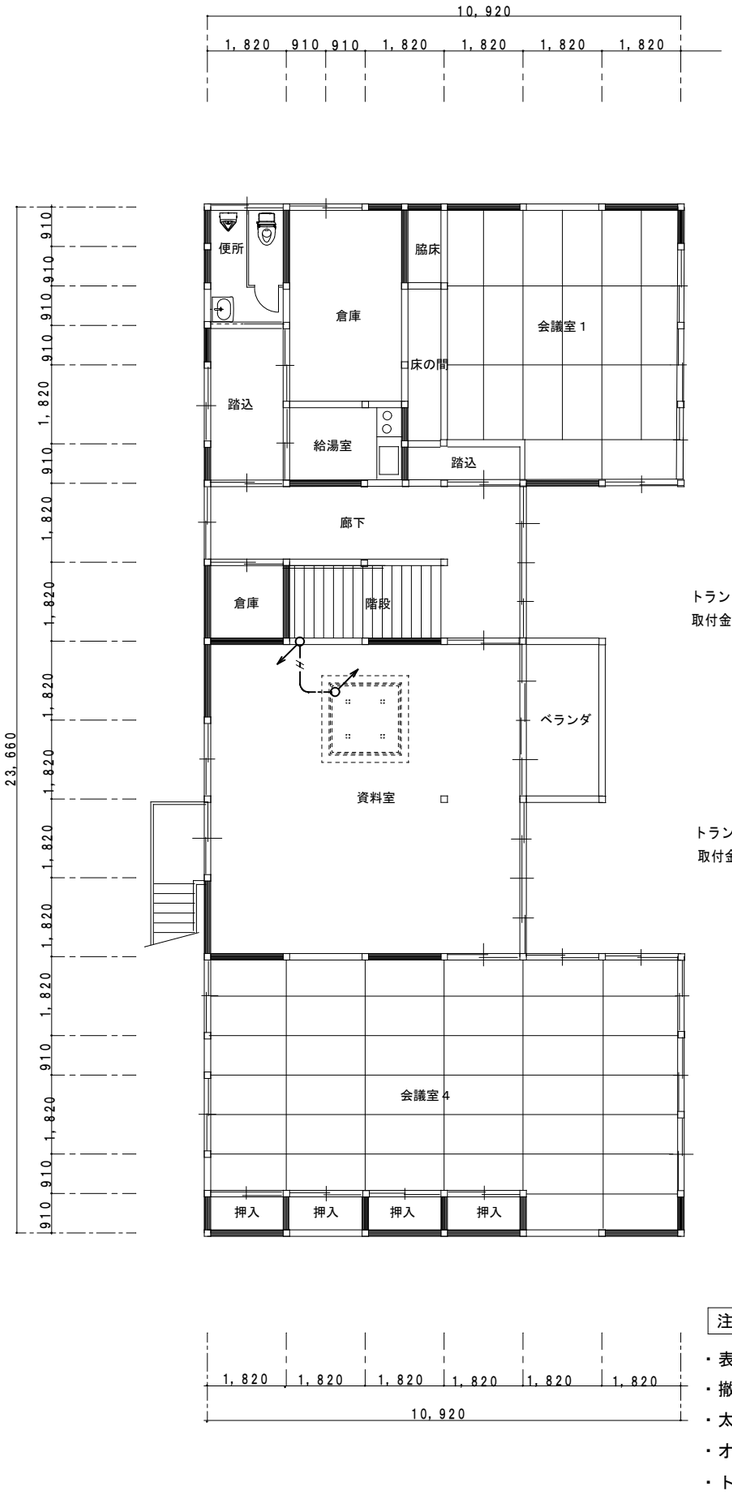
注記

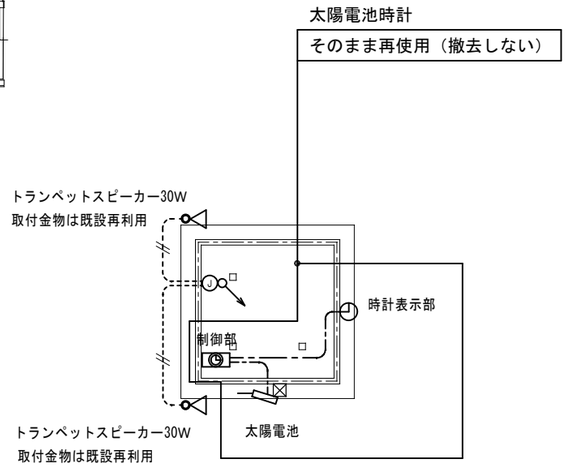
・表記部分は撤去を示す。
・撤去は再使用無しとする。
・既存調査を行い障害の無いよう撤去のこと。

【既設電気設備の撤去及び処分は、建築工事の解体工事に含む。】

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.　確認
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	既設電灯設備　１階・２階　平面図（撤去参考図） 縮R：SCALE　１：１００（Ａ－２）	Ｅ－３１





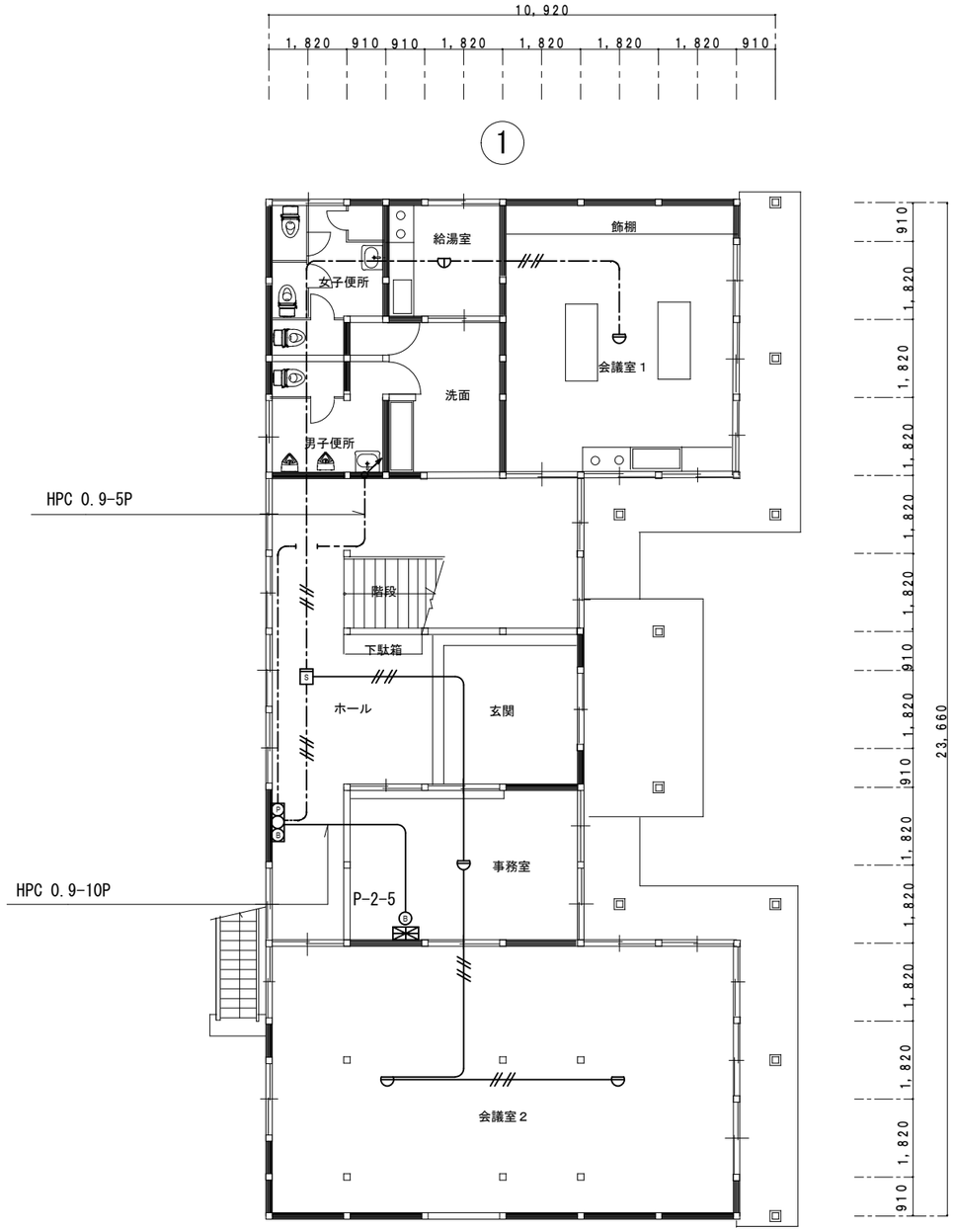


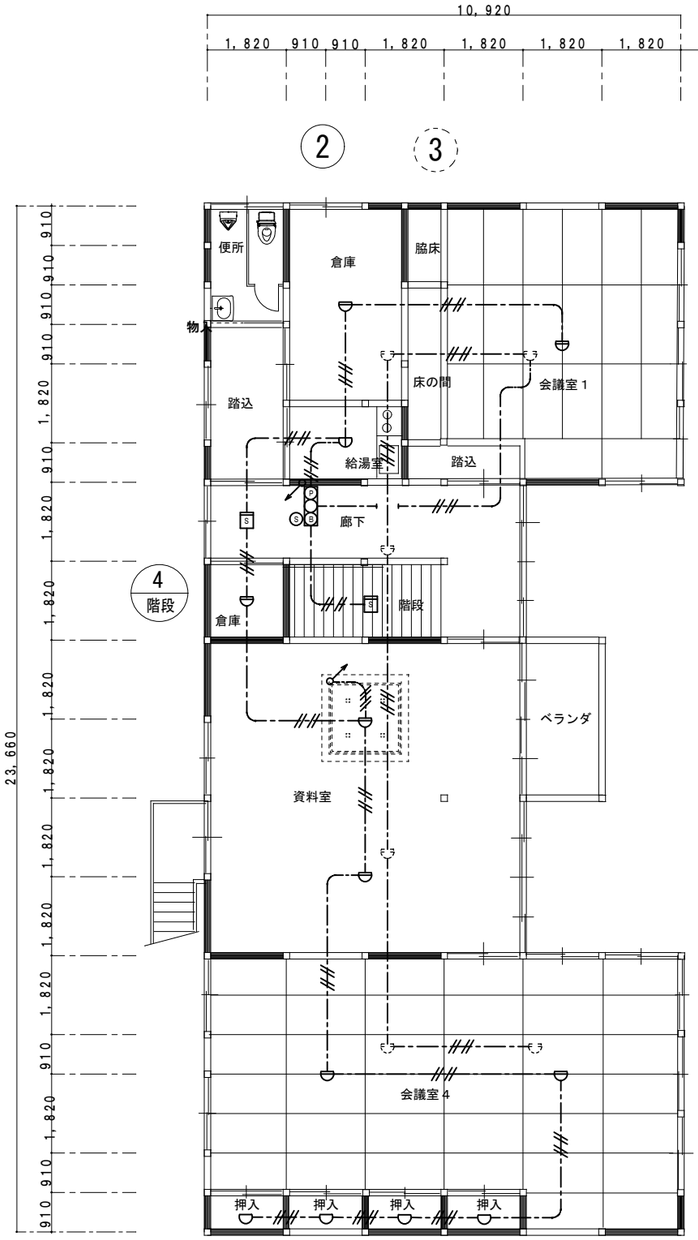
注記

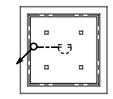
・表記部分は撤去を示す。（一部再使用あり）
・撤去は再使用無しとする。
・太陽電池時計はそのままで再使用とする。
・オルゴールはそのままで再使用とする。
・トランペットスピーカー支持材は再使用とする。
・既存調査を行い障害の無いよう撤去のこと。

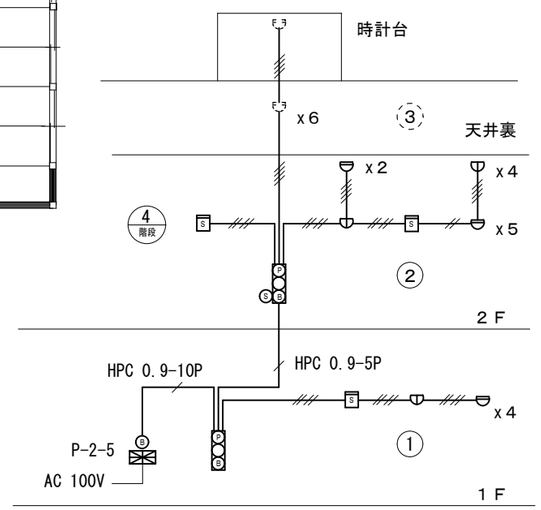
【既設電気設備の撤去及び処分は、建築工事の解体工事に含む。】

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計 / 製図	検図 / 担当	承認印 / 承認年月日 2024.1.24	工事名称：PR NAME 令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 既設 弱電設備 １階・２階 平面図（撤去参考図） / 縮尺：SCALE １：１００（A－２）	図面番号：DW NO. 確認 Ｅ－３２

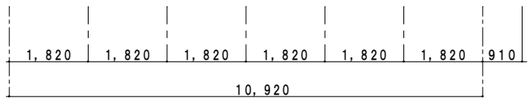








系統図



凡例

AE 0.9-4C 天井いんぺい

注記

・表記部分は撤去を示す。
・撤去は再使用無しとする。
・既存調査を行い障害の無いよう撤去のこと。

【既設電気設備の撤去及び処分は、建築工事の解体工事に含む。】

安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO. 確認
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	既設 自動火災報知設備 １階・２階 平面図（撤去参考図）	Ｅ－３３
						縮尺：SCALE １：１００（Ａ－２）	

機　械　設　備　工　事

Ⅰ．工　事　概　要

1．工 事 場 所　　安曇野市穂高有明

2．建 物 概 要

建 物 名 称	工事種別	構 造	工事対象棟数 階 数	改修階	消防法施行令別表第一	耐震分類	備　考
鐘の鳴る丘集会所	大規模改修工事	Ⅲ造	2	1・2			

3．工 事 種 目（●印を付けたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別	工事内容 新設				屋外
○ 空 気 調 和 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 冷 暖 房 設 備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 暖 房 設 備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 換 気 設 備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 排 煙 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 自 動 制 御 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 衛 生 器 具 設 備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 給 水 設 備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 排 水 設 備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 給 湯 設 備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 消 火 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ ガ ス 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 給 油 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 厨 房 機 器 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 実 験 実 習 器 具 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 冷媒管ドレン設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○電気設備（室内外機連絡配線）	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式

4．設 備 概 要（○印を付けたものを適用する）

方 法 及 び 種 別	設　備　概　要
空 調 方 式	
冷 暖 房 方 式	●ﾙｰﾑｴｱｺﾝ　●ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ標準シングル・
暖 房 方 式	・温風暖房　・温水床暖房　・ＦＦ暖房　●電気暖房
換 気 方 式	●局所換気
給 水 方 式	●水道直結式　・加圧式　・受水タンク式（・上水　・井水）
排 水 一方一 式	・建物内汚水、雑排水（●分流　・合流） ・建物外汚水、雑排水（・分流　●合流） 浄化槽　（・合併　・単独　） ・流先　・公共下水　・●温泉公社下水道
消 火 設一備一の一種一別	・　・
ガ ス の 種 別	・都市ガス（発熱量　　ＫＪ／Ｎｍ、供給事業者名：　　） ●液化石油ガス（発熱量　１００，０００　ＫＪ／Ｎｍ）

5．指 定 部 分　・無　　・有　（指定部分しゅん工期限　平成　　年　　月　　日）

対 象 部 分：

Ⅱ．図　面　目　録

No.	図　面　名　称	No.	図　面　一名一　称
1	M-1　機械設備特記仕様書		
2	M-2　給排水設備配置図・凡例・ﾒｰｶｰﾘｽﾄ・除害施設詳細図		
3	M-3　衛生器具表・機器表・桝ﾘｽﾄ		
4	M-4　給排水衛生設備1階平面図		
5	M-5　給排水衛生設備2階平面図		
6	M-6　冷暖房・暖房設備機器表・系統図		
7	M-7　冷暖房・暖房設備1階平面図		
8	M-8　冷暖房・暖房設備2階平面図		
9	M-9　換気設備機器表・24時間換気計算表		
10	M-10　換気設備1階平面図		
11	M-11　換気設備2階平面図		
12	M-12　施工標準図		

Ⅲ．工　事　仕　様

1．共 通 仕 様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）」（以下、「標準図」という。）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。

参考図書

●安曇野市建築工事の手引き（以下、「手引き」という。）安曇野市企画財政部監修

2．特 記 仕 様

（1）章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項のうち選択する事項は㊀印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	① 機　材　等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料（以下、「品質性能証明資料」という。）を提出して監督職員の承諾を受ける。（標準仕様書第１編第１章第４節１．４．２） ただし、（社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製作図、試験成績書等は除く。
	③ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	④ 施工条件明示項目	・公共建築工事積算基準の解説（設備工事編）の「執務並行改修」
	⑤ 化学物質を発散する建 築 材 料 等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ビス－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ５）上記１）、３）、４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他付器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第３種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第３種のものを使用するものとする。
	ホルムアルデヒドの発散量	該 当 す る 建 築 材 料
	規 制 対 象 外	①ＪＩＳ及びＪＡＳの　Ｆ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるＪＡＳ規格品 ａ　非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ　接着剤等不使用 ｃ　非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ｄ　ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ｅ　非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ｆ　非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
	第 三 種	①ＪＩＳ及びＪＡＳの　Ｆ☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥｏ規格品 ④旧ＪＡＳのＦｃ規格品
	⑥ ペーストシール剤	飲料水管系に使用されているペーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロルピリオス、フェノブカルブ、ダイアジノン フタル酸ジ－ｎ－ブチル、フタル酸ジ－２－エチルヘキシル
	7 電気保安技術者	電気保安技術者を設置。
	⑧ 技 能 士 の 適 要	●配管（①　２）　●冷凍・空気調和機器（③．２）　●熱絶縁（①　２）　・建築板金（１．２）
	9 監 督 員 事 務 所	・設けない　・設ける
	⑩ 工事用電力・用水等	この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
	⑪ 足場・さん橋類	●別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　●その他必要の場合本工事で負担する。 ・改修機械設備標準仕様書第１編２．２．１によるほか下記による。 ●　内部仮設足場等（・　種　・　種）●外部仮設足場等（・　種　・　種）
	⑫ 資 材 の 保 管	資材の保管は必ず屋根をかけ地上３０ｃｍ以上の架台に乗せる。
	⑬ 建 設 発 生 土	・監督員が指示する構内の場所に散ならし　・構内指定場所にたい積　●構外搬出適切処理
	⑭ 埋め戻し土・盛土	●現場中の良質土（ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂）　●山砂の類
	⑮ 山 留 養 生	根切中の山留め　・有（　　）　・無
	⑯ 発 生 材 処 理	工事に先立ち手引き第２編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。 （１）引渡しを要するもの　●無　・有（　　）
		（２）引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。
		（３）特別管理産業廃棄物　・無　・有（　　）
		（４）再利用又は再生資源化を図るもの　（コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、金属くず、塩ビ管、　　）
	17 文 字 入 名 札 等	標準仕様書第１編１．７．４によるほか、バルブ類等は必要に応じて金属樹脂製名札をステンレス鎖等で取付ける。
	18 取 扱 説 明 板	機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板（アクリル樹脂製、文字彫込み程度）を設ける。大きさは、約［　　］㎡とする。
	⑲ 総 合 調 整	・風量調整　●水量調整　・室内外空気の温湿度測定　・騒音測定 ・飲料水の水質の測定（・水質基準検査１０項目（一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等（ＴＯＣ）、ｐＨ、味、臭気、色度、濁度）・トルエン） 飲料水の水質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。
	⑳ 容 量 等 の 表 示	（１）機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	㉑ 耐 震 措 置	機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固に子え付け、取付又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針最新版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量）に、次に示す地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。地域係数は１．０とする。

設置場所	耐震安全性の分類 ・特定の施設（・甲類｜・乙類） 重要機器	一般機器	・一般の施設（乙類） 重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	２．０（２．０）（２．０）	１．５（２．０）（１．５）	１．５（２．０）（１．５）	１．０（１．５）（１．０）
中 間 階	１．５（１．５）（１．５）	１．０（１．５）（１．０）	１．０（１．５）（１．０）	０．６（１．０）（０．６）
地下階、一階	１．０（１．０）（１．５）	０．６（１．０）（１．０）	０．６（１．０）（１．０）	０．４（０．６）（０．６）

（注）１．（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
２．〈　〉内の数値は水槽類に適用する。
３．上層階の定義は次による。
２～６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階

重要機器とは下記に示すものをいう。
・給水装置・排水装置・換気機器●空調機器・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置
・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器・　　・

（２）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

㉒ あと施工アンカー確 認 試 験　機械改修工事標準仕様書第２編５章による。
・性能確認試験（　　）●施工後確認試験（後打ｱﾝｶｰ）確認強度　　ｋＮ
㉓ 吊 金 物　吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする
㉔ 配 管 勾 配　給水、給湯、~~消火、冷温水、冷却水管は、~~図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向かって下り勾配とする。
㉕ 管 の 保 護　コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを１／２重ね１回巻きとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼棒等により沈下防止措置をする。
㉖ 管 の 埋 設（今回埋設電線管に適用）　土中埋設管（排水含む）は、管の上下をサンドクッション厚１００ｍｍで保護する。
給水管、~~消火~~管の埋設深さは［　800　］ｍｍとする。又、ガス管の埋設深さは［　600　］ｍｍとする。

章	項　目	特　記　事　項
空気調和設備	27 管 の 埋 設 表 示	図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分は埋設標示ビンとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。
	28 溶 接 部 の 非 破 壊 検 査	排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。 抜取率　・標準仕様書による　・ 検査の種類　・ＲＴ　・ＰＴ又はＭＴ
	29 塗　　装	下記の金属電線管は塗装を行う。 ・屋外露出　　・（　　）の屋内露出 下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。 ・倉庫　・
	30 機器の基礎及び振 動 絶 縁 効 率	・別図による。

機　器	基　礎	振動絶縁効率
遠心送風機	・標準基礎　・防振基礎	・　％以上　・
空調用ポンプ及びボイラー給水用ポンプ	・標準基礎　・防振基礎	・８０％以上　・
揚水用ポンプ及び小形給水ポンプユニット	・標準基礎　・防振基礎	・８０％以上　・

31 電　　線　　類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編２．４．１、表４．２．１２による。
32 は　　つ　　り	既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴開けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
㉝ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り	標準共通仕様書第２編によるほか下記による。 給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ（グランド部を含む）、フランジ、可とう継手及び空調ダクトのフランジは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。 各配管の保温厚で標準仕様書中厚３０ｍｍ未満の箇所はすべて厚３０ｍｍ以上とする。ただし、排水管は除く。 ・換気ダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ ・外気取入れダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ ・排気ダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ ・逃りダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ ・膨張タンクよりボイラー~への補給水管の保温は膨張管の項による。 ・建物内の空気抜き管の保温は膨張管の項による。 ・空調機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレン管の保温は排水管の項による。 ・全熱交換器用ダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ 保温種別は下記による ダクト　・イ（・１号　・２号）　・ロ 冷温水、冷水、温水、蒸気管　・イ　・ロ 機器　・イ　・ロ 給水管　・ハ　・ロ（凍結防止帯巻部分） 排水管（ドレン）　・ロ　・ 給湯管　・イ　・ロ ・排水管でピット内、共同溝内及び最下階の床下の配管の部分は保温する。 なお仕様はｄ（ハ）とする。 （・排水トラップ　・鉛管　・鋼管類　・ビニール管　・ドレン管　・　　） ・消火管で下記の部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。 （・屋内消火管　・水抜きできない管　・スプリンクラー配管　・　　） ・圧力タンク、脚振木槽、各種呼水槽等鋼板製水槽は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる。 ・大便器は保温する。 ・共同溝内保温種別　（・ピット内に準ずる　・　　） ・ダクトの保温外装は下表による。（機械設備共通仕様書）

区　分	保　温　外　装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・
機械室	・アルミガラスクロス　・
居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板　・
屋外露出、多湿箇所（　　）	・ステンレス鋼板　・

・配管の保温外装は下表による。（機械設備共通仕様書）

区　分	保　温　外　装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・
機械室	・アルミガラスクロス　・
居室・廊下など	・綿布　・
屋外露出、多湿箇所（　　）	・ステンレス鋼板　・

※配管には、冷媒管は除く。
●冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化粧ケースは塩化ビニール樹脂製とする。

区　分	保　温　外　装
屋内露出	・綿布　・保温化粧ケース
屋外露出	●ステンレス鋼板　・保温化粧ケース

34 防　　凍　　保　　温	・屋外露出部（給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレン管、消火管、排水管、弁類）は防凍保温を行い、厚さは管径２５ｍｍ以下のものは５０ｍｍ、管径３２ｍｍ以上のものは４０ｍｍとする。 ・屋外露出部（給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレン管、消火管、排水管、弁類）は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は３２に準じる。 ・各種機器について図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。（　　）
㉟ 試　　験	（１）各種配管の試験は、新設配管に適用する。 （２）新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。
36 他工事との取合い	配管、ダクト、器具据え付けにともなうスリーブ、枠入れは本工事とし、他は工事区分表による。
㊲ そ　の　他	保険等の各種措置については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。 （長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書）

章	項　目	特　記　事　項
○空気調和設備	1 設 計 温 湿 度	外気：夏季　３３．３℃　５０％　冬季　－１０．６℃　６６％ 屋内：一般系統　２８℃　５０％　℃　％　℃　％
	2 居 室 騒 音 限 界	下表によるほか、耳ざわり音がないよう機種選定およびダクト消音対策を行う。

室　名	Ａ特性（ｄＢ）	Ｎ　Ｃ　値

3 煤 煙 濃 度 計	・設ける　・
4 ばいじん量測定口	・設ける（測定口は８０φとする）　・
5 煙　　道	伸縮継手、補強口及び煤煙量測定口の位置は図示による。
6 ダ　ク　ト	・低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト ・アングルフランジ工法　・スパイラルダクト ・コーナーボルト工法（・共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法）
7 風 量 測 定 口	取付部は図示による。
8 チ ャ ン バ ー	内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及び水ホッパーは、雨水の滞留のないように施工する。
9 防 煙 ダ ン パ ー	復帰方式（・遠隔　・　　）
10 空調屋外機室名入れ	空調屋外機には関係室名を明記する。

章	項　目	特　記　事　項
●冷暖房設備	10 ビストンダンパー	復帰方式（・遠隔　・　　）
	11 弁　　類	ＪＩＳ又はＪＶ（・５Ｋ　・１０Ｋ（図示部分））
	12 温　　度　　計	取付部は図示による。
	13 圧　　力　　計	取付部は図示による。
	14 瞬 間 流 量 計	コック付とし、形式及び取付部は図示による。
	15 油 面 制 御 装 置	制御盤には（・給油ポンプ制御　・満油警報　・遠隔警報　・電磁弁制御　・返油ポンプ制御・減油警報　・　　）の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
●換気設備	1 ダ　　ク　　ト	●低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト ・アングルフランジ工法　●スパイラルダクト ・コーナーボルト工法（・共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法） ・ﾐﾆｷｯﾁﾝ・浴室系統の排気用ダクトの水抜き（・要　・不要） ・厨房系統の長方形排気用ダクトの板厚は、機械設備共通仕様書により施工する。
	2 風 量 測 定 口	取付位置は図示による。
	3 ダ　ン　パ　ー	空気調和設備の該当項目による。
	4 排気ダクトのシール	・浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統　●ﾐﾆｷｯﾁﾝ排気
	5 チ ャ ン バ ー	空気調和設備の該当項目による。
	6 耐　火　措　置	自家発用換気ダクトが自家発室外を通過する場合の耐火措置は図示による。
○厨房排煙設備	1 ダ　　ク　　ト	・亜鉛鉄板　・ｽﾃﾝﾚｽ
	2 排 煙 口 の 形 式	図示による
	3 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）	・ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・不要　・要）
	4 排 煙 風 量 測 定	「建築設備定期検査業務指導書」（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
○自御動設制備	1 中央監視制御装置	・有り　・無し
	2 中央監視制御装置の構成・機能	図示による
	3 電気計装工事の配線	使用する電線類はＥＭ電線とし、規格は標準仕様書第４編表４．２．１２の使用電線類の規格による。（機器、盤類は除く） 屋外・屋内露出の電線は図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠蔽の配線は図面に特記のない限りケーブル配線とする。
●衛生器具設備	1 大 便 器 洗 浄 弁	・バキュームブレーカー　・不凍結装置付　・低圧フラッシュバルブ
	② 大便器ロータンク	・水抜き装置付
	③ 温水洗浄式便座	加熱方式（・貯湯式　●瞬間式）　給水方式（●給水管直結給水方式　・ポンプ加圧給水方式） 温風乾燥機能（・有　・無）　脱臭（・有　・無）
	4 小 便 器 洗 浄 弁	・不凍結装置付・感知小便器一体型フラッシュ方式●個別感知フラッシュ方式（・埋込　・露出）
	5 小 便 器 洗 浄 管	・露出　●隠ぺい　・水抜き装置付
	⑥ 水　　栓	・節水コマ　・固定コマ（●寒冷地対応形　・　　）
	7 化　　粧　　棚	・陶器製（・露出形　・　　）
	8 石　け　ん　受	・陶器製（・露出　・埋込）
	⑨ 洗　　面　　器	●止水栓付
	10 標　　記　　板	・取付箇所（・大便器　・小便器　・　　）材質（・陶器製　・　　）
	11 大便器尉火カバー	・設ける（ビット内は除く）　・設けない
●給水設備	1 量　　水　　器	・親メーター（・貸与品　・　　）・子メーター（・買取り（ﾌﾞﾙ）　・　　）
	2 量 水 器 桝	・水道事業者指定品（・貸与品　買取り）　・標準図MC形
	③ 弁　　類	ＪＩＳ又はＪＶ　●水道直結部分（●１０Ｋ　・　　）・その他の部分（・５Ｋ　・１０Ｋ　）
	④ 引 込 桝 付 金 等	・要（・本工事　・別途工事）　●不要
	⑤ 給　水　勾　配	●不凍柱の二次側は水抜きが確実にできること。
	⑥ 建物導入部配管	・標準図　施工４．５（・（ａ）　・（ｂ）　●（ｃ））による。
●排設水備	① 洗面器等の排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
	② 排　水　勾　配	屋内　●６５Ａ以下は１／５０、７５Ａ以上は１／１００以上　屋外　●１／１００以上　・
	3 満 水 試 験 継 手	図示の箇所に取付ける。
	④ インバート桝、ため桝	桝のコンクリート部は工場製品としてもよい。
●給設油備	① 弁　　類	ＪＩＳ又はＪＶ（・５Ｋ　●１０Ｋ　（図示部分））
○消設火備	1 屋 内 消 火 栓 箱	・ＨＢ－１Ａ　・ＨＢ－１Ｂ　・
	2 建物導入部配管	・標準図　施工４．５（・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ））による。
○厨設房備機器	1 機 器 の 寸 法	概略寸法とする
	2 燃 焼 機 器	使用ガス（・都市ガス　・液化石油ガス）
●ガス設備	1 充 て ん 容 器	・別途（・５０ｋｇ　●　既存）
	2 集　合　装　置	・標準図　施工７０による　１本組。　●　既存
	3 転 倒 防 止 等	・標準図　施工７１（・（ａ）　・（ｂ））による
	4 メ　ー　タ　ー	・親メーター（・貸与品　・　　）　・子メーター（・買取り　・　　）
	5 ガス漏れ警報器	・本工事（図示による）　・別途工事
	6 引 込 負 担 金	・要（・別途工事　・本工事）　・不要
	7 電 気 防 食	・要　・不要
	8 建物導入部配管	・標準図　施工４．５（・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ））による。
●その他	① しゅん工時提出物	標準仕様書によるほか別表による。
	2 定　期　報　告	工事しゅん工後３ヶ月、１２ヶ月に点検をして、その結果を書面で施設課長あて報告する。（管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。）
	③ 電　子　納　品	別添「建築工事における電子納品特記仕様書（試行用）」による。 （長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書）
●特記事項	① ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	空調機器設置用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄはｽﾃﾝﾚｽ製とする。
	② 機器設置用後施工ｱﾝｶｰ	後施工アンカーの施工に付いては施工計画書を提出する。（取付機器必要耐力考慮）
	③ 防振工事	後施工アンカーの施工後は引抜試験を行い報告する。引抜試験の箇所・本数に付いてはメーカー仕様。係員の支持による。 エアコン屋内機の吊ﾎﾞﾙﾄには防振吊金具を取り付ける。
	④ 振止工事	エアコン屋内機の吊ﾎﾞﾙﾄの長さが1.0Ｍ以上になる場合施工する。（参考工法：INABA　FL-ﾊﾝｶﾞｰｼｽﾃﾑﾀｲﾌﾟX）
	⑤ ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ・吊棒口径	対象機器によりｱﾝｶｰ仕様又は計算により確認する。
	6 天井点検口設置	エアコン屋内機用の天井点検口を取り付ける。　天井点検口の取付位置は管理上必要な位置とする。
	7 既設給排水管について	既設給排水管への接続については施工上問題が発生した場合は係員の指示により施工する。
	8 電気工事との整合	機器類の電気容量・接続方法は確認をする。
	9 コア一抜	給排水管に必要な建物布基礎のコア一抜は本工事内とする
	10 地上灯油ﾀﾝｸ	地上灯油ﾀﾝｸの危険物表示・貯蔵容量等の表示板は本工事とする。（設置灯油ﾀﾝｸに表示の有る場合は必要無）
	11 既設屋内外配管・機器について	既設排水管・給水管は残置とし適切な処理をする事。

（別表）しゅん工時提出物（○印を付けたものを提出する。作成方法は手引きによる。）

① 提出書類等目録	⑦ 官公署届出書類等
② 完成図（原図・製本・ＣＡＤデータ）	⑧ 工具・予備品等
③ 設計図（原図）	⑨ 引渡書
④ 工事施工関係書類	１０ 試運転用油等（　　）の納品書写
⑤ 工事完成資料	11 その他監督員指示によるもの又は特記によるもの
⑥ 保守管理資料	

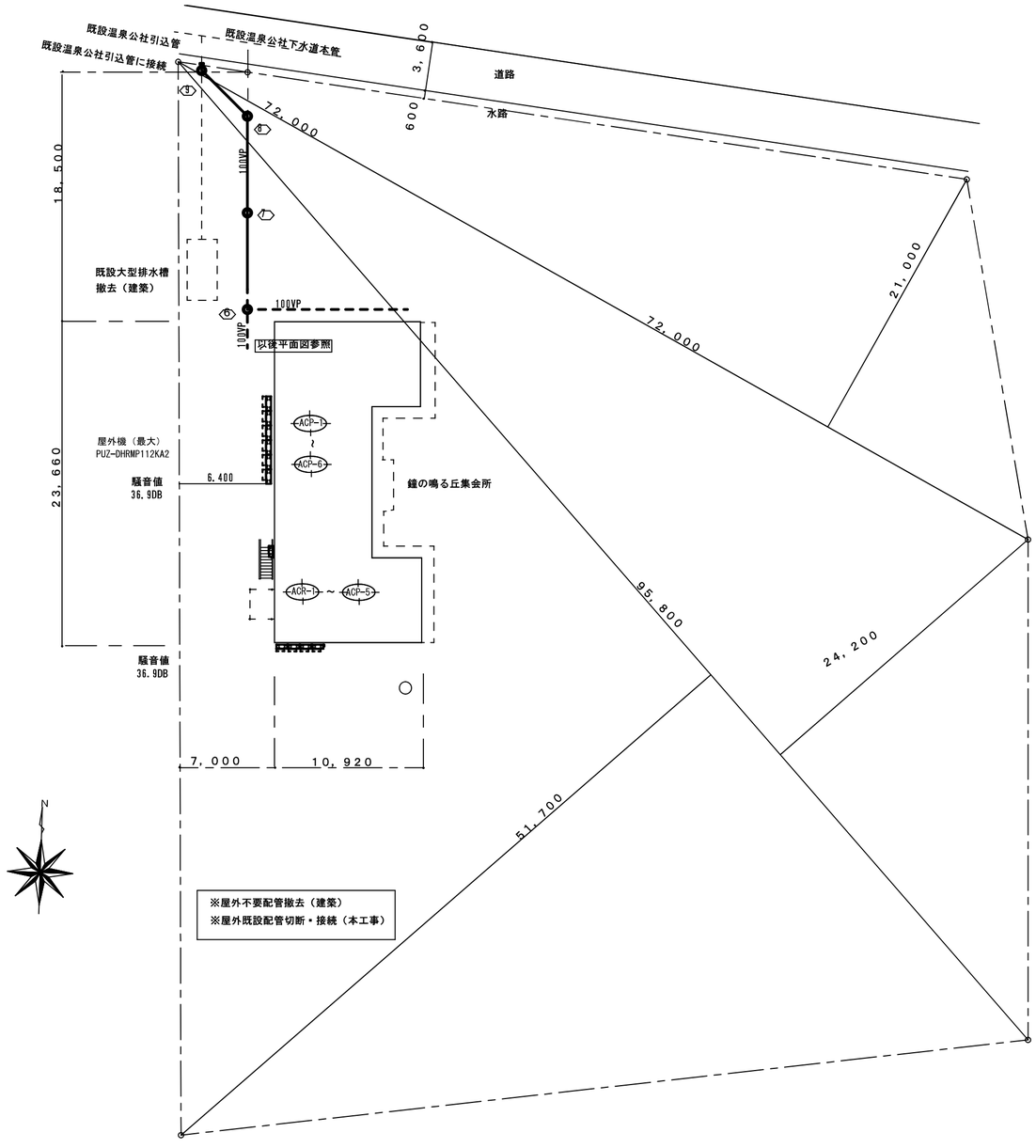
注）完成図面の種類は、設計図面に準じて作成すること。

訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME
	製図	担当	承認年月日	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	縮尺：SCALE

安曇野市財政部管財課

機械設備工事特記仕様書

図面番号：DW　NO.　M－１



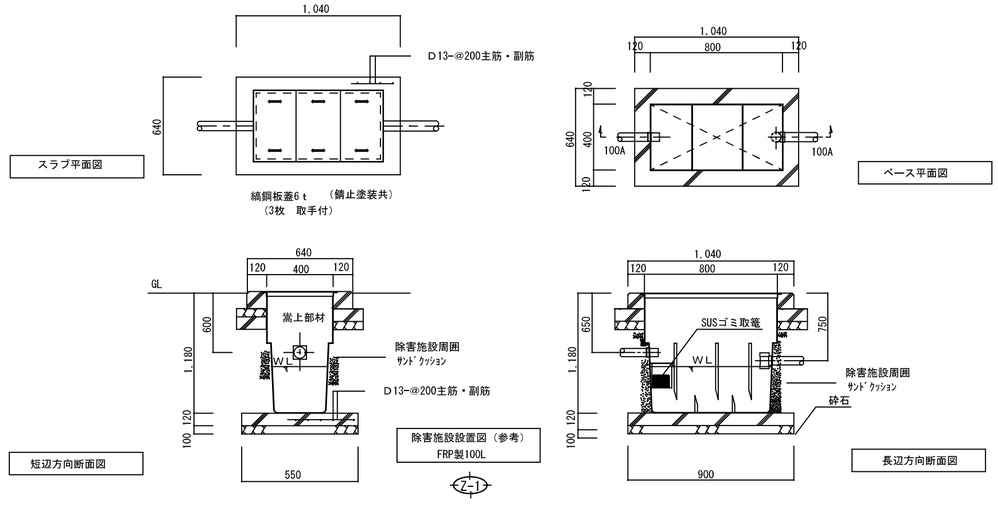
住所：安曇野市穂高有明７３２７－８１

メーカーリスト

品目	機材名	適用範囲		製造業者名等		
水道用塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管ＶＢ・ＶＤ（給水）		設計図参照		ＪＩＳマーク表示品 水マーク表示品		
ビニール管類　ＨＩＶＰ　ＶＰ（給水・排水）		設計図参照		ＪＩＳマーク表示品 水マーク表示品		
水道用耐熱塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管HTLP（給湯）		設計図参照		ＪＩＳマーク表示品 水マーク表示品		
ｶﾞｽ管・外面被覆鋼管　GP　PLP（ｶﾞｽ）		設計図参照		ＪＩＳマーク表示品		
保温材		設計図参照		ＪＩＳマーク表示品 ＪＩＳ表示許可工場で製造された物		
小口径塩ビ桝	桝リスト参照	設計図参照	安曇野市上水道局認定品	前沢化成	アロン	積水
弁類 不凍栓、水抜栓		設計図参照	安曇野市下水道局認定品	北沢 竹村	大和 光合金	東洋 日邦
排水金物	機器リスト参照	設計図参照		長谷川	伊藤	小島
衛生器具・電気温水器	機器リスト参照	設計図参照		TOTO	LIXIL	
電気ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	機器リスト参照	設計図参照		日本ｼｰｽﾞ線	相当品	
冷暖房機	機器リスト参照	設計図参照		三菱	日立	ダイキン
換気扇類	機器リスト参照	設計図参照		三菱	相当品	

凡例

記号	名称	記号	名称
	給水管（上水道直結管）埋設 耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管　HIVP		不凍栓地下式　600L　VC-6BOX共 安曇野市認定品
	給水管（上水道直結管）埋設 水道用内外面硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　VD		給水・給湯用仕切弁JIS10K（GV）
	給水管（上水道直結管）屋外地中　屋内　土間配管 水道用内外面硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　VD		
	給水管（上水道直結管）屋外架空・屋内隠蔽 水道用内面硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　VB		給水栓
	屋内外汚水、排水管・通気管 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管　VP		
	屋内外給湯管 水道用耐熱硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　HTLP		混合水栓
G	LPG管 外面ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ被覆鋼管　GP　PLP		
R	冷媒管 空調用銅管　ﾍﾟｱｺｲﾙ・ｼﾝｸﾞﾙ直管		ｽﾃﾝﾚｽ流し排水ﾄﾗｯﾌﾟ
D	ドレン管 断熱樹脂管		床上掃除口（塩ビシート用）
			通気金物
	給気・排気ダクト（一般） ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ・フレキシブﾙﾀﾞｸﾄ	T	小口径塩ビ桝（塩ビ蓋・防護ﾊｯﾄ） 安曇野市認定品



安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME 令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	図面名称：DW　NAME 配置図・ﾒｰｶｰﾘｽﾄ・凡例・除害施設詳細図
		製図 2023.7.19	担当	承認年月日		縮尺：SCALE １：１５０　（Ａ−２）　（A−3）
						図面番号：DW　NO.　確認 M−2

衛生器具表

（衛生器具の設置については事前に承諾図を提出し係員の承諾を得ること、又、現地の状況を考慮する事）

品名	参考ﾒｰｶｰ	仕様	電気容量	室名 屋外	1F身障者ﾄｲﾚ	1F男子便所	1F女子便所	1F調理室	1F清掃用具室	1F事務室	1Fｱﾄﾘｴ1	2F男子便所	2F女子便所	2F洗濯・洗面	2Fｼｬﾜｰ室1・2	2Fｷｯﾁﾝ・ﾎｰﾙ	2Fｱﾄﾘｴ3	合計
車椅子対応便器	TOTO	CS20AB　密結ﾀﾝｸ　SH30BA　ｳｵｯｼｭﾚｯﾄ　TCF587P ﾘﾓｺﾝ　他付属品一式	1φ100V　1260W		1													1
紙巻器	TOTO	YH702			1													1
可動手摺	TOTO	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ　T112HK8R			1													1
固定手摺	TOTO	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ　T112CL10			1													1
化粧鏡	TOTO	YM6090A			1													1
車椅子用壁掛洗面器	TOTO	L103A　自動水栓（単水栓）　壁給水・Ｐ形排水金物	1φ100V　0.6W		1													1
車椅子用壁掛洗面器手摺	TOTO	T112CP23　×2　付属金物一式			1													1
洋用大便器	TOTO	ﾊﾞﾌﾞﾘｯｸｺﾝﾊﾟｸﾄ便器　CS232B　密結ﾀﾝｸ　SH232BF ｳｵｯｼｭﾚｯﾄ　TCF587	1φ100V　1262W			1	1					1	1					4
		ﾘﾓｺﾝ　他付属品一式																
紙巻器	TOTO	YH600FMR				1	1					1	1					4
壁掛手洗器	TOTO	壁掛手洗器ｾｯﾄ1式　LSE90AAPRT　（手洗器　自動水栓　ﾀｵﾙﾊﾞｰｾｯﾄ　壁給排水金物）　他付属品一式	1φ100V　0.6W			1	1					1	1					4
ﾀｵﾙﾘﾝｸﾞ	TOTO	YT408R				1	1					1	1					4
掃除用流し	TOTO	SK22A							1									1
		横水栓　T23AEQ20C　ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓　TN114　床排水金物（Sﾄﾗｯﾌﾟ）　他付属品一式																
洗面器	TOTO	壁掛洗面器　L270CM	1φ100V　0.6KW											1				1
		自動水栓一体形電気温水器　適温出湯ﾀｲﾌﾟ　貯湯量6L　REAH06A11RSC41AK　専用自動水栓　TENA51A2 アングル形止水栓TL347CU																
洗面器	TOTO	ﾍﾞｯｾﾙ式洗面器ｾｯﾄ　LSE722BAPMWR	1φ100V　0.6W							1								1
		（台付自動水栓　水石鹸入れ　取付金具　壁排水金具）																
ﾀｵﾙ掛	TOTO	YT500S4								1				1				2
化粧鏡	TOTO	YM4560AE								1				1				2
洗濯機用水栓	TOTO	TW11R												1				1
洗濯機用排水ﾄﾗｯﾌﾟ	TOTO	PJ2008NW（横引排水ﾄﾗｯﾌﾟ）												1				1
混合水栓	TOTO	ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合栓　TKS05311J						1			1					1	1	4
万能ﾎｰﾑ水栓	TOTO	T200BSQ13C		1														1
流し台・ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ		建築工事　配管接続本工事		1				1			1					1	1	4
ｼｬﾜｰﾙｰﾑ1・2	TOTO	建築工事（水栓・鏡・手摺一式）JSV0816UXW3AK　配管接続本工事													2			2

（衛生器具は寒冷地仕様とする。衛生器具型番は参考とし、参考型番が廃止または変更になっている場合、他メーカーの製品使用の場合は係員の指示による。）

給排水衛生設備機器表

記号	機器名称	設置場所	機器型式	機器仕様	数	電力 相（φ）	電力 電圧（V）	電力 容量（KW）	備考（参考品番）
ＬＰ－１	LPG集合装置	屋外	既存使用		1				
ＧＷ－１	ｶﾞｽ給湯器	屋外	屋外壁掛形　寒冷地仕様	給湯専用　24号―3.0号　配管ｶﾊﾞｰ（650Ｈ）　排気ｶﾊﾞｰ	1	1	100		REW25C2BH　RHE706　RHE97H-32
			水道直圧形	GV20×2、CV20、FJ20×300Lx3　ﾘﾓｺﾝ工事（ﾘﾓｺﾝ・ｺｰﾄﾞ共）　給水、給湯管ヒーター巻き					
Ｚ－１	除害施設（詳細図参照）	屋外	FRP製埋設型	槽容量　100L　RC基礎　RCｽﾗﾌﾞ補強　鋼板蓋6ｔ　嵩上げ工事	1				
ＥＷ－１	電気温水器	1F調理室・ｱﾄﾘｴ	流し台内設置	貯湯量25L　先止式　REW25C2BK　RHE98H-50N　RHE707R　TL347CU　TH651	4	1	200	2.0KW	REW25C2BH　RHE706　RHE97H-32 TL347CU
		2Fｷｯﾁﾝ・2Fｱﾄﾘｴ3		給水・給湯・排水金物一式					
ＥＷ－２	電気温水器	2F洗面	洗面器ｾｯﾄ（衛生器具表参照）						

桝リスト表

No.	桝名称	仕様	桝深サ（参考）（mm）	ＧＬ	蓋
A	小口径塩ビ桝	90L　65-75-100-100-150	ＧＬ－４５０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
B	小口径塩ビ桝	45Y　65-75-100-100-150	ＧＬ－４９０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
C	小口径塩ビ桝	45Y　75-100-100-100-150	ＧＬ－５４０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
D	小口径塩ビ桝	90L　100-100-150	ＧＬ－５９０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
E	小口径塩ビ桝	90L　100-100-150	ＧＬ－６３０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
F	小口径塩ビ桝	45L　100-100-150	ＧＬ－７６０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
イ	小口径塩ビ桝	90L　65-75-75－150	ＧＬ－４５０	±０	塩ビ蓋　鎖付
Ｔ１	小口径塩ビ桝 目皿付トラップ桝	起点　75-100-100－200	ＧＬ－４９５	±０	塩ビ蓋　鎖付
ロ	小口径塩ビ桝	45Y　100-100-100－150	ＧＬ－７００	±０	塩ビ蓋　鎖付

桝リスト表

No.	桝名称	仕様	桝深サ（参考）（mm）	ＧＬ	蓋
Ｔ１	小口径塩ビ桝 目皿付トラップ桝	起点　65-75-75-200	ＧＬ－４５０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
Ｔ２	小口径塩ビ桝 目皿付トラップ桝	起点　75-100-100-200	ＧＬ－４５０	±０	塩ビ蓋　鎖付　×2個所
1	小口径塩ビ桝	45Y　100-100-100-150	ＧＬ－８００	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
2	小口径塩ビ桝	45Y　75-100-100-100－150	ＧＬ－８４５	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
3	小口径塩ビ桝	S　100-100－150	ＧＬ－９４５	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
4	小口径塩ビ桝	45Y　75-100-100-100-150	ＧＬ－１０４５	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
5	小口径塩ビ桝	45Y　100-100-100-150	ＧＬ－１０９０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
6	小口径塩ビ桝	45Y　100-100-100-150	ＧＬ－１１４０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
7	小口径塩ビ桝	S　100-100－150	ＧＬ－１２４０	±０	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
8	小口径塩ビ桝	45L　100-100－150	ＧＬ－９５０	-400	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台
9	温泉公社下水道接続桝	45L　100-100－150	ＧＬ－１５００	-500	防護ハットＴ８　桝廻り部品類 ハット台

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：ＤＡＴＡ　2023．7．23

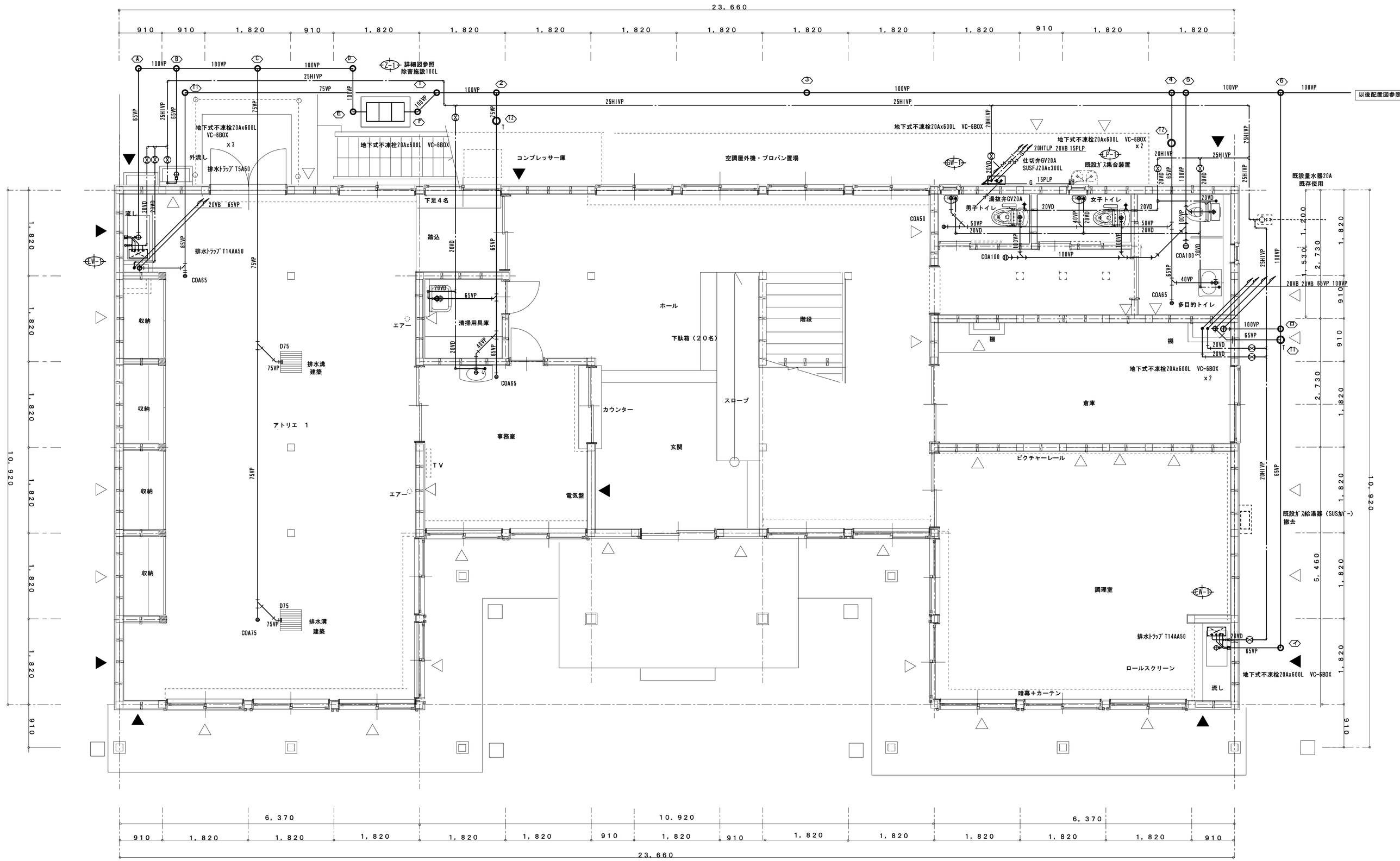
設計	検図	承認印
製図　2023．7．19	担当	承認年月日

工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ　令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

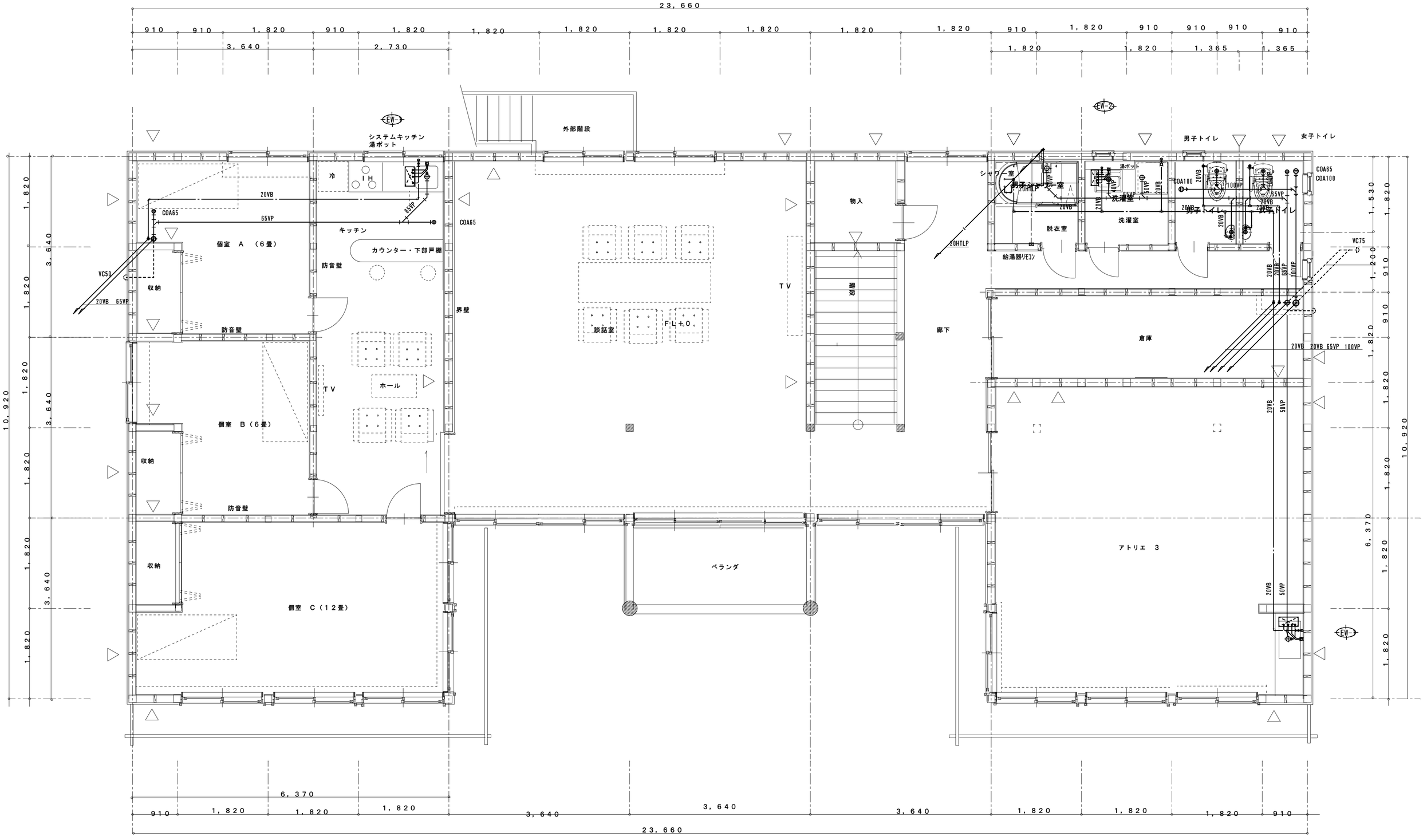
図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ　衛生器具表　機器表　桝ﾘｽﾄ

縮尺：ＳＣＡＬＥ　（Ａ－３）

図面番号：ＤＷ　ＮＯ．確認　Ｍ－３



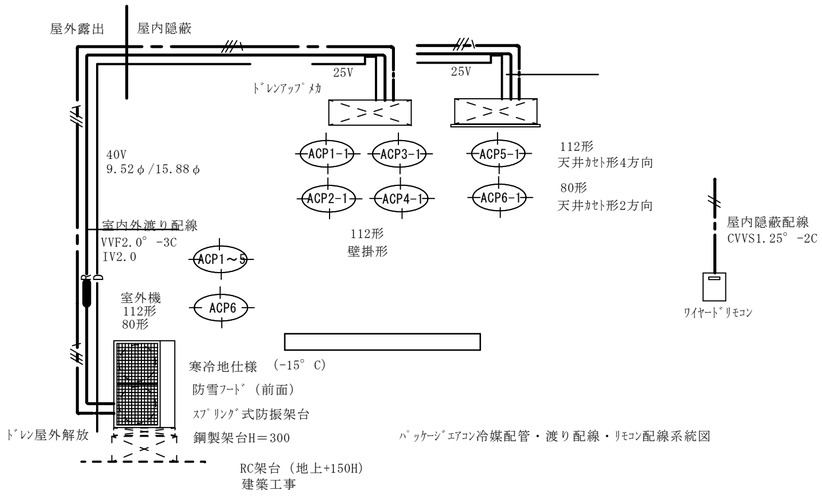
安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	図面名称：DW NAME 給排水衛生設備1階平面図	図面番号：DW NO. 確認 M－4
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24		縮尺：SCALE １：５０(A－２) (A－3)	



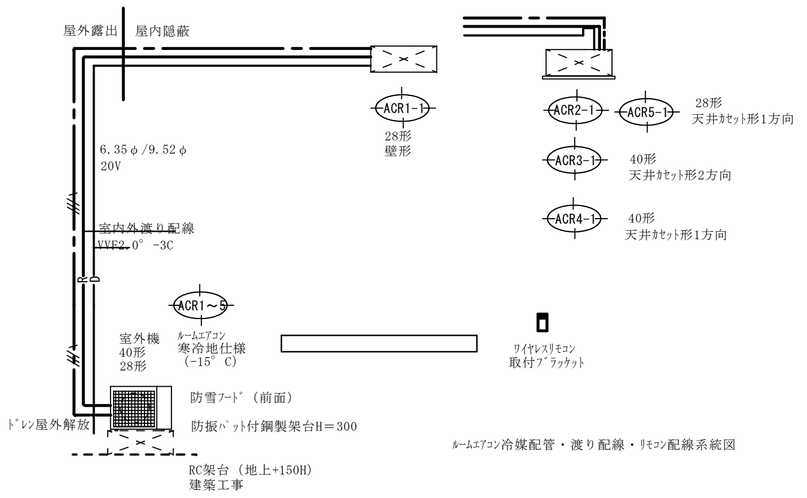
安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO. 確認
		製図	担当	承認年月日 2024. 1. 24	令和6年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	給排水衛生設備2階平面図	M―5
						縮R：SCALE 1：50（A－2） （A－3）	

冷暖房設備機器表　　新冷媒使用（R32）

記号	機器名称	設置場所	機器型式	機器仕様	数	電力 相（φ）	電力 電圧（V）	電力 容量（KW）	備考（参考品番）
屋外機 ＡＣＰ－１・２	空冷ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	屋外		冷暖房能力　冷/暖10.0KW/11.2KW　吹出口防雪ﾌｰﾄﾞ（前面）　屋外機転倒防止金物　参考外形寸法　1,050Wx350Dx1340H　参考質量　115ｋｇ	4	3	200	最大電流 25A	112形
ＡＣＰ－３・４	標準（ｼﾝｸﾞﾙ）			冷媒配管　9.52φ／15.88φ　ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ耐震架台　鋼製架台　H＝300　（既製品）　（SUSｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ）				冷暖房定格 2.64/3.05KW	ｽﾊﾟ暖ｽﾘﾑ PKZ-DHRMP112K　（ｾｯﾄ型番）
	寒冷地仕様（-15℃）			冷媒液充填				ﾌﾞﾚｰｶｰ容量 30A	
屋内機 ＡＣＰ１－１ ＡＣＰ２－１		1Fﾎｰﾙ・玄関	壁掛形	冷暖房能力　冷/暖10.0KW/11.2KW　参考外形寸法　1,170ｘ295ｘ365Ｈ　参考質量　21kg	4	3	200		
ＡＣＰ３－１ ＡＣＰ４－１		1Fｱﾄﾘｴ1　1F調理室		冷媒配管　9.52φ／15.88φ　室内機壁設置用金物					
		2F談話室		ドレン配管工事　25V　ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ　ﾘﾓｺﾝ配線工事　室内外渡り配線工事　FVV-2.0°-3C　ｱｰｽ線　IV2.0°					
屋外機 ＡＣＰ－５	空冷ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	屋外		冷暖房能力　冷/暖10.0KW/11.2KW　吹出口防雪ﾌｰﾄﾞ（前面）　屋外機転倒防止金物　参考外形寸法　1,050Wx350Dx1340H　参考質量　115ｋｇ	1	3	200	最大電流 25A	112形
	標準（ｼﾝｸﾞﾙ）			冷媒配管　9.52φ／15.88φ　ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ耐震架台　鋼製架台　H＝300　（既製品）　（SUSｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ）				冷暖房定格 2.26/2.25KW	ｽﾊﾟ暖ｽﾘﾑ PLZ-DHRMP112H　（ｾｯﾄ型番）
	寒冷地仕様（-15℃）			冷媒液充填				ﾌﾞﾚｰｶｰ容量 30A	
屋内機 ＡＣＰ５－１		2Fｱﾄﾘｴ3	天井ｶｾｯﾄ形（4方向）	冷暖房能力　冷/暖10.0KW/11.2KW　参考外形寸法　840ｘ840ｘ298Ｈ　参考質量　30.5kg　室内機設置用防振吊金物　振止金物	1	3	200		
				冷媒配管　9.52φ／15.88φ　ドレン配管工事　25V　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ　ｲﾝﾃﾘﾊﾟﾈﾙ自動昇降装置　ﾘﾓｺﾝ配線工事　室内外渡り配線工事　FVV-2.0°-3C　ｱｰｽ線　IV2.0°					
屋外機 ＡＣＰ－６	空冷ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	屋外		冷暖房能力　冷/暖7.1KW/8.0KW　吹出口防雪ﾌｰﾄﾞ（前面）　屋外機転倒防止金物　参考外形寸法　1,050Wx350Dx1340H　参考質量　115ｋｇ	1	3	200	最大電流 22A	80形
	標準（ｼﾝｸﾞﾙ）			冷媒配管　9.52φ／15.88φ　ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ耐震架台　鋼製架台　H＝300　（既製品）　（SUSｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ）				冷暖房定格 2.04/2.18KW	ｽﾊﾟ暖ｽﾘﾑ PLZ-DHRMP80L　（ｾｯﾄ型番）
	寒冷地仕様（-15℃）			冷媒液充填				ﾌﾞﾚｰｶｰ容量 30A	
屋内機 ＡＣＰ６－１		2F廊下	天井ｶｾｯﾄ形（2方向）	冷暖房能力　冷/暖7.1KW/8.0KW　参考外形寸法　940ｘ650ｘ331Ｈ　参考質量　34kg　室内機設置用防振吊金物　振止金物	1	3	200		
				冷媒配管　9.52φ／15.88φ　ドレン配管工事　25V　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ　ｲﾝﾃﾘﾊﾟﾈﾙ自動昇降装置　ﾘﾓｺﾝ配線工事　室内外渡り配線工事　FVV-2.0°-3C　ｱｰｽ線　IV2.0°					
屋外機 ＡＣＲ－１	ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	屋外		冷/暖房能力　2.8KW／4.0KW　冷媒配管　6.35／9.52　防雪ﾌｰﾄﾞ（前面）　防振ﾊﾞｯﾄ付鋼製架台H＝300（既製品）　参考寸法862ｘ345ｘ550H　参考製品重量　35.0Ｋｇ	1	1	200	最大電流 8.99A	28形
	寒冷地仕様（-15℃）							冷暖房定格 0.94/1.98KW	ｽﾊﾟ暖霧ヶ峰 MSZ-KXV2823S　（ｾｯﾄ型番）
屋内機 ＡＣＲ１－１		1F事務室	壁掛形	冷/暖房能力　2.8KW／4.0KW　冷媒配管　6.35／9.52　ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ（壁掛部品共）　壁取付金物　渡り配線工事、室内機電源配線　参考寸法799ｘ235ｘ295H　参考製品重量　10.0Ｋｇ				ﾌﾞﾚｰｶｰ容量 20A	
屋外機 ＡＣＲ－２	ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	屋外		冷/暖房能力　2.8KW／4.0KW　冷媒配管　6.35／9.52　防雪ﾌｰﾄﾞ（前面）　防振ﾊﾞｯﾄ付鋼製架台H＝300（既製品）　参考寸法862ｘ345ｘ550H　参考製品重量　35.0Ｋｇ	2	1	200	最大電流 8.98A	28形
ＡＣＲ－５	寒冷地仕様（-15℃）							冷暖房定格 1.25/2.5KW	ｽﾊﾟ暖霧ヶ峰 MLZ-HX2822AS　（ｾｯﾄ型番）
屋内機 ＡＣＲ２－１		2F個室A	天井ｶｾｯﾄ形（1方向）	冷/暖房能力　2.8KW／4.0KW　冷媒配管　6.35／9.52　ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ（壁掛部品共）　防振吊金物・振止工事　渡り配線工事、室内機電源配線　参考寸法1102ｘ360ｘ185H　参考製品重量　15.0Ｋｇ				ﾌﾞﾚｰｶｰ容量 20A	
ＡＣＲ５－１		2F個室B	天井ｶｾｯﾄ形（1方向）						
屋外機 ＡＣＲ－３	ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	屋外		冷/暖房能力　4.0KW／6.0KW　冷媒配管　6.35／9.52　防雪ﾌｰﾄﾞ（前面）　防振ﾊﾞｯﾄ付鋼製架台H＝300（既製品）　参考寸法871ｘ360ｘ630H　参考製品重量　44.0Ｋｇ	1	1	200	最大電流 7.73A	40形
	寒冷地仕様（-15℃）							冷暖房定格 1.45/2.985KW	ｽﾊﾟ暖霧ヶ峰 MLZ-HW4022AS　（ｾｯﾄ型番）
屋内機 ＡＣＲ３－１		2Fｷｯﾁﾝ・ﾎｰﾙ	天井ｶｾｯﾄ形（2方向）	冷/暖房能力　4.0KW／6.0KW　冷媒配管　6.35／9.52　ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ（壁掛部品共）　防振吊金物・振止工事　渡り配線工事、室内機電源配線　参考寸法973ｘ470ｘ194H　参考製品重量　19.0Ｋｇ				ﾌﾞﾚｰｶｰ容量 20A	
屋外機 ＡＣＲ－４	ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	屋外		冷/暖房能力　4.0KW／6.0KW　冷媒配管　6.35／9.52　防雪ﾌｰﾄﾞ（前面）　防振ﾊﾞｯﾄ付鋼製架台H＝300（既製品）　参考寸法871ｘ360ｘ630H　参考製品重量　44.0Ｋｇ	1	1	200	最大電流 8.19A	40形
	寒冷地仕様（-15℃）							冷暖房定格 1.45/2.94KW	ｽﾊﾟ暖霧ヶ峰 MLZ-HX4022AS　（ｾｯﾄ型番）
屋内機 ＡＣＲ４－１		2F個室C	天井ｶｾｯﾄ形（1方向）	冷/暖房能力　4.0KW／6.0KW　冷媒配管　6.35／9.52　ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ（壁掛部品共）　防振吊金物・振止工事　渡り配線工事、室内機電源配線　参考寸法1102ｘ360ｘ185H　参考製品重量　15.0Ｋｇ				ﾌﾞﾚｰｶｰ容量 20A	
ＥＨ－１	電気ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	1F身障者ﾄｲﾚ 1F男子・女子ﾄｲﾚ 2F男子・女子ﾄｲﾚ 2F洗面・洗濯室	壁掛形	暖房能力　0.5KW（430Kcal/h）　ｻｰﾓｽﾀｯﾄ（0-40°C）・ON/OFｽｲｯﾁ内蔵	6	1	200	0.5KW	参考日本シーズ線DPS-A50P



ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ冷媒配管・渡り配線・ﾘﾓｺﾝ配線系統図



ﾙｰﾑｴｱｺﾝ冷媒配管・渡り配線・ﾘﾓｺﾝ配線系統図

安曇野市総務部財産管理課

訂正　月・日：ＤＡＴＡ

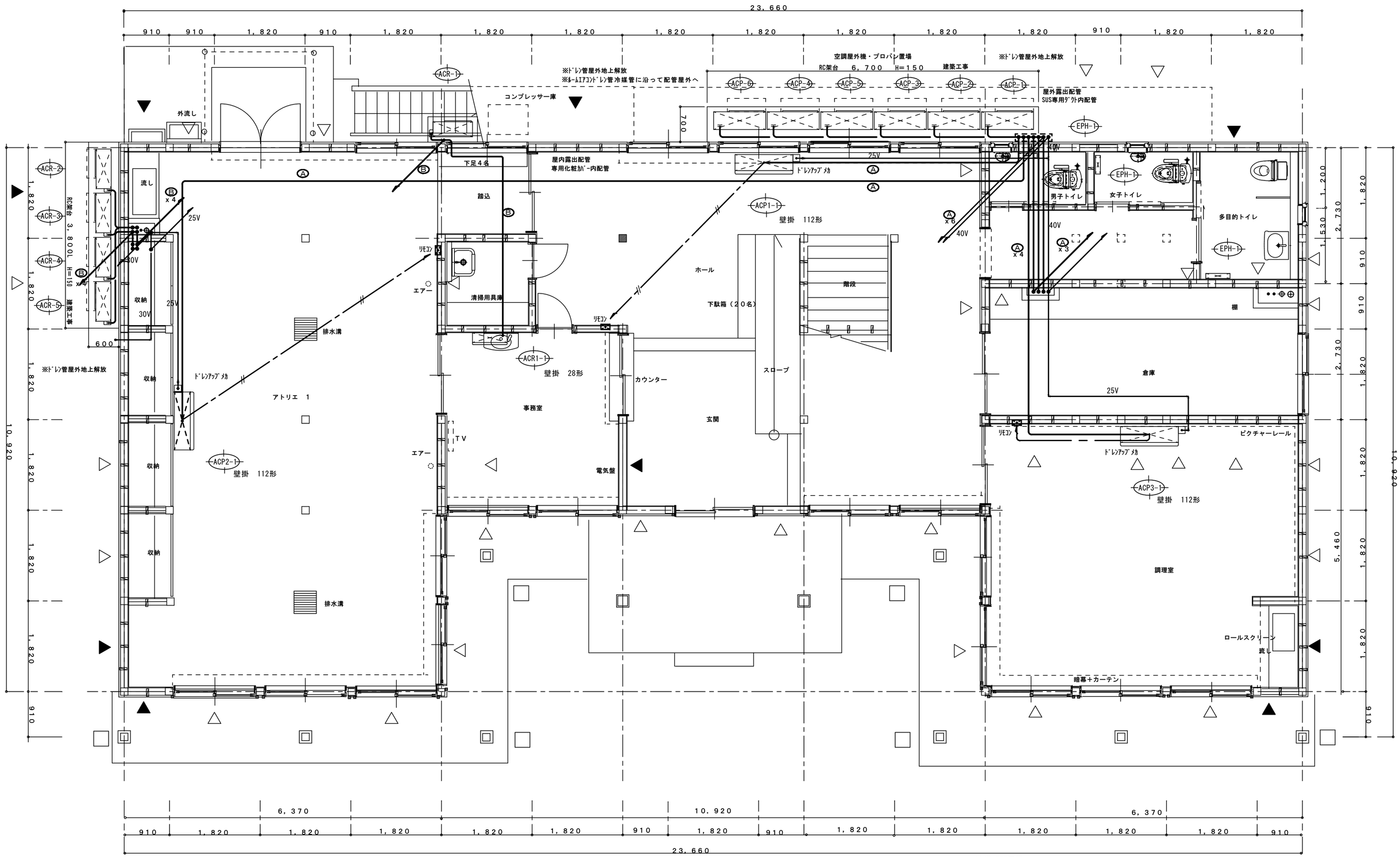
設計	検図	承認印
製図	担当	承認年月日 2024.1.24

工事名称：ＰＲ　ＮＡＭＥ
令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事

図面名称：ＤＷ　ＮＡＭＥ
冷暖房・暖房設備機器表　系統図

縮尺：ＳＣＡＬＥ
（Ａ－３）

図面番号：ＤＷ　ＮＯ．　確認
Ｍ－６



冷媒配管口径

記号	液管（高圧管）	ガス管（低圧管）	ドレン管	電源線・連絡線・ｱｰｽ線
Ⓐ	９．５２Φ	１５．８８Φ	２５Φ	VVF2.0° -3C IV2.0
Ⓑ	６．３５Φ	９．５２Φ	２０Φ	VVF2.0° -3C
			断熱塩ビ管	

安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日：DATA

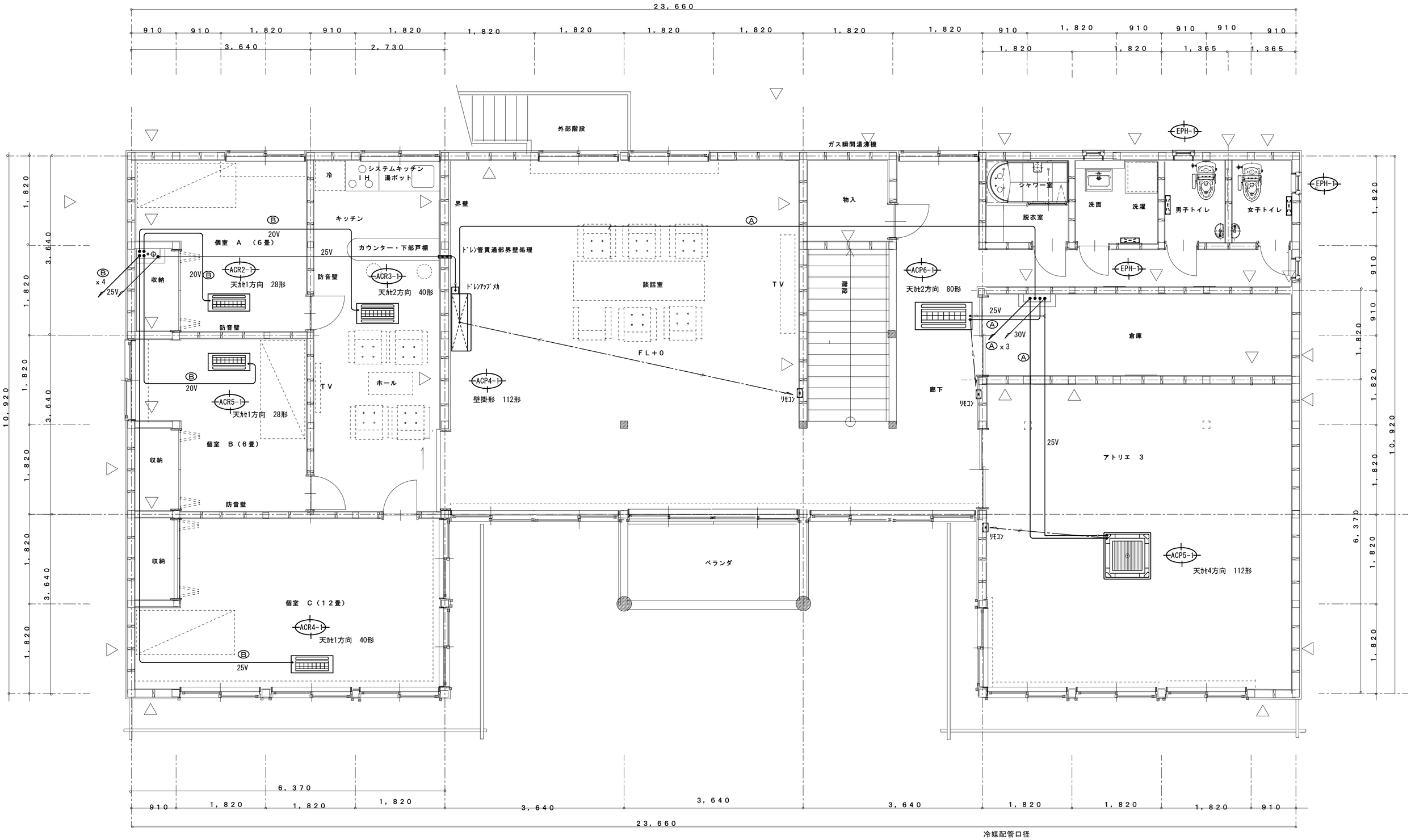
設計	検図	承認印
製図	担当	承認年月日 2024.1.24

工事名称：PR NAME
令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事

図面名称：DW NAME
冷暖房・暖房設備１階平面図

縮尺：SCALE
１：５０(Ａ－２) (Ａ－３)

図面番号：DW NO. 確認
Ｍ－７



※ ﾙｰﾑｴｱｺﾝﾄﾞﾚﾝ管冷媒管に沿って配管屋外へ

冷媒配管口径

記号	液管（高圧管）	ガス管（低圧管）	ドレン管	電源線・連絡線・ｱｰｽ線
Ⓐ	9．52Φ	15．88Φ	25Φ	VVF2.0°-3C　IV2.0
Ⓑ	6．35Φ	9．52Φ	20Φ	VVF2.0°-3C
			断熱塩ビ管	

安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和6年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	冷暖房・暖房設備2階平面図
						縮尺：SCALE 1：50(A－2)　(A－3)
						図面番号：DW　NO.　確認 M－8

厨房換気機器表

記号	設置場所	名称	型式	ファン径ダクト径静圧風量等	電力	附属品等	数	備考
ＰＦ－１	1Fｱﾄﾘｴ	換気扇	ﾊﾞｲﾌﾞﾌｧﾝ	定格風量330ＣＭＨ	１Φ１００Ｖ１３．０Ｗ	ｽﾃﾝﾚｽ深型ﾌｰﾄﾞ200φ　ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ（P-10SW2）	4	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ電気へ支給　参考V-20PXS5
	1F調理室		角形格子ｸﾞﾘﾙ			（防虫網付）		参考P-23VSQ4
	2F談話室		電気ｼｬｯﾀｰ					
	2Fｱﾄﾘｴ3							
ＰＦ－２	1F男子便所	換気扇	ﾊﾞｲﾌﾞﾌｧﾝ	定格風量85ＣＭＨ	１Φ１００Ｖ２Ｗ	ｽﾃﾝﾚｽ深型ﾌｰﾄﾞ100φ　ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ（P-11SW2）	7	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ電気へ支給　参考V-18PX8
	1F女子便所		ｲﾝﾃﾘｱﾊﾟﾈﾙ			（防虫網付）		参考P-13VSQ4
	1F身障者ﾄｲﾚ							
	2F男子便所							
	2F女子便所							
	2F洗面・洗濯室							
	2Fｼｬﾜｰ室							
ＥＸ－１	1F事務室	換気扇	壁取付熱交換換気扇	換気気風量強/弱　29/17.5ＣＭＨ	１Φ１００Ｖ２１Ｗ	専用ｽﾃﾝﾚｽﾌｰﾄﾞ（防虫網付）　ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ（P-04SWLB5）	4	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ電気へ支給　参考VL-08EPS3
	2F個室A		（1ﾊﾞｲﾌﾞ）					参考P-50CVSQ6
	2F個室B		壁ｽｲｯﾁﾀｲﾌﾟ					
	2F個室C		寒冷地用					
ＯＡ－１	1F玄関ﾎｰﾙ	給気口	自然給気口	150φ　壁取付　接続ダクト150φ		ｽﾃﾝﾚｽ深形ﾌｰﾄﾞ150φ（防虫網付）	5	参考P-18GHF5
	1Fｱﾄﾘｴ							
	1F調理室							
	2F談話室							
	2Fｱﾄﾘｴ3							
ＲＦ－１	2Fﾎｰﾙ・ｷｯﾁﾝ	ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ	建築工事	100φ　ﾀﾞｸﾄ工事本工事		FD付ｽﾃﾝﾚｽ深形ﾌｰﾄﾞ100φ（防虫網付）	1	参考P-VSQDM4

24時間換気量計算

1F調理室24時間換気量計算

PF-1	床面積	5.46×6.37＝34.7802m2
	気積	34.7802×2.4＝83.47248m3
	必要換気量	83.47248×0.5回＝41.73624m3
	取付換気扇　三菱V-20PXS5	
	有効換気量　330m3	
	330m3＞41.7362m3　Ｏ・Ｋ	

1F事務室24時間換気量計算

EX-1	洗濯室床面積	5.46×3.64＝19.8744m2
	気積	19.8744×2.4＝47.69856m3
	必要換気量	47.69856×0.5回＝23.84928m3
	取付換気扇　三菱VL-08SR3	
	有効換気量　29.0m3	
	29.0m3＞23.84928m3　Ｏ・Ｋ	

1Fｱﾄﾘｴ24時間換気量計算	床面積	10.92×6.37＝69.5604m2
PF-1	気積	69.56×2.4＝166.944m3
	必要換気量	166.944×0.5回＝83.472m3
	取付換気扇　三菱V-20PXS5	
	有効換気量　330m3	
	330.0m3＞83.472m3　Ｏ・Ｋ	

2F個室A24時間換気量計算	床面積	3.64×3.64-1.82×0.91＝11.5634m2
EX-1	気積	11.5634×2.4＝27.75216m3
	必要換気量	27.75216×0.5回＝13.87608m3
	取付換気扇　三菱VL-08SR3	
	有効換気量　29.0m3	
	29.0m3＞13.87608m3　Ｏ・Ｋ	

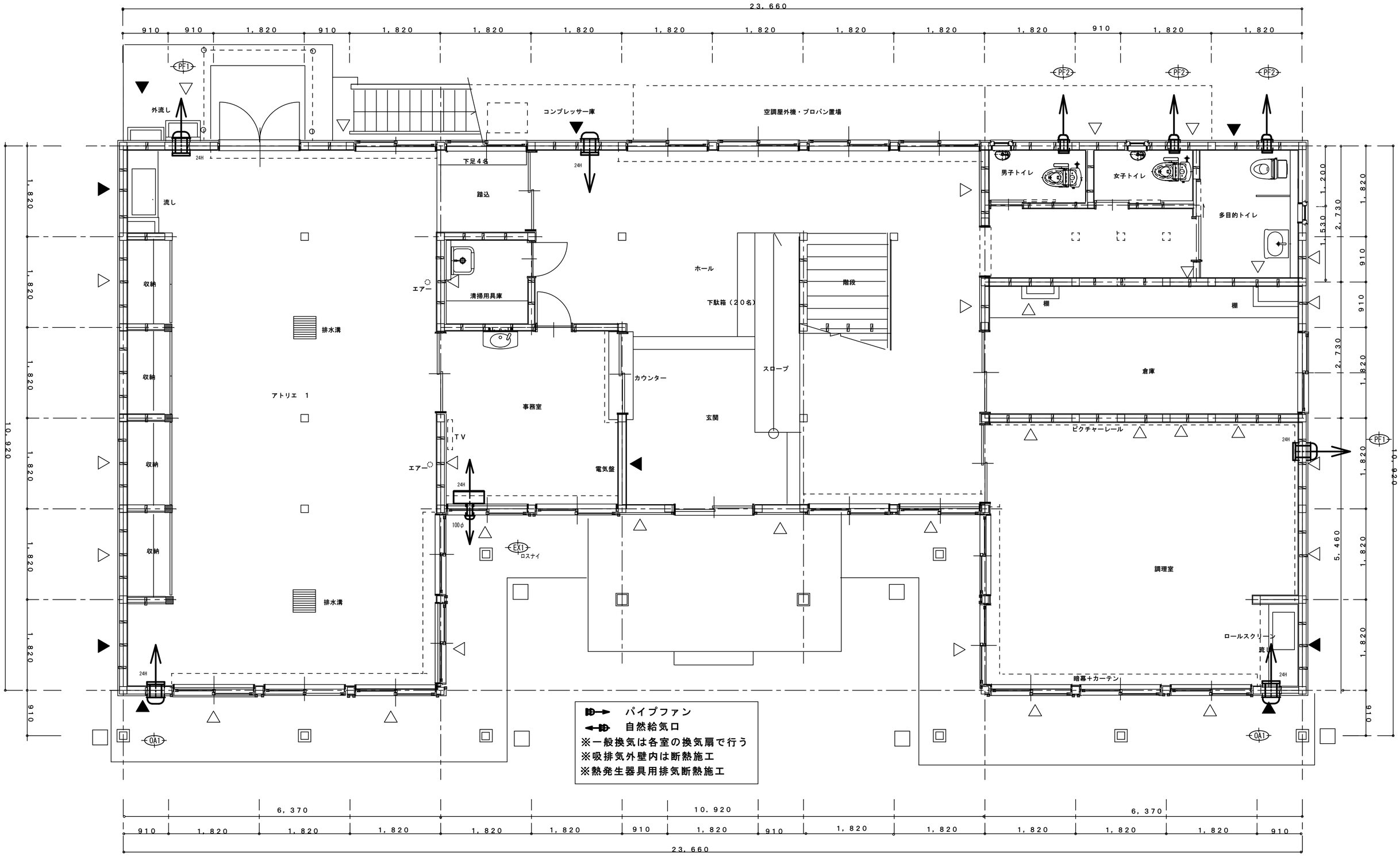
2F個室B24時間換気量計算	床面積	3.64×3.64-1.82×0.91＝11.5634m2
EX-1	気積	11.5634×2.4＝27.75216m3
	必要換気量	27.75216×0.5回＝13.87608m3
	取付換気扇　三菱VL-08SR3	
	有効換気量　29.0m3	
	29.0m3＞13.87608m3　Ｏ・Ｋ	

24時間換気量計算

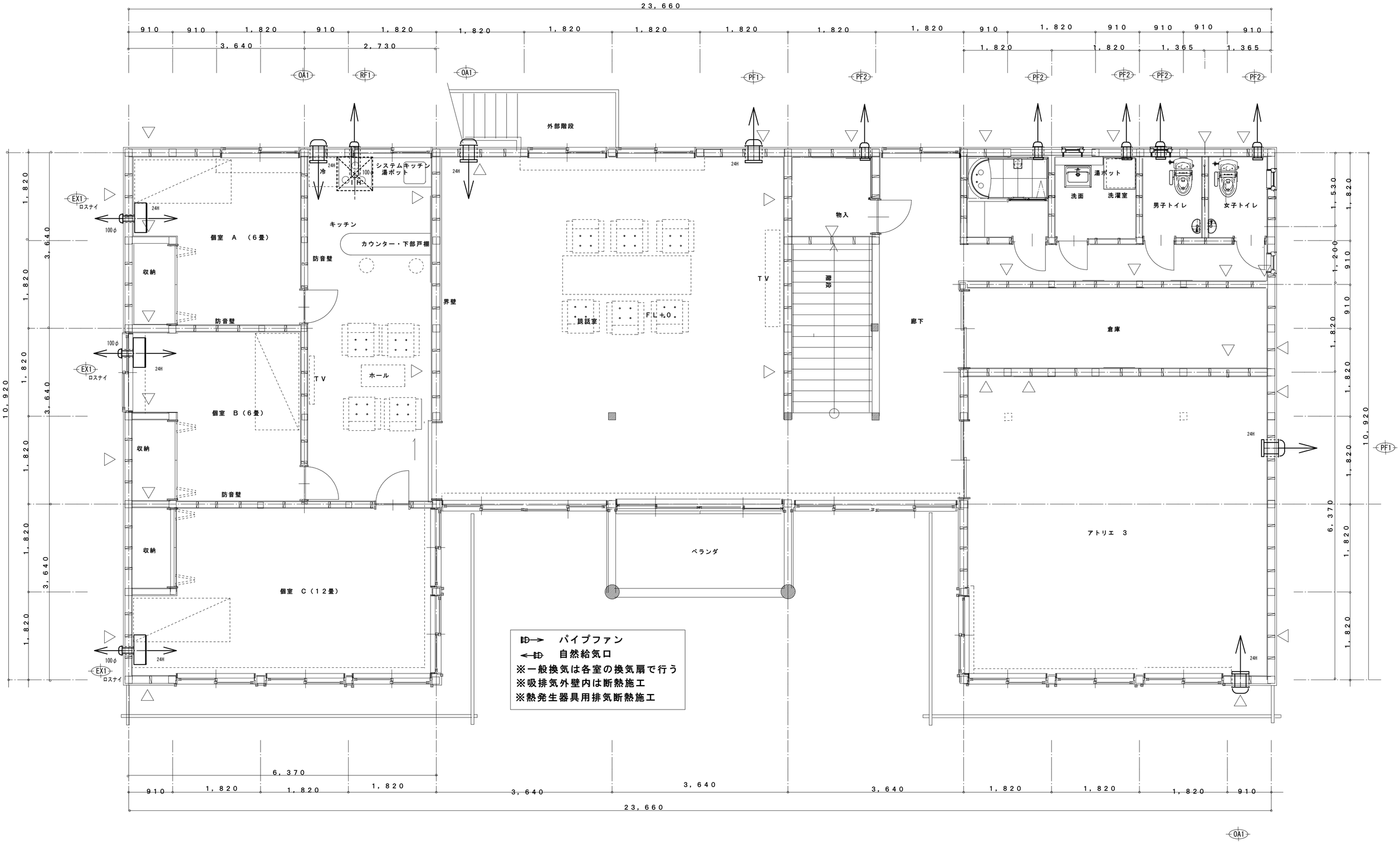
2F個室C24時間換気量計算	床面積	3.64×6.37-1.82×0.91＝21.5306m2
EX-1	気積	21.5306×2.4＝51.67344m3
	必要換気量	51.67344×0.5回＝25.83672m3
	取付換気扇　三菱VL-08SR3	
	有効換気量　29.0m3	
	29.0m3＞25.83672m3　Ｏ・Ｋ	

1F玄関ﾎｰﾙ・廊下・階段吹抜	床面積	9.1×7.28-1.82×3.64＝59.6232m2
		6.37×2.73-3.64×1.53＝10.4086m2
2F談話室・廊下・階段		10.92×7.28-1.82×1.82＝76.1852m2
		6.37×2.73-3.64×1.53＝11.8209m2
2Fﾎｰﾙ・ｷｯﾁﾝ		2.73×7.28＝19.8744m2
24時間換気量計算		
	床面積合計	177.9123m2
PF-1	気積	177.9123×2.4＝426.98952m3
	必要換気量	426.98952×0.5回＝213.49476m3
	取付換気扇　三菱V-20PXS5	
	有効換気量　330m3	
	330m3＞213.49476m3　Ｏ・Ｋ	

2Fｱﾄﾘｴ3 24時間換気量計算	床面積	6.37×6.37＝40.5769m2
PF-1	気積	40.5769×2.4＝97.38456m3
	必要換気量	97.38456×0.5回＝48.69228m3
	取付換気扇　三菱V-20PXS5	
	有効換気量　330m3	
	330m3＞48.69228m3　Ｏ・Ｋ	

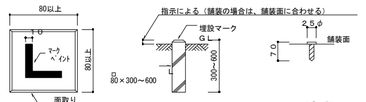


安曇野市総務部財産管理課	訂正　月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR　NAME	図面名称：DW　NAME	図面番号：DW　NO.　確認
		製図	担当	承認年月日 2024．1．24	令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	換気設備１階平面図	M―１０
						縮R：SCALE １：５０（A－２）　（A－３）	



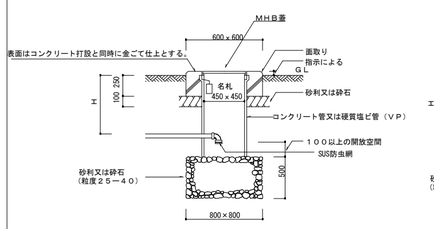
安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME	図面名称：DW NAME	図面番号：DW NO. 確認
		製図	担当	承認年月日 2024.1.24	令和６年度 鐘の鳴る丘集会所 大規模改修工事	換気設備２階平面図 縮R：SCALE １：５０(A－２) (A－3)	M―１１

機材１０１　地中埋設標



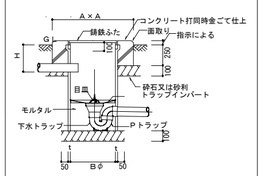
表示の色別
飲用水：青
雑用水：黄
消火水：赤
ガ　ス：緑
油　：赤
排　水：黒

機材１０６　水抜用浸透桝　ＰＣ－１



１．コンクリート巻部分には必要により鉄筋（Ｄ１０φ　）により補強すること

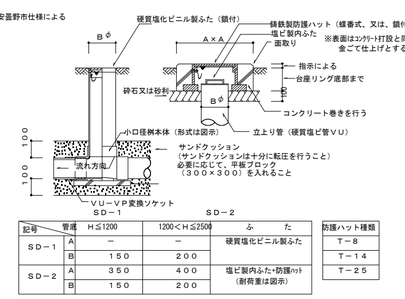
機材１０８　屋外トラップ桝（１）



※　鋳鉄ふたの種類は図示による

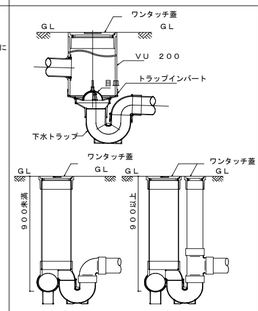
記号	長野市型
H	800以下
鋳鉄ふた	300φ
A×A	600×600
Bφ	300
桝　厚	３５
排水金物ＤＬ	100A以下
Ｐトラップ	100A以下

機材１１０　小口径塩ビ桝　　ＳＤ－１・２　温泉公社仕様

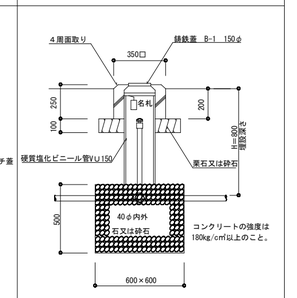


記号	管種	H≦1200	1200＜H≦2500	ふた	防護ハット種類
ＳＤ－１	A	－	－	硬質塩化ビニル製ふた	Ｔ－８
	B	１５０	２００		Ｔ－１４
ＳＤ－２	A	３５０	４００	塩ビ製内ふた+防護ハット（耐荷重は図示）	Ｔ－２５
	B	１５０	２００		

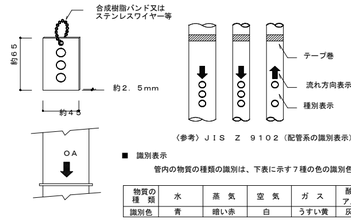
機材１０９　屋外トラップ桝（２）　温泉公社仕様



不凍栓ボックス　ＶＣ-６



施工１００　文字入れ・名札等



（参考）ＪＩＳ　Ｚ　９１０２（配管系の識別表示）より抜粋

■　識別表示

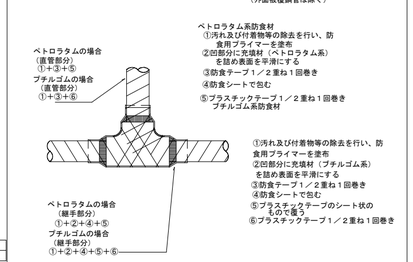
管内の物質の種類の識別は、下表に示す７種の色の識別色で表示する

物質の種類	水	蒸気	空気	ガス	酸又はアルカリ	油	電気
識別色	青	暗い赤	白	うすい黄	灰　紫	茶　色	うすい黄赤

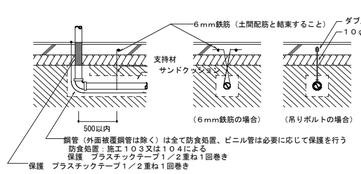
■　色の指定　　識別表示に用いる１２種の色の指定は、下表による

色	赤	暗い赤	うすい黄赤	黄　赤	茶　色	うすい黄	黄	青	灰　紫	赤　紫	白	黒
色参考値	7.5R4/15	7.5R3/6	2.5YR7/6	2.5YR6/14	7.5YR6/6	2.5YR/6	2.5YR/14	2.5PB5/8	2.5P5/5	2.5P4/8	H9.5	N1

施工１０２　鋼管類の防食（１）

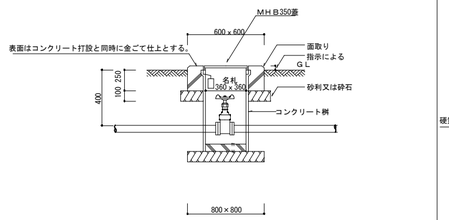


施工１０４　土間配管の防食及び損傷防止



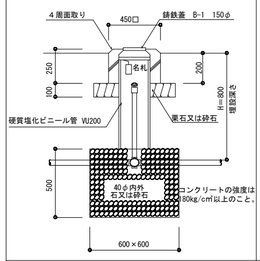
ただし、　　部分については、外面被覆鋼管、及び、ビニル管とも、保護を行う

仕切弁ボックス　ＶＣ-12

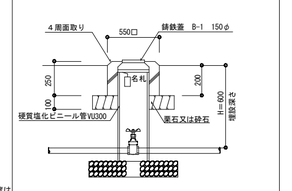


１．コンクリート巻部分には必要により鉄筋（Ｄ１０φ　）により補強すること

不凍栓ボックス　ＶＣ-10

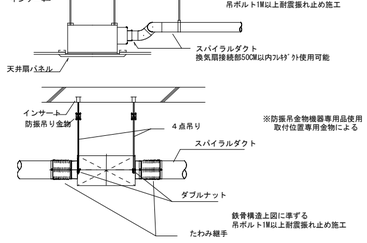


仕切弁ボックス　ＶＣ-11

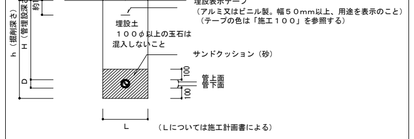


施工１２１　ｴｱｺﾝ屋内機取付要領

施工１２２　天井換気扇の取付要領　　中間取付ダクトファン（ストレートシロッコファン）の取付要領

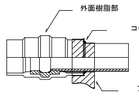


施工１０１　土中埋設管の布設

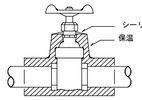


施工１０３　外面被覆鋼管の防食

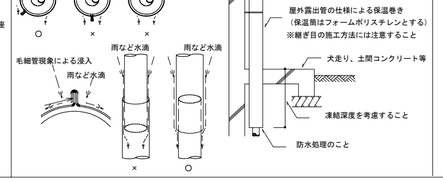
外面被覆鋼管、外面被覆塩ビライニング鋼管及び外面被覆ポリ粉体鋼管の防食



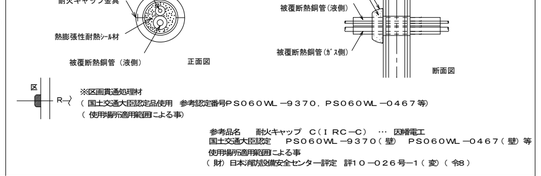
施工１０５　弁の保温



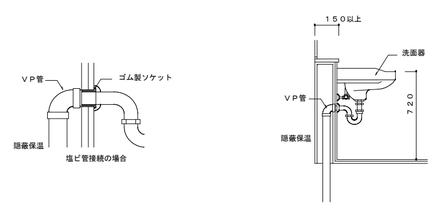
施工１０６　屋外露出管の保温の処理



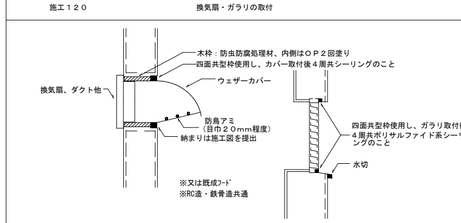
冷媒配管壁・防火区画及び防火上主要な間仕切貫通部



施工１１９　洗面器の納まり



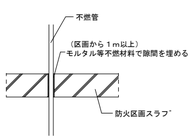
施工１２０　換気扇・ガラリの取付



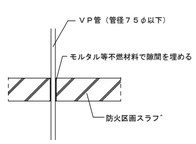
施工１０８　貫通部の処理

区画貫通部の処理：下記の他、国交省認定方法による

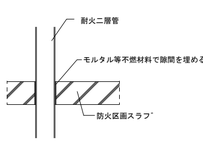
ア）給水管（硬質塩化ビニルライニング鋼管）及び給湯管（耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管）



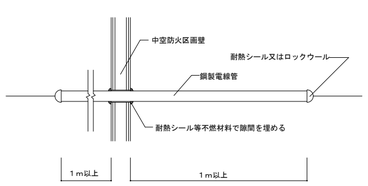
イ）通気管・ドレン管（硬質塩化ビニル管：ＶＰ）



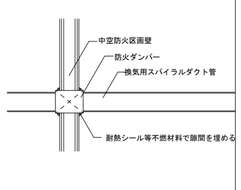
ウ）排水管（耐火二層管）
耐火二層管の認定工法による



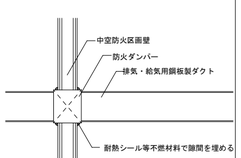
エ）ケーブル等
電線管を用いた工法の例



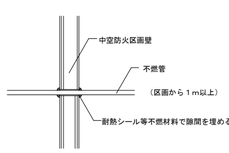
エ）換気・排気・給気鋼板類ダクト等を用いた工法の例

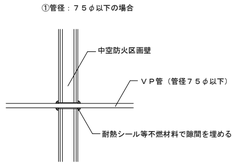


エ）換気・排気・給気鋼板類ダクト等を用いた工法の例

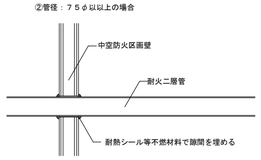


①管径：７５φ以下の場合





②管径：７５φ以上の場合



国土交通省の認定工法に順じて施工をする

施工１１０　防水区画（外壁地中梁）貫通管の処理

